【別添資料】

# 施設評価について（２）

（児童施設、行政施設、衛生施設、市民集会施設、医療施設）

西宮市

# 目　　次

**1．施設評価について …… 1**

（1）施設評価について …… 1

（2）施設評価のフロー …… 2

（3）一次評価 …… 3

（4）二次評価 …… 5

（5）総合評価 …… 6

【参考】施設の健全度判定について …… 7

**2．施設評価個票 …… 11**

（1）施設評価個票について …… 11

（2）施設評価個票 …… 14

# １．施設評価について

## （１）施設評価について

・建築系公共施設個別施設計画の策定において、各施設の対応方針を定めるにあたり、点検・診断等によって得られた施設の状況や施設が果たしている役割・機能・利用状況等を考慮する必要があることから施設評価を実施しました。（本計画の対象施設のうち 214 施設を対象に実施しています）

【計画対象施設数】

| 総合管理計画 | | **建築系公共施設個別施設計画** | | 本計画対象外の施設※2 |
|---|---|---|---|---|
| 施設区分 | 施設数 | **対象施設** | **施設評価実施施設※1** | |
| 社会教育関連施設 | 46 | **44** | **39** | 2 |
| 運動施設 | 15 | **15** | **15** | 0 |
| 文化施設 | 18 | **18** | **18** | 0 |
| 保健・福祉施設 | 33 | **28** | **28** | 5 |
| 児童施設 | 93 | **81** | **40** | 12 |
| 行政施設 | 126 | **74** | **33** | 52 |
| 衛生施設 | 9 | **5** | **5** | 4 |
| 公園施設 | 47 | **6** | **0** | 41 |
| 市民集会施設 | 36 | **35** | **35** | 1 |
| ごみ処理施設 | 2 | **0** | **0** | 2 |
| 医療施設 | 3 | **1** | **1** | 2 |
| その他施設 | 69 | **16** | **0** | 53 |
| 小計 | 497 | **323** | **214** | 174 |
| 学校施設 | 85 | ― | | |
| 住宅施設 | 80 | ― | | |
| 合計 | 662 | ― | | |

（平成 30 年 3 月 31 日時点の施設数を基に作成）

**※1**　施設評価実施施設

計画策定にあたり、施設の状態や役割、利用状況等に基づく「施設評価」を実施した施設。

個別に修繕計画を策定している「本庁舎関係の施設」、「消防分団」や「留守家庭児童育成センター」のように順次建替え等を進めている施設、「公園施設」や「自転車駐車場」といった施設は、所管部局で個別に対応を進めるものとして施設評価は行っていませんが、今後の施設の対応方針については本計画書へ記載しています。

**※2**　対象外の施設

・賃貸借等の施設
・小規模な建物等（倉庫・トイレ等）
・ごみ処理施設・中央病院関連施設
・「その他施設」の普通財産貸付施設
・上記以外で解体や廃止する施設（予定含む）

## （２）施設評価のフロー

・評価は、「一次評価（定量的な評価）」、「二次評価（定性的な評価）」、「総合評価」で実施します。

【一次評価】：施設の建物（品質）と機能（供給・財務）の観点から定量的な評価として行います
【二次評価】：定量的な評価では表せない定性的な要素（公共性、有効性、代替性、まちづくり）から評価を行います。
【総合評価】：一次評価及び二次評価の結果を踏まえて「総合評価」を行います。
総合評価は本計画の令和 14 年度までの中期的な対応方針としています

【施設評価のフロー】

**一次評価（定量的評価）**

「建物（品質）」と「機能（供給・財務）」による定量的な要素で評価を行う。
建物については劣化状況調査、機能については公共施設カルテの情報を使用して、各評価項目から評価指数を算出し、二軸評価を行う。

| 躯体に関する情報 | 劣化状況調査 | 公共施設カルテ |
|---|---|---|
| 公有財産台帳の築年数や耐震の状況 | 建築（屋根、屋上、外壁、内部仕上げ）の現地調査及び、設備（受変電、空調、昇降機）の更新年数の調査 | 建物の基本情報や利用状況、維持管理に必要なコスト等を整理したもの |

４段階評価（Ａ～Ｄ）の調査結果を点数化して「健全度」を算出

| 建物の評価項目 | |
|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 |
| | ②健全度 |
| | ③耐震性能 |

建物の評価を算出
（偏差値化した各項目の平均値）

| 機能の評価項目 | |
|---|---|
| 供給 | ④年間利用者<br>⑤建物１㎡当たりの利用者<br>⑥稼働率 |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費<br>⑧建物１㎡当たりの維持管理経費 |

機能の評価を算出
（偏差値化した各項目の平均値）

「建物」と「機能」の評価指数による二軸評価

**二次評価（定性的評価）**

公共性、有効性、代替性、まちづくりといった定性的な要素で評価を行う。

| | |
|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか<br>②法律により設置が義務付けられている施設か |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか<br>④施設の利用実態から利用圏域はどうか |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か<br>⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か |
| まちづくり | ⑦まちくづりの観点から特筆すべき事項があるか<br>⑧他の利用用途が存在するか |

**総合評価**

一次評価及び二次評価の結果を踏まえ、「機能（供給・財務）」の視点と「建物（品質）」の視点に基づき、機能と建物それぞれについて総合評価を行う。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 機能評価 | a.現状維持 | b.見直し | c.移譲・廃止 |
| 建物評価 | ア.現状維持 | イ.改修・改築 | ウ.解体・処分 |

令和 14 年度までの中期的な対応方針

## （３）一次評価

・建物（品質）と機能（供給・財務）の二軸による評価を行います。

### ①評価項目

・評価項目は下表のとおりです。

【一次評価の評価項目】

| 分類 | | 評価項目 | 内容 |
|---|---|---|---|
| 建物 | 品質 | ①平均築年数 | 建築後の経過年数（施設構成棟の平均築年数） |
| | | ②健全度 | 劣化状況調査による総合評点　※１ |
| | | ③耐震性能 | 耐震性があるか（新耐震基準、旧耐震基準で補強不要又は耐震補強済み）※２ |
| 機能 | 供給 | ④年間利用者 | 施設の延べ利用者数 |
| | | ⑤建物１㎡当たりの利用者 | 延べ利用者数／施設総延床面積 |
| | | ⑥稼働率 | 貸部屋の利用コマ数／総コマ数 |
| | 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費 | 維持管理経費（支出）／延べ利用者数 |
| | | ⑧建物１㎡当たりの維持管理経費 | 維持管理経費（支出）／施設総延床面積 |

④～⑧については公共施設カルテで延べ利用者（又は延べ園児数）や維持管理経費の記載がある施設が対象となります。
（複合施設において、面積や維持管理経費が他の施設に含まれる場合は記載がない施設があります）

※１　健全度については、「【参考】施設の健全度判定について」を参照

※２　耐震基準を満たしている場合は 100 点、満たしていない場合は 0 点
　　満たしている場合の条件：新耐震基準、旧耐震基準で補強不要又は耐震補強済み

### ②偏差値の算出

・各評価項目について偏差値を算出します。

建物（品質）　　⇒全施設から偏差値を算出します。
機能（供給・財務）⇒同様の機能を有したグループ内で偏差値を算出します。
　　グループについては、公共施設等総合管理計画の施設区分（細分類）を使用

【総合管理計画の施設区分】（施設評価の対象施設のみ）

| 大分類 | 細分類 |
|---|---|
| 社会教育関連施設 | １.公民館　2.図書館　3.その他 |
| 運動施設 | １.運動施設 |
| 文化施設 | １.市民会館　２.ホール　３.その他 |
| 保健・福祉施設 | １.高齢者施設　２.障害者関連施設　３.保健施設　４.その他 |
| 児童施設 | １.市立保育所　２.民間保育所・地域型保育施設　３.児童館・児童センター<br>４.子育て総合センター及び児童発達支援センター関連施設 |
| 行政施設 | １.庁舎・支所等　２.消防施設　３.その他 |
| 衛生施設 | １.墓園等　２.その他 |
| 市民集会施設 | １.市民館　２.共同利用施設　３.その他 |
| 医療施設 | １.医療施設 |

※細分類が１施設しかないもの（市民会館や医療施設）は、比較施設がないため機能の偏差値は算出しません。

### ③偏差値の平均点の算出

・各評価項目で算出した偏差値について、「建物（品質）」と「機能（供給・財務）」それぞれの平均値を算出します。

【算出例】

| 評価項目 | 建物 | | | 機能 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 品質 | | | 供給 | | | 財務 | |
| | ①<br>平均築年数 | ②<br>健全度 | ③<br>耐震性能 | ④<br>年間利用者 | ⑤<br>建物１㎡当たりの利用者 | ⑥<br>稼働率 | ⑦<br>利用者当たりの維持管理経費 | ⑧<br>建物１㎡当たりの維持管理経費 |
| 偏差値 | 35.8 | 54.4 | 53.1 | 60.9 | 53.1 | 53.2 | 57.3 | 56.2 |
| **平均値** | **47.77** | | | **56.14** | | | | |

※供給の評価項目が無い場合、機能の評価は「⑧建物１㎡当たりの維持管理経費」のみとなります。

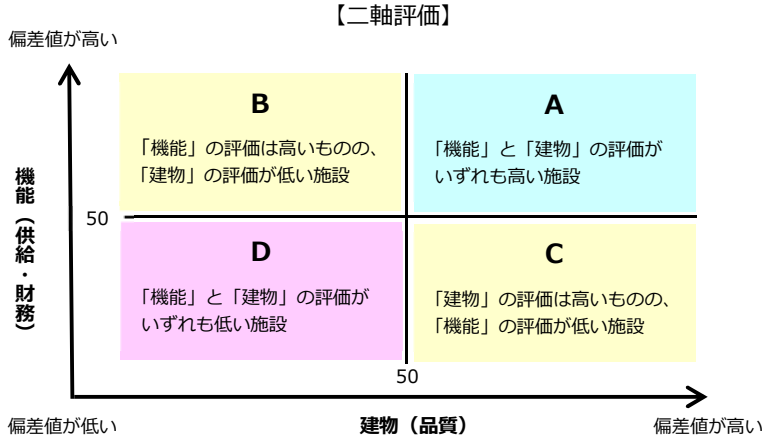
### ④建物と機能の評価指数による二軸評価

・「建物（品質）」を横軸、「機能（供給・財務）」を縦軸にとり、偏差値 50 を中心として、A～D の４つの区分に分類して二軸評価を行います。
（評価結果の分析イメージは下表のとおりです）

・一次評価は、一定の評価基準を設けて定量的な観点で分析した場合にどうなるかを示ししたものであり、施設の今後の方針を決定するにあたって参考とするものです。

・施設の対応方針を定めるにあたっては、二次評価、総合評価を通して方針を決定していきます。

【二軸評価】




【評価結果の分析イメージ】

| 区　分 | 概　要 |
|---|---|
| Aのエリア | 「建物」と「機能」の評価がいずれも高いことから、今後も施設を維持することが望ましいと考えます。 |
| Bのエリア | 「機能」の評価が高いものの、「建物」の評価が低いことから、施設の改修や改築を図ることが望ましいと考えます。<br>また、場合によっては他施設へ機能の複合化を進めることによって、当該施設を廃止することも考えられます。 |
| Cのエリア | 「建物」の評価は高いものの、「機能」の評価が低いことから、サービスやコストの改善に向けて検討を行うことが望ましいと考えます。<br>また、他の機能へ用途変更することも考えられます。 |
| Dのエリア | 「建物」と「機能」の評価がいずれも低いことから、サービスの廃止とともに、施設を処分することが考えられます。また、機能としてサービスを継続する場合は、サービスやコストの改善を図るとともに、施設の改修や改築を検討することが考えられます。 |

## （４）二次評価

・定量的な評価では表せない定性的な要素（公共性、有効性、代替性、まちづくり）から評価を行います。
・各評価項目には選択肢と評価理由等を記載する欄を設けます。

【二次評価の評価項目

| 区分 | 評価項目 | 評価の考え方と選択肢 |
|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | ■利用の実態を踏まえ、どのような利用のされ方をしているかで評価する。<br>■選択肢　「即している」<br>「即していない」<br>「不明」 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | ■根拠となる法律の有無にて評価する。法律において設置が義務付けられていない場合でも、設置の目的等が位置づけられていれば「義務付けられている」とする。<br>■選択肢　「義務付けられている」<br>「義務付けられていない」 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | ■過去の利用者数のトレンドを参考に、今後（数年間）の利用者の見込みを想定して評価する。また、今後、予定されている機能改善や新たな企画等の実施予定から想定して評価する。<br>■選択肢　「増加する見込みである」<br>「変わらない見込みである」<br>「減少する見込みである」<br>「－」（該当しない場合に選択） |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | ■利用の実態からみて、概ねどの圏域の住民の利用が多いかで評価する。<br>■選択肢　「全市的」<br>「地域性がある」<br>「－」（該当しない場合に選択） |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | ■同様の機能を有した民間施設や公共施設の有無で評価する。<br>■選択肢　「可能」<br>「不可能」<br>「不明」 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | ■本市及び周辺自治体において、指定管理、業務委託等による管理運営を委託した実績の有無等により評価する。<br>■選択肢　「実績あり」<br>「実績なし」<br>「不明」 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | ■本市の各種計画や施策に位置づけられた重要な役割を担う施設であるかによって評価する。<br>■選択肢　「特筆すべき事項あり」<br>「特筆すべき事項なし」 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | ■従来の利用目的以外の別な利用用途の存在や特別な指定を受けているかによって評価する。（避難所に利用されている、文化的、景観的価値がある等）<br>■選択肢　「他の利用用途あり」<br>「他の利用用途なし」 |

## （５）総合評価

・一次評価及び二次評価の結果を踏まえ、「機能（供給・財務）」の視点と「建物（品質）」の視点に基づき、機能と建物それぞれについて総合評価を行います。

【総合評価の内容】

| 評価項目 | 評価結果 | 今後の対応方針等 |
|---|---|---|
| 機能評価 | a．現状維持 | 施設が有する機能を現状のまま維持する。 |
| | b．見直し | 利用状況やコスト状況等を考慮し、他機能の複合化や機能の集約化、用途変更、又は施設のサービス向上やコスト改善などを行う。<br>ア．複合化：異なる複数の機能を一つの建物に統合・並置する。<br>イ．集約化：複数の施設にまたがる同様の機能群に対し、個々の機能を細分化し、再構成したうえで一つの建物等にまとめる。<br>ウ．用途変更：既存施設の全体あるいは一部を他の用途へ変更し、有効活用を図る。<br>エ．その他：施設の利用者数、稼働率等のサービス向上及びコスト改善などを検討する。 |
| | c．移譲・廃止 | 利用状況、コスト状況等を考慮し、機能を廃止する。<br>※機能を民間や地域に移譲、譲渡する場合を含む。 |
| 建物評価 | ア．現状維持 | 施設を現状のまま維持する。 |
| | イ．改修・改築 | 施設を維持するための改修や改築（建替え）を行う。<br>また、施設の長寿命化の検討・改修を行う。 |
| | ウ．解体・処分 | 機能の評価や老朽化状況等を勘案して、解体・処分を行う<br>あ．施設を解体<br>い．施設を民間へ譲渡（売却）又は賃貸<br>う．施設を地域へ移譲 |

⇩

「機能評価」と「建物評価」の結果の集計表としてまとめたイメージ

【総合評価の集計】

| | | | 【建物の評価】 | | | 機能の評価合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 現状維持 | 改修・改築 | 解体・処分 | |
| 【機能の評価】 | 現状維持 | | | | | |
| | 見直し | 複合化 | | | | |
| | | 集約化 | | 施設数を記載して集計 | | |
| | | 用途変更 | | | | |
| | | その他 | | | | |
| | 移譲・廃止 | | | | | |
| 建物の評価合計 | | | | | | |

## 【参考】施設の健全度判定について

### ①健全度判定の評価項目

・健全度判定に用いる評価項目は、以下の部位とします。

・なお、屋根・屋上、外壁、内部仕上げは、劣化状況調査による目視での評価としますが、設備については、目視による評価が困難なことから設置（更新）年からの経年による評価とします。

評価項目

| 番号 | 部　位 | 調査方法 |
|---|---|---|
| ① | 屋根･屋上 | 目視 |
| ② | 外壁 | 目視 |
| ③ | 内部仕上げ | 目視 |
| ④ | 受変電設備 | 経年 |
| ⑤ | 空調設備 | 経年 |
| ⑥ | 昇降機設備 | 経年 |

（中長期修繕計画で対象となっている部位と内部仕上げを評価）

### ②評価基準

・各部位について、施設点検及び経過年数に基づき健全度の状況をＡ、Ｂ、Ｃ、Ｄの４段階で判定し、健全度を点数化します。

①目視による評価基準

目視による評価（①屋根・屋上、②外壁、③内部仕上げ）

| 評　価 | 基　　準 | 配点 |
|---|---|---|
| A | おおむね良好 | 100 点 |
| B | 部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし） | 75 点 |
| C | 広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し） | 40 点 |
| D | 早急に対応する必要がある | 10 点 |

良好

劣化

②経年による評価基準

経年による評価（④受変電設備、⑤空調設備、⑥昇降機設備）

| 評　価 | 基　　準 | 配点 |
|---|---|---|
| A | 経過年数が 10 年未満 | 100 点 |
| B | 経過年数が 10 年以上 20 年未満 | 75 点 |
| C | 経過年数が 20 年以上 30 年未満 | 40 点 |
| D | 経過年数が 30 年以上 | 10 点 |

良好

劣化

## ③計算方法

・劣化による建物全体への影響度合いなどを考慮して、部位ごとに重要度係数を設定します。

評価点（①～⑥）

| 番号 | 部　位 | 重要度係数 | 満点 |
|---|---|---|---|
| ① | 屋根・屋上 | 1.0 | 100 点 |
| ② | 外壁 | 1.0 | 100 点 |
| ③ | 内部仕上げ | 0.25 | 25 点 |
| ④ | 受変電設備 | 0.5 | 50 点 |
| ⑤ | 空調設備 | 0.5 | 50 点 |
| ⑥ | 昇降機設備 | 0.5 | 50 点 |
| | 合計 | | 375 点 |

【重要度係数】西宮市の「公共施設の中長期修繕計画」に該当する項目のうち
躯体に関わる「①屋根・屋上」、「②外壁」は 1.0
設備関係の「④受変電設備」、「⑤空調設備」、「⑥昇降機設備」は 0.5
それ以外の「③内部仕上げ」は 0.25

・これらの評価点、重要度係数を用いて、施設の健全度の点数を算出します。

$$\text{健全度の点数} = \frac{\text{評価点：}\Sigma\text{（部位のＡ～Ｄ評価による配点×重要度係数）}}{375\text{ 点}} \times 100$$

健全度の計算はＡ～Ｄの評価に対する評価点に重要度係数を乗じることにより、点数を算出します。
なお、100 点満点に換算するため、満点の 375 点で除した後、100 点を乗じます。
①～⑥については該当するものが無ければ、分母の 375 点から減点して計算します。

※複数棟がある施設の評価点：各棟の評価が異なる場合があるため、各棟で「棟の評価点×棟の延床面積」を算出し、その合計を「各棟の延床面積の合計」で割算した数値を使用しています。

## ④劣化状況調査

**【①屋根・屋上、②外壁、③内部仕上げ】**

・劣化状況調査として目視での評価を実施しました。

・施設評価の対象施設施設のうち、民間複合施設 20 施設及び直近で建替予定などの 14 施設を除いた 180 施設において棟毎に実施

・評価の判定は、次頁の「評価の基本的考え方」をもとに評価を行っています。

**【④受変電設備、⑤空調設備、⑥昇降機設備】**

・設備については経年による評価のため、中長期修繕計画、図面情報及び公会計情報をもとに、最新の設置または更新年度を可能な範囲で事前に記載した調査票を作成し、施設所管課へ照会を実施しました。

**評価の基本的考え方【①屋根・屋上、②外壁、③内部仕上げ】**

| 部位 | 劣化状況調査票における「劣化状況」 | 評価の基本的考え方 | 仕様 |
|---|---|---|---|
| 1 屋根・屋上 | 降雨時に雨漏りがある | ①降雨時に複数箇所で雨漏りしている又は 1 箇所でも重度の雨漏りしている場合をＤ評価とする。<br>また、１箇所でも目視確認又はバケツを置くような雨漏り(ヒアリング等による)、があれば、Ｃ評価とする。 | |
| | 天井等に雨漏り痕がある | ②雨漏り痕が 1～2 箇所であればＢ評価とする。<br>雨漏り痕が 3～9 箇所又は 1～2 箇所でも重度であればＣ評価とする。<br>雨漏り痕が 10 箇所以上をＤ評価とする。 | |
| | 防水層に膨れ・破れ等がある | ③部分的な膨れ、はらみ（アスファルト・シート・塗膜防水）ならＢ評価とする。<br>広範囲の膨れ、はらみ（アスファルト・シート・塗膜防水）又は部分的な破断・穴あき・破れなどがみられたらＣ評価とする。<br>広範囲の破断・穴あき・破れなどがみられたらＤ評価とする。 | アスファルト防水<br>シート防水<br>塗膜防水 |
| | 屋根葺材に錆・損傷がある | ④部分的なさび、変色、変質、ひび割れならＢ評価とする。<br>広範囲のさび、変色、変質、ひび割れ又は部分的な腐食・損壊ならＣ評価とする。<br>広範囲な腐食・損壊ならＤ評価とする。 | 金属板（長尺、折板、平葺き）、瓦 |
| | 笠木・立上り等に損傷がある | ⑤上記（③）と同様 | |
| | 樋やﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝを目視点検できない | 樋やﾙｰﾌﾄﾞﾚﾝに異常があれば、チェックを入れる。<br>※ただし、評価（Ａ～Ｄ）の対象外とする。<br>　異常の内容は、下段の「特記事項」欄において、記載する。 | |
| | その他点検等で指摘がある | 上記以外での異常箇所や気づいた点等があれば、チェックを入れる。<br>その内容は、下段の「特記事項」欄において、記載する。 | |
| 2 外壁 | 鉄筋が見えているところがある | ①鉄筋の露出・爆裂が、1～2 箇所であればＢ評価とする。<br>鉄筋の露出・爆裂が 3～4 箇所又は 1～2 箇所でも重度であればＣ評価とする。<br>鉄筋の露出・爆裂が 5 箇所以上をＤ評価とする。 | |
| | 外壁から漏水がある | ②雨漏り痕の場合は、1～2 箇所であればＢ評価とする。<br>雨漏り痕が 3～9 箇所又は 1～2 箇所でも重度であればＣ評価とする。<br>雨漏り痕が 10 箇所以上をＤ評価とする。<br>降雨時に複数箇所で雨漏りをしている場合はＤ評価とする。 | |
| | 塗装の剥がれ | ③部分的な塗装の変質、変色であればＢ評価とする。<br>広範囲の塗装の変質、変色又は部分的な剥離、剥がれであればＣ評価とする。<br>広範囲な剥離、剥がれであればＤ評価とする。 | 塗り仕上げ<br>吹付塗装<br>金属系パネル |
| | タイルや石が剥がれている | ④部分的なタイル・石の浮き、ひび割れであればＢ評価とする。<br>広範囲なタイル・石の浮き、ひび割れ及び部分的な欠落、剥離であればＣ評価とする。<br>広範囲な欠落、剥離であればＤ評価とする。 | タイル張り<br>石張り |
| | 大きな亀裂がある | ⑤部分的なさび、ひび割れ(0.3＜W≦0.4)であればＢ評価とする。<br>広範囲のさび、ひび割れ(0.3＜W≦0.4)又は部分的なひび割れ(0.5≦W＜1.5)、欠落、剥がれであればＣ評価とする。<br>部分的なひび割れ(1.5＜W)、広範囲な欠落、剥がれ、ひび割れ(0.5≦W＜1.5)であればＤ評価とする。 | 塗り仕上げ<br>吹付塗装<br>金属系パネル<br>セメント系パネル |
| | 界面剥離、弾力低下がある | ⑥部分的な界面剥離、弾力低下であれば、Ｂ評価とする。<br>広範囲な界面剥離、弾力低下又は部分的な損壊であれば、Ｃ評価とする。<br>広範囲な損壊であればＤ評価とする。 | |
| | 窓・ドアの廻りで漏水がある | ⑦漏水が、1～2 箇所であればＢ評価とする。<br>漏水が 3～9 箇所又は 1～2 箇所でも重度であればＣ評価とする。<br>漏水が 10 箇所以上をＤ評価とする。 | |
| | 窓・ドアに錆・腐食・変形がある | ⑧部分的な変形・さびであればＢ評価とする。<br>広範囲な変形・さび又は部分的な腐食、損壊であればＣ評価とする。<br>広範囲な腐食、損壊であればＤ評価とする。 | |
| | 外部手すり等の錆・腐朽 | ⑨部分的なさびであれば、Ｂ評価とする。<br>広範囲のさび又は部分的な腐朽であればＣ評価とする。<br>広範囲の腐朽であればＤ評価とする。 | |
| | その他点検等で指摘がある | 上記以外での異常箇所や気づいた点等があれば、チェックを入れる。<br>その内容は、下段の「特記事項」欄において、記載する。 | |

| 部位 | 劣化状況調査票における「劣化状況」 | 評価の基本的考え方 | 仕様 |
|---|---|---|---|
| 3 内部仕上げ | 剥がれ、亀裂がある。 | ①部分的な浮き、亀裂(シート、クロス等)、ひび割れ(W≦0.4)であればＢ評価とする。<br>広範囲の浮き、亀裂(シート、クロス等)、ひび割れ(W≦0.4)又は部分的な欠落、剥がれ、ひび割れ(0.5≦W＜1.5)であればＣ評価とする。<br>部分的なひび割れ(1.5＜W)広範囲な欠落、剥がれ、ひび割れ(0.5≦W＜1.5)であればＤ評価とする。<br>※内部仕上げについては複数の部屋（教室）が存在することが考えられるが、１つの部屋でもＤ評価に該当する事象が確認されれば、棟としての評価はＤとする。 | 天井：ボード<br>壁：クロス、ボード<br>床：シート、タイルなど |
| | 懸垂物・付属物等 | ②スピーカー、照明灯具、換気扇等の懸垂物や付属物について、位置のずれがあればＢ評価とする。脱落、欠損があればＣ評価とする | |
| | その他点検等で指摘がある | 上記以外での異常箇所や気づいた点等があれば、チェックを入れる。その内容は、下段の「特記事項」欄において、記載する。 | |

**経過年数の判断基準【④受変電設備、⑤空調設備、⑥昇降機設備】**

| 部位 | 評価の基本的考え方 |
|---|---|
| 4　受変電設備 | ・「受電ケーブル」及び「PAS（高圧気中開閉器）」の改修を行ったものについて更新と判断します。<br>・ただし、その他の機器で 30 年以上更新されていないものがあればＤ評価とします。<br>・毎年行っている保守点検の報告書情報をもとに評価を行う |
| 5　空調設備 | ・空調（冷暖房機）は、方式の違いや複数台設置など、更新と判断することが難しいですが、以下の改修（取替）が行われている場合について更新と判断しています。<br>・中長期修繕計画の対象となっている熱源改修を行った場合<br>・複数台設置されている場合は、概ね施設の過半程度について改修や取替を行った場合 |
| 6　昇降機設備 | ・中長期修繕計画において改修工事を行った年度で更新と判断しています。 |

# ２．施設評価個票

## （１）施設評価個票について

・施設評価の内容については、施設ごとに「施設評価個票」を作成して整理しています。

【施設評価個票の項目説明】

1　施設名称などの情報を記載

| | |
|---|---|
| 施設番号 | ：総合管理計画の分類別で付番している番号 |
| 施設名称 | ：施設の名称 |
| 所在地 | ：所在地（住居表示）を記載 |
| 施設分離（大分類） | ：総合管理計画における大分類を記載 |
| 施設分類（中分類） | ：総合管理計画における中分類を記載 |
| 所管課 | ：施設を所管する課名を記載<br>※施設評価を行った令和２年度時点の所管課名 |
| 併設施設（複合施設）の有無 | ：複合施設の場合、名寄せ用に番号を記載 |

2　基礎情報の記載欄

| 各項目 | | | 説明 |
|---|---|---|---|
| 劣化状況調査の状況 | 棟名称 | | 公有財産台帳に登録されている棟ごとの名称 |
| | 延床面積（㎡） | | 公有財産台帳に登録されている棟ごとの延床面積 |
| | 建築年度 | | 公有財産台帳に登録されている棟ごとの建築年度 |
| | 築年数 | | 2019 年度　－　建築年度 |
| | 劣化状況 | 屋根・屋上 | 現地点検の結果を A~D で表記。<br>現地点検を行っていない民間複合の施設は「民複」、建替の施設は「建替」を表記。<br>※点検結果の詳細については「劣化状況調査票」を参照。 |
| | | 外壁 | |
| | | 内部仕上げ | |
| | | 受変電設備 | 設備の更新年度調査の結果 A～D で表記。<br>該当する設備がない施設については「無」を表記。<br>調査していない建替の施設は「建替」を表記。 |
| | | 空調設備 | |
| | | 昇降機設備 | |
| 品質 | ①平均築年数 | | 年度の違う棟がある場合は、築年数を面積按分して算出。 |
| | ②健全度 | | 劣化状況調査の結果を点数化したものです。 |
| | ③耐震性能 | | 西宮市耐震改修促進計画における耐震診断結果をもとに点数化したものです。<br>耐震基準を満たしている場合　＝「100 点」<br>満たしていない場合＝「0 点」<br>※満たしている場合の条件・・・新耐震又は旧耐震で補強済か補強不要の場合 |
| | | 基準 | 旧耐震（1981 年 5 月以前着工）の場合＝「旧」を表記。<br>新耐震（1981 年 6 月以降着工）の場合＝「新」を表記。 |
| | | 診断 | 旧耐震で耐震診断を実施済＝「済」、未実施＝「未」、新耐震＝「－」を表記<br>（耐震診断未実施の場合、基準を満たしているか判別ができないため点数化していません） |
| | | 補強 | 旧耐震で耐震補強済＝「済」、補強不要＝「不要」<br>補強未実施＝「未」、新耐震＝「－」を表記。 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 各年度 | 施設の延べ利用者数（公共施設カルテより※） |
| | | 平均 | 延利用者数の３か年平均（公共施設カルテより※） |
| | ⑤建物１㎡当たりの利用者（人/㎡） | | 延利用者数／延床面積（公共施設カルテより※） |
| | ⑥稼働率 | | 貸部屋の利用コマ数／総コマ数（公共施設カルテより※） |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | | 維持管理経費／延べ利用者数（公共施設カルテより※） |
| | ⑧建物１㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | | 維持管理経費／延床面積（公共施設カルテより※） |

※公共施設カルテ　建物の基本情報や利用状況、維持管理に必要なコスト等を整理したもので、市ホームページで公開しています。

## 3 一次評価の記載欄

<table>
<tr><th colspan="4">各項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td rowspan="7">一次評価</td><td colspan="2">品質の平均偏差値</td><td>建物の評価</td><td>品質①②③の平均偏差値</td></tr>
<tr><td colspan="2">供給・財務の平均偏差値</td><td>機能の評価</td><td>供給④⑤⑥及び財務⑦⑧の平均偏差値</td></tr>
<tr><td rowspan="5">各評価項目の偏差値</td><td>品質</td><td>①②③</td><td>品質（建物）については全施設で算出した偏差値</td></tr>
<tr><td>供給</td><td>④⑤⑥</td><td rowspan="2">供給・財務（機能）については西宮市公共施設等総合管理計画の施設区分（細分類）ごとに偏差値を算出しています。</td></tr>
<tr><td>財務</td><td>⑦⑧</td></tr>
<tr><td colspan="2">レーダーチャート</td><td>上記、①～⑧の偏差値をレーダーチャートで表示しています。</td></tr>
<tr><td colspan="2">二軸評価</td><td>建物（品質）を横軸、機能（供給・財務）を縦軸にとり<br>偏差値 50 を中心として A～D の４区分に分類しています。</td></tr>
</table>

## 4 二次次評価の記載欄

<table>
<tr><th colspan="3">各項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td rowspan="8">二次評価</td><td rowspan="2">公共性</td><td>①利用実態が設置目的に即しているか</td><td rowspan="8">・定性的な要素についての評価です。<br><br>・「評価結果」は各評価項目の選択肢、「評価理由等」は評価結果の選択肢を選んだ理由を記載しています。</td></tr>
<tr><td>②法律により設置が義務付けられている施設か</td></tr>
<tr><td rowspan="2">有効性</td><td>③今後の利用者数の見込みはどうか</td></tr>
<tr><td>④施設の利用実態から利用圏域はどうか</td></tr>
<tr><td rowspan="2">代替性</td><td>⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か</td></tr>
<tr><td>⑥管理運営において民間事業者のノウハウが活用できる施設か</td></tr>
<tr><td rowspan="2">まちづくり</td><td>⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか</td></tr>
<tr><td>⑧他の利用用途が存在するか</td></tr>
</table>

## 5 総合評価の記載欄

<table>
<tr><th colspan="2">各項目</th><th>説明</th></tr>
<tr><td rowspan="2">総合評価</td><td>機能</td><td rowspan="2">・「機能（供給・財務）」と「建物（品質）」の総合評価について記載しています。<br><br>・「評価結果欄」は、各評価項目の選択肢、「中期的な対応方針」は、各評価項目の選択肢に応じて、今後の方針や考え方を記載しています。</td></tr>
<tr><td>建物</td></tr>
</table>

# 【施設評価個票】（例）

**1**

| 施設番号　施設名称 | 02103　鳴尾東公民館 | 所在地 | 東鳴尾町１丁目9-1 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 社会教育関連施設 | 施設分類（中分類） | 公民館 |
| 所管課 | 地域学習推進課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

**2**

基礎情報

**劣化状況調査の状況**

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 1,008 | | | | | | 無 | A | B |
| 032 公民館 | 874 | 1987 | 32 | B | B | B | | | |
| 062 上屋 | 51 | 1987 | 32 | B | B | B | | | |
| 072 計量器室 | 4 | 1987 | 32 | | | | | | |
| 011 自転車置場・単車置場 | 19 | 1987 | 32 | | | | | | |
| 014 エレベーター棟 | 61 | 2005 | 14 | B | B | B | | | |

**品質**

| | |
|---|---|
| ①平均築年数 | 31 |
| ②健全度 | 79 |
| ③耐震性能 | 100 |
| 基準 新 診断 － 補強 － | |

**供給（3箇年平均）**

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 37,602 | 平均 | 38,685 |
| 2017 | 40,472 | | |
| 2018 | 37,981 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | | | 38 |
| ⑥稼働率 | | | 30% |

**財務（3箇年平均）**

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 255 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 9,799 |

**3**

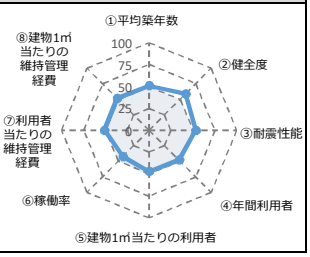
**一次評価**

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 54.33 | 縦軸 | 機能の評価 | 48.00 |

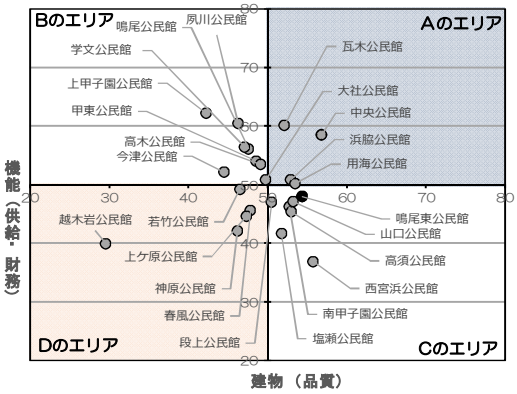
【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 50.8 |
| | ②健全度 | 59 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 48 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 47.1 |
| | ⑥稼働率 | 42.2 |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 51.1 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 51.6 |

レーダーチャート




社会教育関連施設 公民館




| 備　考 | |
|---|---|

**4**

**二次評価**

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 公民館の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 社会教育法第20条において、設置目的が記載されている施設である。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 公民館を学習の拠点とするグループ・団体の側面的支援を行なうこと、民間の教育力を活用する事業の実施、公民館の利用基準の緩和等により例年とほぼ変わらない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、地区公民館の場合、地区公民館管内の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 公民館は地域コミュニティの核となり地域市民が地域課題の解決や地域力を高めるための社会教育施設であり、民間施設等による代替は不可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 近隣自治体（伊丹・宝塚・芦屋・川西市）においては指定管理者制度を導入している。<br>当市公民館では、過去に地域団体が指定管理者として主体的な公民館管理運営の導入を試行した結果、困難であると判断し直営方式を選択した経緯あり。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 地域市民で構成する公民館地域学習推進員会事業において、地域課題の解決や地域力を高める役割を担う施設である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 避難所に指定されている。 |

**5**

**総合評価**

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 設備・備品等の適切な維持管理及び更新を行い、利用者の利便性の向上に努めることで稼働率や利用者数の増を図る。 |
| 建物 | ア．現状維持 | － | 公民館を安心安全に利用していただくため、建築基準法、消防法に定められた施設、設備の適法状態を維持する。また、修繕の必要な部分については、優先度を判断し可能な限り早急に修繕工事を実施する。 |

## （２）施設評価個票

・総合管理計画の施設分類別に「施設評価個票」を掲載しています。

社会教育施設、運動施設、文化施設、保健・福祉施設は「施設評価について（１）」に掲載

児童施設、行政施設、衛生施設、市民集会施設、医療施設は「施設評価について（２）」に掲載

「施設評価について（２）」の掲載施設

| 大分類 | 細分類 | 連番 | 施設番 | 施設名称 | 頁 |
|---|---|---|---|---|---|
| 児童施設 | 市立保育所 | 1 | 06101 | 朝日愛児館 | 17 |
| | | 2 | 06102 | 芦原保育所 | 18 |
| | | 3 | 06103 | 今津文協保育所 | 19 |
| | | 4 | 06104 | 今津南保育所 | 20 |
| | | 5 | 06105 | 学文殿保育所 | 21 |
| | | 6 | 06106 | 上之町保育所 | 22 |
| | | 7 | 06107 | 瓦木北保育所 | 23 |
| | | 8 | 06108 | 瓦木みのり保育所 | 24 |
| | | 9 | 06109 | 北夙川保育所 | 25 |
| | | 10 | 06110 | 甲東北保育所 | 26 |
| | | 11 | 06111 | 小松朝日保育所 | 27 |
| | | 12 | 06112 | 大社保育所 | 28 |
| | | 13 | 06113 | 高須西保育所 | 29 |
| | | 14 | 06114 | 高須東保育所 | 30 |
| | | 15 | 06115 | 建石保育所 | 31 |
| | | 16 | 06116 | 津門保育所 | 32 |
| | | 17 | 06117 | 鳴尾保育所 | 33 |
| | | 18 | 06118 | 鳴尾北保育所 | 34 |
| | | 19 | 06119 | 鳴尾東保育所 | 35 |
| | | 20 | 06121 | 浜脇保育所 | 36 |
| | | 21 | 06123 | 用海保育所 | 37 |
| | | 22 | 06124 | 芦原むつみ保育所 | 38 |
| | 民間保育所・地域型保育施設 | 1 | 06201 | 東山ぽぽ保育園 | 39 |
| | | 2 | 06202 | 東山ぽぽ保育園分園 | 40 |
| | | 3 | 06203 | 夙川夢保育園 | 41 |
| | | 4 | 06207 | つぼみの子保育園 | 42 |
| | | 5 | 06208 | 西北夢保育園 | 43 |
| | | 6 | 06209 | ニコニコ桜夙水園 | 44 |
| | 児童館・児童センター | 1 | 06301 | むつみ児童館 | 45 |
| | | 2 | 06302 | 浜脇児童館 | 46 |
| | | 3 | 06303 | 津門児童館 | 47 |
| | | 4 | 06304 | 鳴尾児童館 | 48 |
| | | 5 | 06305 | 大社児童センター | 49 |
| | | 6 | 06306 | 高須児童センター | 50 |
| | | 7 | 06307 | 塩瀬児童センター | 51 |
| | | 8 | 06308 | 山口児童センター | 52 |
| | 子育て総合センター及び児童発達支援センター関連施設 | 1 | 06501 | こども未来センター | 53 |
| | | 2 | 06502 | 北山学園 | 54 |
| | | 3 | 06503 | 子育て総合センター | 55 |
| | | 4 | 06504 | みやっこキッズパーク | 56 |
| 行政施設 | 庁舎・支所等 | 1 | 08108 | 西宮市役所夙川市民サービスセンター | 57 |
| | | 2 | 08109 | 西宮市役所市民課　越木岩分室 | 58 |
| | | 3 | 08110 | 西宮市役所市民課　西宮浜分室 | 59 |
| | | 4 | 08111 | 西宮市役所瓦木支所 | 60 |
| | | 5 | 08112 | 西宮市役所上甲子園市民サービスセンター | 61 |
| | | 6 | 08113 | 西宮市役所アクタ西宮ステーション | 62 |
| | | 7 | 08114 | 西宮市役所甲東支所 | 63 |

| 大分類 | 細分類 | 連番 | 施設番 | 施設名称 | 頁 |
|---|---|---|---|---|---|
| 行政施設 | 庁舎・支所等 | 8 | 08115 | 西宮市役所塩瀬支所 | 64 |
| | | 9 | 08116 | 西宮市役所塩瀬支所　生瀬分室 | 65 |
| | | 10 | 08117 | 西宮市役所鳴尾支所 | 66 |
| | | 11 | 08118 | 西宮市役所鳴尾支所　高須分室 | 67 |
| | | 12 | 08119 | 西宮市役所山口支所 | 68 |
| | | 13 | 08120 | フレンテ西館事務所 | 69 |
| | | 14 | 08123 | 美化第２課事務所 | 70 |
| | | 15 | 08124 | 美化第３課事務所 | 71 |
| | | 16 | 08125 | 環境衛生課・管財課庁舎 | 72 |
| | | 17 | 08126 | 環境事業部庁舎 | 73 |
| | | 18 | 08127 | 上下水道局本庁舎 | 74 |
| | | 19 | 08129 | フレンテ東館事務所 | 75 |
| | | 20 | 08130 | 生涯学習推進課学習室 | 76 |
| | 消防施設 | 1 | 08201 | 西宮市消防局 | 77 |
| | | 2 | 08202 | 西宮消防署 | 78 |
| | | 3 | 08203 | 西宮消防署北夙川分署 | 79 |
| | | 4 | 08204 | 鳴尾消防署 | 80 |
| | | 5 | 08205 | 鳴尾消防署浜分署 | 81 |
| | | 6 | 08206 | 瓦木消防署 | 82 |
| | | 7 | 08207 | 瓦木消防署甲東分署 | 83 |
| | | 8 | 08208 | 北消防署 | 84 |
| | | 9 | 08209 | 北消防署山口分署 | 85 |
| | | 10 | 08212 | 消防局整備センター | 86 |
| | その他 | 1 | 08301 | 室川町事務室 | 87 |
| | | 2 | 08302 | 交通安全対策課分室 | 88 |
| | | 3 | 08303 | 西宮市消費生活センター | 89 |
| 衛生施設 | 墓園等 | 1 | 09101 | 満池谷墓地 | 90 |
| | | 2 | 09103 | 白水峡公園墓地 | 91 |
| | その他 | 1 | 09201 | 西宮市食肉センター | 92 |
| | | 2 | 09202 | 食肉衛生検査所 | 93 |
| | | 3 | 09203 | 動物管理センター | 94 |
| 市民集会施設 | 市民館 | 1 | 11101 | 網引市民館 | 95 |
| | | 2 | 11102 | 市庭市民館 | 96 |
| | | 3 | 11103 | 今津南市民館 | 97 |
| | | 4 | 11104 | 上ケ原市民館 | 98 |
| | | 5 | 11105 | 大箇市民館 | 99 |
| | | 6 | 11106 | 柏堂市民館 | 100 |
| | | 7 | 11107 | 神原市民館 | 101 |
| | | 8 | 11108 | 北甲子園口市民館 | 102 |
| | | 9 | 11109 | 苦楽園市民館 | 103 |
| | | 10 | 11110 | 甲子園口市民館 | 104 |
| | | 11 | 11111 | 甲陽園市民館 | 105 |
| | | 12 | 11113 | 香櫨園市民館分館 | 106 |
| | | 13 | 11114 | 夙川西市民館 | 107 |
| | | 14 | 11115 | 夙東市民館 | 108 |
| | | 15 | 11116 | 高木市民館 | 109 |
| | | 16 | 11117 | 中市民館 | 110 |
| | | 17 | 11118 | 生瀬市民館 | 111 |
| | | 18 | 11119 | 平木市民館 | 112 |
| | | 19 | 11120 | 安井市民館 | 113 |
| | | 20 | 11121 | 八ツ松市民館 | 114 |
| | | 21 | 11122 | 六軒市民館 | 115 |

| 大分類 | 細分類 | 連 | 施設番 | 施設名称 | 頁 |
|---|---|---|---|---|---|
| 市民集会施設 | 共同利用施設 | 1 | 11201 | 共同利用施設上甲子園センター | 116 |
| | | 2 | 11202 | 共同利用施設瓦林公園センター | 117 |
| | | 3 | 11203 | 共同利用施設北瓦木センター | 118 |
| | | 4 | 11204 | 共同利用施設甲東センター | 119 |
| | | 5 | 11205 | 共同利用施設小松センター | 120 |
| | | 6 | 11206 | 共同利用施設高木センター | 121 |
| | | 7 | 11207 | 共同利用施設段上センター | 122 |
| | | 8 | 11208 | 共同利用施設鳴尾センター | 123 |
| | | 9 | 11209 | 共同利用施設鳴尾中央センター | 124 |
| | | 10 | 11210 | 共同利用施設浜甲子園センター | 125 |
| | その他 | 1 | 11301 | 西宮市市民交流センター | 126 |
| | | 2 | 11302 | 広田山荘 | 127 |
| | | 3 | 11303 | 芦乃湯会館分館　大黒会館 | 128 |
| | | 4 | 11304 | 西宮市立船坂里山学校 | 129 |
| 医療施設 | 医療施設 | 1 | 13102 | 西宮市応急診療所 | 130 |

| 施設番号　施設名称 | 06101　朝日愛児館 | 所在地 | 与古道町4-31 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 児童施設 | 施設分類（中分類） | 市立保育所 |
| 所管課 | 保育所事業課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報

### 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 244 | | | | | | 建替 | 建替 | 建替 |
| 036 保育所 | 228 | 1965 | 54 | 建替 | 建替 | 建替 | | | |
| 010 物置・納屋 | 7 | 1965 | 54 | 建替 | 建替 | 建替 | | | |
| 048 休憩所・休憩室 | 10 | 1995 | 24 | 建替 | 建替 | 建替 | | | |

### 品質

| | |
|---|---|
| ①平均築年数 | 53 |
| ②健全度 | – |
| ③耐震性能 | – |

| 基準 | 旧 | 診断 | – | 補強 | – |
|---|---|---|---|---|---|

### 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 647 | 平均 | 655 |
| 2017 | 659 | | |
| 2018 | 658 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | | | 3 |
| ⑥稼働率 | | | – |

### 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 6,284 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 16,851 |

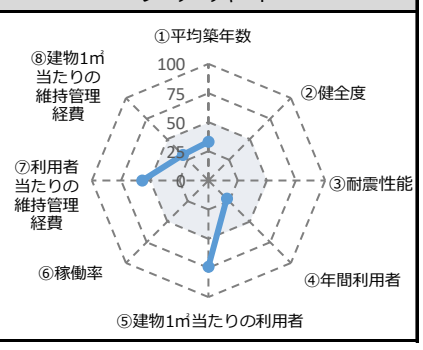
## 一次評価

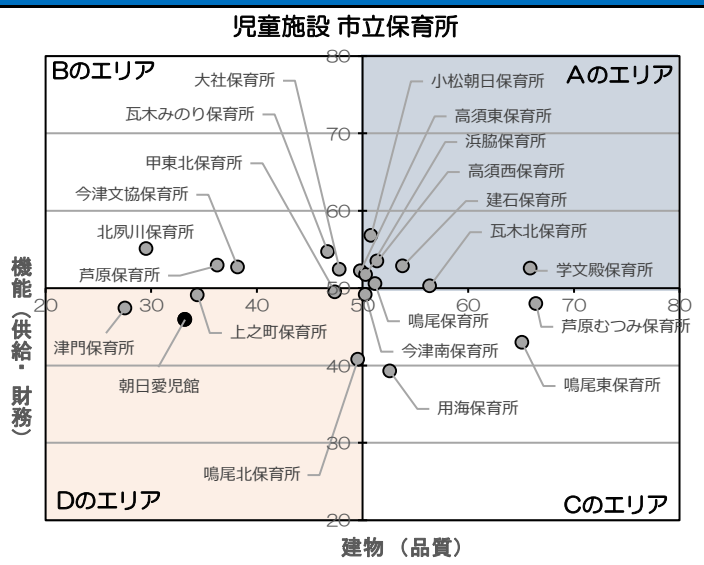
| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 33.20 | 縦軸 | 機能の評価 | 45.93 |

【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 33.2 |
| | ②健全度 | – |
| | ③耐震性能 | – |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 22.1 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 73.8 |
| | ⑥稼働率 | – |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 56.8 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 31 |

レーダーチャート




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 保育所等の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 児童福祉法に基づき、設置されている。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 待機児童数が多く、変わらない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、周辺地域の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | 同様の機能を有した公共施設で代替が可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 本市において公立保育所で、指定管理の実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項なし | 特筆すべき事項はない。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | b．見直し | エ．その他 | 待機児童が多いためリース園舎にて保育を行うが、待機児童数の縮減や定員を超えた受入れの低減が可能な時期に閉園予定。 |
| 建物 | ウ．解体・処分 | あ．施設を解体 | 築54年以上が経過しており、老朽化が著しいため、令和3年度にリース園舎竣工予定。また、待機児童数の縮減や定員を超えた受入れの低減が可能な時期に閉園予定。 |

| 施設番号 施設名称 | 06102 芦原保育所 | 所在地 | 神明町7-18 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 児童施設 | 施設分類（中分類） | 市立保育所 |
| 所管課 | 保育所事業課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報 — 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 716 | | | | | | 無 | B | 無 |
| 036 保育所 | 716 | 1980 | 39 | B | C | C | | | |

## 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 39 | | | | | |
| ②健全度 | 59 | | | | | |
| ③耐震性能 | 0 | | | | | |
| | 基準 | 旧 | 診断 | 済 | 補強 | 未 |

## 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 1,437 | 平均 | 1,354 |
| 2017 | 1,438 | | |
| 2018 | 1,187 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 2 | | |
| ⑥稼働率 | – | | |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 6,458 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 12,215 |

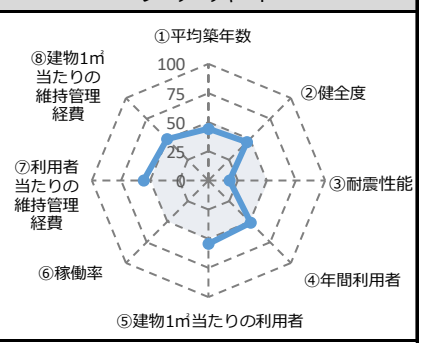
## 一次評価

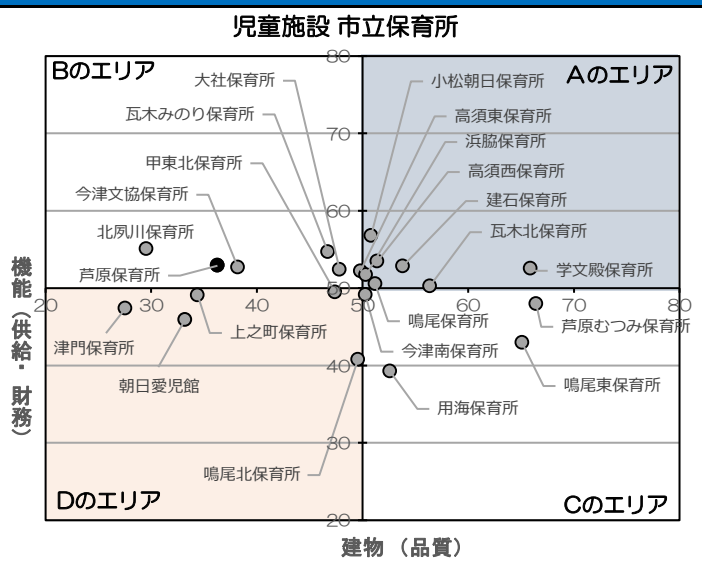
| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 36.27 | 縦軸 | 機能の評価 | 52.90 |

【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 44.4 |
| | ②健全度 | 46.5 |
| | ③耐震性能 | 17.9 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 51.2 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 54.4 |
| | ⑥稼働率 | – |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 55.7 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 50.3 |

レーダーチャート




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 保育所等の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 児童福祉法に基づき、設置されている。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 待機児童数が多く、変わらない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、周辺地域の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | 同様の機能を有した公共施設で代替が可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 本市において公立保育所で、指定管理の実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項なし | 特筆すべき事項はない。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | b．見直し | イ．集約化 | 代替施設（芦原むつみ保育所）が完成したため、令和7年度末に閉園予定。 |
| 建物 | ウ．解体・処分 | あ．施設を解体 | 代替施設（芦原むつみ保育所）が完成したため、令和7年度末に閉園予定。 |

| 施設番号 施設名称 | 06103 今津文協保育所 | 所在地 | 今津水波町11-26 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 児童施設 | 施設分類（中分類） | 市立保育所 |
| 所管課 | 保育所事業課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報 — 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 666 | | | | | | 無 | A | 無 |
| 037 保育室・育児室 | 666 | 1967 | 52 | B | A | C | | | |

## 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 52 | | | | | |
| ②健全度 | 85 | | | | | |
| ③耐震性能 | 0 | | | | | |
| | 基準 | 旧 | 診断 | 済 | 補強 | 未 |

## 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 1,274 | 平均 | 1,271 |
| 2017 | 1,279 | | |
| 2018 | 1,260 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 2 | | |
| ⑥稼働率 | – | | |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 6,232 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 11,895 |

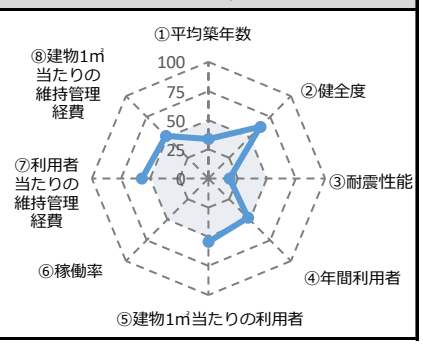
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 38.20 | 縦軸 | 機能の評価 | 52.70 |

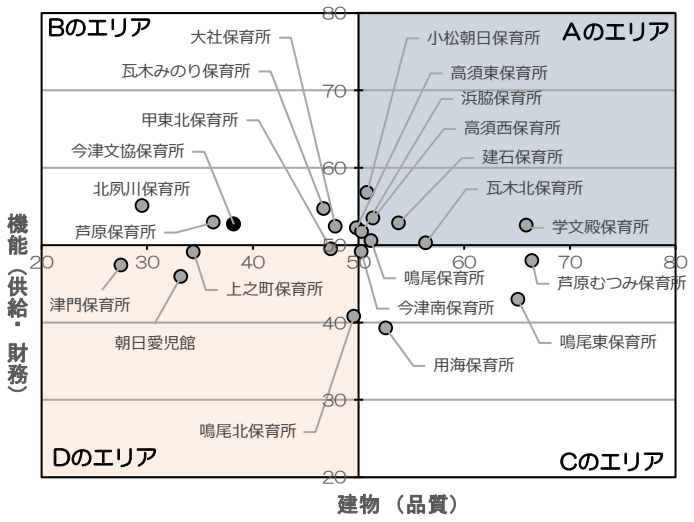
【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 34 |
| | ②健全度 | 62.7 |
| | ③耐震性能 | 17.9 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 47.7 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 54.4 |
| | ⑥稼働率 | – |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 57.1 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 51.6 |

レーダーチャート




児童施設 市立保育所




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 保育所等の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 児童福祉法に基づき、設置されている。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 待機児童数が多く、変わらない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、周辺地域の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | 同様の機能を有した公共施設で代替が可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 本市において公立保育所で、指定管理の実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項なし | 特筆すべき事項はない。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | b．見直し | エ．その他 | 令和8年度末に閉園予定。 |
| 建物 | ウ．解体・処分 | あ．施設を解体 | 令和8年度末に閉園予定。 |

| 施設番号 施設名称 | 06104 | 今津南保育所 | 所在地 | 今津出在家町10-6 |
|---|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 児童施設 | | 施設分類（中分類） | 市立保育所 |
| 所管課 | 保育所事業課 | | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合25 |

## 基礎情報 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 670 | | | | | | A | A | 無 |
| 036 保育所 | 670 | 1972 | 47 | C | A | B | | | |

## 品質

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 47 | | | | |
| ②健全度 | 80 | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | |
| 基準 | 旧 | 診断 | 済 | 補強 | 済 |

## 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 1,177 | 平均 | 1,179 |
| 2017 | 1,212 | | |
| 2018 | 1,149 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 2 | | |
| ⑥稼働率 | – | | |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 7,286 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 12,825 |

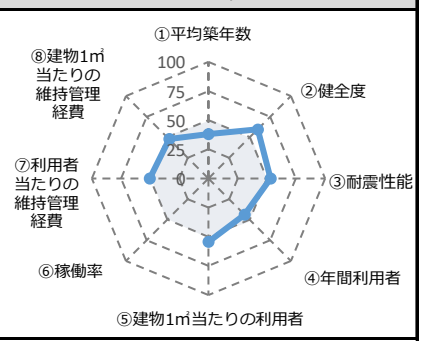
## 一次評価

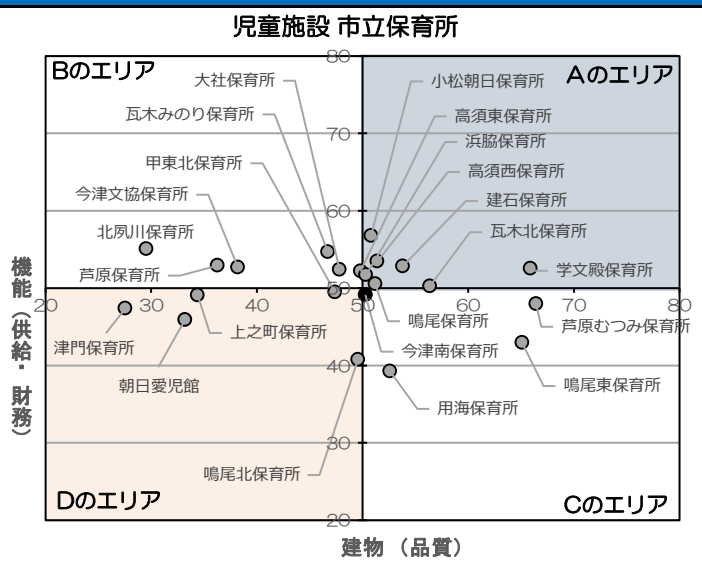
| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 50.27 | 縦軸 | 機能の評価 | 49.13 |

【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 38 |
| | ②健全度 | 59.6 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 43.9 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 54.4 |
| | ⑥稼働率 | – |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 50.4 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 47.8 |

レーダーチャート




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 保育所等の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 児童福祉法に基づき、設置されている。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 待機児童数が多く、変わらない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、周辺地域の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | 同様の機能を有した公共施設で代替が可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 本市において公立保育所で、指定管理の実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項なし | 特筆すべき事項はない。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | – | 待機児童が多く、現状維持となる。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | – | 令和14年度までに築50年以上が経過し、老朽化が進むため、施設の長寿命化に向けた検討を行う。 |

| 施設番号　施設名称 | 06105　学文殿保育所 | 所在地 | 学文殿町１丁目6-22 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 児童施設 | 施設分類（中分類） | 市立保育所 |
| 所管課 | 保育所事業課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報　劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 766 | | | | | | A | A | A |
| 036 保育所 | 737 | 2015 | 4 | A | A | A | | | |
| 009 倉庫 | 11 | 2015 | 4 | | | | | | |
| 011 自転車置場・単車置場 | 19 | 2015 | 4 | | | | | | |

| 品質 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | | | | | | 4 |
| ②健全度 | | | | | | 100 |
| ③耐震性能 | | | | | | 100 |
| | 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

| 供給（3箇年平均） | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | 1,389 | 平均 | 1,381 |
| 2017 | 1,386 | | |
| 2018 | 1,367 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | | | 2 |
| ⑥稼働率 | | | － |

| 財務（3箇年平均） | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 6,815 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 12,288 |

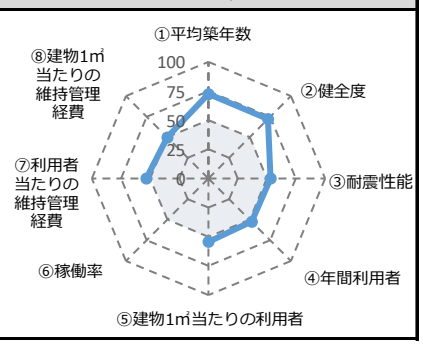
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 65.90 | 縦軸 | 機能の評価 | 52.53 |

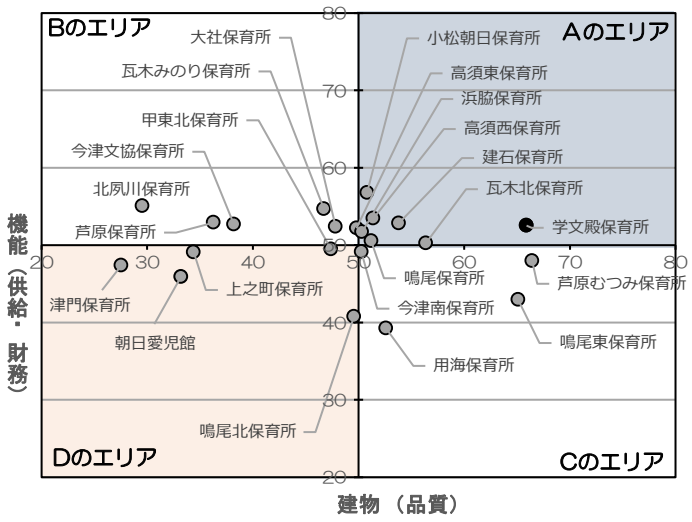
【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 72.5 |
| | ②健全度 | 72 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 52.3 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 54.4 |
| | ⑥稼働率 | － |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 53.4 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 50 |

レーダーチャート




児童施設 市立保育所




| 備　考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 保育所等の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 児童福祉法に基づき、設置されている。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 待機児童数が多く、変わらない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、周辺地域の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | 同様の機能を有した公共施設で代替が可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 本市において公立保育所で、指定管理の実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項なし | 特筆すべき事項はない。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 待機児童が多く、現状維持となる。 |
| 建物 | ア．現状維持 | － | 特に劣化している状況もないため、現状維持とする。 |

| 施設番号 | 施設名称 | 06106 | 上之町保育所 | 所在地 | 上之町24-44 |
|---|---|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | | 児童施設 | | 施設分類（中分類） | 市立保育所 |
| 所管課 | | 保育所事業課 | | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合26 |

## 基礎情報

### 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 643 | | | | | | C | B | 無 |
| 036 保育所 | 643 | 1973 | 46 | B | C | B | | | |

### 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | | | | | 46 | |
| ②健全度 | | | | | 59 | |
| ③耐震性能 | | | | | 0 | |
| | 基準 | 旧 | 診断 | 済 | 補強 | 未 |

### 供給（3箇年平均）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | 1,481 | 平均 | 1,486 |
| 2017 | 1,480 | | |
| 2018 | 1,496 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | | | 2 |
| ⑥稼働率 | | | – |

### 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 7,043 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 16,286 |

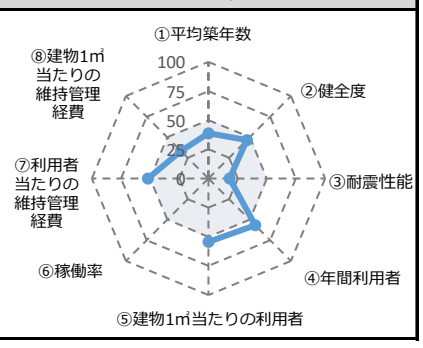
## 一次評価

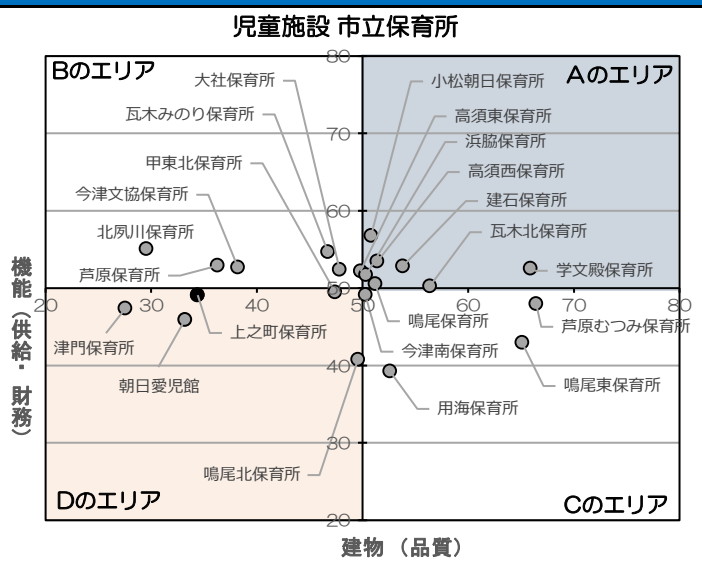
| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 34.40 | 縦軸 | 機能の評価 | 49.10 |

【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 38.8 |
| | ②健全度 | 46.5 |
| | ③耐震性能 | 17.9 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 56.7 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 54.4 |
| | ⑥稼働率 | – |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 52 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 33.3 |

レーダーチャート




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 保育所等の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 児童福祉法に基づき、設置されている。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 待機児童数が多く、変わらない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、周辺地域の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | 同様の機能を有した公共施設で代替が可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 本市において公立保育所で、指定管理の実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項なし | 特筆すべき事項はない。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | – | 待機児童が多く、現状維持となる。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | – | 令和14年度までに築50年以上が経過し、老朽化が進むため、施設の長寿命化に向けた検討を行う。 |

| 施設番号 施設名称 | 06107 瓦木北保育所 | 所在地 | 大屋町13-8 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 児童施設 | 施設分類（中分類） | 市立保育所 |
| 所管課 | 保育所事業課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報

### 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 747 | | | | | | 無 | A | 無 |
| 036 保育所 | 747 | 1998 | 21 | A | C | B | | | |

### 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 21 | | | | | |
| ②健全度 | 76 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| | 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

### 供給（3箇年平均）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | 1,208 | 平均 | 1,159 |
| 2017 | 1,149 | | |
| 2018 | 1,119 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 2 | | |
| ⑥稼働率 | － | | |

### 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 7,365 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 11,426 |

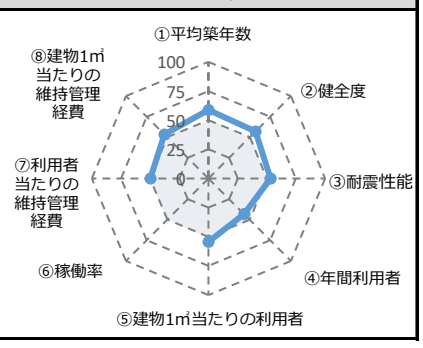
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 56.37 | 縦軸 | 機能の評価 | 50.25 |

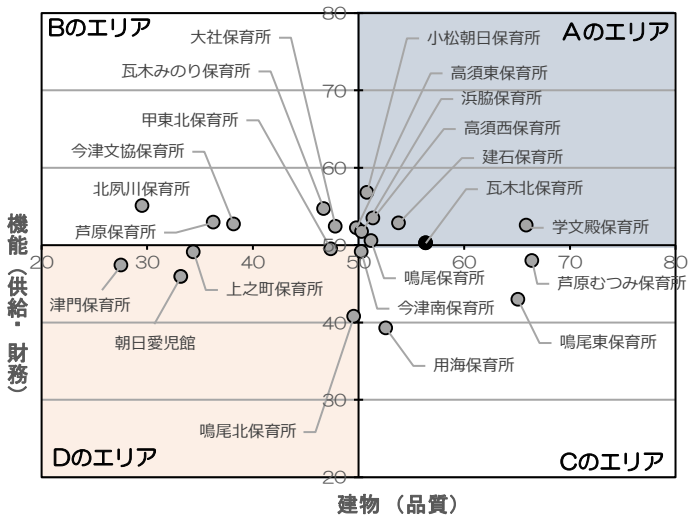
【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 58.8 |
| | ②健全度 | 57.1 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 43.1 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 54.4 |
| | ⑥稼働率 | － |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 49.9 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 53.6 |

レーダーチャート




児童施設 市立保育所




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 保育所等の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 児童福祉法に基づき、設置されている。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 待機児童数が多く、変わらない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、周辺地域の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | 同様の機能を有した公共施設で代替が可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 本市において公立保育所で、指定管理の実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項なし | 特筆すべき事項はない。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 待機児童が多く、現状維持となる。 |
| 建物 | ア．現状維持 | － | 特に劣化している状況もないため、現状維持とする。 |

| 施設番号　施設名称 | 06108　瓦木みのり保育所 | 所在地 | 甲子園口５丁目15-4 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 児童施設 | 施設分類（中分類） | 市立保育所 |
| 所管課 | 保育所事業課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報

### 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 746 | | | | | | A | B | 無 |
| 036 保育所 | 746 | 1972 | 47 | C | B | D | | | |

### 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 47 | | | | | |
| ②健全度 | 63 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| | 基準 | 旧 | 診断 | 済 | 補強 | 不要 |

### 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 1,634 | 平均 | 1,640 |
| 2017 | 1,641 | | |
| 2018 | 1,644 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 2 | | |
| ⑥稼働率 | – | | |

### 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 6,237 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 13,720 |

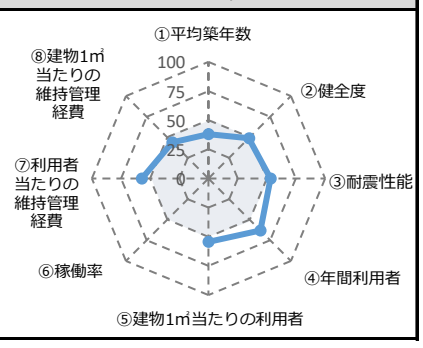
## 一次評価

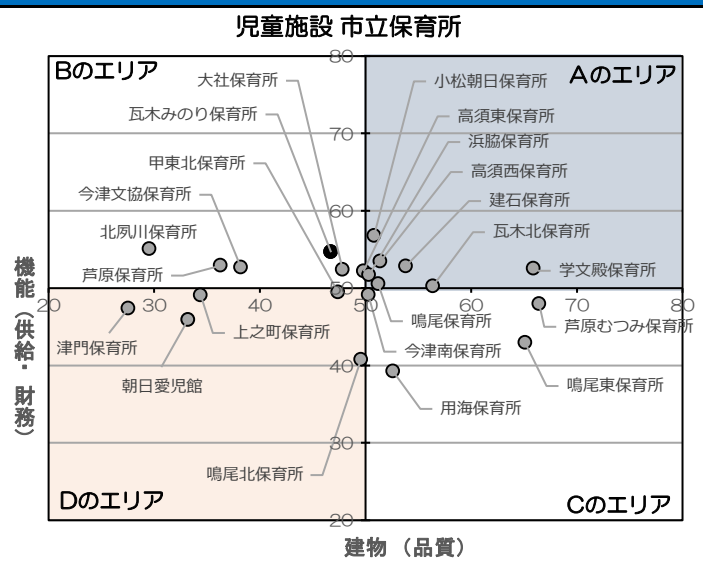
| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 46.73 | 縦軸 | 機能の評価 | 54.65 |

【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 38 |
| | ②健全度 | 49 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 63.1 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 54.4 |
| | ⑥稼働率 | – |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 57.1 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 44 |

レーダーチャート




| 備　考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 保育所等の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 児童福祉法に基づき、設置されている。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 待機児童数が多く、変わらない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、周辺地域の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | 同様の機能を有した公共施設で代替が可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 本市において公立保育所で、指定管理の実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項なし | 特筆すべき事項はない。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | ａ．現状維持 | – | 待機児童が多く、現状維持となる。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | – | 令和14年度までに築50年以上が経過し、老朽化が進むため、施設の長寿命化に向けた検討を行う。 |

| 施設番号 | 施設名称 | 所在地 | |
|---|---|---|---|
| 06109 | 北夙川保育所 | 松風町7-25 | |
| 施設分類（大分類） | 児童施設 | 施設分類（中分類） | 市立保育所 |
| 所管課 | 保育所事業課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報 ― 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 698 | | | | | | 建替 | 建替 | 建替 |
| 036 保育所 | 583 | 1972 | 47 | 建替 | 建替 | 建替 | | | |
| 036 保育所 | 50 | 1994 | 25 | 建替 | 建替 | 建替 | | | |
| 036 保育所 | 64 | 1994 | 25 | 建替 | 建替 | 建替 | | | |

## 品質

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 43 | | | | |
| ②健全度 | – | | | | |
| ③耐震性能 | 0 | | | | |
| 基準 | 旧 | 診断 | 済 | 補強 | 未 |

## 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 1,589 | 平均 | 1,570 |
| 2017 | 1,574 | | |
| 2018 | 1,548 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 2 | | |
| ⑥稼働率 | – | | |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 5,861 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 13,189 |

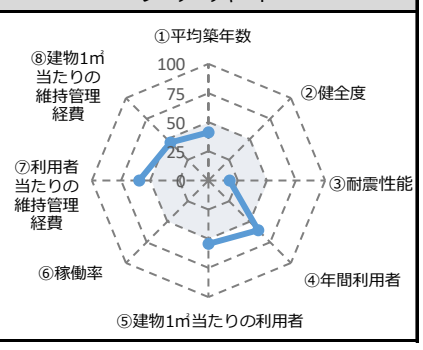
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 29.55 | 縦軸 | 機能の評価 | 55.08 |

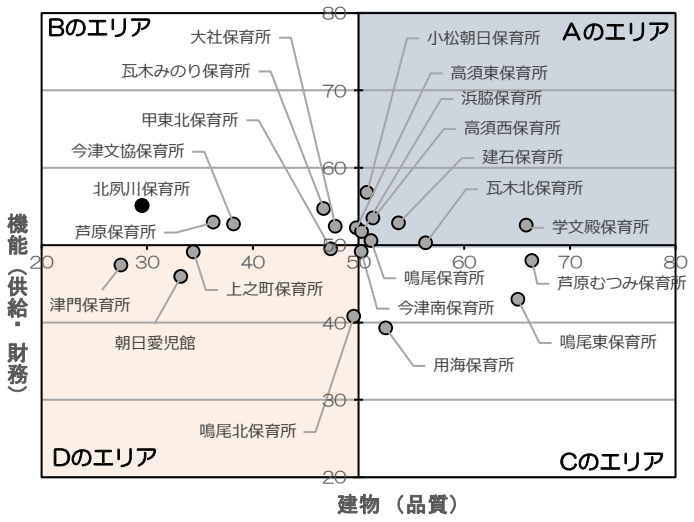
【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 41.2 |
| | ②健全度 | – |
| | ③耐震性能 | 17.9 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 60.2 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 54.4 |
| | ⑥稼働率 | – |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 59.5 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 46.2 |

レーダーチャート




児童施設 市立保育所




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 保育所等の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 児童福祉法に基づき、設置されている。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 待機児童数が多く、変わらない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、周辺地域の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | 同様の機能を有した公共施設で代替が可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 本市において公立保育所で、指定管理の実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項なし | 特筆すべき事項はない。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | – | 待機児童が多く、現状維持となる。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | – | 築47年以上が経過しており、老朽化が著しいため、令和２年度に移転建替え竣工予定。現在の建物については、令和3年度解体予定。 |

| 施設番号 施設名称 | 06110 | 甲東北保育所 | 所在地 | 仁川町４丁目3-10 |
|---|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 児童施設 | | 施設分類（中分類） | 市立保育所 |
| 所管課 | 保育所事業課 | | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 劣化状況調査の状況

基礎情報

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 655 | | | | | | C | A | 無 |
| 036 保育所 | 655 | 1990 | 29 | C | D | B | | | |

## 品質

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 29 | | | | |
| ②健全度 | 43 | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | |
| 基準 | 新 | 診断 | – | 補強 | – |

## 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 1,213 | 平均 | 1,162 |
| 2017 | 1,152 | | |
| 2018 | 1,121 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 2 | | |
| ⑥稼働率 | – | | |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 7,096 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 12,597 |

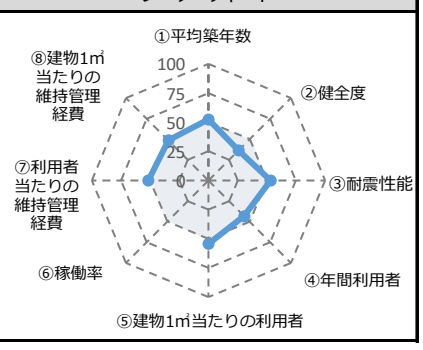
## 一次評価

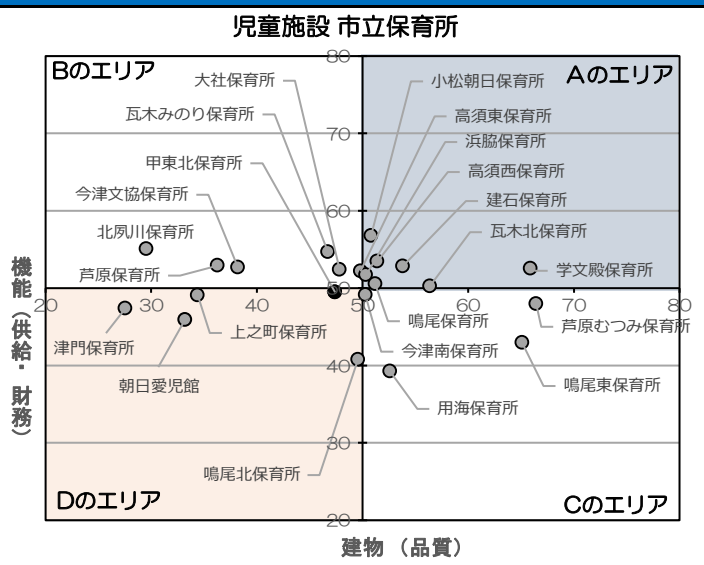
| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 47.40 | 縦軸 | 機能の評価 | 49.48 |

【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 52.4 |
| | ②健全度 | 36.6 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 43.2 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 54.4 |
| | ⑥稼働率 | – |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 51.6 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 48.7 |

レーダーチャート




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 保育所等の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 児童福祉法に基づき、設置されている。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 待機児童数が多く、変わらない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、周辺地域の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | 同様の機能を有した公共施設で代替が可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 本市において公立保育所で、指定管理の実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項なし | 特筆すべき事項はない。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | – | 待機児童が多く、現状維持となる。 |
| 建物 | ア．現状維持 | – | 大規模な改修工事は必要ないが、築29年以上が経過しており、外壁等の部分的な修繕が必要である。 |

| 施設番号　施設名称 | 06111　小松朝日保育所 | 所在地 | 小松北町１丁目7-9 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 児童施設 | 施設分類（中分類） | 市立保育所 |
| 所管課 | 保育所事業課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報　劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 742 | | | | | | A | A | 無 |
| 036 保育所 | 742 | 1974 | 45 | A | C | B | | | |

## 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | | | | | 45 | |
| ②健全度 | | | | | 80 | |
| ③耐震性能 | | | | | 100 | |
| | 基準 | 旧 | 診断 | 済 | 補強 | 済 |

## 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 1,475 | 平均 | 1,450 |
| 2017 | 1,450 | | |
| 2018 | 1,425 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | | | 2 |
| ⑥稼働率 | | | － |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 5,552 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 10,843 |

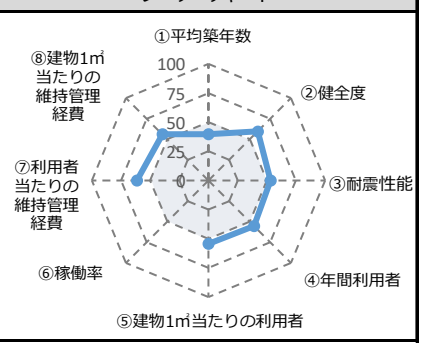
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 50.80 | 縦軸 | 機能の評価 | 56.75 |

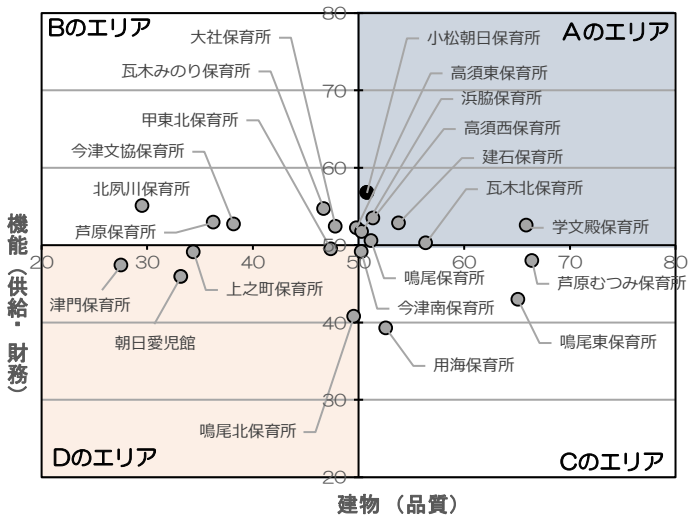
【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 39.6 |
| | ②健全度 | 59.6 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 55.2 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 54.4 |
| | ⑥稼働率 | － |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 61.4 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 56 |

レーダーチャート




児童施設 市立保育所




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 保育所等の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 児童福祉法に基づき、設置されている。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 待機児童数が多く、変わらない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、周辺地域の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | 同様の機能を有した公共施設で代替が可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 本市において公立保育所で、指定管理の実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項なし | 特筆すべき事項はない。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | ａ．現状維持 | － | 待機児童が多く、現状維持となる。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | － | 令和14年度までに築50年以上が経過し、老朽化が進むため、施設の長寿命化に向けた検討を行う。 |

| 施設番号 施設名称 | 06112 大社保育所 | 所在地 | 神垣町7-32 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 児童施設 | 施設分類（中分類） | 市立保育所 |
| 所管課 | 保育所事業課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合27 |

## 基礎情報 — 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 1,151 | | | | | | A | A | 無 |
| 020 園舎 | 1,149 | 1980 | 39 | C | C | C | | | |
| 009 倉庫 | 2 | 2015 | 4 | | | | | | |

## 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 39 | | | | | |
| ②健全度 | 58 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| | 基準 | 旧 | 診断 | 済 | 補強 | 不要 |

## 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 1,491 | 平均 | 1,483 |
| 2017 | 1,486 | | |
| 2018 | 1,472 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 1 | | |
| ⑥稼働率 | – | | |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 6,817 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 8,783 |

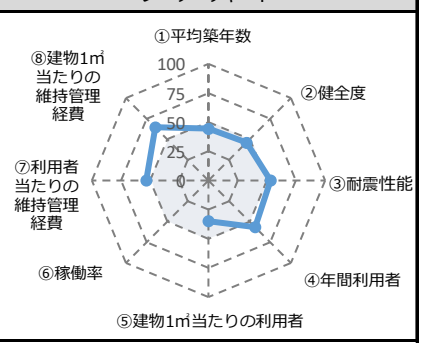
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 47.83 | 縦軸 | 機能の評価 | 52.40 |

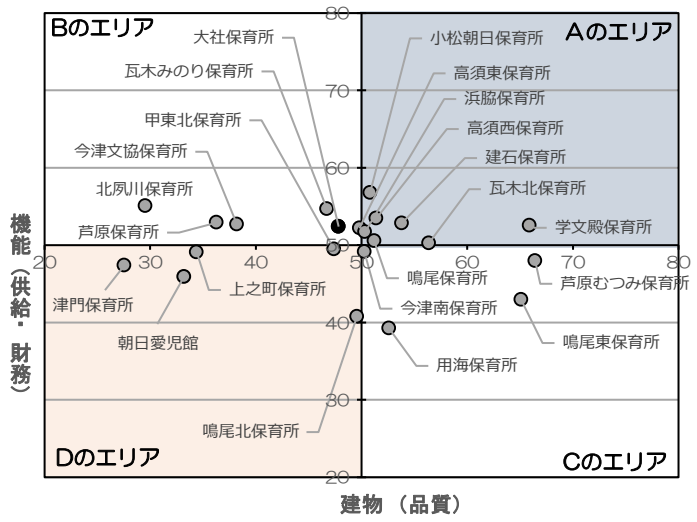
【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 44.4 |
| | ②健全度 | 45.9 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 56.6 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 35 |
| | ⑥稼働率 | – |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 53.4 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 64.6 |

レーダーチャート




児童施設 市立保育所




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 保育所等の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 児童福祉法に基づき、設置されている。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 待機児童数が多く、変わらない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、周辺地域の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | 同様の機能を有した公共施設で代替が可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 本市において公立保育所で、指定管理の実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項なし | 特筆すべき事項はない。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | – | 待機児童が多く、現状維持となる。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | – | 令和14年度までに築50年以上が経過し、老朽化が進むため、施設の長寿命化に向けた検討を行う。 |

| 施設番号 施設名称 | 06113 高須西保育所 | 所在地 | 高須町２丁目1-46 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 児童施設 | 施設分類（中分類） | 市立保育所 |
| 所管課 | 保育所事業課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報 — 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 723 | | | | | | 無 | B | 無 |
| 020 園舎 | 713 | 1981 | 38 | A | C | A | | | |
| 073 ポンプ室 | 5 | 1981 | 38 | | | | | | |
| 011 自転車置場・単車置場 | 5 | 1981 | 38 | | | | | | |

## 品質

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 38 | | | | |
| ②健全度 | 74 | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | |
| 基準 | 新 | 診断 | – | 補強 | – |

## 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 1,357 | 平均 | 1,341 |
| 2017 | 1,337 | | |
| 2018 | 1,330 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 2 | | |
| ⑥稼働率 | – | | |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 6,330 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 11,748 |

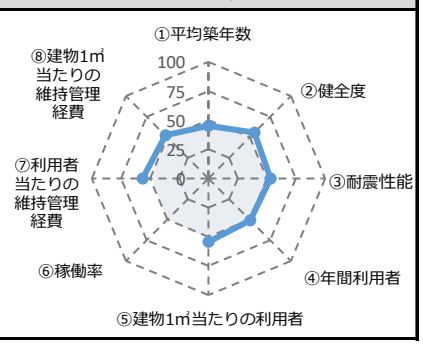
## 一次評価

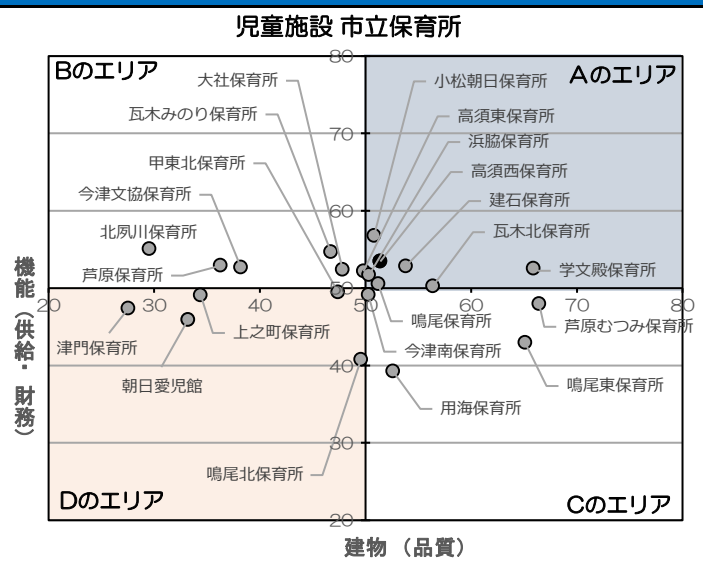
| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 51.40 | 縦軸 | 機能の評価 | 53.45 |

【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 45.2 |
| | ②健全度 | 55.8 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 50.6 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 54.4 |
| | ⑥稼働率 | – |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 56.5 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 52.3 |

レーダーチャート




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 保育所等の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 児童福祉法に基づき、設置されている。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 待機児童数が多く、変わらない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、周辺地域の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | 同様の機能を有した公共施設で代替が可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 本市において公立保育所で、指定管理の実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項なし | 特筆すべき事項はない。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | – | 待機児童が多く、現状維持となる。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | – | 令和14年度までに築50年以上が経過し、老朽化が進むため、施設の長寿命化に向けた検討を行う。 |

| 施設番号　施設名称 | 06114　高須東保育所 | 所在地 | 高須町１丁目1-39 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 児童施設 | 施設分類（中分類） | 市立保育所 |
| 所管課 | 保育所事業課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報

### 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 734 | | | | | | 無 | A | 無 |
| 020 園舎 | 725 | 1978 | 41 | C | A | D | | | |
| 073 ポンプ室 | 8 | 1978 | 41 | | | | | | |

### 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 41 | | | | | |
| ②健全度 | 70 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| | 基準 | 旧 | 診断 | 済 | 補強 | 不要 |

### 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 1,463 | 平均 | 1,431 |
| 2017 | 1,446 | | |
| 2018 | 1,385 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 2 | | |
| ⑥稼働率 | – | | |

### 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 6,763 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 13,191 |

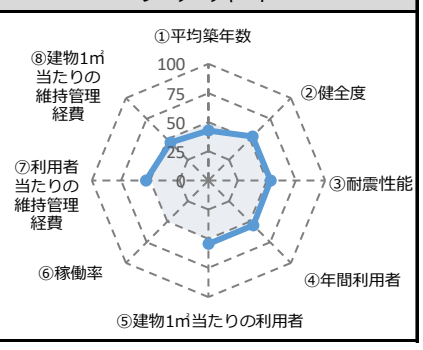
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 49.80 | 縦軸 | 機能の評価 | 52.18 |

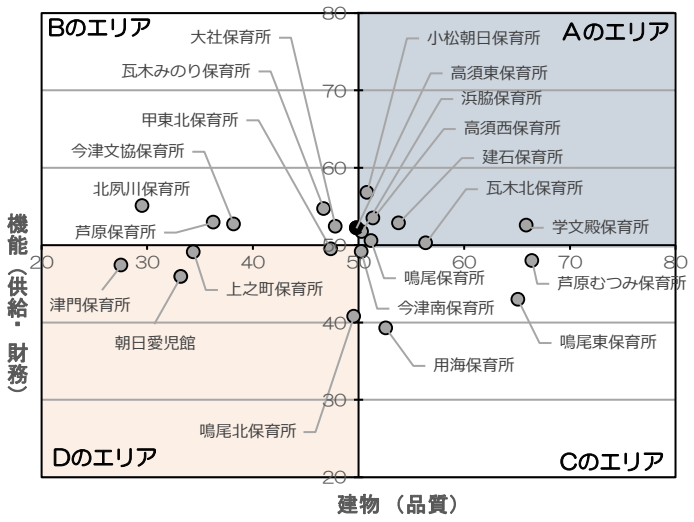
【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 42.8 |
| | ②健全度 | 53.4 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 54.4 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 54.4 |
| | ⑥稼働率 | – |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 53.7 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 46.2 |

レーダーチャート




児童施設 市立保育所




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 保育所等の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 児童福祉法に基づき、設置されている。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 待機児童数が多く、変わらない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、周辺地域の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | 同様の機能を有した公共施設で代替が可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 本市において公立保育所で、指定管理の実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項なし | 特筆すべき事項はない。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | – | 待機児童が多く、現状維持となる。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | – | 令和14年度までに築50年以上が経過し、老朽化が進むため、施設の長寿命化に向けた検討を行う。 |

| 施設番号 施設名称 | 06115 建石保育所 | 所在地 | 川添町10-3 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 児童施設 | 施設分類（中分類） | 市立保育所 |
| 所管課 | 保育所事業課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合28 |

## 基礎情報 — 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 645 | | | | | | A | A | 無 |
| 036 保育所 | 639 | 1983 | 36 | B | B | B | | | |
| 073 ポンプ室 | 6 | 1983 | 36 | | | | | | |

## 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 36 | | | | | |
| ②健全度 | 83 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| | 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

## 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 1,349 | 平均 | 1,352 |
| 2017 | 1,355 | | |
| 2018 | 1,351 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 2 | | |
| ⑥稼働率 | － | | |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 6,104 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 12,788 |

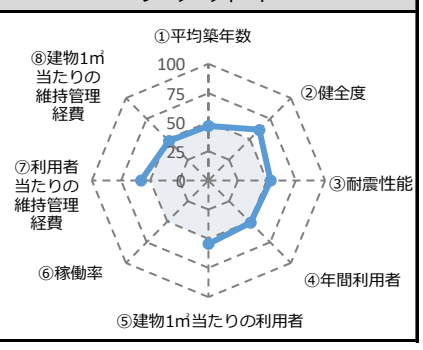
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 53.80 | 縦軸 | 機能の評価 | 52.83 |

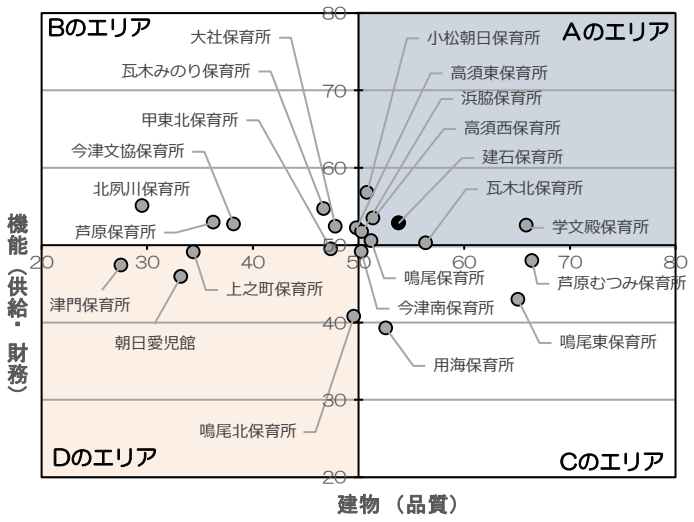
【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 46.8 |
| | ②健全度 | 61.4 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 51.1 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 54.4 |
| | ⑥稼働率 | － |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 57.9 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 47.9 |

レーダーチャート




児童施設 市立保育所




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 保育所等の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 児童福祉法に基づき、設置されている。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 待機児童数が多く、変わらない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、周辺地域の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | 同様の機能を有した公共施設で代替が可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 本市において公立保育所で、指定管理の実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項なし | 特筆すべき事項はない。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 待機児童が多く、現状維持となる。 |
| 建物 | ア．現状維持 | － | 特に劣化している状況もないため、現状維持とする。 |

| 施設番号 施設名称 | 06116 | 津門保育所 | 所在地 | 津門稲荷町5-23 |
|---|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 児童施設 | | 施設分類（中分類） | 市立保育所 |
| 所管課 | 保育所事業課 | | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合29 |

## 劣化状況調査の状況

基礎情報

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 2,058 | | | | | | 建替 | 建替 | 建替 |
| 036 保育所 | 2,007 | 1971 | 48 | 建替 | 建替 | 建替 | | | |
| 009 倉庫 | 8 | 1971 | 48 | 建替 | 建替 | 建替 | | | |
| 011 自転車置場・単車置場 | 32 | 1971 | 48 | 建替 | 建替 | 建替 | | | |
| 009 倉庫 | 12 | 1996 | 23 | 建替 | 建替 | 建替 | | | |

## 品質

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 48 | | | | |
| ②健全度 | – | | | | |
| ③耐震性能 | 0 | | | | |
| 基準 | 旧 | 診断 | 済 | 補強 | 未 |

## 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 1,393 | 平均 | 1,355 |
| 2017 | 1,356 | | |
| 2018 | 1,316 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 1 | | |
| ⑥稼働率 | – | | |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 10,410 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 6,852 |

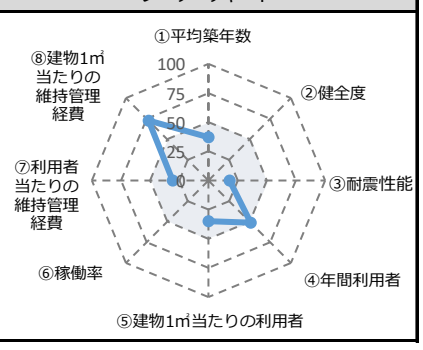
## 一次評価

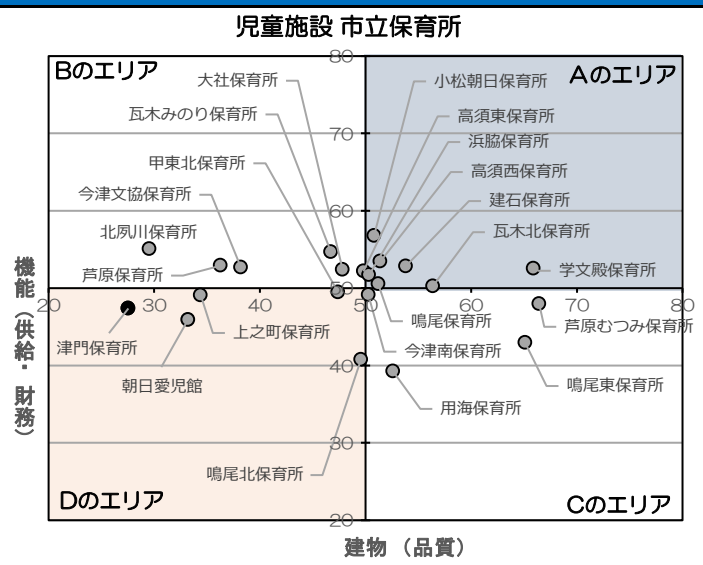
| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 27.55 | 縦軸 | 機能の評価 | 47.38 |

【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 37.2 |
| | ②健全度 | – |
| | ③耐震性能 | 17.9 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 51.2 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 35 |
| | ⑥稼働率 | – |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 30.6 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 72.7 |

レーダーチャート




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 保育所等の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 児童福祉法に基づき、設置されている。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 待機児童数が多く、変わらない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、周辺地域の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | 同様の機能を有した公共施設で代替が可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 本市において公立保育所で、指定管理の実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項なし | 特筆すべき事項はない。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | – | 待機児童が多く、現状維持となる。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | – | 築48年以上が経過しており、老朽化が著しいため、令和5年度に建て替え竣工予定。 |

| 施設番号 施設名称 | 06117 | 鳴尾保育所 | 所在地 | 笠屋町19-1 |
|---|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 児童施設 | | 施設分類（中分類） | 市立保育所 |
| 所管課 | 保育所事業課 | | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合30 |

## 劣化状況調査の状況

基礎情報

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 728 | | | | | | A | A | 無 |
| 036 保育所 | 728 | 1974 | 45 | C | A | A | | | |

## 品質

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 45 | | | | |
| ②健全度 | 82 | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | |
| 基準 | 旧 | 診断 | 済 | 補強 | 済 |

## 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 1,397 | 平均 | 1,439 |
| 2017 | 1,450 | | |
| 2018 | 1,471 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 2 | | |
| ⑥稼働率 | – | | |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 7,186 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 14,212 |

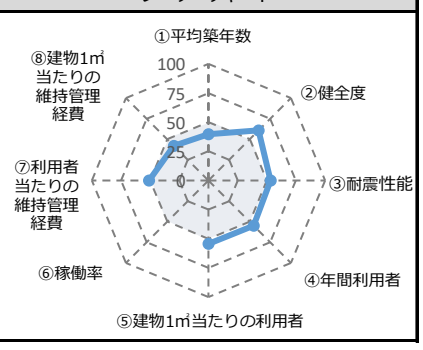
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 51.20 | 縦軸 | 機能の評価 | 50.53 |

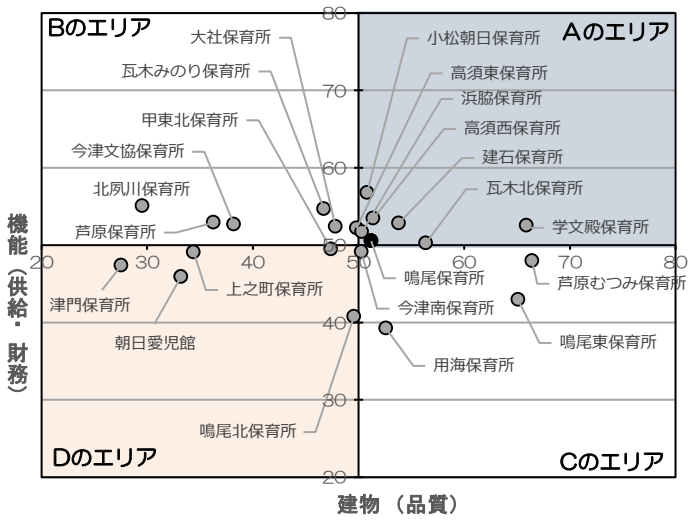
【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 39.6 |
| | ②健全度 | 60.8 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 54.7 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 54.4 |
| | ⑥稼働率 | – |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 51 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 42 |

レーダーチャート




児童施設 市立保育所




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 保育所等の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 児童福祉法に基づき、設置されている。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 待機児童数が多く、変わらない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、周辺地域の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | 同様の機能を有した公共施設で代替が可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 本市において公立保育所で、指定管理の実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項なし | 特筆すべき事項はない。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | – | 待機児童が多く、現状維持となる。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | – | 令和14年度までに築50年以上が経過し、老朽化が進むため、施設の長寿命化に向けた検討を行う。 |

| 施設番号 施設名称 | 06118 鳴尾北保育所 | 所在地 | 戸崎町1-70 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 児童施設 | 施設分類（中分類） | 市立保育所 |
| 所管課 | 保育所事業課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報

### 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 704 | | | | | | A | A | 無 |
| 020 園舎 | 702 | 1978 | 41 | B | C | C | | | |
| 073 ポンプ室 | 2 | 1978 | 41 | | | | | | |

### 品質

| | |
|---|---|
| ①平均築年数 | 41 |
| ②健全度 | 69 |
| ③耐震性能 | 100 |

| 基準 | 旧 | 診断 | 済 | 補強 | 不要 |
|---|---|---|---|---|---|

### 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 1,088 | 平均 | 1,108 |
| 2017 | 1,121 | | |
| 2018 | 1,116 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | | | 2 |
| ⑥稼働率 | | | – |

### 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 10,076 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 15,849 |

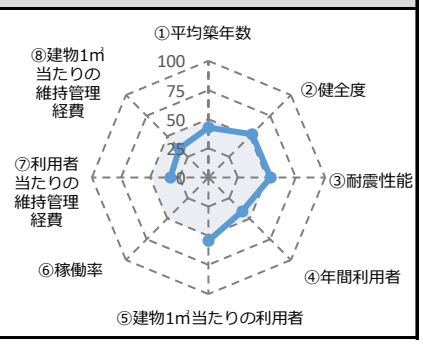
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 49.57 | 縦軸 | 機能の評価 | 40.78 |

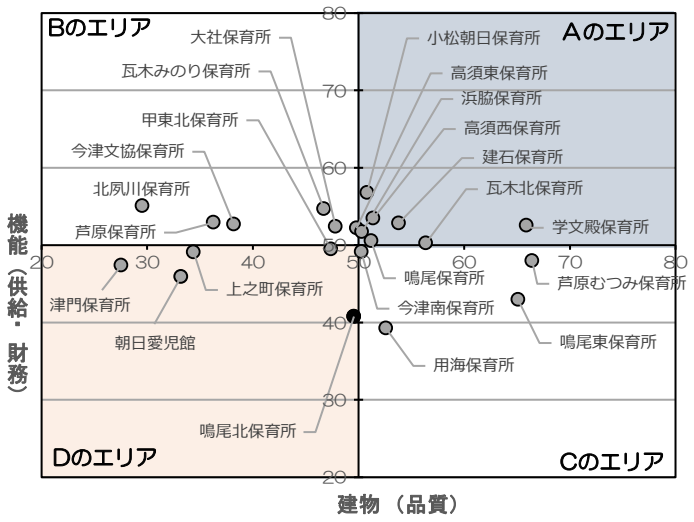
【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 42.8 |
| | ②健全度 | 52.7 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 40.9 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 54.4 |
| | ⑥稼働率 | – |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 32.7 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 35.1 |

レーダーチャート




児童施設 市立保育所




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 保育所等の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 児童福祉法に基づき、設置されている。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 待機児童数が多く、変わらない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、周辺地域の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | 同様の機能を有した公共施設で代替が可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 本市において公立保育所で、指定管理の実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項なし | 特筆すべき事項はない。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | b．見直し | エ．その他 | 待機児童数の縮減や定員を超えた受入れの低減が可能な時期に閉園予定。 |
| 建物 | ウ．解体・処分 | あ．施設を解体 | 待機児童数の縮減や定員を超えた受入れの低減が可能な時期に閉園予定。 |

| 施設番号 施設名称 | 06119 鳴尾東保育所 | 所在地 | 上田東町4-120 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 児童施設 | 施設分類（中分類） | 市立保育所 |
| 所管課 | 保育所事業課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報 — 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 761 | | | | | | A | A | A |
| 036 保育所 | 750 | 2012 | 7 | A | A | A | | | |
| 011 自転車置場・単車置場 | 11 | 2012 | 7 | | | | | | |

## 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 7 | | | | | |
| ②健全度 | 100 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| | 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

## 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 1,080 | 平均 | 1,105 |
| 2017 | 1,100 | | |
| 2018 | 1,134 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 1 | | |
| ⑥稼働率 | － | | |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 8,216 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 11,926 |

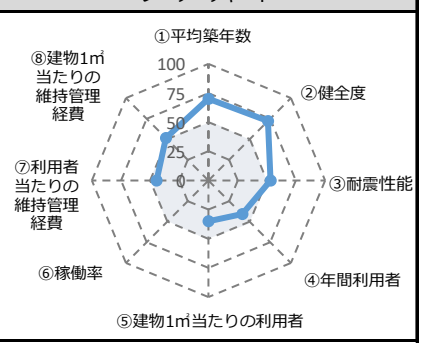
## 一次評価

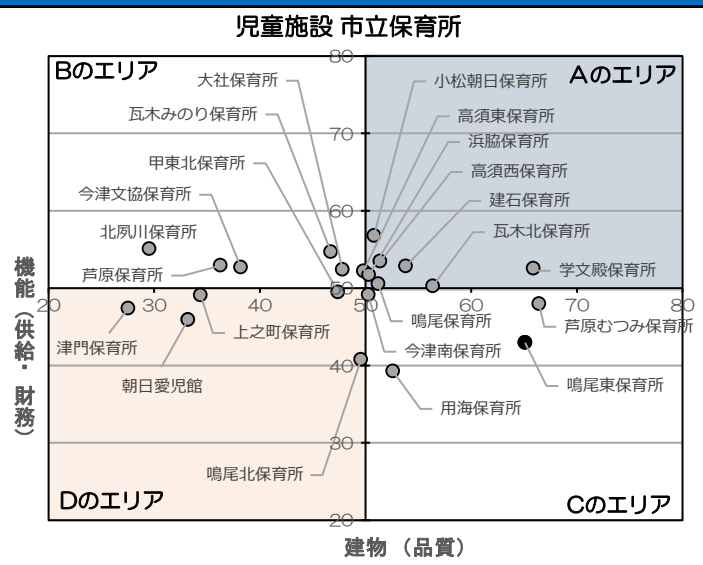
| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 65.10 | 縦軸 | 機能の評価 | 42.95 |

【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 70.1 |
| | ②健全度 | 72 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 40.8 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 35 |
| | ⑥稼働率 | － |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 44.5 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 51.5 |

レーダーチャート




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 保育所等の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 児童福祉法に基づき、設置されている。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 待機児童数が多く、変わらない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、周辺地域の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | 同様の機能を有した公共施設で代替が可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 本市において公立保育所で、指定管理の実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項なし | 特筆すべき事項はない。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 待機児童が多く、現状維持となる。 |
| 建物 | ア．現状維持 | － | 特に劣化している状況もないため、現状維持とする。 |

| 施設番号 施設名称 | 06121 浜脇保育所 | 所在地 | 浜脇町3-13 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 児童施設 | 施設分類（中分類） | 市立保育所 |
| 所管課 | 保育所事業課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合31 |

## 基礎情報 — 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 1,045 | | | | | | A | A | 無 |
| 036 保育所 | 1,045 | 1970 | 49 | B | B | B | | | |

## 品質

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 49 | | | | |
| ②健全度 | 83 | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | |
| 基準 | 旧 | 診断 | 済 | 補強 | 済 |

## 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 1,573 | 平均 | 1,544 |
| 2017 | 1,528 | | |
| 2018 | 1,532 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 1 | | |
| ⑥稼働率 | – | | |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 6,815 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 10,068 |

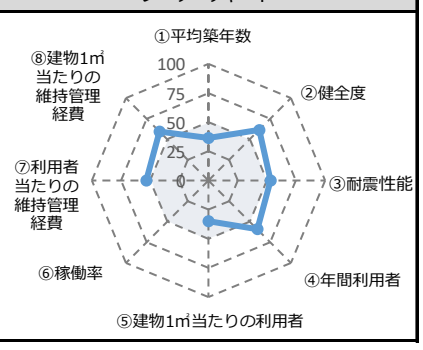
## 一次評価

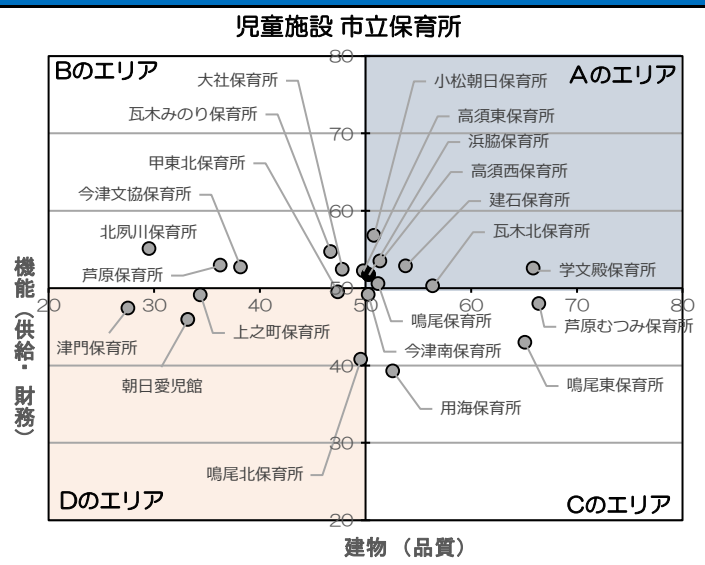
| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 50.33 | 縦軸 | 機能の評価 | 51.70 |

【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 36.4 |
| | ②健全度 | 61.4 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 59.1 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 35 |
| | ⑥稼働率 | – |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 53.4 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 59.3 |

レーダーチャート




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 保育所等の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 児童福祉法に基づき、設置されている。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 待機児童数が多く、変わらない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、周辺地域の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | 同様の機能を有した公共施設で代替が可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 本市において公立保育所で、指定管理の実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項なし | 特筆すべき事項はない。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | – | 待機児童が多く、現状維持となる。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | – | 令和14年度までに築50年以上が経過し、老朽化が進むため、施設の長寿命化に向けた検討を行う。 |

| 施設番号　施設名称 | 06123　用海保育所 | 所在地 | 石在町10-22 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 児童施設 | 施設分類（中分類） | 市立保育所 |
| 所管課 | 保育所事業課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合07 |

## 劣化状況調査の状況

基礎情報

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 645 | | | | | | A | A | 無 |
| 036 保育所 | 645 | 1987 | 32 | B | C | B | | | |

| 品質 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 32 | | | | | |
| ②健全度 | 72 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| | 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

| 供給（3箇年平均） | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | 972 | 平均 | 935 |
| 2017 | 911 | | |
| 2018 | 923 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 1 | | |
| ⑥稼働率 | － | | |

| 財務（3箇年平均） | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 8,839 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 12,808 |

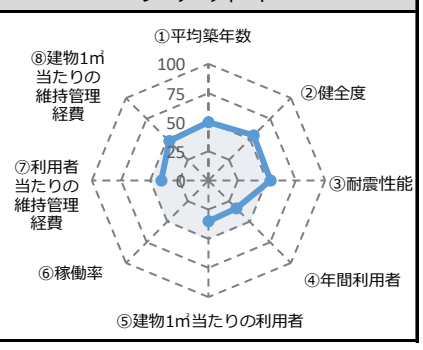
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 52.60 | 縦軸 | 機能の評価 | 39.25 |

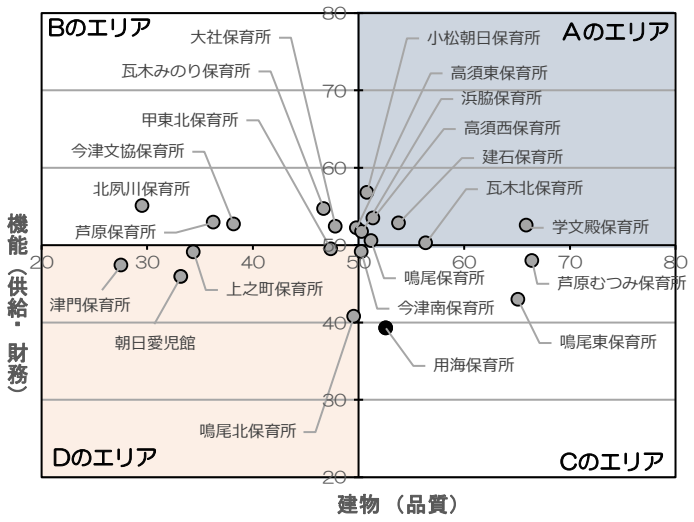
【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 50 |
| | ②健全度 | 54.6 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 33.7 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 35 |
| | ⑥稼働率 | － |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 40.5 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 47.8 |

レーダーチャート




児童施設 市立保育所




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| 評価項目 | | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 保育所等の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 児童福祉法に基づき、設置されている。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 待機児童数が多く、変わらない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、周辺地域の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | 同様の機能を有した公共施設で代替が可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 本市において公立保育所で、指定管理の実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項なし | 特筆すべき事項はない。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 待機児童が多く、現状維持となる。 |
| 建物 | ア．現状維持 | － | 特に劣化している状況もないため、現状維持とする。 |

| 施設番号 施設名称 | 06124 芦原むつみ保育所 | 所在地 | 芦原町7-7 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 児童施設 | 施設分類（中分類） | 市立保育所 |
| 所管課 | 保育所事業課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合39 |

## 基礎情報 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 2,623 | | | | | | A | A | A |
| 020 園舎 | 2,447 | 2017 | 2 | A | A | A | | | |
| 011 自転車置場・単車置場 | 126 | 2017 | 2 | A | A | A | | | |
| 009 倉庫 | 13 | 2017 | 2 | A | A | A | | | |
| 009 倉庫 | 36 | 2017 | 2 | A | A | A | | | |

| 品質 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 2 | | | | | |
| ②健全度 | 100 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| | 基準 | 新 | 診断 | – | 補強 | – |

| 供給（3箇年平均） | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | – | 平均 | 1,763 |
| 2017 | – | | |
| 2018 | 1,763 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 1 | | |
| ⑥稼働率 | – | | |

| 財務（3箇年平均） | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 11,928 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 8,018 |

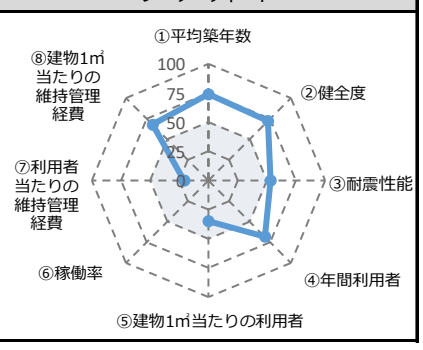
## 一次評価

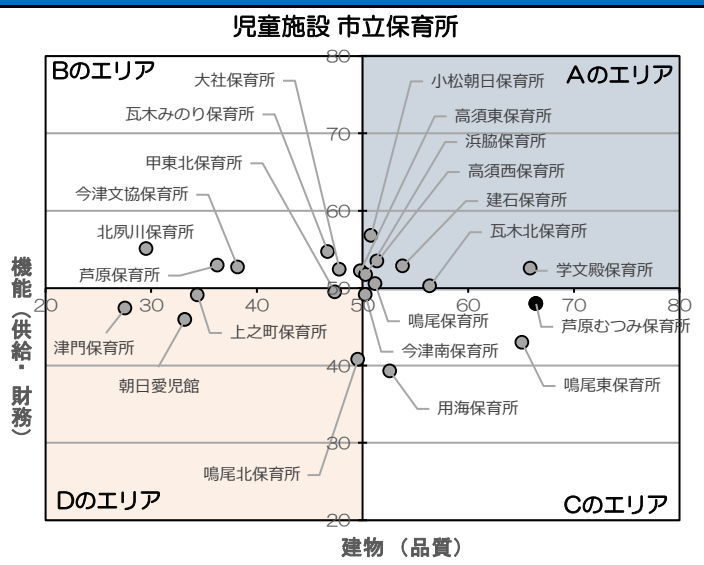
| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 66.43 | 縦軸 | 機能の評価 | 47.98 |

【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 74.1 |
| | ②健全度 | 72 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 68.2 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 35 |
| | ⑥稼働率 | – |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 20.9 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 67.8 |

レーダーチャート




| 備考 | 新築のため劣化状況はA評価 |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 保育所等の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 児童福祉法に基づき、設置されている。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 待機児童数が多く、変わらない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、周辺地域の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | 同様の機能を有した公共施設で代替が可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 本市において公立保育所で、指定管理の実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項なし | 特筆すべき事項はない。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | – | 待機児童が多く、現状維持となる。 |
| 建物 | ア．現状維持 | – | 特に劣化している状況もないため、現状維持とする。 |

| 施設番号 | 施設名称 | 06201 | 東山ぽぽ保育園 | 所在地 | 東山台１丁目106-2 |
|---|---|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | | 児童施設 | | 施設分類（中分類） | 民間保育所･地域型保育施設 |
| 所管課 | | 保育幼稚園支援課 | | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合40 |

## 基礎情報

### 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 548 | | | | | | 無 | C | A |
| 036 保育所 | 548 | 1991 | 28 | B | A | B | | | |

### 品質

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 28 | | | | |
| ②健全度 | 81 | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | |
| 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

### 供給（3箇年平均）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | 543 | 平均 | 579 |
| 2017 | 600 | | |
| 2018 | 595 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 1 | | |
| ⑥稼働率 | － | | |

### 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | － |

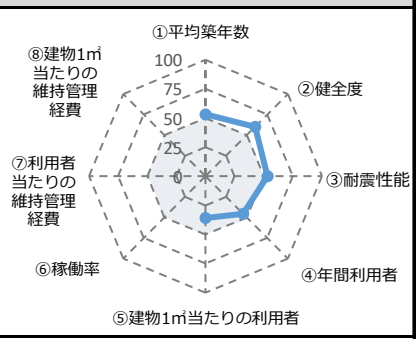
## 一次評価

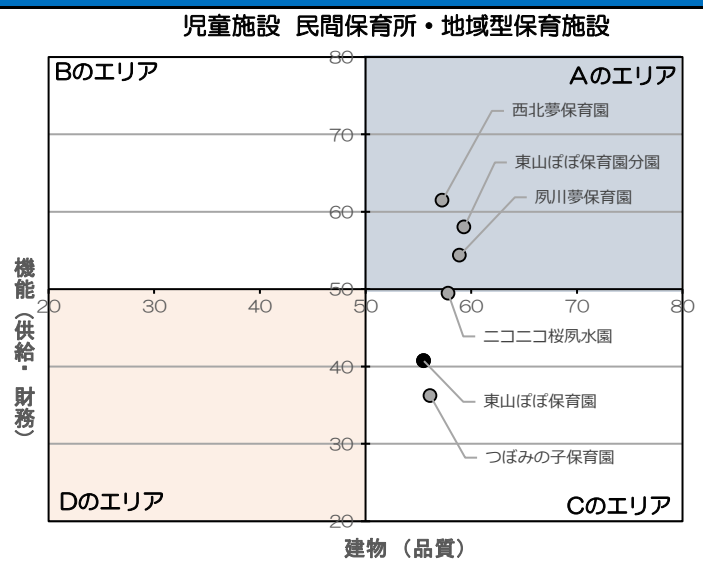
| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給･財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 55.53 | 縦軸 | 機能の評価 | 40.70 |

【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 53.2 |
| | ②健全度 | 60.2 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 45.5 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 35.9 |
| | ⑥稼働率 | － |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | － |

レーダーチャート




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 保育所等の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 児童福祉法の規定に基づき、設置されている。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 待機児童数が多く、変わらない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 保育所等の性質上、近隣の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | すでに民間施設で運営しているため。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 社会福祉法人で運営している。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項なし | 特筆すべき事項はない。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 待機児童が多く、現状維持とする。 |
| 建物 | ア．現状維持 | － | 特に劣化している状況もみられないため、現状維持とする。 |

| 施設番号 | 施設名称 | 06202 | 東山ぽぽ保育園分園 | 所在地 | 東山台１丁目11-1 |
|---|---|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | | 児童施設 | | 施設分類（中分類） | 民間保育所･地域型保育施設 |
| 所管課 | | 保育幼稚園支援課 | | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 675 | | | | | | 無 | A | B |
| 036 保育所 | 675 | 2009 | 10 | C | A | B | | | |

## 品質

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 10 | | | | |
| ②健全度 | 76 | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | |
| 基準 | 新 | 診断 | – | 補強 | – |

## 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 1,043 | 平均 | 1,083 |
| 2017 | 1,109 | | |
| 2018 | 1,098 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 2 | | |
| ⑥稼働率 | – | | |

## 財務（3箇年平均）

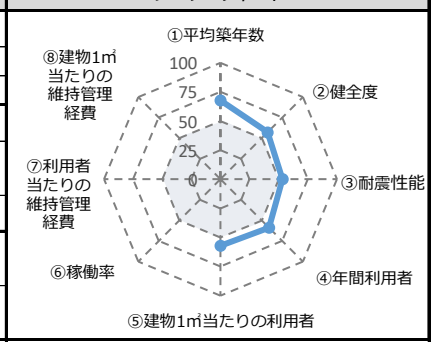
| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | – |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | – |

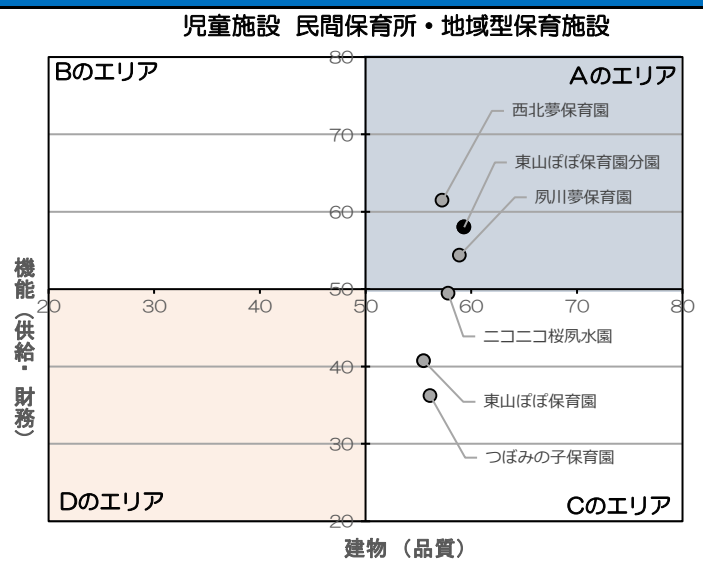
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給･財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 59.33 | 縦軸 | 機能の評価 | 58.00 |

【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 67.7 |
| | ②健全度 | 57.1 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 58.9 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 57.1 |
| | ⑥稼働率 | – |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | – |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | – |




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 保育所等の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 児童福祉法の規定に基づき、設置されている。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 待機児童数が多く、変わらない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 保育所等の性質上、近隣の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | すでに民間施設で運営しているため。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 社会福祉法人で運営している。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項なし | 特筆すべき事項はない。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | – | 待機児童が多く、現状維持とする。 |
| 建物 | ア．現状維持 | – | 特に劣化している状況もみられないため、現状維持とする。 |

| 施設番号 | 施設名称 | 所在地 | |
|---|---|---|---|
| 06203 | 夙川夢保育園 | 北名次町15-27 | |
| 施設分類（大分類） | 児童施設 | 施設分類（中分類） | 民間保育所・地域型保育施設 |
| 所管課 | 保育幼稚園支援課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 494 | | | | | | 無 | B | 無 |
| 036 保育所 | 494 | 2009 | 10 | A | C | A | | | |

## 品質

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 10 | | | | |
| ②健全度 | 74 | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | |
| 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

## 供給（3箇年平均）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | 759 | 平均 | 811 |
| 2017 | 846 | | |
| 2018 | 828 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 2 | | |
| ⑥稼働率 | － | | |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | － |

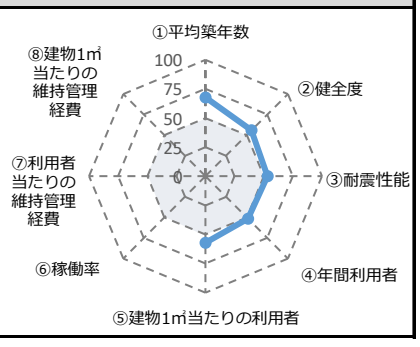
## 一次評価

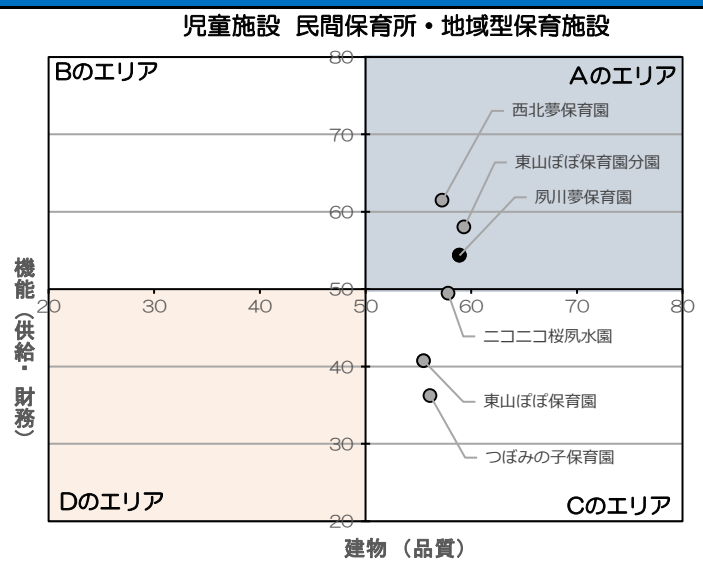
| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 58.90 | 縦軸 | 機能の評価 | 54.35 |

【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 67.7 |
| | ②健全度 | 55.8 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 51.6 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 57.1 |
| | ⑥稼働率 | － |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | － |

レーダーチャート




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 保育所等の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 児童福祉法の規定に基づき、設置されている。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 待機児童数が多く、変わらない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 保育所等の性質上、近隣の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | すでに民間施設で運営しているため。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 社会福祉法人で運営している。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項なし | 特筆すべき事項はない。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 待機児童が多く、現状維持とする。 |
| 建物 | ア．現状維持 | － | 特に劣化している状況もみられないため、現状維持とする。 |

| 施設番号 | 施設名称 | 06207 | つぼみの子保育園 | 所在地 | 林田町8-42 |
|---|---|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | | 児童施設 | | 施設分類（中分類） | 民間保育所・地域型保育施設 |
| 所管課 | | 保育幼稚園支援課 | | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報

### 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 314 | | | | | | 無 | A | 無 |
| 036 保育所 | 314 | 1994 | 25 | B | B | B | | | |

### 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | | | | | | 25 |
| ②健全度 | | | | | | 80 |
| ③耐震性能 | | | | | | 100 |
| | 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

### 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 247 | 平均 | 241 |
| 2017 | 242 | | |
| 2018 | 235 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | | | 1 |
| ⑥稼働率 | | | － |

### 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | － |

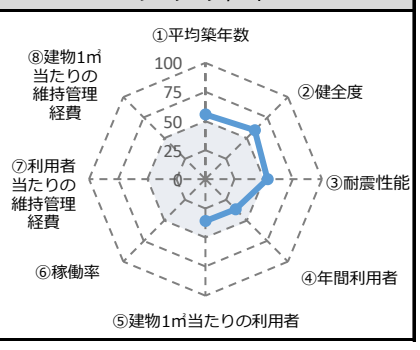
## 一次評価

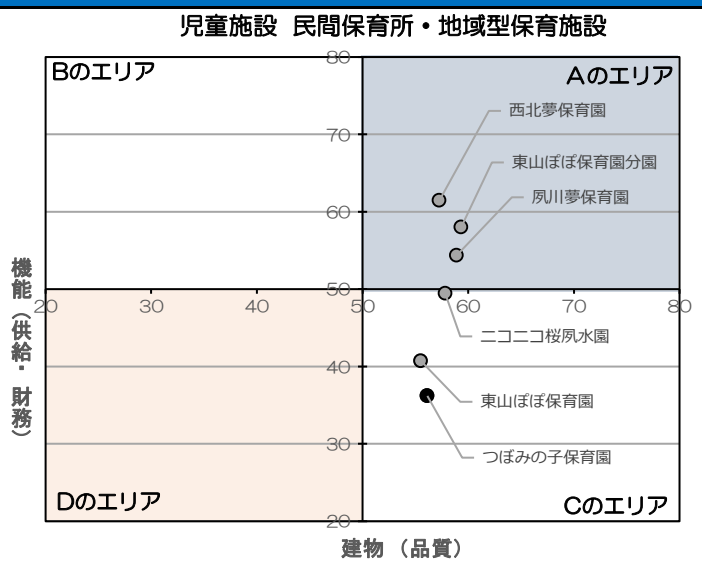
| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 56.13 | 縦軸 | 機能の評価 | 36.20 |

【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 55.6 |
| | ②健全度 | 59.6 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 36.5 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 35.9 |
| | ⑥稼働率 | － |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | － |

レーダーチャート




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 保育所等の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 児童福祉法の規定に基づき、設置されている。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 待機児童数が多く、変わらない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 保育所等の性質上、近隣の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | すでに民間施設で運営しているため。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 社会福祉法人で運営している。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項なし | 特筆すべき事項はない。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 待機児童が多く、現状維持とする。 |
| 建物 | ア．現状維持 | － | 特に劣化している状況もみられないため、現状維持とする。 |

| 施設番号 施設名称 | 06208 西北夢保育園 | 所在地 | 長田町4-8 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 児童施設 | 施設分類（中分類） | 民間保育所・地域型保育施設 |
| 所管課 | 保育幼稚園支援課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 716 | | | | | | 無 | B | 無 |
| 020 園舎 | 373 | 2006 | 13 | C | C | B | | | |
| 020 園舎 | 343 | 2012 | 7 | A | B | B | | | |

## 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | | | | | | 10 |
| ②健全度 | | | | | | 66 |
| ③耐震性能 | | | | | | 100 |
| | 基準 | 新 | 診断 | – | 補強 | – |

## 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 1,284 | 平均 | 1,344 |
| 2017 | 1,396 | | |
| 2018 | 1,353 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | | | 2 |
| ⑥稼働率 | | | – |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 12,896 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 24,213 |

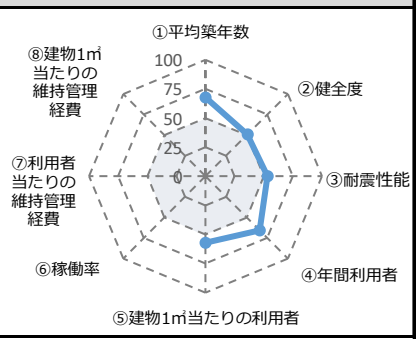
## 一次評価

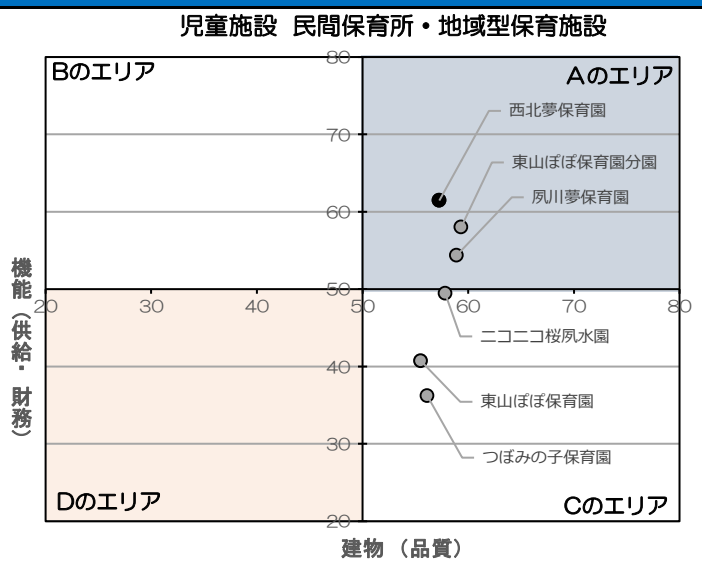
| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 57.27 | 縦軸 | 機能の評価 | 61.45 |

【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 67.7 |
| | ②健全度 | 50.9 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 65.8 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 57.1 |
| | ⑥稼働率 | – |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | – |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | – |

レーダーチャート




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 保育所等の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 児童福祉法の規定に基づき、設置されている。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 待機児童数が多く、変わらない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 保育所等の性質上、近隣の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | すでに民間施設で運営しているため。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 社会福祉法人で運営している。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項なし | 特筆すべき事項はない。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | – | 待機児童が多く、現状維持とする。 |
| 建物 | ア．現状維持 | – | 特に劣化している状況もみられないため、現状維持とする。 |

| 施設番号 | 施設名称 | 06209 | ニコニコ桜夙水園 | 所在地 | 結善町1-28 |
|---|---|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | | 児童施設 | | 施設分類（中分類） | 民間保育所・地域型保育施設 |
| 所管課 | | 保育幼稚園支援課 | | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報 — 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 192 | | | | | | 無 | C | 無 |
| 089 その他 | 192 | 1995 | 24 | A | A | B | | | |

## 品質

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 24 | | | | |
| ②健全度 | 87 | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | |
| 基準 | 新 | 診断 | – | 補強 | – |

## 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 405 | 平均 | 435 |
| 2017 | 492 | | |
| 2018 | 409 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 2 | | |
| ⑥稼働率 | – | | |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | – |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | – |

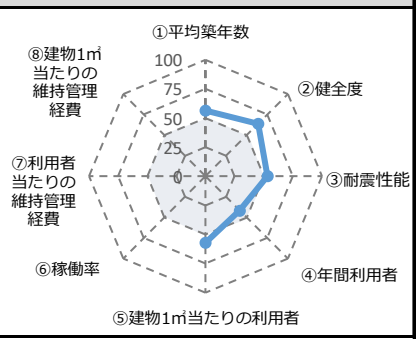
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 57.83 | 縦軸 | 機能の評価 | 49.40 |

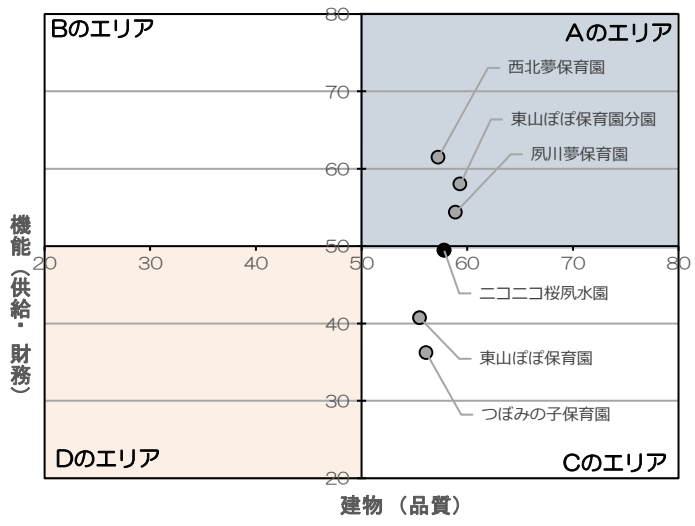
【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 56.4 |
| | ②健全度 | 63.9 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 41.7 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 57.1 |
| | ⑥稼働率 | – |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | – |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | – |

レーダーチャート




児童施設　民間保育所・地域型保育施設




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 保育所等の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 児童福祉法の規定に基づき、設置されている。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 待機児童数が多く、変わらない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 保育所等の性質上、近隣の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | すでに民間施設で運営しているため。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 社会福祉法人で運営している。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項なし | 特筆すべき事項はない。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | – | 待機児童が多く、現状維持とする。 |
| 建物 | ア．現状維持 | – | 特に劣化している状況もみられないため、現状維持とする。 |

| 施設番号　施設名称 | 06301　むつみ児童館 | 所在地 | 芦原町7-7 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 児童施設 | 施設分類（中分類） | 児童館・児童センター |
| 所管課 | 子育て総合センター | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合39 |

## 劣化状況調査の状況

基礎情報

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 0 | | | | | | A | A | A |
| むつみ児童館 | 0 | 2017 | 2 | A | A | A | | | |

## 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 2 | | | | | |
| ②健全度 | 100 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| | 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

## 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 31,173 | 平均 | 41,804 |
| 2017 | 31,763 | | |
| 2018 | 62,476 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － | | |
| ⑥稼働率 | － | | |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 4 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | － |

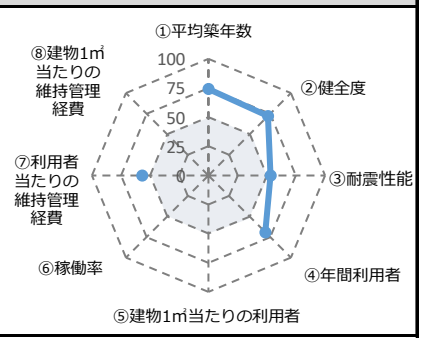
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 66.43 | 縦軸 | 機能の評価 | 62.95 |

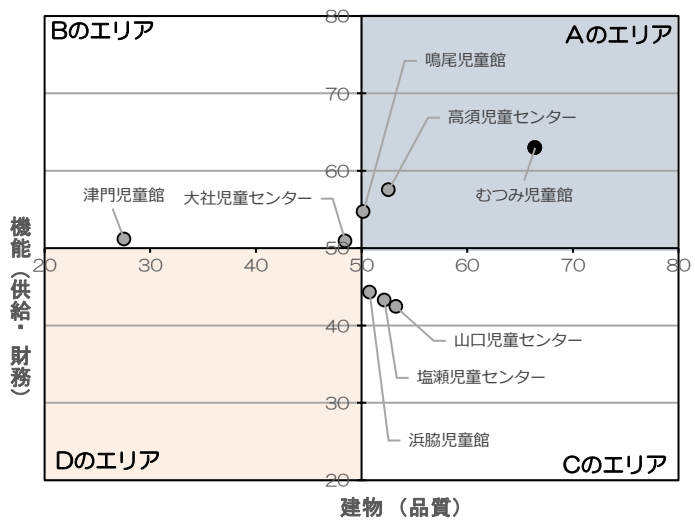
【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 74.1 |
| | ②健全度 | 72 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 68.9 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － |
| | ⑥稼働率 | － |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 57 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | － |

レーダーチャート




児童施設　児童館・児童センター




| 備考 | 延床面積は06124芦原むつみ保育所に含まれている<br>新築のため劣化状況はA評価 |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 児童館の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 法律によって義務付けられている施設ではないが、児童福祉法第40条に児童厚生施設の設置目的が記載されており、児童福祉条例に基づき設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 減少する見込み | 本市の児童数は減少傾向にあることを考慮すると、利用者数は減少することが見込まれる。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、近隣の児童や親子の利用が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | 放課後キッズ事業、民間による地域子育て支援拠点事業など、児童館機能の一部を代替している事例がある。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 塩瀬と山口児童センターは指定管理者（西宮市社会福祉事業団）が運営している。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 西宮市子ども・子育て支援プランにおいて、重点施策のひとつである「子育ての不安・負担の軽減」で、必要な取り組みのなかに位置付けられている |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 多くの人が利用しており、維持管理経費についても他の施設と比べると安いことから、現状維持とする。 |
| 建物 | ア．現状維持 | － | 特に劣化している状況も見られないため、現状維持とする。 |

| 施設番号 施設名称 | 06302 浜脇児童館 | 所在地 | 浜脇町3-13 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 児童施設 | 施設分類（中分類） | 児童館・児童センター |
| 所管課 | 子育て総合センター | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合31 |

## 劣化状況調査の状況

基礎情報

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 0 | | | | | | A | A | 無 |
| 浜脇児童館 | 0 | 1970 | 49 | B | B | A | | | |

## 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | | | | | 49 | |
| ②健全度 | | | | | 85 | |
| ③耐震性能 | | | | | 100 | |
| | 基準 | 旧 | 診断 | 済 | 補強 | 済 |

## 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 22,862 | 平均 | 16,132 |
| 2017 | 10,420 | | |
| 2018 | 15,113 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | | | – |
| ⑥稼働率 | | | – |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 4 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | – |

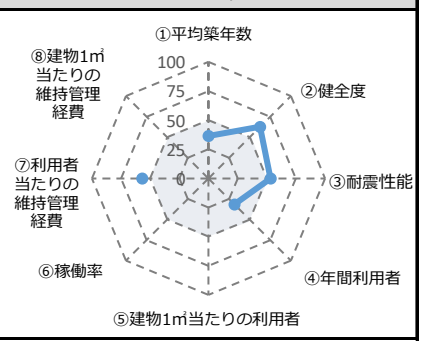
## 一次評価

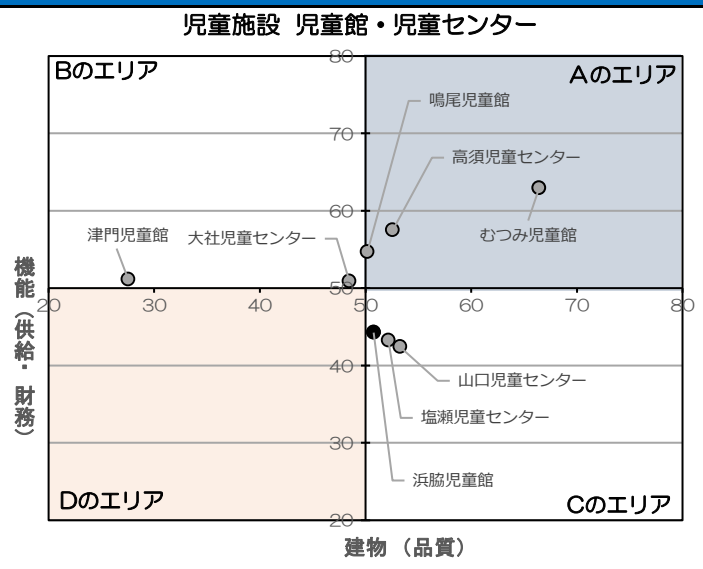
| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 50.77 | 縦軸 | 機能の評価 | 44.25 |

【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 36.4 |
| | ②健全度 | 62.7 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 31.5 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | – |
| | ⑥稼働率 | – |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 57 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | – |

レーダーチャート




| 備考 | 延床面積は06121浜脇保育所に含まれている |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 児童館の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 法律によって義務付けられている施設ではないが、児童福祉法第40条に児童厚生施設の設置目的が記載されており、児童福祉条例に基づき設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 減少する見込み | 本市の児童数は減少傾向にあることを考慮すると、利用者数は減少することが見込まれる。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、近隣の児童や親子の利用が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | 放課後キッズ事業、民間による地域子育て支援拠点事業など、児童館機能の一部を代替している事例がある。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 塩瀬と山口児童センターは指定管理者（西宮市社会福祉事業団）が運営している。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 西宮市子ども・子育て支援プランにおいて、重点施策のひとつである「子育ての不安・負担の軽減」で、必要な取り組みのなかに位置付けられている |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | b．見直し | エ．その他 | 同種の他施設と比べると利用者数は少ない傾向にあるが、子育て支援に必要な施設であるため、利用者数増に向けた検討を行う。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | – | 令和14年度までに築50年以上が経過し、老朽化が進むため、施設の長寿命化に向けた検討を行う。 |

| 施設番号 | 施設名称 | 06303 | 津門児童館 | 所在地 | 津門稲荷町5-23 |
|---|---|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | | 児童施設 | | 施設分類（中分類） | 児童館・児童センター |
| 所管課 | | 子育て総合センター | | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合29 |

## 劣化状況調査の状況

基礎情報

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 0 | | | | | | 建替 | 建替 | 建替 |
| 津門児童館 | 0 | 1971 | 48 | 建替 | 建替 | 建替 | | | |

| 品質 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 48 | | | | | |
| ②健全度 | – | | | | | |
| ③耐震性能 | 0 | | | | | |
| | 基準 | 旧 | 診断 | 済 | 補強 | 未 |

| 供給（3箇年平均） | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | 28,845 | 平均 | 25,864 |
| 2017 | 26,239 | | |
| 2018 | 22,508 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | – | | |
| ⑥稼働率 | – | | |

| 財務（3箇年平均） | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 8 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | – |

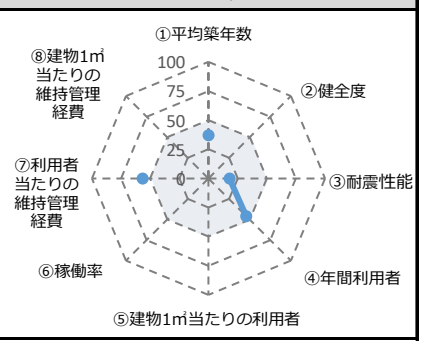
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 27.55 | 縦軸 | 機能の評価 | 51.10 |

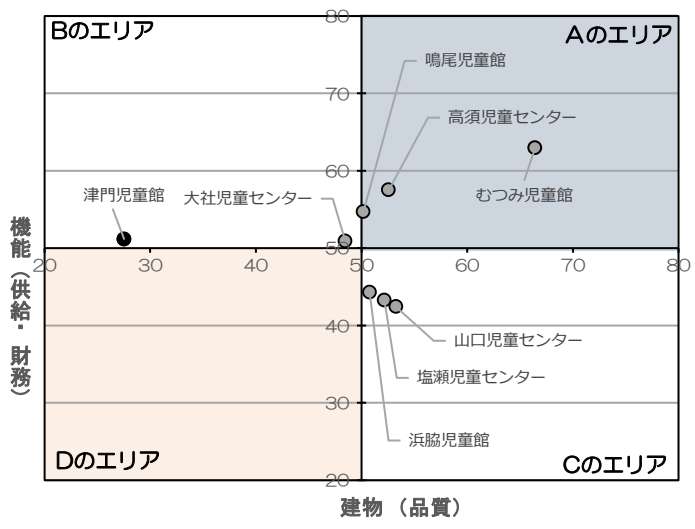
【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 37.2 |
| | ②健全度 | – |
| | ③耐震性能 | 17.9 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 45.7 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | – |
| | ⑥稼働率 | – |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 56.5 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | – |

レーダーチャート




児童施設 児童館・児童センター




| 備考 | 延床面積は06116津門保育所に含まれている |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 児童館の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 法律によって義務付けられている施設ではないが、児童福祉法第40条に児童厚生施設の設置目的が記載されており、児童福祉条例に基づき設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 減少する見込み | 本市の児童数は減少傾向にあることを考慮すると、利用者数は減少することが見込まれる。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、近隣の児童や親子の利用が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | 放課後キッズ事業、民間による地域子育て支援拠点事業など、児童館機能の一部を代替している事例がある。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 塩瀬と山口児童センターは指定管理者（西宮市社会福祉事業団）が運営している。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 西宮市子ども・子育て支援プランにおいて、重点施策のひとつである「子育ての不安・負担の軽減」で、必要な取り組みのなかに位置付けられている |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | b．見直し | エ．その他 | 同種の他施設と比べると利用者数はやや少ない傾向にあるが、子育て支援に必要な施設であるため、利用者数増に向けた検討を行う。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | – | 築48年以上が経過しており、老朽化が著しいため、令和５年度に建て替え竣工予定。 |

| 施設番号 | 施設名称 | 06304 | 鳴尾児童館 | 所在地 | 笠屋町19-1 |
|---|---|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | | 児童施設 | | 施設分類（中分類） | 児童館・児童センター |
| 所管課 | | 子育て総合センター | | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合30 |

## 劣化状況調査の状況

基礎情報

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 0 | | | | | | A | A | 無 |
| 鳴尾児童館 | 0 | 1974 | 45 | C | A | C | | | |

## 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | | | | | 45 | |
| ②健全度 | | | | | 77 | |
| ③耐震性能 | | | | | 100 | |
| | 基準 | 旧 | 診断 | 済 | 補強 | 済 |

## 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 35,140 | 平均 | 30,854 |
| 2017 | 32,488 | | |
| 2018 | 24,933 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | | | – |
| ⑥稼働率 | | | – |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 10 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | – |

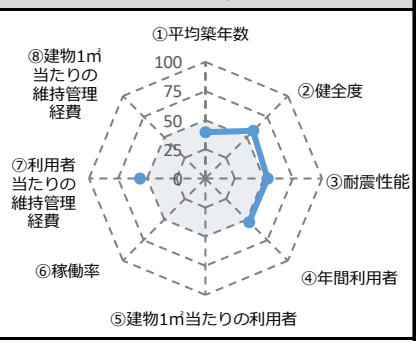
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 50.17 | 縦軸 | 機能の評価 | 54.65 |

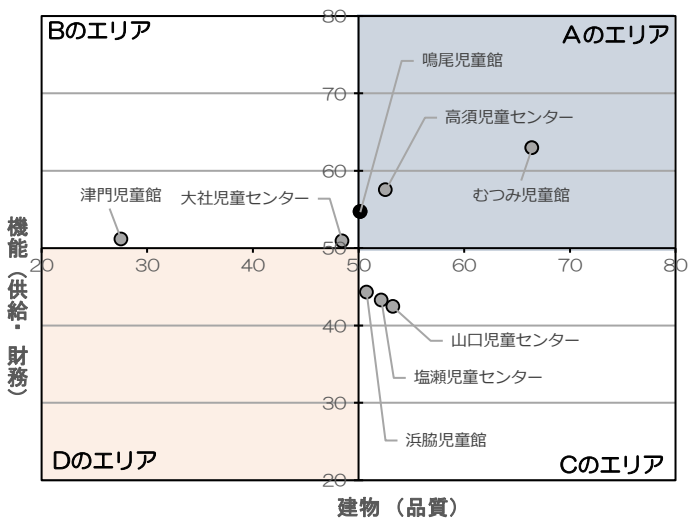
【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 39.6 |
| | ②健全度 | 57.7 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 53 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | – |
| | ⑥稼働率 | – |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 56.3 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | – |

レーダーチャート




児童施設 児童館・児童センター




| 備考 | 延床面積は11208共同利用施設鳴尾センターに含まれている |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 児童館の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 法律によって義務付けられている施設ではないが、児童福祉法第40条に児童厚生施設の設置目的が記載されており、児童福祉条例に基づき設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 減少する見込み | 本市の児童数は減少傾向にあることを考慮すると、利用者数は減少することが見込まれる。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、近隣の児童や親子の利用が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | 放課後キッズ事業、民間による地域子育て支援拠点事業など、児童館機能の一部を代替している事例がある。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 塩瀬と山口児童センターは指定管理者（西宮市社会福祉事業団）が運営している。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 西宮市子ども・子育て支援プランにおいて、重点施策のひとつである「子育ての不安・負担の軽減」で、必要な取り組みのなかに位置付けられている |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | – | 多くの人が利用しており、維持管理経費についても他の施設と比べると安いことから、現状維持とする。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | – | 令和14年度までに築50年以上が経過し、老朽化が進むため、施設の長寿命化に向けた検討を行う。 |

| 施設番号 施設名称 | 06305 大社児童センター | 所在地 | 神垣町7-32 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 児童施設 | 施設分類（中分類） | 児童館・児童センター |
| 所管課 | 子育て総合センター | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合27 |

## 劣化状況調査の状況

基礎情報

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 0 | | | | | | A | A | 無 |
| 大社児童センター | 0 | 1980 | 39 | C | C | B | | | |

## 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 39 | | | | | |
| ②健全度 | 61 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| | 基準 | 旧 | 診断 | 済 | 補強 | 不要 |

## 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 29,514 | 平均 | 25,493 |
| 2017 | 24,150 | | |
| 2018 | 22,816 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | – | | |
| ⑥稼働率 | – | | |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 7 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | – |

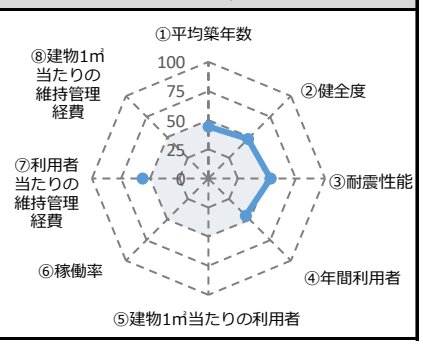
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 48.47 | 縦軸 | 機能の評価 | 50.90 |

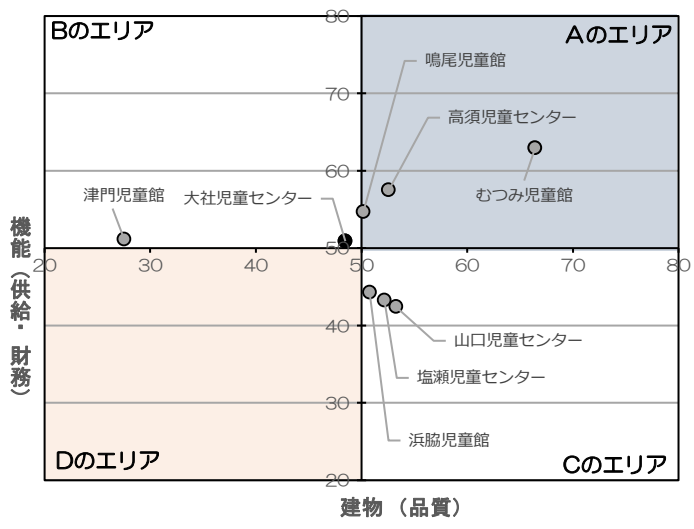
【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 44.4 |
| | ②健全度 | 47.8 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 45.2 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | – |
| | ⑥稼働率 | – |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 56.6 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | – |

レーダーチャート




児童施設 児童館・児童センター




| 備考 | 延床面積は06112大社保育所に含まれている |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 児童館の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 法律によって義務付けられている施設ではないが、児童福祉法第40条に児童厚生施設の設置目的が記載されており、児童福祉条例に基づき設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 減少する見込み | 本市の児童数は減少傾向にあることを考慮すると、利用者数は減少することが見込まれる。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、近隣の児童や親子の利用が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | 放課後キッズ事業、民間による地域子育て支援拠点事業など、児童館機能の一部を代替している事例がある。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 塩瀬と山口児童センターは指定管理者（西宮市社会福祉事業団）が運営している。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 西宮市子ども・子育て支援プランにおいて、重点施策のひとつである「子育ての不安・負担の軽減」で、必要な取り組みのなかに位置付けられている |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | b．見直し | エ．その他 | 同種の他施設と比べると利用者数はやや少ない傾向にあるが、子育て支援に必要な施設であるため、利用者数増に向けた検討を行う。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | – | 令和14年度までに築50年以上が経過し、老朽化が進むため、施設の長寿命化に向けた検討を行う。 |

| 施設番号 施設名称 | 06306 高須児童センター | 所在地 | 高須町２丁目1-35 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 児童施設 | 施設分類（中分類） | 児童館・児童センター |
| 所管課 | 子育て総合センター | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合11 |

## 劣化状況調査の状況

基礎情報

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 447 | | | | | | C | B | 無 |
| 016 児童館 | 447 | 1983 | 36 | B | A | B | | | |

## 品質

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 36 | | | | |
| ②健全度 | 77 | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | |
| 基準 | 新 | 診断 | – | 補強 | – |

## 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 32,808 | 平均 | 30,837 |
| 2017 | 31,119 | | |
| 2018 | 28,584 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 69 | | |
| ⑥稼働率 | – | | |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 65 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 4,493 |

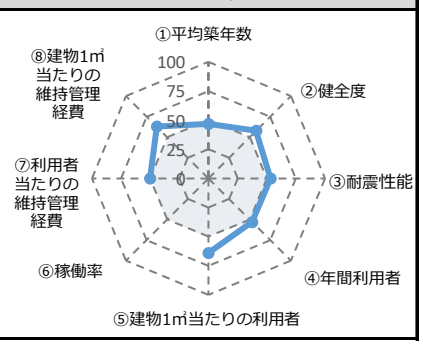
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 52.57 | 縦軸 | 機能の評価 | 57.48 |

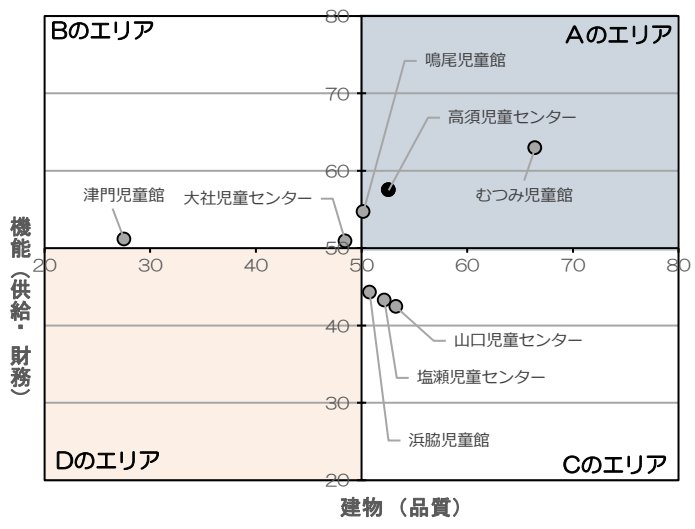
【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 46.8 |
| | ②健全度 | 57.7 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 52.9 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 64 |
| | ⑥稼働率 | – |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 50.2 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 62.8 |

レーダーチャート




児童施設 児童館・児童センター




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 児童館の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 法律によって義務付けられている施設ではないが、児童福祉法第40条に児童厚生施設の設置目的が記載されており、児童福祉条例に基づき設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 減少する見込み | 本市の児童数は減少傾向にあることを考慮すると、利用者数は減少することが見込まれる。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、近隣の児童や親子の利用が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | 放課後キッズ事業、民間による地域子育て支援拠点事業など、児童館機能の一部を代替している事例がある。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 塩瀬と山口児童センターは指定管理者（西宮市社会福祉事業団）が運営している。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 西宮市子ども・子育て支援プランにおいて、重点施策のひとつである「子育ての不安・負担の軽減」で、必要な取り組みのなかに位置付けられている |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | – | 多くの人が利用しており、維持管理経費についても他の施設と比べると安いことから、現状維持とする。 |
| 建物 | ア．現状維持 | – | 大規模な改修工事は必要ないが、築36年以上が経過しており、外壁や設備の部分的な修繕が必要である。 |

| 施設番号 施設名称 | 06307 塩瀬児童センター | 所在地 | 名塩新町1 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 児童施設 | 施設分類（中分類） | 児童館・児童センター |
| 所管課 | 子育て総合センター | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合05 |

## 基礎情報 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 648 | | | | | | A | A | A |
| 016 児童館 | 648 | 1990 | 29 | C | C | B | | | |

## 品質

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 29 | | | | |
| ②健全度 | 66 | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | |
| 基準 | 新 | 診断 | – | 補強 | – |

## 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 33,263 | 平均 | 26,729 |
| 2017 | 23,570 | | |
| 2018 | 23,353 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 41 | | |
| ⑥稼働率 | – | | |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 195 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 8,041 |

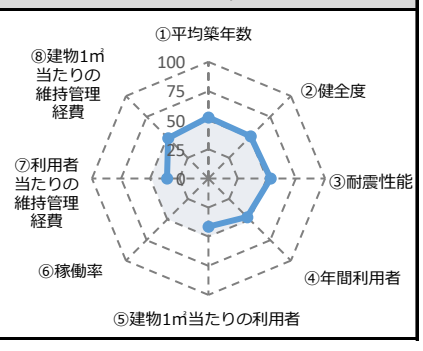
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 52.17 | 縦軸 | 機能の評価 | 43.23 |

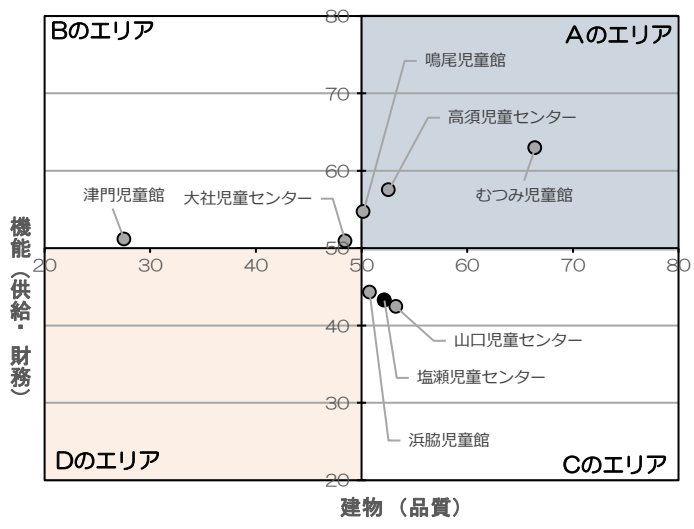
【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 52.4 |
| | ②健全度 | 50.9 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 47 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 41.4 |
| | ⑥稼働率 | – |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 35.6 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 48.9 |

レーダーチャート




児童施設 児童館・児童センター




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 児童館の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 法律によって義務付けられている施設ではないが、児童福祉法第40条に児童厚生施設の設置目的が記載されており、児童福祉条例に基づき設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 減少する見込み | 本市の児童数は減少傾向にあることを考慮すると、利用者数は減少することが見込まれる。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、近隣の児童や親子の利用が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | 放課後キッズ事業、民間による地域子育て支援拠点事業など、児童館機能の一部を代替している事例がある。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 塩瀬と山口児童センターは指定管理者（西宮市社会福祉事業団）が運営している。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 西宮市子ども・子育て支援プランにおいて、重点施策のひとつである「子育ての不安・負担の軽減」で、必要な取り組みのなかに位置付けられている |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | b．見直し | エ．その他 | 同種の他施設と比べると一人当たりの維持管理経費が高い傾向にあるため、維持管理経費の削減に取組む。 |
| 建物 | ア．現状維持 | – | 大規模な改修工事は必要ないが、築29年以上が経過しており、外壁や設備の部分的な修繕が必要である。 |

| 施設番号 施設名称 | 06308 山口児童センター | 所在地 | 山口町下山口４丁目1-8 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 児童施設 | 施設分類（中分類） | 児童館・児童センター |
| 所管課 | 子育て総合センター | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合01 |

## 劣化状況調査の状況

基礎情報

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 729 | | | | | | B | B | B |
| 016 児童館 | 729 | 2008 | 11 | D | C | B | | | |

## 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 11 | | | | | |
| ②健全度 | 48 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| | 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

## 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 23,297 | 平均 | 32,852 |
| 2017 | 39,519 | | |
| 2018 | 35,739 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 45 | | |
| ⑥稼働率 | － | | |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 238 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 10,751 |

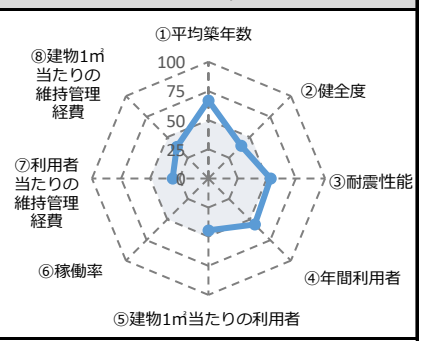
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 53.27 | 縦軸 | 機能の評価 | 42.40 |

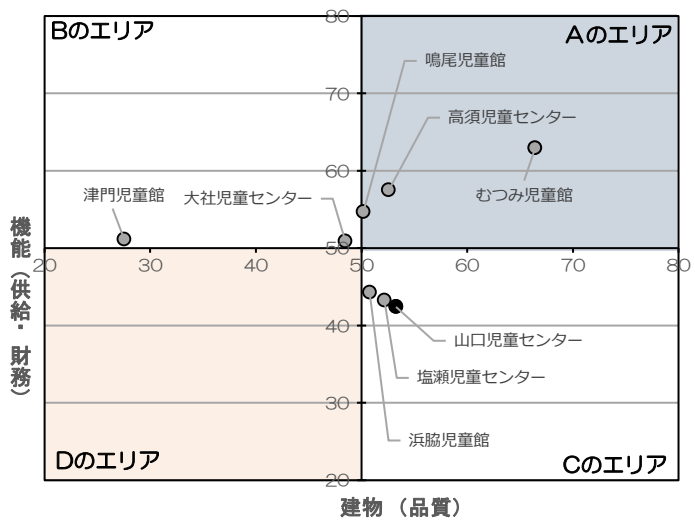
【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 66.9 |
| | ②健全度 | 39.7 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 55.9 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 44.6 |
| | ⑥稼働率 | － |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 30.8 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 38.3 |

レーダーチャート




児童施設 児童館・児童センター




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 児童館の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 法律によって義務付けられている施設ではないが、児童福祉法第40条に児童厚生施設の設置目的が記載されており、児童福祉条例に基づき設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 減少する見込み | 本市の児童数は減少傾向にあることを考慮すると、利用者数は減少することが見込まれる。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、近隣の児童や親子の利用が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | 放課後キッズ事業、民間による地域子育て支援拠点事業など、児童館機能の一部を代替している事例がある。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 塩瀬と山口児童センターは指定管理者（西宮市社会福祉事業団）が運営している。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 西宮市子ども・子育て支援プランにおいて、重点施策のひとつである「子育ての不安・負担の軽減」で、必要な取り組みのなかに位置付けられている |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | b．見直し | エ．その他 | 利用者数は多いが、同種の他施設と比べると一人当たりの維持管理経費が高い傾向にあるため、維持管理経費の削減に取組む。 |
| 建物 | ア．現状維持 | － | 大規模な改修工事は必要ないが、築11年以上が経過しており、外壁や設備の部分的な修繕が必要である。 |

| 施設番号 | 施設名称 | 06501 | こども未来センター | 所在地 | 高畑町2-77 |
|---|---|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | | 児童施設 | | 施設分類（中分類） | 子育て総合センター及び児童発達支援センター関連施設 |
| 所管課 | | 発達支援課 | | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報

### 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 4,113 | | | | | | A | A | A |
| 005 事務所 | 4,113 | 2015 | 4 | B | B | B | | | |

### 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | | | | | | 4 |
| ②健全度 | | | | | | 85 |
| ③耐震性能 | | | | | | 100 |
| | 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

### 供給（3箇年平均）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | 31,746 | 平均 | 31,573 |
| 2017 | 31,314 | | |
| 2018 | 31,658 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | | | 8 |
| ⑥稼働率 | | | － |

### 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 690 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 5,299 |

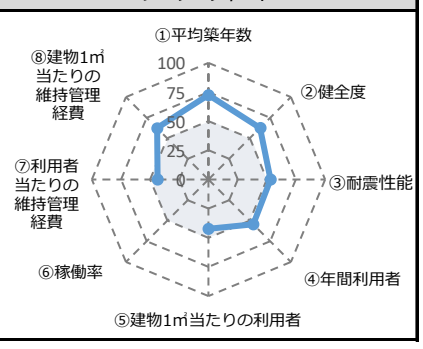
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 62.80 | 縦軸 | 機能の評価 | 50.63 |

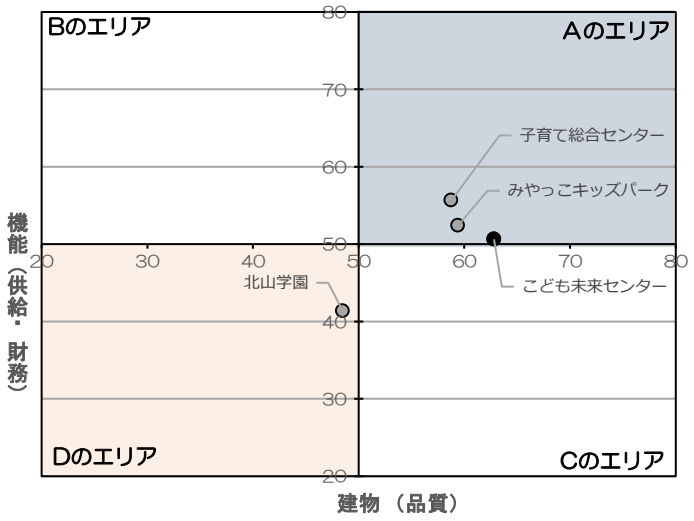
【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 72.5 |
| | ②健全度 | 62.7 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 54.3 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 42.3 |
| | ⑥稼働率 | － |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 43.6 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 62.3 |

レーダーチャート




児童施設 子育て総合センター及び児童発達支援センター関連施設




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | こども未来センターの設置目的に沿った支援を行うために利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 国の指針に基づき設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | ここ数年、利用者数は横ばいで、今後数年間は変わらない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 全市的 | 市域全域の人が利用している。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 同様の機能を有した民間施設はなく代替が不可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 通園療育部門については、市内で指定管理の実績がある。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 本市の障害福祉推進計画において、療育・発達支援を充実させるうえでの中心的な役割を担っている。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 福祉避難所に指定されている。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 多くの人に利用されており、今後も療育・発達支援を充実させるために必要な施設であることから現状維持とする。 |
| 建物 | ア．現状維持 | － | 特に劣化している状況も見られないため、現状維持とする。 |

| 施設番号 | 施設名称 | 06502 | 北山学園 | 所在地 | 甲山町53 |
|---|---|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | | 児童施設 | | 施設分類（中分類） | 子育て総合センター及び児童発達支援センター関連施設 |
| 所管課 | | 発達支援課 | | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報 — 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 653 | | | | | | A | A | 無 |
| 020 園舎 | 653 | 1969 | 50 | B | B | B | | | |

## 品質

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 50 | | | | |
| ②健全度 | 83 | | | | |
| ③耐震性能 | – | | | | |
| 基準 | 旧 | 診断 | – | 補強 | – |

## 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 6,791 | 平均 | 6,871 |
| 2017 | 7,064 | | |
| 2018 | 6,759 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 11 | | |
| ⑥稼働率 | – | | |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 922 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 9,700 |

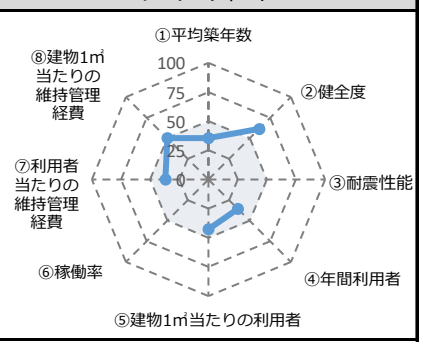
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 48.50 | 縦軸 | 機能の評価 | 41.33 |

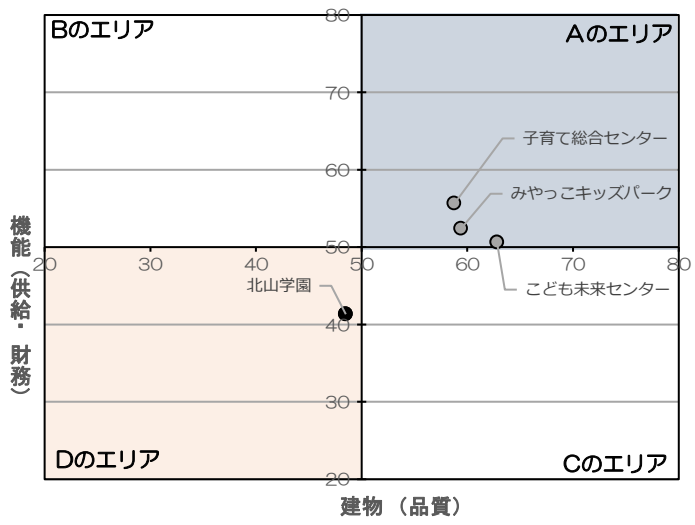
【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 35.6 |
| | ②健全度 | 61.4 |
| | ③耐震性能 | – |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 35.5 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 42.7 |
| | ⑥稼働率 | – |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 37 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 50.1 |

レーダーチャート




児童施設 子育て総合センター及び児童発達支援センター関連施設




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 北山学園の設置目的に沿った支援を行うために利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 国の指針に基づき設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | ここ数年、利用者数は横ばいで、今後数年間は変わらない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 全市的 | 市域全域の人が利用している。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | 同様の機能を有した民間施設があり、代替が可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | すでに社会福祉法人甲山福祉センターにより指定管理を行っている。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 本市の障害福祉推進計画において、障害児支援を行う施設として位置づけられている。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | – | 一人当たりの維持管理経費は同種の施設と比べて高い傾向にあるが、児童福祉法により定員が定められており、今後の利用者数の増加は見込めないため、現状維持とする。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | – | すでに築50年以上が経過し、老朽化が著しいため、施設の長寿命化や建替えに向けた検討を行う。 |

| 施設番号 施設名称 | 06503 子育て総合センター | 所在地 | 津田町3-40 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 児童施設 | 施設分類（中分類） | 子育て総合センター及び児童発達支援センター関連施設 |
| 所管課 | 子育て総合センター | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合41 |

## 基礎情報 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 851 | | | | | | B | A | B |
| 030 本館 | 792 | 2000 | 19 | A | B | B | | | |
| 011 自転車置場・単車置場 | 10 | 2000 | 19 | | | | | | |
| 089 その他 | 49 | 2008 | 11 | | | | | | |

## 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | | | | | | 19 |
| ②健全度 | | | | | | 85 |
| ③耐震性能 | | | | | | 100 |
| | 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

## 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 45,872 | 平均 | 42,815 |
| 2017 | 44,194 | | |
| 2018 | 38,378 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | | | 50 |
| ⑥稼働率 | | | 53% |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 171 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 8,623 |

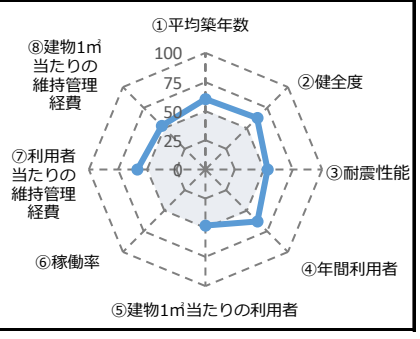
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 58.77 | 縦軸 | 機能の評価 | 55.63 |

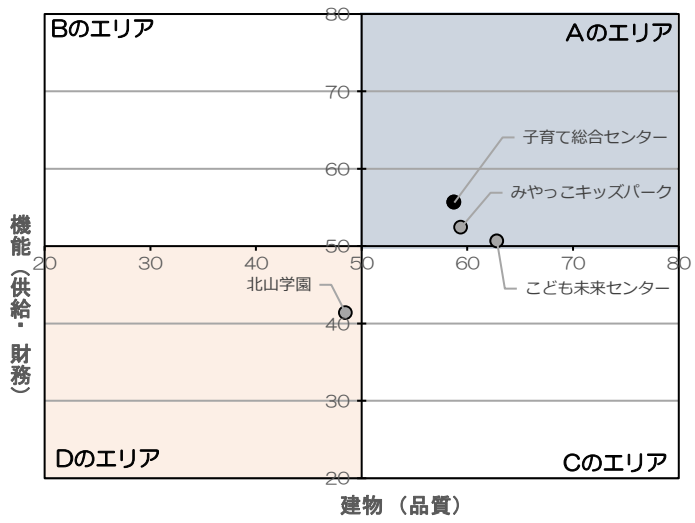
【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 60.4 |
| | ②健全度 | 62.7 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 62.9 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 48.1 |
| | ⑥稼働率 | － |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 58.4 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 53.1 |

レーダーチャート




児童施設 子育て総合センター及び児童発達支援センター関連施設




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 子育て総合センターの設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 法律の定めはなく、西宮市立子育て総合センター条例に基づき設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 減少する見込み | 少子化等の影響もあり利用者数は減少傾向であるが、子育てに悩みや不安を持つ親が増加しており、社会的ニーズは高い。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 全市的 | 子育て支援の中核施設であり、市域全域の人が利用している。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 機能の一部を民間事業者が実施している事例はあるが、子育て支援の中核施設としての機能は他の施設に代替できない。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 一部の機能を民間事業者に委託している。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 西宮市子ども・子育て支援プランにおいて、重点施策のひとつである「子育ての不安・負担の軽減」で、必要な取り組みのなかに位置付けられている |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 子育て支援の中核施設として多くの人が利用しており、維持管理経費も他の施設と比べて低く平均以下であることから、現状維持とする。 |
| 建物 | ア．現状維持 | － | 大規模な改修工事は必要ないが、築19年以上が経過しており、外壁や設備の部分的な修繕が必要である。 |

| 施設番号 | 施設名称 | 06504 | みやっこキッズパーク | 所在地 | 芦原町7-32 |
|---|---|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | | 児童施設 | | 施設分類（中分類） | 子育て総合センター及び児童発達支援センター関連施設 |
| 所管課 | | 子育て総合センター | | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報

### 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 120 | | | | | | 無 | B | 無 |
| 005 事務所 | 120 | 2003 | 16 | A | B | B | | | |

### 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | | | | | | 16 |
| ②健全度 | | | | | | 84 |
| ③耐震性能 | | | | | | 100 |
| | 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

### 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 25,039 | 平均 | 22,343 |
| 2017 | 21,195 | | |
| 2018 | 20,796 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | | | 186 |
| ⑥稼働率 | | | － |

### 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 82 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 15,267 |

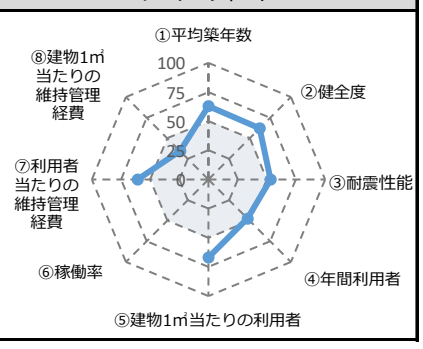
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 59.40 | 縦軸 | 機能の評価 | 52.40 |

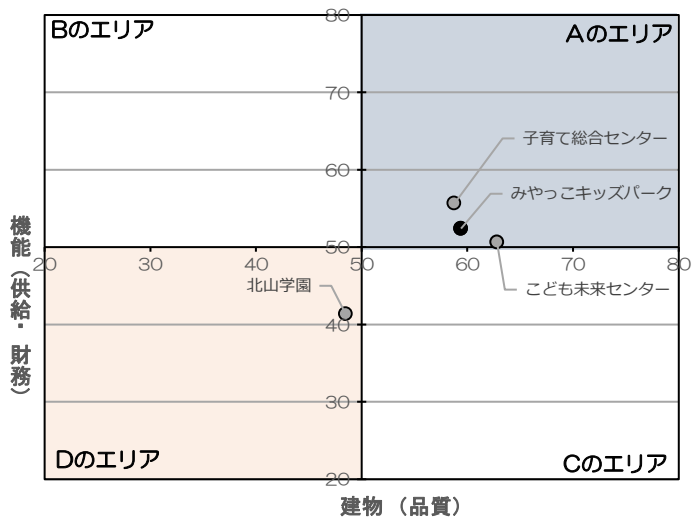
【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 62.9 |
| | ②健全度 | 62.1 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 47.3 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 66.9 |
| | ⑥稼働率 | － |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 60.9 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 34.5 |

レーダーチャート




児童施設 子育て総合センター及び児童発達支援センター関連施設




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | みやっこキッズパークの設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 法律の定めはなく、西宮市立子育て総合センター条例施行規則に基づき設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 減少する見込み | 少子化等の影響により利用者数は減少傾向であり、今後も減少する見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 全市的 | みやっこキッズパークは類似施設がなく、市域全域の人が利用している。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | みやっこキッズパークは同様の機能を有した民間施設や公共施設がなく、代替が不可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 市民ボランティア組織に事業運営を委託している。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 「自然の中で子供たちが思いっきり五感を活かし自由に遊ぶ」をコンセプトとし、身近な里山として自然に触れ合える施設は他になく、「子供の遊び場」として以外にも、自然環境の保護育成、地域ボランティア活動の拠点等、多様な役割を担っている。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 多くの人が利用する施設であり、利用者当たりの維持管理経費も他の施設と比べて低く平均以下であることから、現状維持とする。 |
| 建物 | ア．現状維持 | － | 大規模な改修工事は必要ないが、築16年以上が経過しており、外壁や設備の部分的な修繕が必要である。 |

| 施設番号 施設名称 | 08108 西宮市役所夙川市民サービスセンター | 所在地 | 羽衣町7-30 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 行政施設 | 施設分類（中分類） | 庁舎・支所等 |
| 所管課 | アクタ西宮ステーション | 併設施設（複合施設）の有無 | 民間複合7 |

## 基礎情報 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 123 | | | | | | A | C | 無 |
| 005 事務所 | 123 | 1977 | 42 | 民複 | 民複 | 民複 | | | |

### 品質

| | |
|---|---|
| ①平均築年数 | 42 |
| ②健全度 | – |
| ③耐震性能 | – |

| 基準 | 旧 | 診断 | – | 補強 | – |
|---|---|---|---|---|---|

### 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | – | 平均 | – |
| 2017 | – | | |
| 2018 | – | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | | | – |
| ⑥稼働率 | | | – |

### 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | – |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 22,460 |

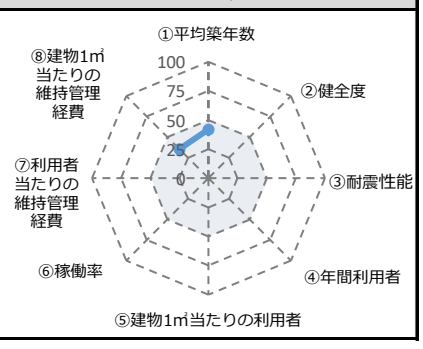
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 42.00 | 縦軸 | 機能の評価 | 35.40 |

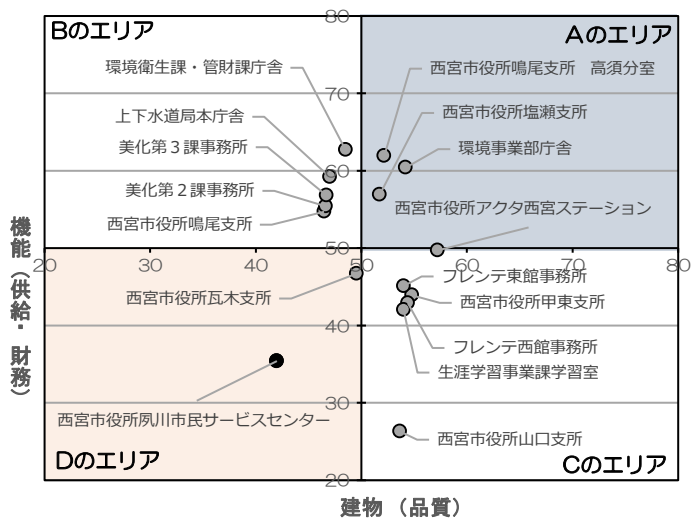
【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 42 |
| | ②健全度 | – |
| | ③耐震性能 | – |
| 供給 | ④年間利用者（人） | – |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | – |
| | ⑥稼働率 | – |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | – |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 35.4 |

レーダーチャート




行政施設 庁舎・支所等




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 地域行政サービスの拠点として、市民の利便性の向上を図っている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 条例の定めはないが、地方自治法によって設置できるとされており、地域住民の利便性の向上のため必要である。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 地域住民にとって利便性は高く、今後の見込みはほとんど変わらない。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | サービスセンターを中心に周辺地域の住民利用率が一定高い水準となっている。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 同様の機能を有した民間施設はなく代替が不可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 施設は民間との複合施設であり、管理組合により運営されている。事業運営については、指定管理制度等の導入実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 地域の行政サービス等の拠点として役割を担う施設である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | – | 地域行政サービスの拠点として、地域に根差した施設であり、住民のニーズも高いため現状維持とする。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | – | 民間との複合施設である夙川クリーンタワンは、耐震基準を満たしておらず改修等の対策が必要であるが、区分所有者等で構成される勉強会等において耐震化工事や建替に向けた検討がなされているものの、現時点で具体的な決定はなされていない。 |

| 施設番号　施設名称 | 08109　西宮市役所市民課　越木岩分室 | 所在地 | 樋之池町5-29 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 行政施設 | 施設分類（中分類） | 庁舎・支所等 |
| 所管課 | 市民課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合13 |

## 基礎情報

### 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 0 | | | | | | 建替 | 建替 | 建替 |
| 西宮市役所市民課　越木岩分室 | 0 | 1976 | 43 | 建替 | 建替 | 建替 | | | |

### 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 43 | | | | | |
| ②健全度 | – | | | | | |
| ③耐震性能 | 0 | | | | | |
| | 基準 | 旧 | 診断 | 済 | 補強 | 未 |

### 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | – | 平均 | – |
| 2017 | – | | |
| 2018 | – | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | – | | |
| ⑥稼働率 | – | | |

### 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | – |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | – |

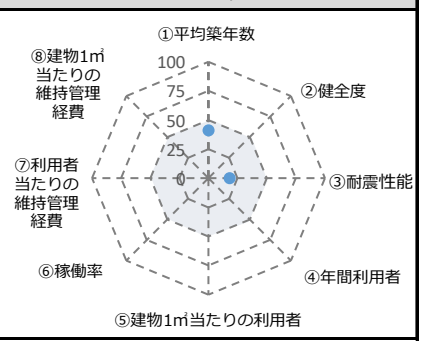
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 29.55 | 縦軸 | 機能の評価 | – |

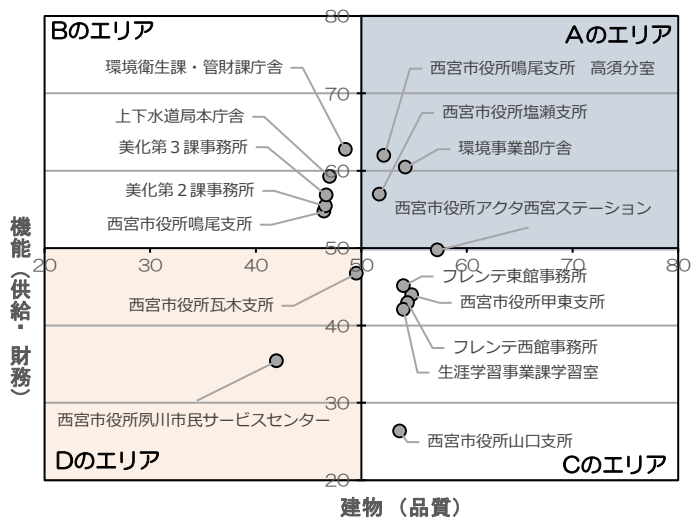
【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 41.2 |
| | ②健全度 | – |
| | ③耐震性能 | 17.9 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | – |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | – |
| | ⑥稼働率 | – |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | – |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | – |

レーダーチャート




行政施設 庁舎・支所等




| 備　考 | 延床面積は02121越木岩公民館に含まれている<br>越木岩公民館に含まれる施設のため二軸評価については表記していない |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 市民課の証明交付窓口として利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 法律や条例の定めはなく任意で設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 地域の人口の増減で利用数が変動すると思われるが、今後も同程度の利用が見込まれる。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、近くに支所がない地域になるため周辺地区の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | 近隣に利用できる施設があれば、移設は可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 分室業務は民間委託を実施している。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 地域の行政サービス等の拠点として役割を担う施設である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 避難所に指定されている。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | b．見直し | ア．複合化 | 「生涯学習及び地域コミュニティの拠点」となる施設として検討を進めており、関係各課と建替えに向けて協議検討中。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | – | 「生涯学習及び地域コミュニティの拠点」となる施設として検討を進めており、関係各課と建替えに向けて協議検討中。 |

| 施設番号 施設名称 | 08110 西宮市役所市民課 西宮浜分室 | 所在地 | 西宮浜４丁目13-1 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 行政施設 | 施設分類（中分類） | 庁舎･支所等 |
| 所管課 | 市民課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合16 |

## 基礎情報

### 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 0 | | | | | | C | A | C |
| 西宮市役所市民課 西宮浜分室 | 0 | 1998 | 21 | A | B | A | | | |

### 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 21 | | | | | |
| ②健全度 | 77 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| | 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

### 供給（3箇年平均）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | － | 平均 | － |
| 2017 | － | | |
| 2018 | － | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － | | |
| ⑥稼働率 | － | | |

### 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | － |

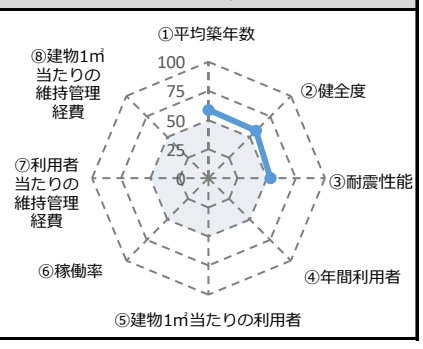
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給･財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 56.57 | 縦軸 | 機能の評価 | － |

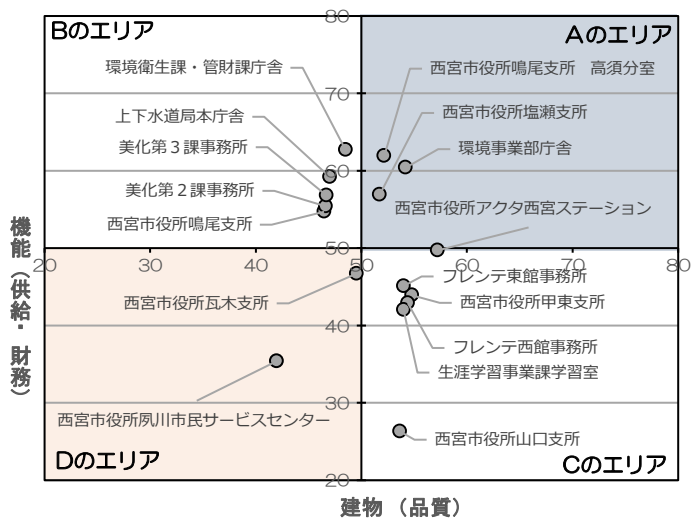
【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 58.8 |
| | ②健全度 | 57.7 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | － |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － |
| | ⑥稼働率 | － |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | － |

レーダーチャート




行政施設 庁舎・支所等




| 備考 | 延床面積は02124西宮浜公民館に含まれている<br>西宮浜公民館に含まれる施設のため二軸評価については表記していない |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 市民課の証明交付窓口として利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 法律や条例の定めはなく任意で設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 地域の人口の増減で利用数が変動すると思われるが、今後も同程度の利用が見込まれる。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、近くに支所がない地域になるため周辺地区の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | 近隣に利用できる施設があれば、移設は可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 分室業務は民間委託を実施している。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 地域の行政サービス等の拠点として役割を担う施設である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 避難所に指定されている。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 西宮浜地区で唯一の機能を持っている施設であり、今後も必要であることから現状維持とする。 |
| 建物 | ア．現状維持 | － | 上記機能を有する間は、建物も同様に現状維持とする。（公民館内施設のため、公民館の影響を受ける場合あり） |

| 施設番号 施設名称 | 08111 | 西宮市役所瓦木支所 | 所在地 | 瓦林町8-1 |
|---|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 行政施設 | | 施設分類（中分類） | 庁舎・支所等 |
| 所管課 | 瓦木支所 | | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合09 |

## 基礎情報 — 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 351 | | | | | | 無 | A | B |
| 001 庁舎 | 261 | 1971 | 48 | B | B | D | | | |
| 001 庁舎 | 58 | 1983 | 36 | B | B | D | | | |
| 001 庁舎 | 21 | 1984 | 35 | B | B | D | | | |
| 013 車庫 | 12 | 1984 | 35 | | | | | | |

## 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 45 | | | | | |
| ②健全度 | 74 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| | 基準 | 旧 | 診断 | 済 | 補強 | 済 |

## 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | － | 平均 | － |
| 2017 | － | | |
| 2018 | － | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － | | |
| ⑥稼働率 | － | | |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 15,239 |

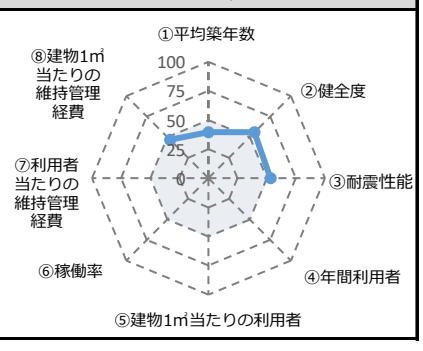
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 49.53 | 縦軸 | 機能の評価 | 46.70 |

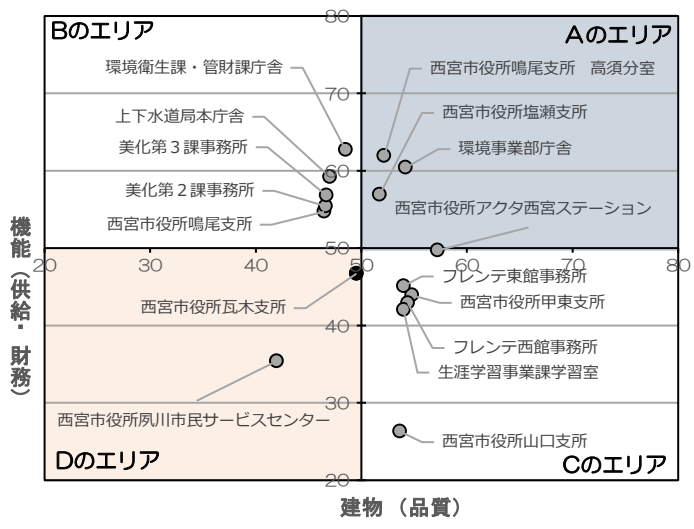
【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 39.6 |
| | ②健全度 | 55.8 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | － |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － |
| | ⑥稼働率 | － |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 46.7 |

レーダーチャート




行政施設 庁舎・支所等




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 支所の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 地方自治法によって設置できるとされており、地域住民の利便性の向上のため設置が必要であることから、西宮市支所設置条例を制定し、設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 来所者数の増減については予測できないが、今後も同程度の利用が見込まれる。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 全市的 | 比較的周辺地域の利用者が多いが、市域全域の方が利用している。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 同様の機能を有した民間施設はなく代替が不可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 施設（建物)の維持管理に関しては民間事業者に委託しているが、施設で実施する事業運営については、指定管理制度等の導入の実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 地域の行政サービス等の拠点として役割を担う施設である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 避難所の運営等にも使用している。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 地域の行政サービス等の拠点として今後も必要な施設であるため現状維持とする。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | － | 令和14年度までに築50年以上が経過し、老朽化が進むため、施設の長寿命化に向けた検討を行う。 |

| 施設番号 施設名称 | 08112 西宮市役所上甲子園市民サービスセンター | 所在地 | 甲子園口３丁目9-3 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 行政施設 | 施設分類（中分類） | 庁舎・支所等 |
| 所管課 | 瓦木支所 | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合02 |

## 基礎情報 — 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 0 | | | | | | 無 | B | B |
| 西宮市役所上甲子園市民サービスセンター | 0 | 1972 | 47 | C | C | A | | | |

## 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 46 | | | | | |
| ②健全度 | 55 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| 基準 | 旧 | 診断 | 済 | 補強 | 済 | |

## 供給（3箇年平均）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | － | 平均 | － |
| 2017 | － | | |
| 2018 | － | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － | | |
| ⑥稼働率 | － | | |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | － |

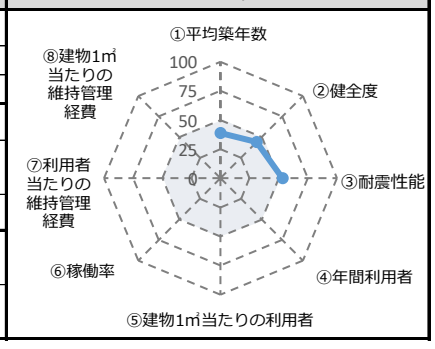
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 45.33 | 縦軸 | 機能の評価 | － |

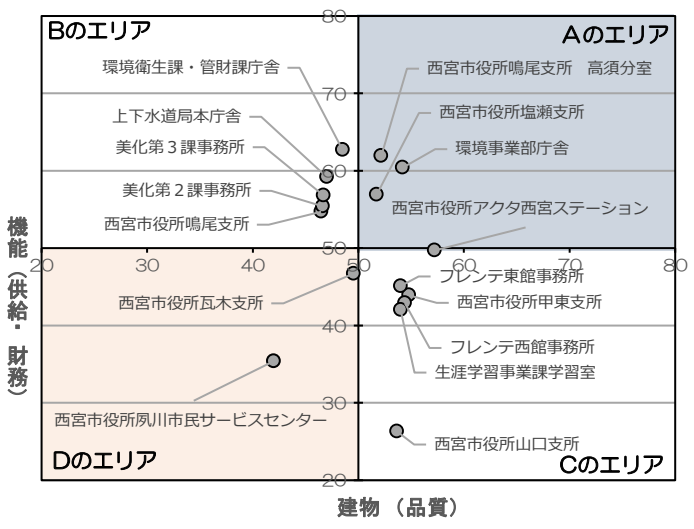
【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 38.8 |
| | ②健全度 | 44 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | － |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － |
| | ⑥稼働率 | － |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | － |

レーダーチャート




行政施設 庁舎・支所等




| 備考 | 延床面積は11201共同利用施設上甲子園センターに含まれている<br>上甲子園公民館に含まれる施設のため二軸評価については表記していない |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 支所の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 条例の定めはないが、地方自治法によって設置できるとされており、地域住民の利便性の向上のため必要である。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 来所者数の増減については予測できないが、今後も同程度の利用が見込まれる。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 全市的 | 比較的周辺地域の利用者が多いが、市域全域の方が利用している。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 同様の機能を有した民間施設はなく代替が不可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 施設（建物）の維持管理に関しては民間事業者に委託しているが、施設で実施する事業運営については、指定管理制度等の導入の実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 地域の行政サービス等の拠点として役割を担う施設である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 地域の行政サービス等の拠点として今後も必要な施設であるため現状維持とする。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | － | 令和14年度までに築50年以上が経過し、老朽化が進むため、施設の長寿命化に向けた検討を行う。 |

| 施設番号　施設名称 | 08113　西宮市役所アクタ西宮ステーション | 所在地 | 北口町1-1 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 行政施設 | 施設分類（中分類） | 庁舎・支所等 |
| 所管課 | アクタ西宮ステーション | 併設施設（複合施設）の有無 | 民間複合6 |

## 基礎情報

### 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 484 | | | | | | B | B | B |
| 005 事務所 | 484 | 2001 | 18 | 民複 | 民複 | 民複 | | | |

### 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 18 | | | | | |
| ②健全度 | – | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| | 基準 | 新 | 診断 | – | 補強 | – |

### 供給（3箇年平均）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | – | 平均 | – |
| 2017 | – | | |
| 2018 | – | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | – | | |
| ⑥稼働率 | – | | |

### 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | – |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 13,317 |

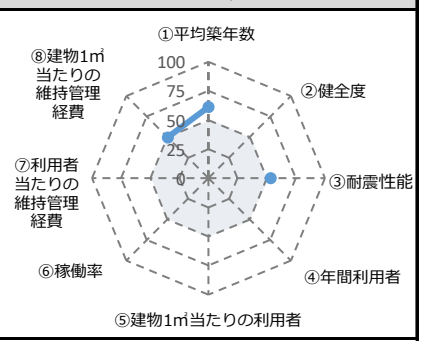
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 57.20 | 縦軸 | 機能の評価 | 49.70 |

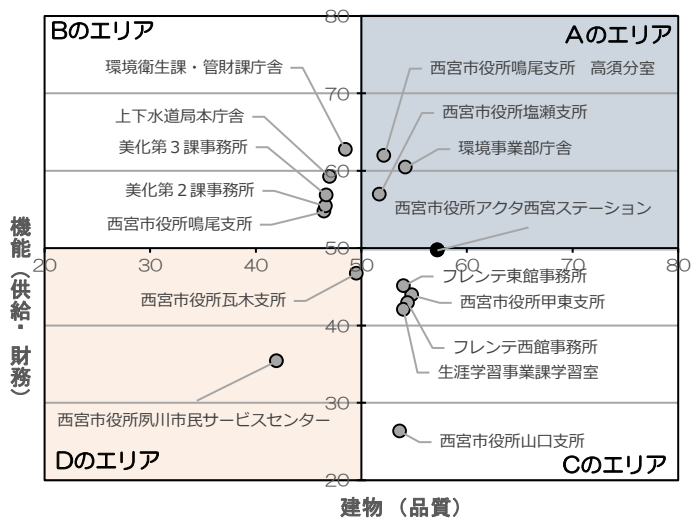
【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 61.2 |
| | ②健全度 | – |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | – |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | – |
| | ⑥稼働率 | – |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | – |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 49.7 |

レーダーチャート




行政施設 庁舎・支所等




| 備　考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 幅広い地域の市民に利用されており、平日時間延長や土日祝の窓口業務の実施要望を背景に設置された目的に即している。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 条例の定めはないが、地方自治法によって設置できるとされており、地域住民の利便性の向上のため必要である。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 増加する見込み | 利便性の高さから幅広い地域からの利用者があり、今後も増加する見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 全市的 | 周辺住民に留まらず、幅広い地域の市民にも利用されている。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 同様の機能を有した民間施設はなく代替が不可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 施設は民間との複合施設であり、管理組合により運営されている。事業運営については、指定管理制度等の導入実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 地域の行政サービス等の拠点として役割を担う施設である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | – | 利便性の高い設置条件に加え、平日時間外や土日祝においても業務を実施していることから、幅広い地域からの利用者が多く、現状維持とする。 |
| 建物 | ア．現状維持 | – | 住居と店舗からなる民間との複合施設であることから、施設全体の長期修繕計画に基づき対応する。 |

| 施設番号 施設名称 | 08114 | 西宮市役所甲東支所 | 所在地 | 甲東園３丁目2-29 |
|---|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 行政施設 | | 施設分類（中分類） | 庁舎･支所等 |
| 所管課 | 甲東支所 | | 併設施設（複合施設）の有無 | 民間複合4 |

## 基礎情報 — 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 1,033 | | | | | | C | A | C |
| 001 庁舎 | 30 | 1996 | 23 | 民複 | 民複 | 民複 | | | |
| 001 庁舎 | 911 | 1996 | 23 | 民複 | 民複 | 民複 | | | |
| 001 庁舎 | 36 | 1996 | 23 | 民複 | 民複 | 民複 | | | |
| 089 その他 | 56 | 1983 | 36 | 民複 | 民複 | 民複 | | | |

## 品質

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 24 | | | | |
| ②健全度 | – | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | |
| 基準 | 新 | 診断 | – | 補強 | – |

## 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | – | 平均 | – |
| 2017 | – | | |
| 2018 | – | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | – | | |
| ⑥稼働率 | – | | |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | – |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 17,044 |

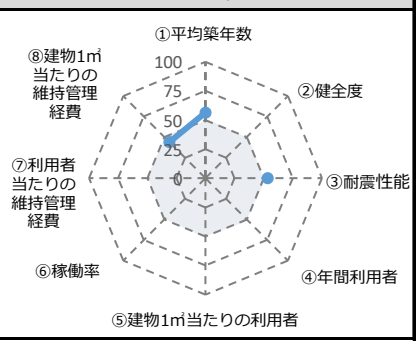
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給･財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 54.80 | 縦軸 | 機能の評価 | 43.90 |

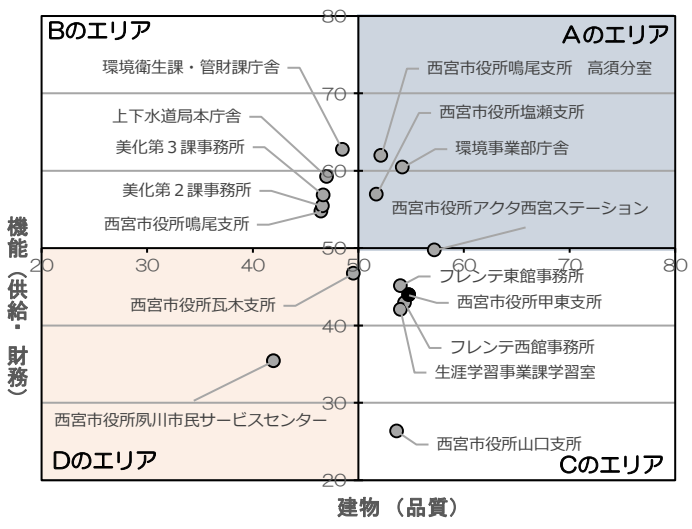
【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 56.4 |
| | ②健全度 | – |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | – |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | – |
| | ⑥稼働率 | – |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | – |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 43.9 |

レーダーチャート




行政施設 庁舎・支所等




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 支所の設置目的に沿って利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 地方自治法によって設置できるとされており、地域住民のサービス向上のため設置が必要であることから、西宮市支所設置条例を制定し、設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 来所者数を把握できない施設であるが、今後も同程度の利用が見込まれる。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 支所の所管区域に居住している住民の利用が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 同様の機能を有した民間施設等は無く、代替が不可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 施設(建物)の維持管理に関しては、民間事業者に委託しているが、施設で実施する事業運営については、指定管理制度等の導入には馴染まないものと考えられるため、実績は無い。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 地域の行政サービス等の拠点として役割を担う施設である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途は無い。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | – | 地域住民の利便性向上のために必要な施設であることから、現状維持とする。 |
| 建物 | ア．現状維持 | – | 築23年以上が経過しており、設備等の部分的な修繕が必要である。 |

| 施設番号 施設名称 | 08115 西宮市役所塩瀬支所 | 所在地 | 名塩新町1 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 行政施設 | 施設分類（中分類） | 庁舎・支所等 |
| 所管課 | 塩瀬支所 | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合05 |

## 基礎情報 — 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 1,776 | | | | | | A | A | A |
| 001 庁舎 | 1,479 | 1990 | 29 | C | C | C | | | |
| 013 車庫 | 120 | 1990 | 29 | | | | | | |
| 011 自転車置場・単車置場 | 177 | 1990 | 29 | | | | | | |

## 品質

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 29 | | | | |
| ②健全度 | 64 | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | |
| 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

## 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | － | 平均 | － |
| 2017 | － | | |
| 2018 | － | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － | | |
| ⑥稼働率 | － | | |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 8,706 |

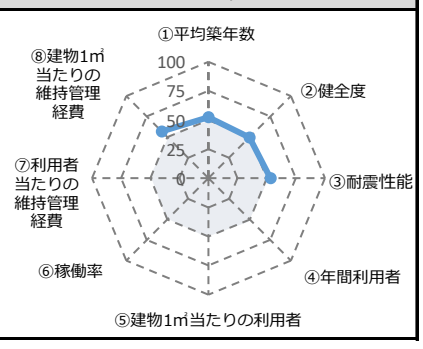
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 51.73 | 縦軸 | 機能の評価 | 56.90 |

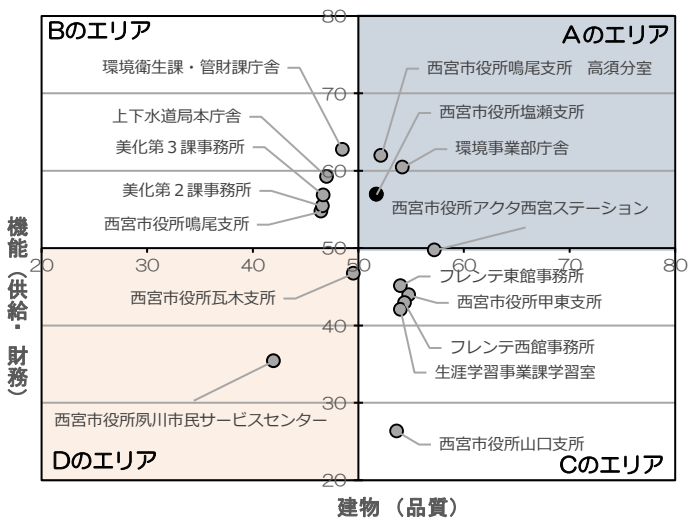
【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 52.4 |
| | ②健全度 | 49.6 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | － |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － |
| | ⑥稼働率 | － |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 56.9 |

レーダーチャート




行政施設 庁舎・支所等




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 設置目的に即して利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 地方自治法によって設置できるとされており、地域住民の市民サービス向上のため設置が必要であることから、西宮市支所設置条例を制定し、設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 来所者数を把握できない施設であるが、今後も同程度の利用が見込まれる。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 塩瀬地区の住民の利用が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 例えば本庁においては同様の取り扱いは可能であるが、地域住民のアクセスを考えると代替は不可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 施設（建物）の維持管理に関しては民間事業者に委託しているが、施設で実施する事業運営については、指定管理制度等の導入は実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 地域の行政サービス等の拠点として役割を担う施設である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 多くの人が利用していて、必要な施設であることから現状維持とする。 |
| 建物 | ア．現状維持 | － | 大規模改修は概ね終わっているが、建物や設備の劣化状況などをみて必要な改修を行う必要がある。 |

| 施設番号 施設名称 | 08116 西宮市役所塩瀬支所 生瀬分室 | 所在地 | 生瀬町２丁目20-22 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 行政施設 | 施設分類（中分類） | 庁舎･支所等 |
| 所管課 | 塩瀬支所 | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合36 |

## 基礎情報 — 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 0 | | | | | | 無 | C | B |
| 西宮市役所塩瀬支所 生瀬分室 | 0 | 1984 | 35 | C | B | A | | | |

## 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 34 | | | | | |
| ②健全度 | 61 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| | 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

## 供給（3箇年平均）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | － | 平均 | － |
| 2017 | － | | |
| 2018 | － | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － | | |
| ⑥稼働率 | － | | |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | － |

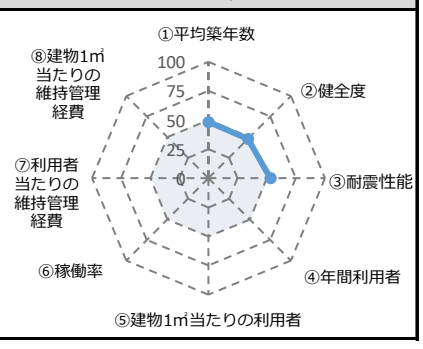
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給･財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 49.80 | 縦軸 | 機能の評価 | － |

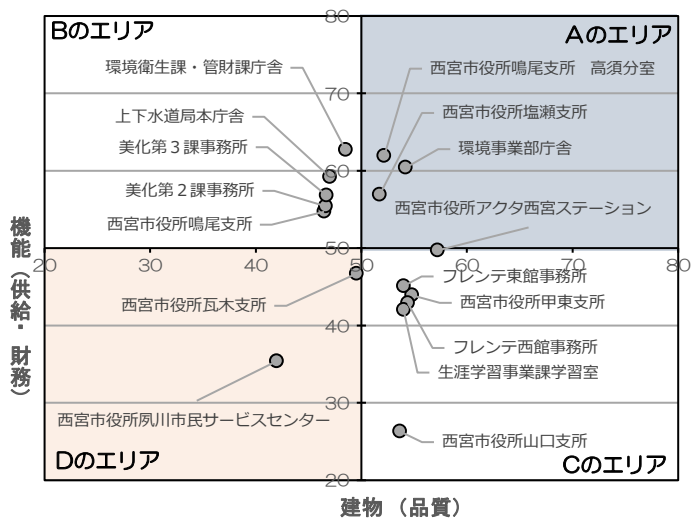
【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 48.4 |
| | ②健全度 | 47.8 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | － |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － |
| | ⑥稼働率 | － |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | － |

レーダーチャート




行政施設 庁舎・支所等




| 備考 | 延床面積は11118生瀬市民館に含まれている<br>生瀬市民館に含まれる施設のため二軸評価については表記していない |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 設置目的に即して利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 地方自治法によって設置できるとされており、地域住民の市民サービス向上のため設置が必要であることから、設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 来所者数を把握できない施設であるが、今後も同程度の利用が見込まれる。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 生瀬地区の住民の利用が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 塩瀬支所において同様の取り扱いは可能であるが、地域住民のアクセスを考えると代替は不可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 施設（建物）の維持管理に関しては民間事業者に委託しているが、施設で実施する事業運営については、指定管理制度等の導入は実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 地域の行政サービス等の拠点として役割を担う施設である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 生瀬地区で唯一の機能を持っている施設であり、今後も必要であることから現状維持とする。 |
| 建物 | ア．現状維持 | － | 築35年以上が経過しており、外壁や設備の部分的な修繕が必要である。 |

| 施設番号 施設名称 | 08117 西宮市役所鳴尾支所 | 所在地 | 鳴尾町３丁目5-14 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 行政施設 | 施設分類（中分類） | 庁舎･支所等 |
| 所管課 | 鳴尾支所 | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合24 |

## 基礎情報 ― 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 1,795 | | | | | | A | A | A |
| 001 庁舎 | 1,739 | 1978 | 41 | C | D | D | | | |
| 011 自転車置場･単車置場 | 20 | 1978 | 41 | | | | | | |
| 011 自転車置場･単車置場 | 30 | 1978 | 41 | | | | | | |
| 073 ポンプ室 | 6 | 1978 | 41 | | | | | | |

| 品質 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 41 | | | | | |
| ②健全度 | 54 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| | 基準 | 旧 | 診断 | 済 | 補強 | 不要 |

| 供給（3箇年平均） | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | － | 平均 | － |
| 2017 | － | | |
| 2018 | － | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － | | |
| ⑥稼働率 | － | | |

| 財務（3箇年平均） | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 10,137 |

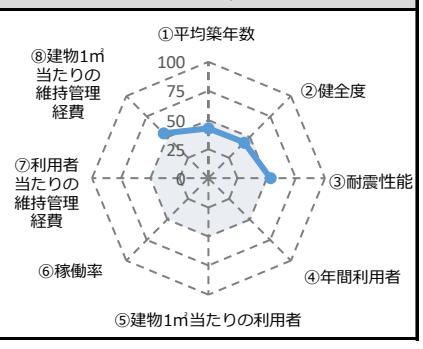
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給･財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 46.47 | 縦軸 | 機能の評価 | 54.70 |

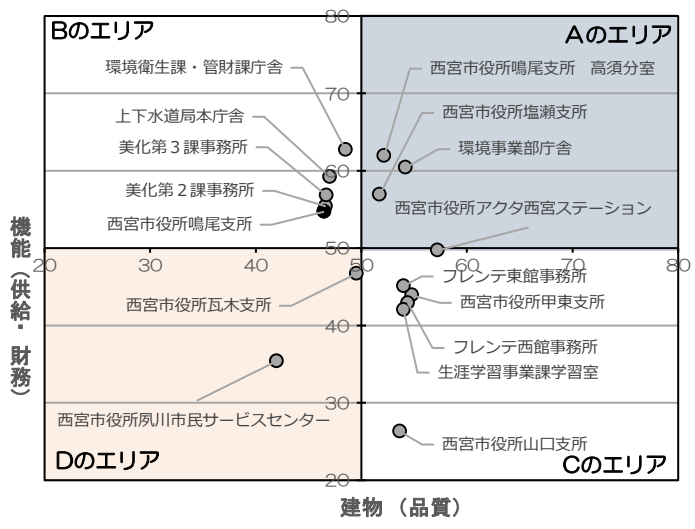
【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 42.8 |
| | ②健全度 | 43.4 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | － |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － |
| | ⑥稼働率 | － |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 54.7 |

レーダーチャート




行政施設 庁舎・支所等




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 地域住民の利便性確保のため設置され、その目的に即している |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 地方自治法によって設置できるとされており、地域住民の利便性の向上のため設置が必要であることから、西宮市支所設置条例を制定し、設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 住民票等の交付件数は減少傾向にあるが、多様化するニーズにより今後も利用の需要は変わらない |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 鳴尾地域在住者の利用が高い |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 民間類似施設は無く代替えは不可能。業務の一部外部委託化や将来的な公民館等との統合は要検討 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 施設(建物)維持管理は民間事業者へ委託するが、実施事業等は指定管理者制度等の実績はない |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 多くの地域内自治組織の事務局が置かれるなど、地域拠点として機能している |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 支所としての行政機能だけでなく、会議室・集会室などは地域内自治組織が高度利用している |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | ａ．現状維持 | － | 地域住民の身近な行政窓口としての需要が高く、また地域活動の中核施設としても欠かせないことから、現状維持とする |
| 建物 | イ．改修･改築 | － | 令和14年度までに築50年以上が経過し、老朽化が進むため、施設の長寿命化に向けた検討を行う。 |

| 施設番号 施設名称 | 08118 西宮市役所鳴尾支所 高須分室 | 所在地 | 高須町２丁目1-35 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 行政施設 | 施設分類（中分類） | 庁舎･支所等 |
| 所管課 | 鳴尾支所 | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合11 |

## 劣化状況調査の状況

基礎情報

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 206 | | | | | | C | B | 無 |
| 005 事務所 | 194 | 1983 | 36 | B | A | C | | | |
| 011 自転車置場･単車置場 | 12 | 1983 | 36 | | | | | | |

## 品質

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 36 | | | | |
| ②健全度 | 75 | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | |
| 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

## 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | － | 平均 | － |
| 2017 | － | | |
| 2018 | － | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － | | |
| ⑥稼働率 | － | | |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 5,554 |

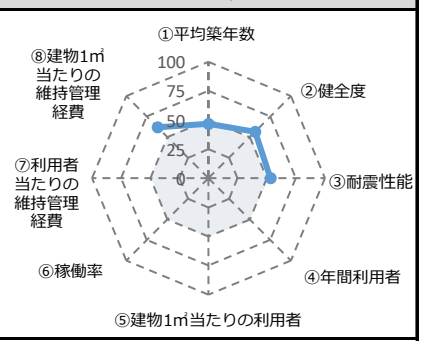
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給･財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 52.17 | 縦軸 | 機能の評価 | 61.90 |

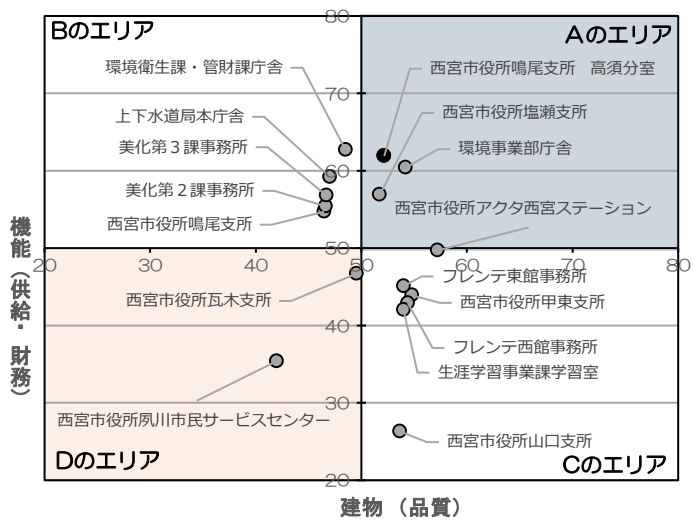
【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 46.8 |
| | ②健全度 | 56.5 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | － |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － |
| | ⑥稼働率 | － |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 61.9 |

レーダーチャート




行政施設 庁舎・支所等




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 近隣住民の利便性確保のため設置され、その目的に即している |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 西宮市支所事務処理規則第３条42号による |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 窓口受付件数に大きな増減は無い |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 主に高須地域住民による利用 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 民間類似施設は無く代替えは不可能。業務の外部委託化は要検討 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 施設(建物)維持管理は民間事業者へ委託するが、実施事業等は指定管理者制度等の実績はない |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 複合施設「高須市民センター」設置に係るURとの特約有り |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 市民ニーズ等を踏まえた必要性の検討(将来的な廃止も視野に入れた)を継続しつつ、当面は現状維持とする |
| 建物 | ア．現状維持 | － | 上記機能を有する間は、建物も同様に現状維持とする。（複合施設のため、他施設の影響を受ける場合あり） |

| 施設番号 施設名称 | 08119 | 西宮市役所山口支所 | 所在地 | 山口町下山口４丁目1-8 |
|---|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 行政施設 | | 施設分類（中分類） | 庁舎･支所等 |
| 所管課 | 山口支所 | | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合01 |

## 基礎情報 ― 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 649 | | | | | | B | B | B |
| 西宮市役所山口支所 | | 2008 | 11 | D | C | A | | | |

| 品質 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 11 | | | | | |
| ②健全度 | 50 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| | 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

| 供給（3箇年平均） | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | － | 平均 | － |
| 2017 | － | | |
| 2018 | － | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － | | |
| ⑥稼働率 | － | | |

| 財務（3箇年平均） | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 28,270 |

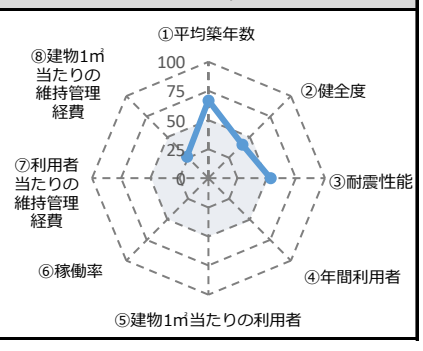
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給･財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 53.67 | 縦軸 | 機能の評価 | 26.30 |

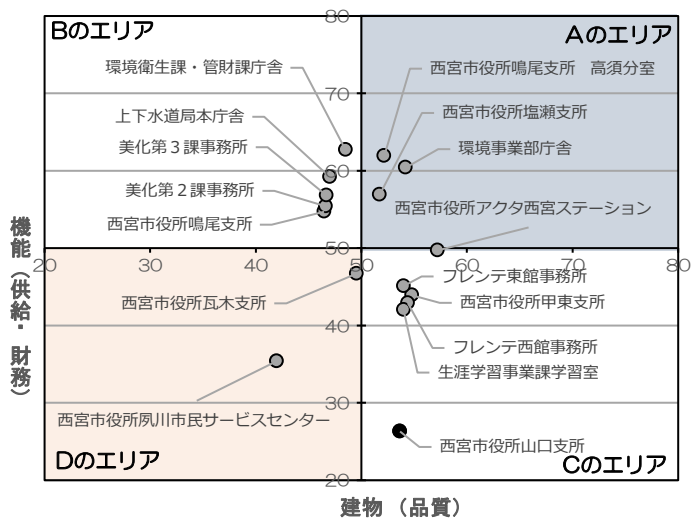
【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 66.9 |
| | ②健全度 | 40.9 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | － |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － |
| | ⑥稼働率 | － |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 26.3 |

レーダーチャート




行政施設 庁舎・支所等




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 地域住民の身近な窓口として利便性が高く、設置目的に即して利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 地方自治法によって設置できるとされており、地域住民にとって必要な行政サービス窓口であることから、西宮市支所設置条例を制定し設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 電子申請や証明書のコンビニ交付などにより減少していく業務もあるが、取扱い業務は多様化しており地域住民にとって身近な相談窓口としての需要は変わらない。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 北部地域（山口･塩瀬支所管内）の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 地域に必要な行政機関であり代替は難しい。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 施設（建物）の維持管理に関しては民間事業者に委託しているが、施設で実施する事業運営については、指定管理制度等の導入の実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 複合化された山口センター内に設置されており、山口地域の行政サービスの拠点としての役割を担う施設である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 支所としての行政機能だけでなく、会議室は地域内自治組織の拠点として利用されている。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 証明書交付業務は減少傾向であるが、業務の複雑多様化による窓口での相談業務は増加傾向であり、今後も必要な施設である。 |
| 建物 | ア．現状維持 | － | 令和11年度以降、施設の賃借料が不要となりその分の経費減少が見込めるが、経年劣化に伴う外壁や設備の部分的な修繕を行っていく必要がある。 |

| 施設番号 施設名称 | 08120 フレンテ西館事務所 | 所在地 | 池田町9-7 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 行政施設 | 施設分類（中分類） | 庁舎・支所等 |
| 所管課 | 庁舎管理課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 民間複合5 |

## 基礎情報 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 174 | | | | | | C | A | C |
| 005 事務所 | 174 | 1994 | 25 | 民複 | 民複 | 民複 | | | |

| 品質 | |
|---|---|
| ①平均築年数 | 25 |
| ②健全度 | – |
| ③耐震性能 | 100 |
| 基準 新 診断 – 補強 – | |

| 供給（3箇年平均） | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | – | 平均 | – |
| 2017 | – | | |
| 2018 | – | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | | | – |
| ⑥稼働率 | | | – |

| 財務（3箇年平均） | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | – |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 17,705 |

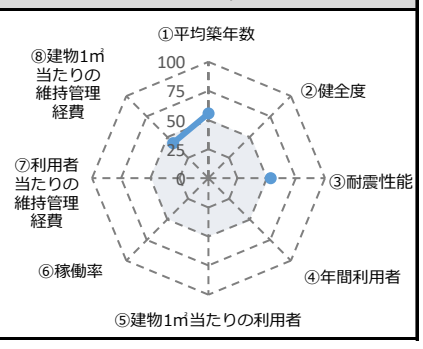
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 54.40 | 縦軸 | 機能の評価 | 42.90 |

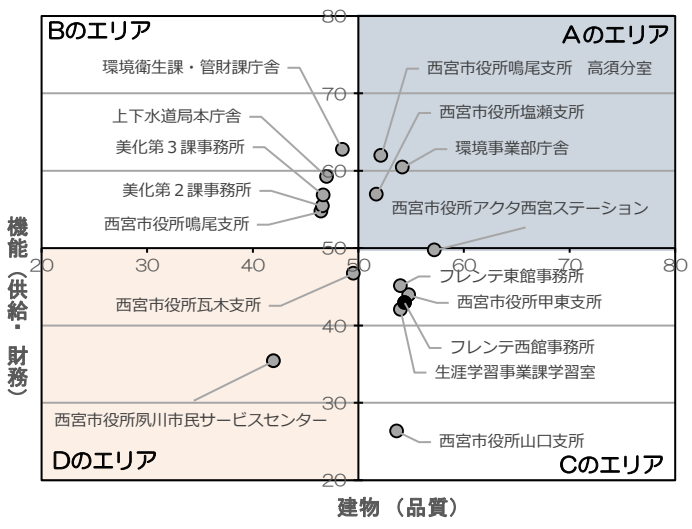
【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 55.6 |
| | ②健全度 | – |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | – |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | – |
| | ⑥稼働率 | – |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | – |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 42.9 |

レーダーチャート




行政施設 庁舎・支所等




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 執務スペースとして利用 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 法律や条例に規定はないが、庁舎の執務室の狭小を緩和するため、執務室として利用してきた。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | — | 庁舎執務室等の利用であるため該当しない。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | — | 庁舎執務室等の利用であるため該当しない。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | 執務室なので事務室の用途に利用できる施設であれば民間施設に代替は可能。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 不明 | 本市及び周辺自治体においても、庁舎施設の指定管理の実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項なし | まちづくりの観点から特筆すべき事項はない。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用の用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | – | 庁舎施設の床面積不足に対応するため、現状通り執務室等として利用する。 |
| 建物 | ア．現状維持 | – | 区分所有の建物であるから、建物全体の管理に従う。 |

| 施設番号 施設名称 | 08123 美化第２課事務所 | 所在地 | 鳴尾浜２丁目1-4 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 行政施設 | 施設分類（中分類） | 庁舎･支所等 |
| 所管課 | 美化第２課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報 ― 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 2,327 | | | | | | D | A | D |
| 001 庁舎 | 1,265 | 1981 | 38 | C | C | D | | | |
| 013 車庫Ａ棟 | 127 | 1981 | 38 | A | A | B | | | |
| 013 車庫Ｂ棟 | 220 | 1981 | 38 | A | A | B | | | |
| 013 車庫Ｃ棟 | 119 | 1981 | 38 | A | C | B | | | |
| 013 車庫Ｄ棟 | 119 | 1981 | 38 | A | C | B | | | |
| 013 車庫Ｅ棟 | 413 | 1981 | 38 | A | A | D | | | |
| 073 ポンプ室 | 9 | 1981 | 38 | | | | | | |
| 075 機械室 | 19 | 1981 | 38 | | | | | | |
| 076 ボイラー室 | 36 | 1996 | 23 | | | | | | |

| 品質 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 38 | | | | | |
| ②健全度 | 51 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| | 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

| 供給（3箇年平均） | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | － | 平均 | － |
| 2017 | － | | |
| 2018 | － | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － | | |
| ⑥稼働率 | － | | |

| 財務（3箇年平均） | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 9,686 |

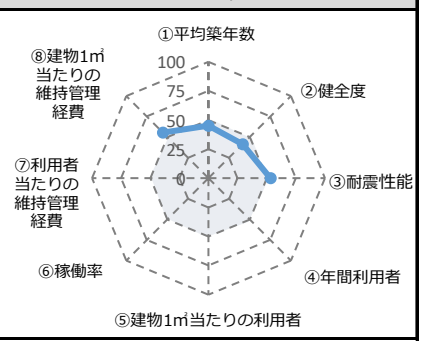
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給･財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 46.63 | 縦軸 | 機能の評価 | 55.40 |

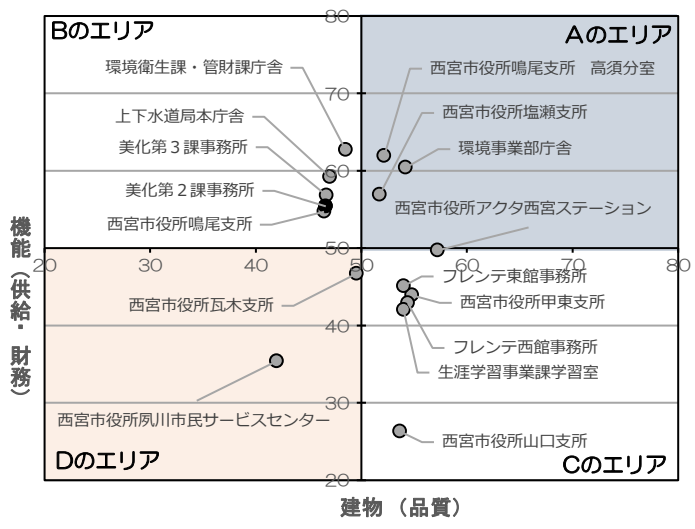
【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 45.2 |
| | ②健全度 | 41.5 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | － |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － |
| | ⑥稼働率 | － |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 55.4 |

レーダーチャート




行政施設 庁舎・支所等




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 一般廃棄物の収集運搬に係る事務所として活用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第６条の２により、市はその区域内における一般廃棄物を生活環境の保全上支障が生じないうちに収集運搬することが義務付けられている。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | ― | 市民利用のない施設であるため該当しない。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | ― | 市民利用のない施設であるため該当しない。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | これ以上民間委託を進めることは困難であるため民間施設への代替えは不可能であるが、他の公共施設との統廃合は可能であると考える。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 本市及び周辺自治体においても、一般廃棄物収集運搬施設の指定管理の実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項なし | まちづくりの観点から特筆すべき事項はない。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | ａ．現状維持 | － | 一般廃棄物の収集運搬機能を維持する必要があることから、現状維持とする。 |
| 建物 | イ．改修･改築 | － | 令和14年度までに築50年以上が経過し、老朽化が進むため、施設の長寿命化や他施設との集約化に向けた検討を行う。 |

| 施設番号　施設名称 | 08124　美化第３課事務所 | 所在地 | 西宮浜３丁目3 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 行政施設 | 施設分類（中分類） | 庁舎･支所等 |
| 所管課 | 美化第３課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報　劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 1,908 | | | | | | A | B | D |
| 001 庁舎 | 1,908 | 1989 | 30 | C | D | C | | | |

## 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 30 | | | | | |
| ②健全度 | 41 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| | 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

## 供給（3箇年平均）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | － | 平均 | － |
| 2017 | － | | |
| 2018 | － | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － | | |
| ⑥稼働率 | － | | |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 8,783 |

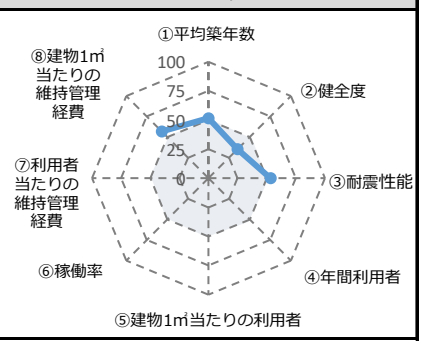
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給･財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 46.70 | 縦軸 | 機能の評価 | 56.80 |

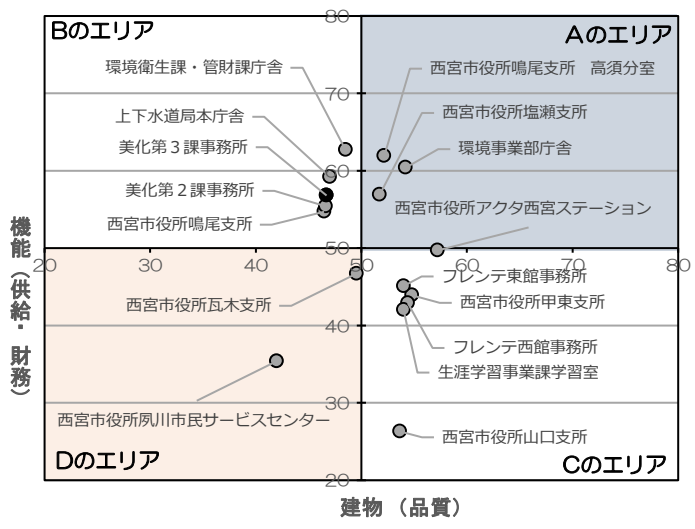
【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 51.6 |
| | ②健全度 | 35.3 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | － |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － |
| | ⑥稼働率 | － |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 56.8 |

レーダーチャート




行政施設 庁舎・支所等




| 備　考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 一般廃棄物の収集運搬及び水路清掃等に係る事務所として活用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第６条の２により、市はその区域内における一般廃棄物を生活環境の保全上支障が生じないうちに収集運搬することが義務付けられている。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | ― | 市民利用のない施設であるため該当しない。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | ― | 市民利用のない施設であるため該当しない。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | これ以上民間委託を進めることは困難であるため民間施設への代替えは不可能であるが、他の公共施設との統廃合は可能であると考える。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 本市及び周辺自治体においても、一般廃棄物収集運搬施設の指定管理の実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項なし | まちづくりの観点から特筆すべき事項はない。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 一般廃棄物の収集運搬機能を維持する必要があることから、現状維持とする。 |
| 建物 | ア．現状維持 | － | 築30年以上が経過しており、今後、老朽化が進んでいくため、外壁の修繕等、適切な維持管理を行う必要がある。 |

| 施設番号　施設名称 | 08125　環境衛生課・管財課庁舎 | 所在地 | 西宮浜３丁目4 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 行政施設 | 施設分類（中分類） | 庁舎・支所等 |
| 所管課 | 環境衛生課・管財課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報

### 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 3,905 | | | | | | B | B | D |
| 001 庁舎 | 1,465 | 1988 | 31 | C | D | C | | | |
| 013 車庫 | 1,248 | 1988 | 31 | B | D | A | | | |
| 013 車庫 | 380 | 1988 | 31 | B | B | A | | | |
| 007 作業所 | 450 | 1988 | 31 | B | A | A | | | |
| 013 車庫 | 273 | 1988 | 31 | B | B | A | | | |
| 077 配電室・電気室 | 73 | 1988 | 31 | | | | | | |
| 009 倉庫 | 16 | 1988 | 31 | | | | | | |

### 品質

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 31 | | | | |
| ②健全度 | 51 | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | |
| 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

### 供給（3箇年平均）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | － | 平均 | － |
| 2017 | － | | |
| 2018 | － | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － | | |
| ⑥稼働率 | － | | |

### 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 4,998 |

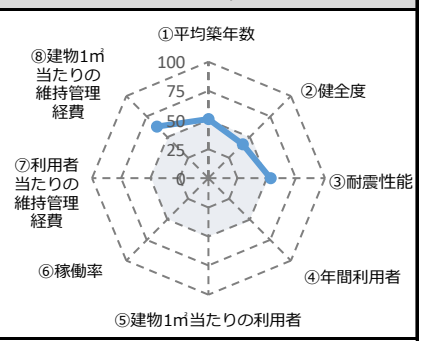
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 48.50 | 縦軸 | 機能の評価 | 62.70 |

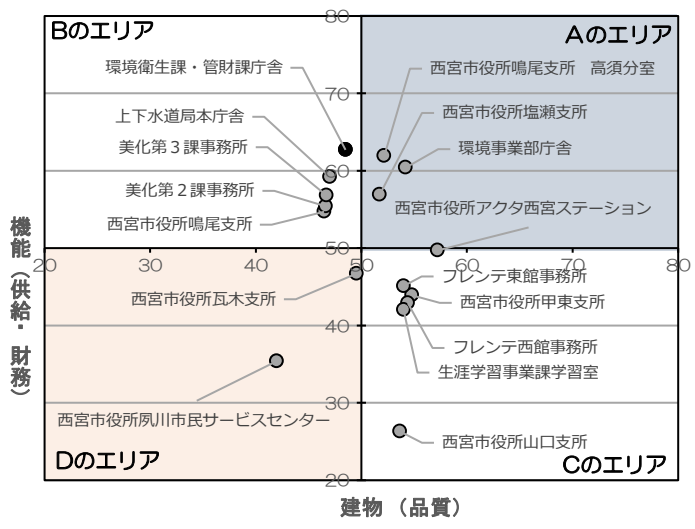
【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 50.8 |
| | ②健全度 | 41.5 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | － |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － |
| | ⑥稼働率 | － |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 62.7 |

レーダーチャート




行政施設 庁舎・支所等




| 備　考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 業務遂行(害虫駆除業務や消毒作業等)の拠点として使用されており、設置目的に即している。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 法律や条例に基づくものではなく、任意に設置している。（消防法に基づく危険物倉庫や労働安全衛生法に基づく快適職場指針に示されている洗身設備を有している。） |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | ― | 市民利用の無い施設であるため該当しない。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | ― | 市民利用の無い施設であるため該当しない。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 周辺への安全等を確保しながら業務が効率的・効果的に実施可能となるように機能整備されており、代替え施設では困難である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 当施設は、公の施設ではなく行政の事務所に該当し、指定管理者制度の対象外と認識している。また、民間による管理運営の実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項なし | まちづくりの観点から特筆すべき事項はない。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 津波避難ビルの指定を受けている。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 環境衛生課の業務遂行の拠点として役割は重要であり、施設が有する機能を現状のまま維持していく。 |
| 建物 | ア．現状維持 | － | 築31年以上が経過していることもあり、補修等により施設の老朽化に対応しつつ現状維持を図っていく。 |

| 施設番号 施設名称 | 08126 環境事業部庁舎 | 所在地 | 西宮浜３丁目8 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 行政施設 | 施設分類（中分類） | 庁舎･支所等 |
| 所管課 | 美化企画課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報 — 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 4,619 | | | | | | B | B | B |
| 001 庁舎 | 4,284 | 2000 | 19 | B | C | C | | | |
| 009 倉庫 | 226 | 2000 | 19 | | | | | | |
| 075 機械室 | 23 | 2000 | 19 | | | | | | |
| 011 自転車置場･単車置場 | 85 | 2000 | 19 | | | | | | |

## 品質

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 19 | | | | |
| ②健全度 | 63 | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | |
| 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

## 供給（3箇年平均）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | － | 平均 | － |
| 2017 | － | | |
| 2018 | － | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － | | |
| ⑥稼働率 | － | | |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 6,504 |

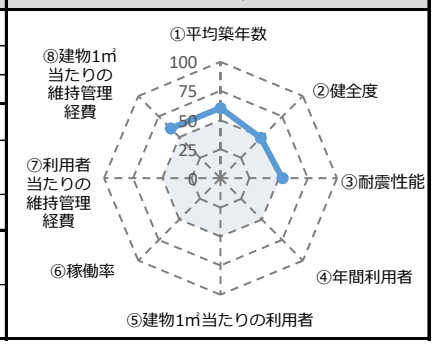
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給･財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 54.20 | 縦軸 | 機能の評価 | 60.40 |

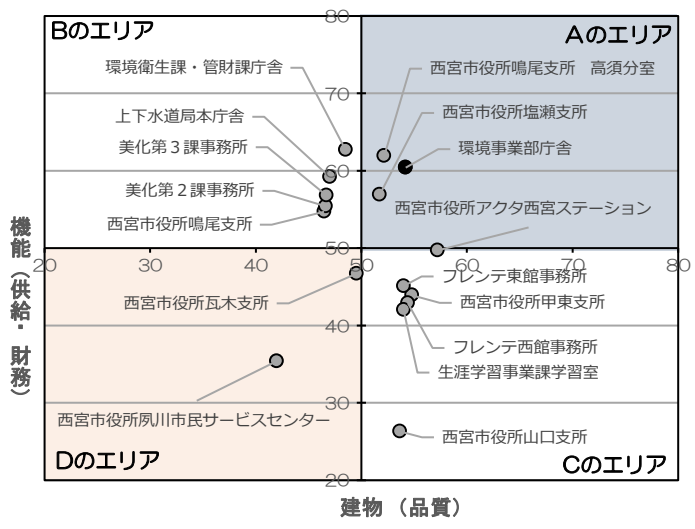
【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 60.4 |
| | ②健全度 | 49 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | － |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － |
| | ⑥稼働率 | － |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 60.4 |

レーダーチャート




行政施設 庁舎・支所等




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 一般廃棄物の収集運搬に係る事務所として活用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第６条の２により、市はその区域内における一般廃棄物を生活環境の保全上支障が生じないうちに収集運搬することが義務付けられている。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | ― | 市民利用のない施設であるため該当しない。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | ― | 市民利用のない施設であるため該当しない。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | これ以上民間委託を進めることは困難であるため民間施設への代替えは不可能であるが、他の公共施設との統廃合は可能であると考える。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 本市及び周辺自治体においても、一般廃棄物収集運搬施設の指定管理の実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項なし | まちづくりの観点から特筆すべき事項はない。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 一般廃棄物の収集運搬機能を維持する必要があることから、現状維持とする。 |
| 建物 | ア．現状維持 | － | 築19年以上が経過しており、設備等の部分的な改修工事が必要である。 |

| 施設番号 施設名称 | 08127 上下水道局本庁舎 | 所在地 | 池田町8-11 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 行政施設 | 施設分類（中分類） | 庁舎・支所等 |
| 所管課 | 契約担当課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報

### 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 4,793 | | | | | | D | D | D |
| 上下水道局本庁舎 | 4,793 | 1987 | 32 | B | B | D | | | |

### 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 32 | | | | | |
| ②健全度 | 45 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| | 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

### 供給（3箇年平均）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | － | 平均 | － |
| 2017 | － | | |
| 2018 | － | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － | | |
| ⑥稼働率 | － | | |

### 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 7,243 |

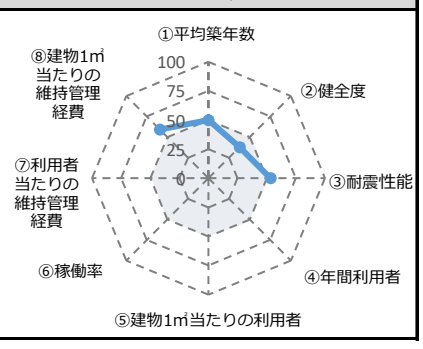
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 47.00 | 縦軸 | 機能の評価 | 59.20 |

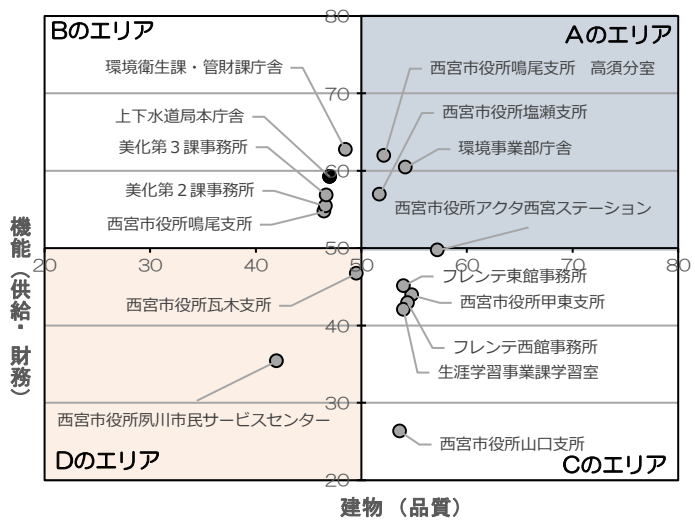
【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 50 |
| | ②健全度 | 37.8 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | － |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － |
| | ⑥稼働率 | － |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 59.2 |

レーダーチャート




行政施設 庁舎・支所等




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 庁舎の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 地方公営企業法の規定に基づき、西宮市水道事業、工業用水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例により設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 来局者数を把握できない施設であるが、今後も同程度の利用が見込まれる。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 全市的 | 上下水道局には浄水場や下水浄化センターはあるが、事務所としては類似施設がなく、市域全域の人が利用している。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 上下水道局は、同様の機能を有した民間施設はなく代替が不可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 不明 | 本市及び周辺自治体の実績については把握していない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項なし | まちづくりの観点から特筆すべき事項はない。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 津波避難ビルとして指定されている。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | b．見直し | イ．集約化 | 本庁舎周辺公共施設の再整備に合わせて庁舎機能の再編・集約化を進める。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | － | 市長事務部局に移管し、庁舎（保健所等）として暫定利用したのちに新保健所施設整備後は新貸館等施設に転用する。 |

| 施設番号 施設名称 | 08129 フレンテ東館事務所 | 所在地 | 池田町11-1 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 行政施設 | 施設分類（中分類） | 庁舎・支所等 |
| 所管課 | 庁舎管理課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 民間複合3 |

## 基礎情報 — 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 259 | | | | | | C | A | C |
| 005 事務所 | 259 | 1993 | 26 | 民複 | 民複 | 民複 | | | |

| 品質 | |
|---|---|
| ①平均築年数 | 26 |
| ②健全度 | – |
| ③耐震性能 | 100 |
| 基準 新 診断 – 補強 | – |

| 供給（3箇年平均） | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | – | 平均 | – |
| 2017 | – | | |
| 2018 | – | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | | | – |
| ⑥稼働率 | | | – |

| 財務（3箇年平均） | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | – |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 16,263 |

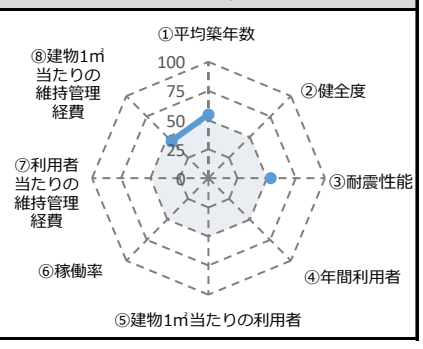
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 54.00 | 縦軸 | 機能の評価 | 45.10 |

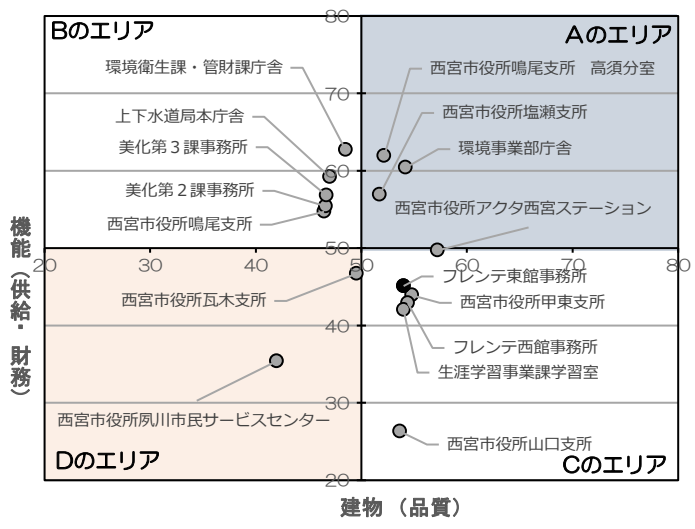
【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 54.8 |
| | ②健全度 | – |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | – |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | – |
| | ⑥稼働率 | – |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | – |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 45.1 |

レーダーチャート




行政施設 庁舎・支所等




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 執務スペースとして利用 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 法律や条例に規定はないが、庁舎の執務室の狭小を緩和するため、執務室として利用してきた。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | — | 庁舎執務室等の利用であるため該当しない。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | — | 庁舎執務室等の利用であるため該当しない。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | 執務室なので事務室の用途に利用できる施設であれば民間施設に代替は可能。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 不明 | 本市及び周辺自治体においても、庁舎施設の指定管理の実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | まちづくりの観点から特筆すべき事項はない。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用の用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | – | 庁舎施設の床面積不足に対応するため、現状通り執務室等として利用する。 |
| 建物 | ア．現状維持 | – | 区分所有の建物であるから、建物全体の管理に従う。 |

| 施設番号　施設名称 | 08130　生涯学習推進課学習室 | 所在地 | 池田町11-1 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 行政施設 | 施設分類（中分類） | 庁舎・支所等 |
| 所管課 | 生涯学習事業課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 民間複合3 |

## 基礎情報　劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 373 | | | | | | C | A | C |
| 017 陳列所・展示室 | 373 | 1993 | 26 | 民複 | 民複 | 民複 | | | |

| 品質 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 26 | | | | | |
| ②健全度 | – | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| | 基準 | 新 | 診断 | – | 補強 | – |

| 供給（3箇年平均） | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | 18,781 | 平均 | 18,394 |
| 2017 | 18,485 | | |
| 2018 | 17,916 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 49 | | |
| ⑥稼働率 | – | | |

| 財務（3箇年平均） | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 370 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 18,253 |

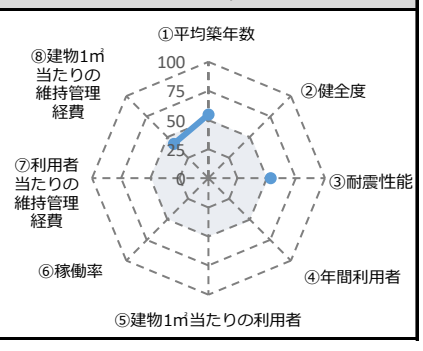
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 54.00 | 縦軸 | 機能の評価 | 42.00 |

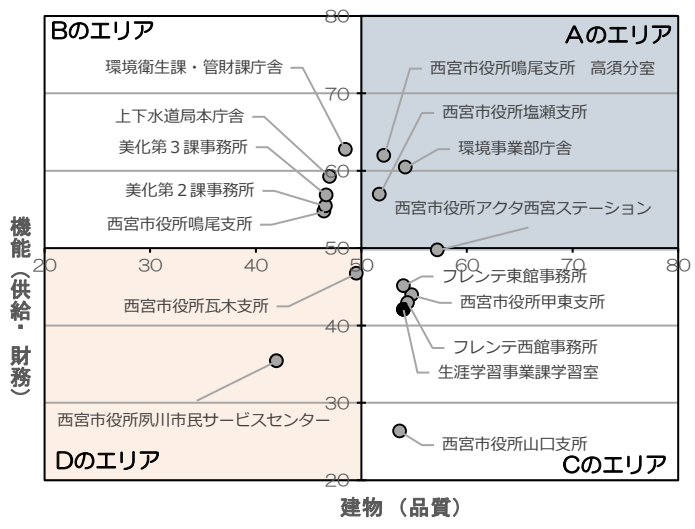
【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 54.8 |
| | ②健全度 | – |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | – |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | – |
| | ⑥稼働率 | – |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | – |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 42 |

レーダーチャート




行政施設 庁舎・支所等




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 宮水学園の講座及び自主グループ活動等に利用されており、概ね設置目的に即した利用がなされている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 生涯学習事業そのものが、自治事務の中の自主事業であり、法的な義務付け拘束力はない。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 新型コロナウイルス感染拡大防止に伴い、学習室の定員から通常の講座開催は不可能であり、一時的に減少するが、高齢者の学習に対するニーズは高く、今後も同程度の利用が見込まれる。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 全市的 | 受講者は、６０歳以上の市内在住者に限られるが、受講生は全市的地域から参加している。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | 主に高齢者が使用しており、交通アクセス等の利便性が高く、バリアフリー施設である等の同条件の公共施設であれば代替可能。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | これまでのところ、生涯学習事業課（生涯学習推進課）の直営で管理運営を行ってきた。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項なし | ＪＲ西宮駅前再開発ビル内にあり、学習室において実施される事業の講座受講者によって、商業施設の活性化に貢献している。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 主に宮水学園の学習室として利用しているが、同一フロアの国際交流協会の主催事業に一部使用している。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | ａ．現状維持 | – | 高齢者の学習拠点として、宮水学園講座や自主グループの活動に利用されており、利用者も多く、現状維持とする。 |
| 建物 | ア．現状維持 | – | 築26年以上が経過しており、随時改修工事が必要である。 |

| 施設番号 施設名称 | 08201 西宮市消防局 | 所在地 | 池田町13-3 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 行政施設 | 施設分類（中分類） | 消防施設 |
| 所管課 | 企画課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合33 |

## 基礎情報 — 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 2,433 | | | | | | C | A | C |
| 001 庁舎 | 2,374 | 1995 | 24 | B | A | B | | | |
| 011 自転車置場･単車置場 | 26 | 1995 | 24 | | | | | | |
| 011 自転車置場･単車置場 | 34 | 2011 | 8 | | | | | | |

## 品質

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 24 | | | | |
| ②健全度 | 76 | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | |
| 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

## 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | － | 平均 | － |
| 2017 | － | | |
| 2018 | － | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － | | |
| ⑥稼働率 | － | | |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 8,734 |

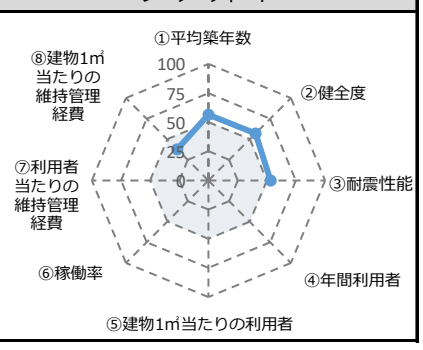
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給･財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 55.57 | 縦軸 | 機能の評価 | 38.00 |

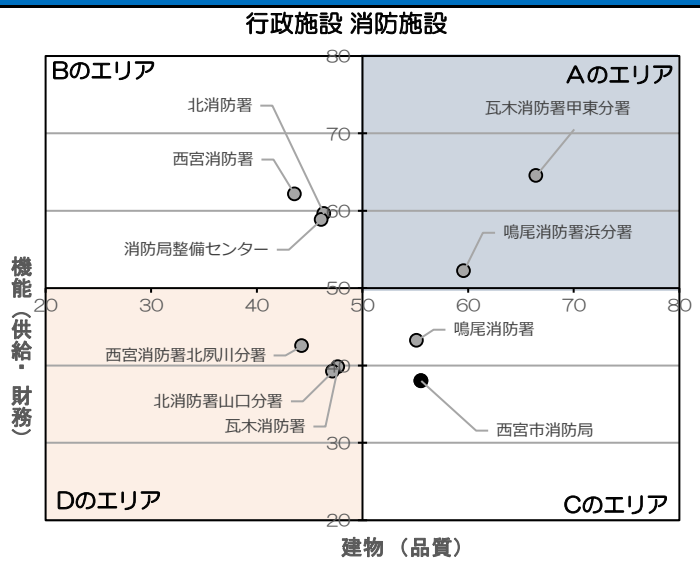
【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 56.4 |
| | ②健全度 | 57.1 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | － |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － |
| | ⑥稼働率 | － |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 38 |

レーダーチャート




行政施設 消防施設




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 本市の消防責任を担っており、市民の生命･身体･財産を災害から守るためには必要な施設である。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 消防組織法第六条及び第九条に設置目的が記載されている施設である。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 来所者数を把握できない施設であるが、今後も同程度の利用が見込まれる。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 全市的 | 消防局の総括的な事務を行っており、市内全域の市民が利用することがある。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 災害発生時の活動拠点であり、消防車両や資機材も保有しているため他の施設の代替利用はできない。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 民間事業者に管理運営を委託することは、有効ではない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 消防は、消防施設を有効活用し、安全で安心して暮らせるまちを形成する役割を担っている。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | b．見直し | イ．集約化 | 令和３年度に第二庁舎に移転済み。 |
| 建物 | イ．改修･改築 | － | 令和3年度の消防局移転後、市長事務部局へ移管し、用途転用や貸付を行う。 |

| 施設番号 施設名称 | 08202 西宮消防署 | 所在地 | 津門大塚町1-38 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 行政施設 | 施設分類（中分類） | 消防施設 |
| 所管課 | 企画課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報 — 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 2,025 | | | | | | 建替 | 建替 | 建替 |
| 001 庁舎 | 1,815 | 1965 | 54 | 建替 | 建替 | 建替 | | | |
| 013 車庫 | 182 | 1984 | 35 | 建替 | 建替 | 建替 | | | |
| 009 倉庫 | 6 | 1990 | 29 | 建替 | 建替 | 建替 | | | |
| 009 倉庫 | 14 | 1990 | 29 | 建替 | 建替 | 建替 | | | |
| 070 滅菌室 | 9 | 1991 | 28 | 建替 | 建替 | 建替 | | | |

### 品質

| | |
|---|---|
| ①平均築年数 | 52 |
| ②健全度 | – |
| ③耐震性能 | 100 |

| 基準 | 旧 | 診断 | 済 | 補強 | 済 |
|---|---|---|---|---|---|

### 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | – | 平均 | – |
| 2017 | – | | |
| 2018 | – | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | | | – |
| ⑥稼働率 | | | – |

### 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | – |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 4,726 |

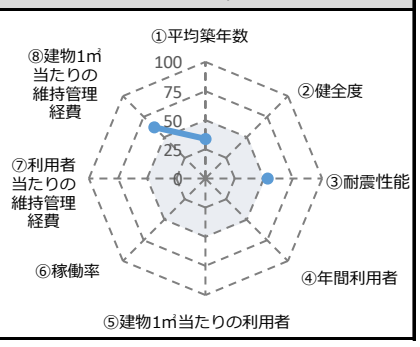
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 43.60 | 縦軸 | 機能の評価 | 62.10 |

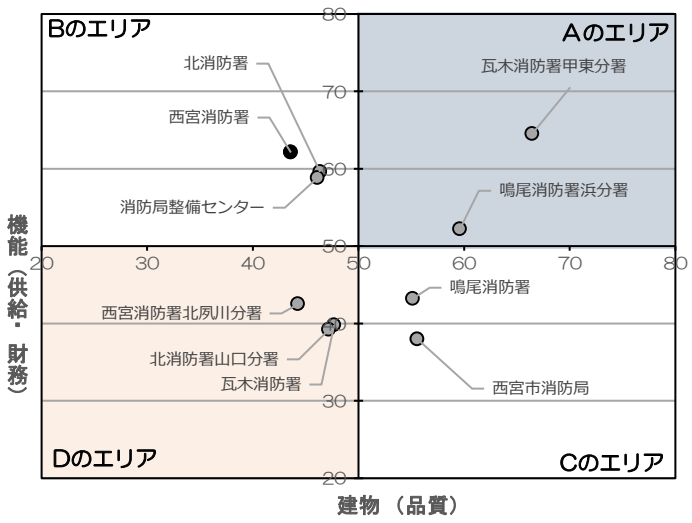
【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 34 |
| | ②健全度 | – |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | – |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | – |
| | ⑥稼働率 | – |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | – |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 62.1 |

レーダーチャート




行政施設 消防施設




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 本市の消防責任を担っており、市民の生命・身体・財産を災害から守るためには必要な施設である。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 消防組織法第六条及び第九条に設置目的が記載されている施設である。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 来所者数を把握できない施設であるが、今後も同程度の利用が見込まれる。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 消防施設は、市内全域に配置しており、各消防署及び分署の管轄区域に居住する市民の利用が多い施設である。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 災害発生時の活動拠点であり、消防車両や資機材も保有しているため他の施設の代替利用はできない。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 民間事業者に管理運営を委託することは、有効ではない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 消防は、消防施設を有効活用し、安全で安心して暮らせるまちを形成する役割を担っている。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | – | 本市の消防責任を果たすためには、不可欠な施設である。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | – | 現庁舎東側に隣接する用地に新庁舎建設後、現庁舎については、令和３～４年度にかけて解体を行う。 |

| 施設番号 施設名称 | 08203 西宮消防署北夙川分署 | 所在地 | 松風町4-4 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 行政施設 | 施設分類（中分類） | 消防施設 |
| 所管課 | 企画課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 614 | | | | | | 無 | C | 無 |
| 001 庁舎 | 568 | 1983 | 36 | C | C | D | | | |
| 011 自転車置場・単車置場 | 18 | 1983 | 36 | | | | | | |
| 009 倉庫 | 11 | 1983 | 36 | | | | | | |
| 009 倉庫 | 3 | 1983 | 36 | | | | | | |
| 073 ポンプ室 | 4 | 1983 | 36 | | | | | | |
| 070 滅菌室 | 9 | 1991 | 28 | | | | | | |

| 品質 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 36 | | | | | |
| ②健全度 | 37 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| | 基準 | 新 | 診断 | – | 補強 | – |

| 供給（3箇年平均） | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | – | 平均 | – |
| 2017 | – | | |
| 2018 | – | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | – | | |
| ⑥稼働率 | – | | |

| 財務（3箇年平均） | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | – |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 7,981 |

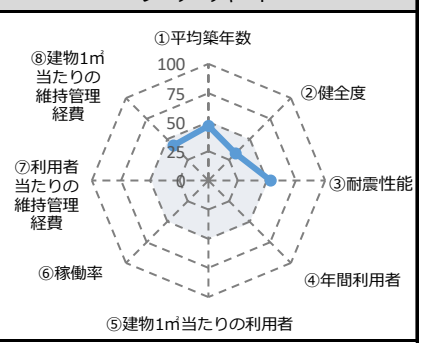
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 44.27 | 縦軸 | 機能の評価 | 42.50 |

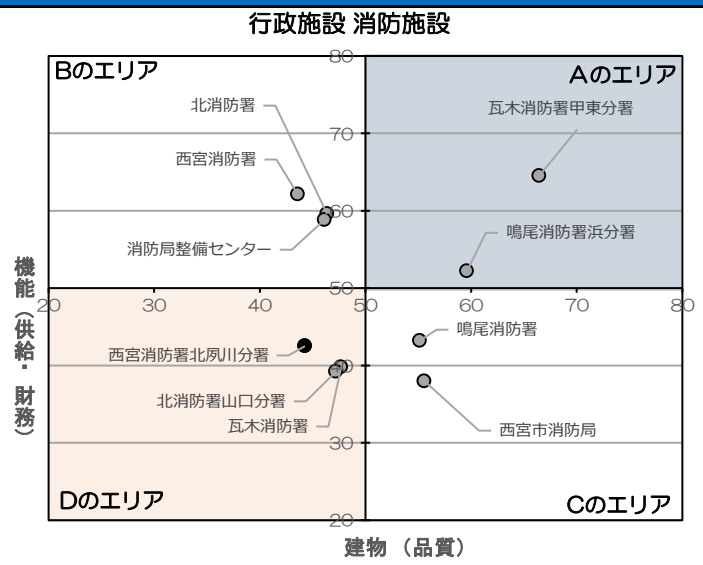
【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 46.8 |
| | ②健全度 | 32.8 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | – |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | – |
| | ⑥稼働率 | – |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | – |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 42.5 |

レーダーチャート




行政施設 消防施設




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 本市の消防責任を担っており、市民の生命・身体・財産を災害から守るためには必要な施設である。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 消防組織法第六条及び第九条に設置目的が記載されている施設である。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 来所者数を把握できない施設であるが、今後も同程度の利用が見込まれる。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 消防施設は、市内全域に配置しており、各消防署及び分署の管轄区域に居住する市民の利用が多い施設である。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 災害発生時の活動拠点であり、消防車両や資機材も保有しているため他の施設の代替利用はできない。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 民間事業者に管理運営を委託することは、有効ではない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 消防は、消防施設を有効活用し、安全で安心して暮らせるまちを形成する役割を担っている。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | – | 本市の消防責任を果たすためには、不可欠な施設である。 |
| 建物 | ア．現状維持 | – | 築36年以上が経過しており、今後、老朽化が進んでいくため、建物及び設備の適切な維持保全が必要である。 |

| 施設番号 施設名称 | 08204 鳴尾消防署 | 所在地 | 古川町2-12 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 行政施設 | 施設分類（中分類） | 消防施設 |
| 所管課 | 企画課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報 — 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 1,207 | | | | | | A | A | 無 |
| 001 庁舎 | 809 | 1979 | 40 | A | C | C | | | |
| 070 滅菌室 | 49 | 1990 | 29 | | | | | | |
| 001 庁舎 | 349 | 2010 | 9 | A | A | B | | | |

## 品質

| | |
|---|---|
| ①平均築年数 | 31 |
| ②健全度 | 83 |
| ③耐震性能 | 100 |

| 基準 | 旧 | 診断 | 済 | 補強 | 済 |
|---|---|---|---|---|---|

## 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | – | 平均 | – |
| 2017 | – | | |
| 2018 | – | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | | | – |
| ⑥稼働率 | | | – |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | – |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 7,876 |

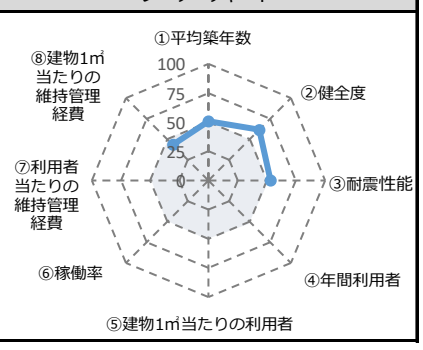
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 55.13 | 縦軸 | 機能の評価 | 43.20 |

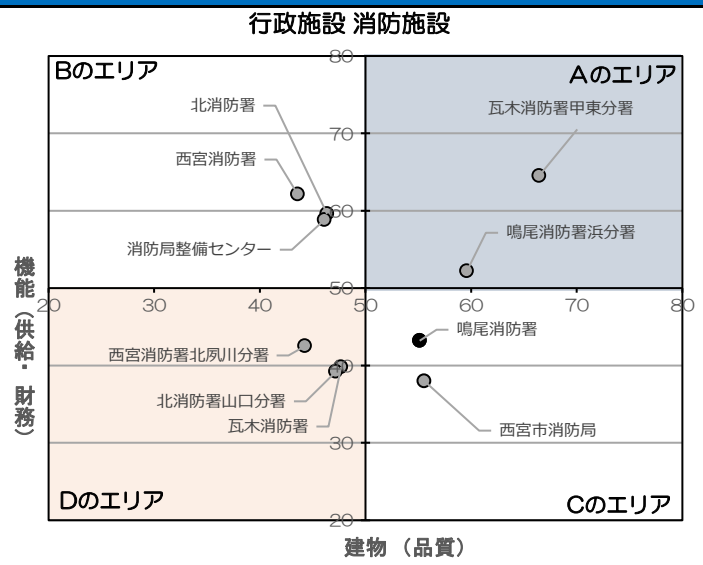
【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 50.8 |
| | ②健全度 | 61.4 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | – |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | – |
| | ⑥稼働率 | – |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | – |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 43.2 |

レーダーチャート




行政施設 消防施設




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 本市の消防責任を担っており、市民の生命・身体・財産を災害から守るためには必要な施設である。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 消防組織法第六条及び第九条に設置目的が記載されている施設である。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 来所者数を把握できない施設であるが、今後も同程度の利用が見込まれる。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 消防施設は、市内全域に配置しており、各消防署及び分署の管轄区域に居住する市民の利用が多い施設である。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 災害発生時の活動拠点であり、消防車両や資機材も保有しているため他の施設の代替利用はできない。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 民間事業者に管理運営を委託することは、有効ではない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 消防は、消防施設を有効活用し、安全で安心して暮らせるまちを形成する役割を担っている。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | – | 本市の消防責任を果たすためには、不可欠な施設である。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | – | 令和14年度までに築50年以上が経過し、老朽化が進むため、施設の長寿命化に向けた検討を行う。 |

| 施設番号 施設名称 | 08205 鳴尾消防署浜分署 | 所在地 | 西宮浜３丁目5 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 行政施設 | 施設分類（中分類） | 消防施設 |
| 所管課 | 企画課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 1,074 | | | | | | C | A | 無 |
| 001 庁舎 | 991 | 1999 | 20 | A | A | B | | | |
| 009 倉庫 | 21 | 1999 | 20 | | | | | | |
| 011 自転車置場・単車置場 | 22 | 1999 | 20 | | | | | | |
| 013 車庫 | 41 | 2013 | 6 | | | | | | |

### 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 19 | | | | | |
| ②健全度 | 89 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| | 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

### 供給（3箇年平均）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | － | 平均 | － |
| 2017 | － | | |
| 2018 | － | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － | | |
| ⑥稼働率 | － | | |

### 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 6,376 |

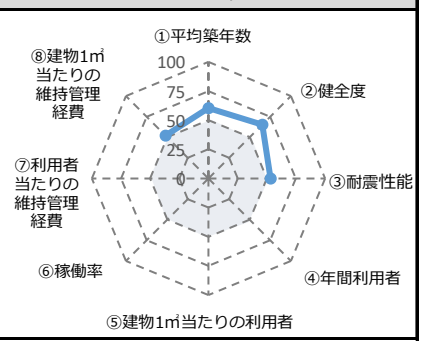
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 59.60 | 縦軸 | 機能の評価 | 52.20 |

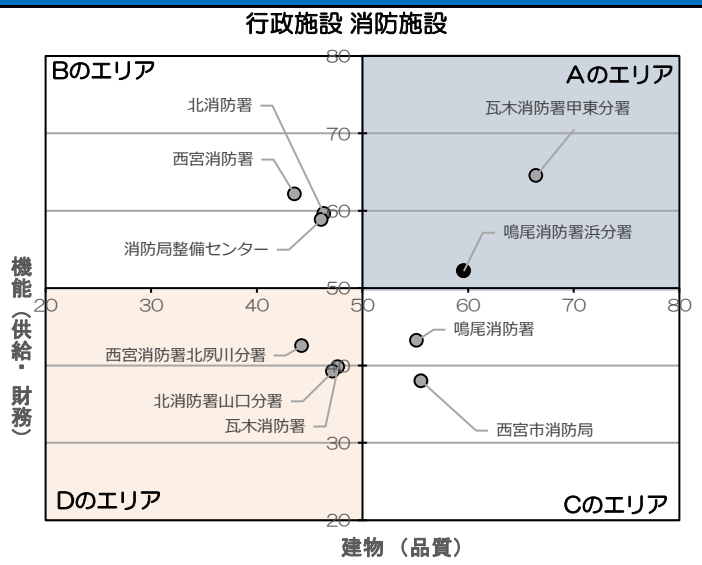
【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 60.4 |
| | ②健全度 | 65.2 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | － |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － |
| | ⑥稼働率 | － |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 52.2 |

レーダーチャート




行政施設 消防施設




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 本市の消防責任を担っており、市民の生命・身体・財産を災害から守るためには必要な施設である。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 消防組織法第六条及び第九条に設置目的が記載されている施設である。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 来所者数を把握できない施設であるが、今後も同程度の利用が見込まれる。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 消防施設は、市内全域に配置しており、各消防署及び分署の管轄区域に居住する市民の利用が多い施設である。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 災害発生時の活動拠点であり、消防車両や資機材も保有しているため他の施設の代替利用はできない。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 民間事業者に管理運営を委託することは、有効ではない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 消防は、消防施設を有効活用し、安全で安心して暮らせるまちを形成する役割を担っている。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 本市の消防責任を果たすためには、不可欠な施設である。 |
| 建物 | ア．現状維持 | － | 大規模な改修工事の予定はないが、施設を修繕しつつ運用する。 |

| 施設番号 施設名称 | 08206 瓦木消防署 | 所在地 | 高木東町15-11 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 行政施設 | 施設分類（中分類） | 消防施設 |
| 所管課 | 企画課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合14 |

## 基礎情報 — 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 1,342 | | | | | | A | D | 無 |
| 001 庁舎 | 1,281 | 1988 | 31 | C | C | B | | | |
| 011 自転車置場･単車置場 | 22 | 1988 | 31 | | | | | | |
| 011 自転車置場･単車置場 | 6 | 1988 | 31 | | | | | | |
| 009 倉庫 | 4 | 1988 | 31 | | | | | | |
| 013 車庫 | 29 | 1996 | 23 | | | | | | |

### 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 31 | | | | | |
| ②健全度 | 47 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| | 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

### 供給（3箇年平均）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | － | 平均 | － |
| 2017 | － | | |
| 2018 | － | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － | | |
| ⑥稼働率 | － | | |

### 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 8,433 |

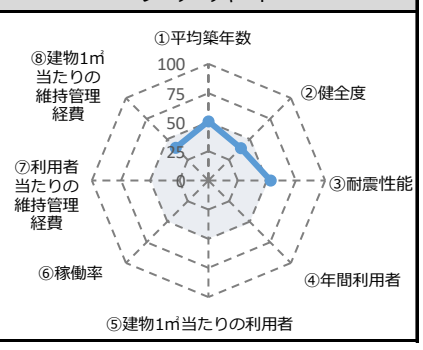
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給･財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 47.70 | 縦軸 | 機能の評価 | 39.80 |

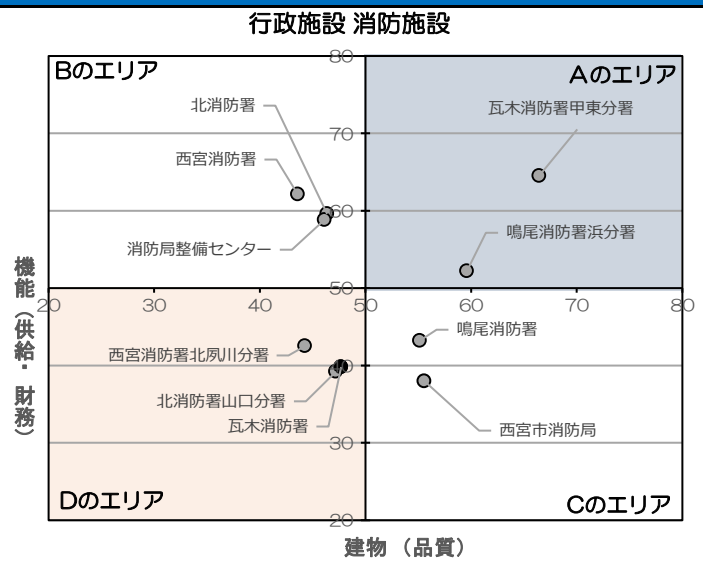
【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 50.8 |
| | ②健全度 | 39.1 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | － |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － |
| | ⑥稼働率 | － |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 39.8 |

レーダーチャート




行政施設 消防施設




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 本市の消防責任を担っており、市民の生命･身体･財産を災害から守るためには必要な施設である。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 消防組織法第六条及び第九条に設置目的が記載されている施設である。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 来所者数を把握できない施設であるが、今後も同程度の利用が見込まれる。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 消防施設は、市内全域に配置しており、各消防署及び分署の管轄区域に居住する市民の利用が多い施設である。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 災害発生時の活動拠点であり、消防車両や資機材も保有しているため他の施設の代替利用はできない。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 民間事業者に管理運営を委託することは、有効ではない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 消防は、消防施設を有効活用し、安全で安心して暮らせるまちを形成する役割を担っている。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 本市の消防責任を果たすためには、不可欠な施設である。 |
| 建物 | ア．現状維持 | － | 大規模な改修工事の予定はないが、施設を修繕しつつ運用する。 |

| 施設番号 施設名称 | 08207 瓦木消防署甲東分署 | 所在地 | 上ケ原一番町1－64 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 行政施設 | 施設分類（中分類） | 消防施設 |
| 所管課 | 企画課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報

### 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 1,298 | | | | | | A | A | A |
| 001 庁舎 | 1,238 | 2017 | 2 | A | A | A | | | |
| 009 倉庫 | 38 | 2017 | 2 | A | A | A | | | |
| 011 自転車置場・単車置場 | 22 | 2017 | 2 | A | A | A | | | |

### 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 2 | | | | | |
| ②健全度 | 100 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| | 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

### 供給（3箇年平均）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | － | 平均 | － |
| 2017 | － | | |
| 2018 | － | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － | | |
| ⑥稼働率 | － | | |

### 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 4,326 |

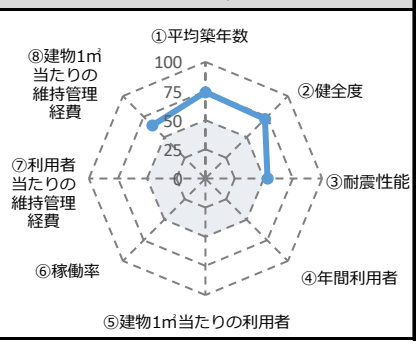
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 66.43 | 縦軸 | 機能の評価 | 64.50 |

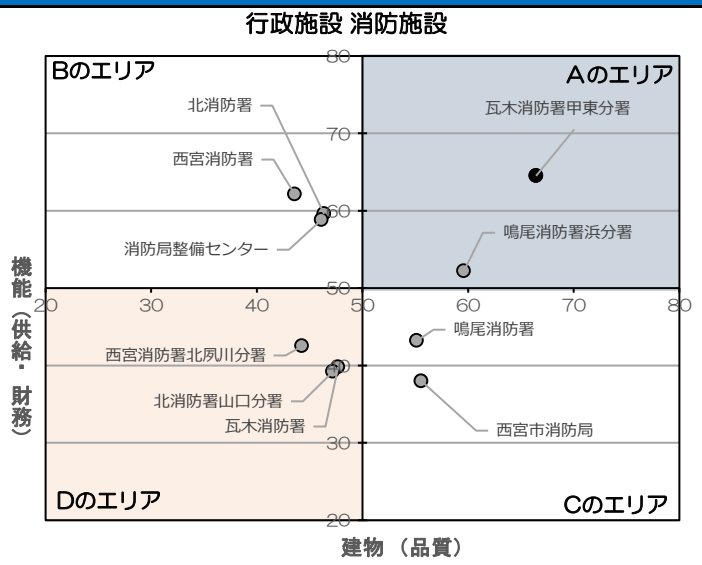
【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 74.1 |
| | ②健全度 | 72 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | － |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － |
| | ⑥稼働率 | － |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 64.5 |

レーダーチャート




行政施設 消防施設




| 備考 | 新築のため劣化状況はA評価 |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 本市の消防責任を担っており、市民の生命・身体・財産を災害から守るためには必要な施設である。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 消防組織法第六条及び第九条に設置目的が記載されている施設である。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 来所者数を把握できない施設であるが、今後も同程度の利用が見込まれる。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 消防施設は、市内全域に配置しており、各消防署及び分署の管轄区域に居住する市民の利用が多い施設である。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 災害発生時の活動拠点であり、消防車両や資機材も保有しているため他の施設の代替利用はできない。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 民間事業者に管理運営を委託することは、有効ではない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 消防は、消防施設を有効活用し、安全で安心して暮らせるまちを形成する役割を担っている。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 本市の消防責任を果たすためには、不可欠な施設である。 |
| 建物 | ア．現状維持 | － | 大規模な改修工事の予定はないが、施設を修繕しつつ運用する。 |

| 施設番号　施設名称 | 08208　北消防署 | 所在地 | 名塩新町7-1 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 行政施設 | 施設分類（中分類） | 消防施設 |
| 所管課 | 企画課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報 ― 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 2,105 | | | | | | A | C | C |
| 001 庁舎 | 2,011 | 1990 | 29 | D | C | D | | | |
| 011 自転車置場・単車置場 | 36 | 1990 | 29 | | | | | | |
| 013 車庫 | 27 | 1996 | 23 | | | | | | |
| 013 車庫 | 31 | 2010 | 9 | | | | | | |

| 品質 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 29 | | | | | |
| ②健全度 | 38 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| | 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

| 供給（3箇年平均） | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | － | 平均 | － |
| 2017 | － | | |
| 2018 | － | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － | | |
| ⑥稼働率 | － | | |

| 財務（3箇年平均） | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 5,145 |

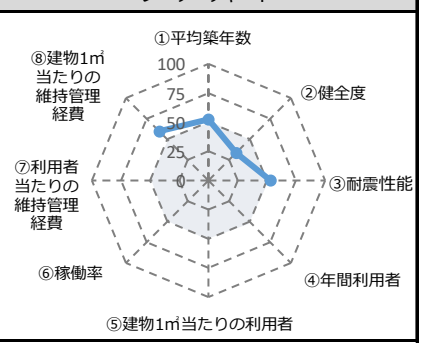
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 46.37 | 縦軸 | 機能の評価 | 59.60 |

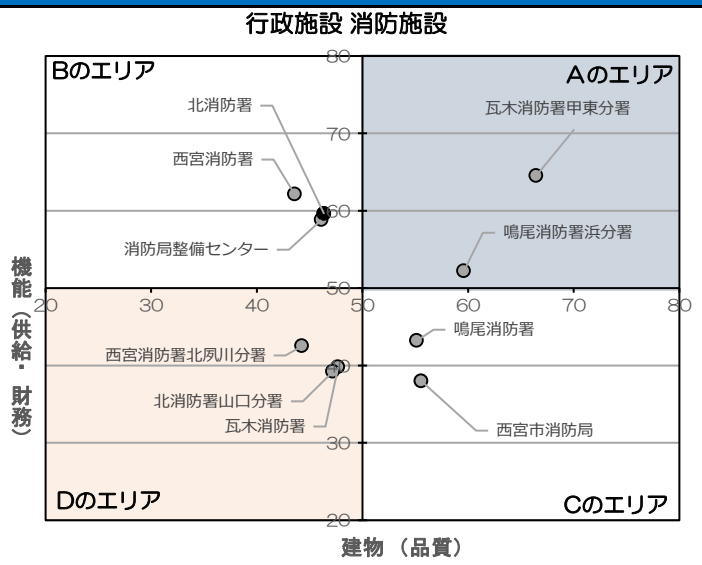
【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 52.4 |
| | ②健全度 | 33.5 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | － |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － |
| | ⑥稼働率 | － |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 59.6 |

レーダーチャート




行政施設 消防施設




| 備　考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 本市の消防責任を担っており、市民の生命・身体・財産を災害から守るためには必要な施設である。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 消防組織法第六条及び第九条に設置目的が記載されている施設である。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 来所者数を把握できない施設であるが、今後も同程度の利用が見込まれる。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 消防施設は、市内全域に配置しており、各消防署及び分署の管轄区域に居住する市民の利用が多い施設である。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 災害発生時の活動拠点であり、消防車両や資機材も保有しているため他の施設の代替利用はできない。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 民間事業者に管理運営を委託することは、有効ではない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 消防は、消防施設を有効活用し、安全で安心して暮らせるまちを形成する役割を担っている。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 本市の消防責任を果たすためには、不可欠な施設である。 |
| 建物 | ア．現状維持 | － | 大規模な改修工事の予定はないが、施設を修繕しつつ運用する。 |

| 施設番号　施設名称 | 08209　北消防署山口分署 | 所在地 | 山口町下山口４丁目1-20 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 行政施設 | 施設分類（中分類） | 消防施設 |
| 所管課 | 企画課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報

### 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 537 | | | | | | 無 | B | 無 |
| 001 庁舎 | 372 | 1984 | 35 | C | C | C | | | |
| 009 倉庫 | 9 | 1984 | 35 | | | | | | |
| 009 倉庫 | 3 | 1984 | 35 | | | | | | |
| 009 倉庫 | 3 | 1984 | 35 | | | | | | |
| 073 ポンプ室 | 5 | 1984 | 35 | | | | | | |
| 011 自転車置場・単車置場 | 5 | 1984 | 35 | | | | | | |
| 001 庁舎 | 106 | 1990 | 29 | C | C | C | | | |
| 013 車庫 | 18 | 2011 | 8 | | | | | | |
| 009 倉庫 | 17 | 2008 | 11 | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

### 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | | | | | | 32 |
| ②健全度 | | | | | | 46 |
| ③耐震性能 | | | | | | 100 |
| | 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

### 供給（3箇年平均）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | － | 平均 | － |
| 2017 | － | | |
| 2018 | － | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | | | － |
| ⑥稼働率 | | | － |

### 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 8,536 |

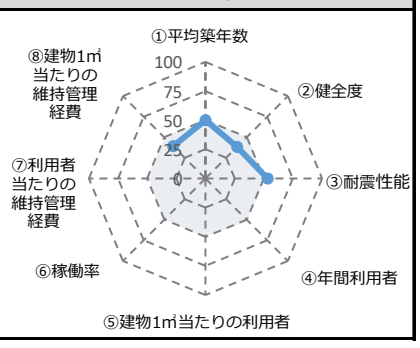
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 47.20 | 縦軸 | 機能の評価 | 39.20 |

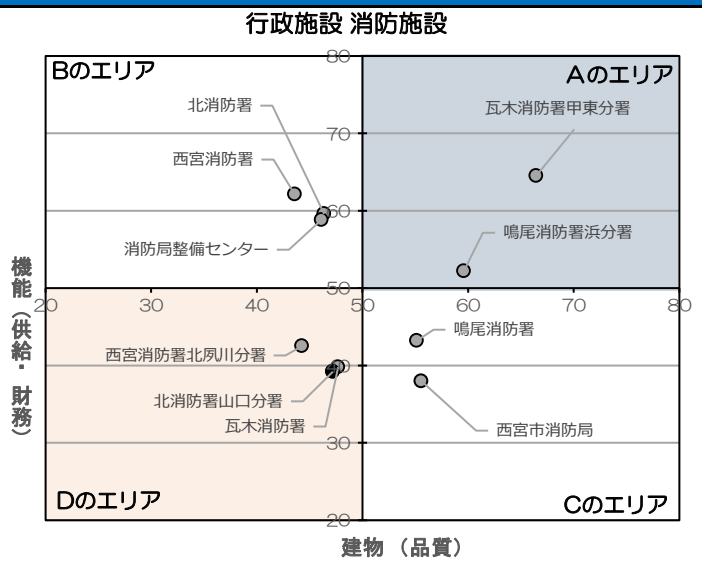
【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 50 |
| | ②健全度 | 38.4 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | － |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － |
| | ⑥稼働率 | － |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 39.2 |

レーダーチャート




行政施設 消防施設




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 本市の消防責任を担っており、市民の生命・身体・財産を災害から守るためには必要な施設である。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 消防組織法第六条及び第九条に設置目的が記載されている施設である。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 来所者数を把握できない施設であるが、今後も同程度の利用が見込まれる。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 消防施設は、市内全域に配置しており、各消防署及び分署の管轄区域に居住する市民の利用が多い施設である。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 災害発生時の活動拠点であり、消防車両や資機材も保有しているため他の施設の代替利用はできない。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 民間事業者に管理運営を委託することは、有効ではない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 消防は、消防施設を有効活用し、安全で安心して暮らせるまちを形成する役割を担っている。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 本市の消防責任を果たすためには、不可欠な施設である。 |
| 建物 | ア．現状維持 | － | 築35年以上が経過しており、今後、老朽化が進んでいくため、建物及び設備の適切な維持保全が必要である。 |

| 施設番号　施設名称 | 08212　消防局整備センター | 所在地 | 西宮浜３丁目5 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 行政施設 | 施設分類（中分類） | 消防施設 |
| 所管課 | 企画課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報　劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 307 | | | | | | 無 | D | 無 |
| 007 作業所 | 273 | 1986 | 33 | D | B | A | | | |
| 013 車庫 | 30 | 1986 | 33 | | | | | | |
| 065 貯蔵所 | 5 | 1986 | 33 | | | | | | |

## 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | | | | | | 33 |
| ②健全度 | | | | | | 42 |
| ③耐震性能 | | | | | | 100 |
| | 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

## 供給（3箇年平均）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | － | 平均 | － |
| 2017 | － | | |
| 2018 | － | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | | | － |
| ⑥稼働率 | | | － |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 5,272 |

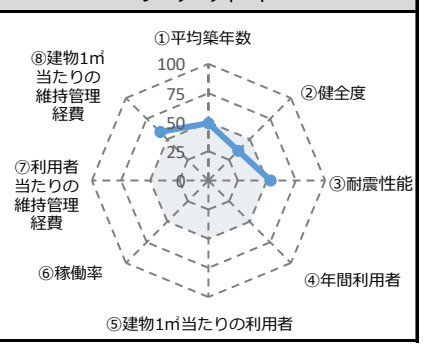
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 46.10 | 縦軸 | 機能の評価 | 58.80 |

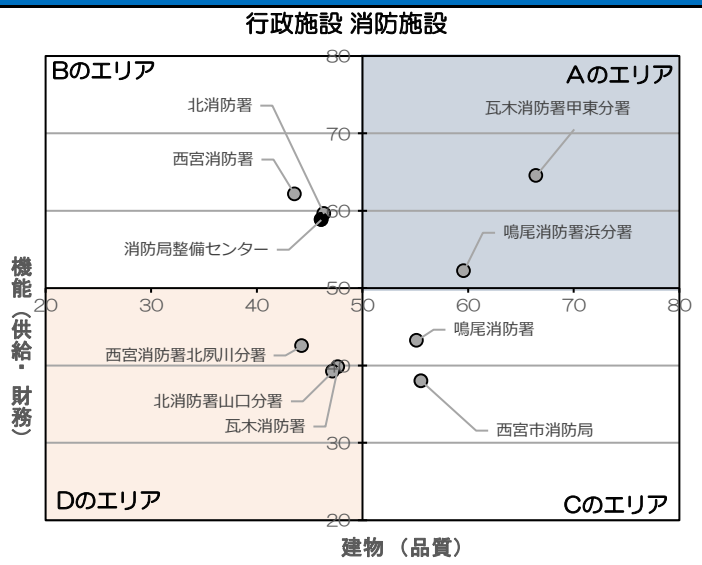
【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 49.2 |
| | ②健全度 | 35.9 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | － |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － |
| | ⑥稼働率 | － |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 58.8 |

レーダーチャート




行政施設 消防施設




| 備　考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 本市の消防責任を担っており、市民の生命・身体・財産を災害から守るためには必要な施設である。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 消防局の事業を推進するために必要な施設である。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | ― | 市民利用のない施設であるため該当しない。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | ― | 市民利用のない施設であるため該当しない。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | 近隣消防本部では、消防局整備センターが担っている消防車両の整備を民間に委託している。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 消防車両の整備については、民間に委託することも可能であるが、消防車両の購入及び修繕、運用管理に至るまで包括的な運用を担っている。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 消防は、消防施設を有効活用し、安全で安心して暮らせるまちを形成する役割を担っている。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 消防局の事業を推進するために必要な施設であるため、継続して施設を存続する。 |
| 建物 | ア．現状維持 | － | 大規模な改修工事の予定はないが、施設を修繕しつつ運用する。 |

| 施設番号 施設名称 | 08301 室川町事務室 | 所在地 | 室川町11 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 行政施設 | 施設分類（中分類） | その他 |
| 所管課 | 庁舎管理課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 99 | | | | | | 無 | C | 無 |
| 001 庁舎 | 99 | 1995 | 24 | A | A | A | | | |

### 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 24 | | | | | |
| ②健全度 | 89 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| | 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

### 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | － | 平均 | － |
| 2017 | － | | |
| 2018 | － | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － | | |
| ⑥稼働率 | － | | |

### 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 1,497 |

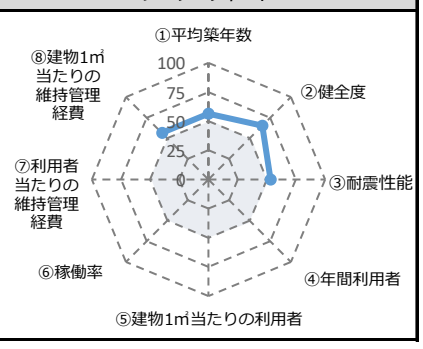
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 58.27 | 縦軸 | 機能の評価 | 56.50 |

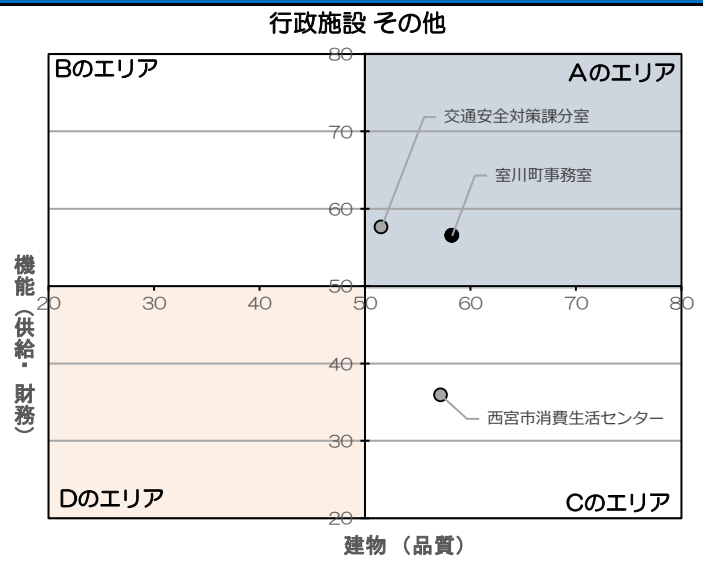
【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 56.4 |
| | ②健全度 | 65.2 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | － |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － |
| | ⑥稼働率 | － |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 56.5 |

レーダーチャート




行政施設 その他




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即していない | 立地条件から、入居する部署が限定される。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 法律や条例の定めはなく、任意に設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | ― | 市民利用施設でないため、該当しない。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | ― | 市民利用施設でないため、該当しない。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不明 | 同様の機能を有した施設の有無について把握していない。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 不明 | 本市及び周辺自治体の実績について、把握していない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項なし | まちづくりの観点から特筆すべき事項はない。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用の用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 庁舎施設の床面積不足に対応するため、現状通り倉庫として利用する。 |
| 建物 | ア．現状維持 | － | 大規模な改修工事は必要ないが、築24年以上が経過しており、部分的な修繕が必要である。 |

| 施設番号　施設名称 | 08302　交通安全対策課分室 | 所在地 | 津田町3-43 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 行政施設 | 施設分類（中分類） | その他 |
| 所管課 | 交通安全対策課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報

### 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 123 | | | | | | 無 | C | 無 |
| 005 事務所 | 123 | 1994 | 25 | B | C | A | | | |

### 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 25 | | | | | |
| ②健全度 | 58 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| | 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

### 供給（3箇年平均）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | － | 平均 | － |
| 2017 | － | | |
| 2018 | － | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － | | |
| ⑥稼働率 | － | | |

### 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 491 |

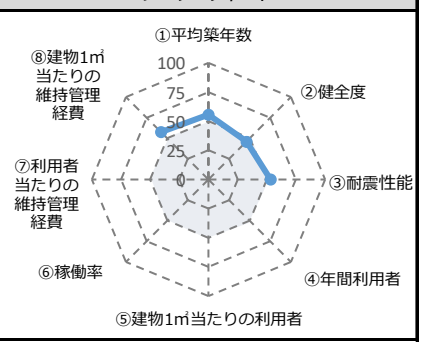
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 51.57 | 縦軸 | 機能の評価 | 57.60 |

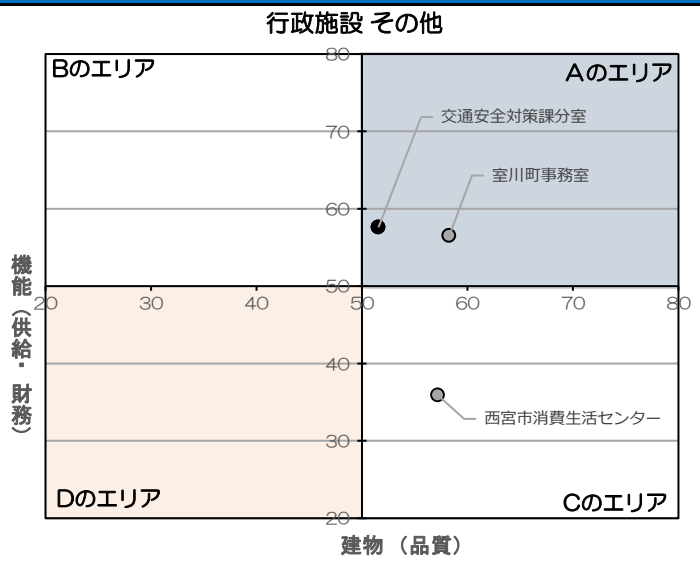
【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 55.6 |
| | ②健全度 | 45.9 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | － |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － |
| | ⑥稼働率 | － |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 57.6 |

レーダーチャート




行政施設 その他




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 交通安全教室に必要な機材等を収納し、教室の事前演習や配布物の袋詰めの作業場としても利用している。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 施設の設置義務にかかる法律や条例の定めは無い。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | ― | 市民利用の無い施設であるため該当しない |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | ― | 市民利用の無い施設であるため該当しない。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 可能 | 現在のスペースを維持し代替えは可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 不明 | 面積的にも機能的にも管理運営を委ねるほどの施設ではない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項なし | 特筆すべき事項は無い |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途がない |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 交通安全教室の事業継続が維持されるものと見込まれるため機能についても現状維持としたい。 |
| 建物 | ア．現状維持 | － | 特に劣化している状況にないため現状維持とする。 |

| 施設番号 施設名称 | 08303 西宮市消費生活センター | 所在地 | 北口町1-1 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 行政施設 | 施設分類（中分類） | その他 |
| 所管課 | 消費生活センター | 併設施設（複合施設）の有無 | 民間複合6 |

## 基礎情報 — 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 514 | | | | | | B | B | B |
| 089 その他 | 514 | 2001 | 18 | 民複 | 民複 | 民複 | | | |

## 品質

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 18 | | | | |
| ②健全度 | – | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | |
| 基準 | 新 | 診断 | – | 補強 | – |

## 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 26,828 | 平均 | 20,172 |
| 2017 | 13,516 | | |
| 2018 | – | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 39 | | |
| ⑥稼働率 | 34% | | |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 515 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 20,197 |

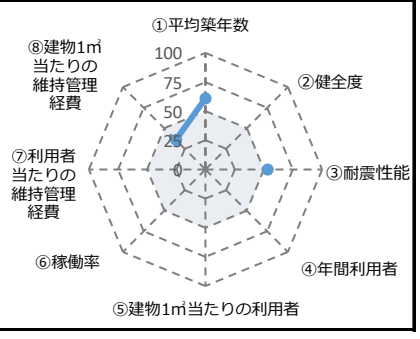
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 57.20 | 縦軸 | 機能の評価 | 35.90 |

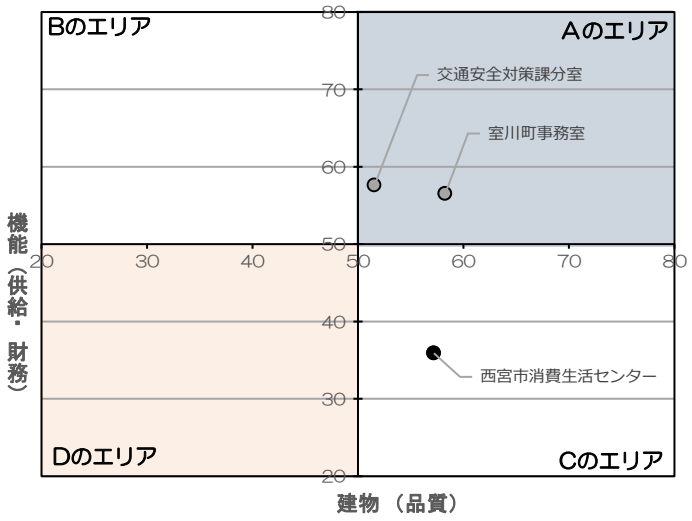
【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 61.2 |
| | ②健全度 | – |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | – |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | – |
| | ⑥稼働率 | – |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | – |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 35.9 |

レーダーチャート




行政施設 その他




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 消費生活センターの設置目的に沿った利用をされている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 消費者安全法の規定（努力義務）に基づき、西宮市消費生活センター条例により設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 改装工事等によりここ数年、多少の増減はあるが、今後も同程度の利用が見込まれる。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 全市的 | 消費生活センターは、類似施設がなく、市域全域の人が利用している。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 消費生活センターは、同様の機能を有した民間施設はなく、代替が不可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 消費者協会等に全部または一部業務を委託している自治体はある。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 本市の消費者教育推進計画において、消費者教育推進の拠点として必要な施設として位置付けられている。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | b．見直し | エ．その他 | 消費生活相談等多くの人が利用している。事務所フロア移転後、学習室・実習室の稼働率が低い傾向にあるが、消費者教育推進の拠点として必要な施設であるため、利用率の改善に向けた検討を行う。 |
| 建物 | ア．現状維持 | – | 民間との複合施設のため、大規模な改修工事等については、建物全体の修繕計画に従う必要がある。 |

| 施設番号 施設名称 | 09101 満池谷墓地 | 所在地 | 神原13-41 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 衛生施設 | 施設分類（中分類） | 墓園等 |
| 所管課 | 斎園管理課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報 — 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 2,315 | | | | | | C | A | C |
| 089 その他 | 2 | 1987 | 32 | | | | | | |
| 013 車庫 | 39 | 1987 | 32 | | | | | | |
| 009 倉庫 | 120 | 1987 | 32 | | | | | | |
| 056 火葬場 | 215 | 1988 | 31 | D | B | B | | | |
| 047 便所 | 20 | 1988 | 31 | | | | | | |
| 056 火葬場 | 271 | 1989 | 30 | D | B | B | | | |
| 005 事務所 | 304 | 1990 | 29 | D | B | B | | | |
| 051 売場 | 65 | 1990 | 29 | | | | | | |
| 057 礼場・斎場 | 311 | 1990 | 29 | | | | | | |
| 057 礼場・斎場 | 632 | 1990 | 29 | B | B | B | | | |
| 051 売場 | 252 | 1990 | 29 | | | | | | |
| 048 休憩所・休憩室 | 84 | 1990 | 29 | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

### 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 30 | | | | | |
| ②健全度 | 59 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| | 基準 | 新 | 診断 | – | 補強 | – |

### 供給（3箇年平均）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | – | 平均 | – |
| 2017 | – | | |
| 2018 | – | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | – | | |
| ⑥稼働率 | 75% | | |

### 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | – |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 17,046 |

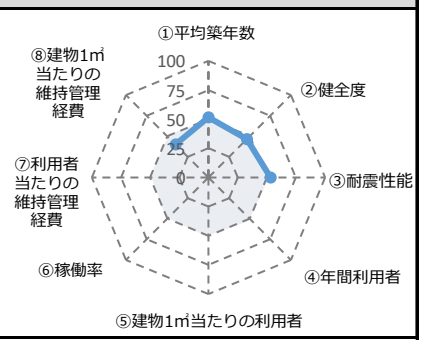
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 50.43 | 縦軸 | 機能の評価 | 40.00 |

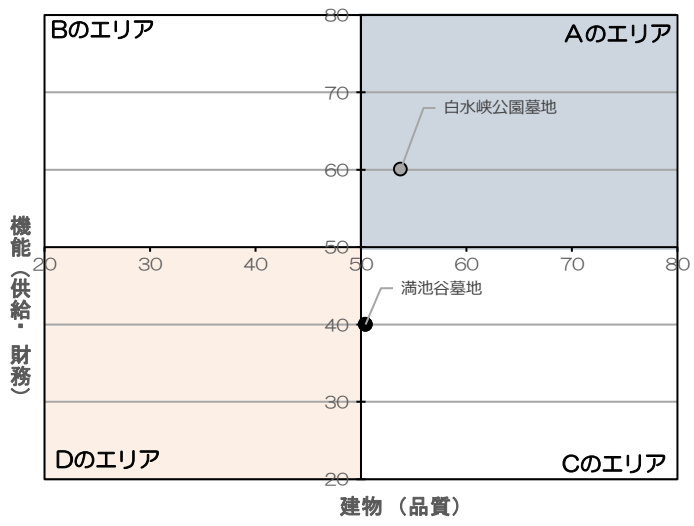
【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 51.6 |
| | ②健全度 | 46.5 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | – |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | – |
| | ⑥稼働率 | – |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | – |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 40 |

レーダーチャート




衛生施設 墓園等




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 墓地、火葬場、斎場(市営葬儀場)の設置目的に沿って利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 墓地及び火葬場は法律により設置が義務付けられている施設であるが、斎場(市営葬儀場)は法律によって義務付けられている施設ではないため、斎場条例に基づき設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 増加する見込み | いわゆる多死社会を迎えるにあたり、亡くなる方が増える見込みのため、今後は利用者の増加が見込まれる。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 全市的 | 墓地、火葬場、斎場(市営葬儀場)は、他に類似施設がなく、市域全域の人が利用している。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 墓地、火葬場、斎場(市営葬儀場)は、他に同様の機能を有した施設がなく代替は不可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 火葬場は五輪・日本管財グループを、斎場は都市整備公社をそれぞれ指定管理者としている。墓地については過去、都市整備公社を指定管理者としていたが、無縁化対策の必要性から直営に戻した。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項なし | まちづくりの観点から特筆すべき事項はない。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | – | 稼働率も高く、多くの人が利用しており、かつ、市民にとって必要不可欠な施設であるため、現状維持とする。 |
| 建物 | ア．現状維持 | – | 大規模な改修工事は必要ないが、築29年以上が経過しており、外壁や設備の部分的な修繕が必要である。 |

| 施設番号 施設名称 | 09103 白水峡公園墓地 | 所在地 | 山口町中野803-1 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 衛生施設 | 施設分類（中分類） | 墓園等 |
| 所管課 | 斎園管理課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報 — 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 620 | | | | | | 無 | D | 無 |
| 005 事務所 | 144 | 1977 | 42 | A | A | C | | | |
| 009 倉庫 | 46 | 1977 | 42 | | | | | | |
| 047 便所 | 35 | 1977 | 42 | | | | | | |
| 047 便所 | 50 | 1987 | 32 | | | | | | |
| 047 便所 | 48 | 1981 | 38 | | | | | | |
| 073 ポンプ室 | 8 | 1990 | 29 | | | | | | |
| 073 ポンプ室 | 4 | 1990 | 29 | | | | | | |
| 048 休憩所・休憩室 | 90 | 1993 | 26 | | | | | | |
| 047 便所 | 38 | 1995 | 24 | | | | | | |
| 051 売場 | 142 | 1991 | 28 | | | | | | |
| 047 便所 | 14 | 2003 | 16 | | | | | | |
| 009 倉庫 | 3 | 2006 | 13 | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

### 品質

| | |
|---|---|
| ①平均築年数 | 33 |
| ②健全度 | 78 |
| ③耐震性能 | – |
| 基準 旧 診断 | – 補強 – |

### 供給（3箇年平均）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | – | 平均 | – |
| 2017 | – | | |
| 2018 | – | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | | | – |
| ⑥稼働率 | | | – |

### 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | – |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 4,142 |

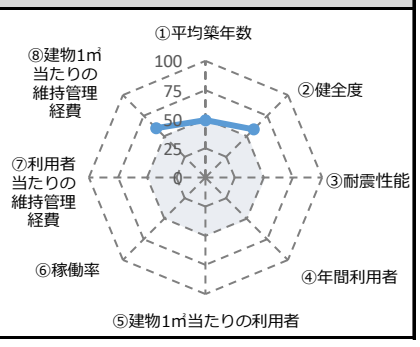
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 53.75 | 縦軸 | 機能の評価 | 60.00 |

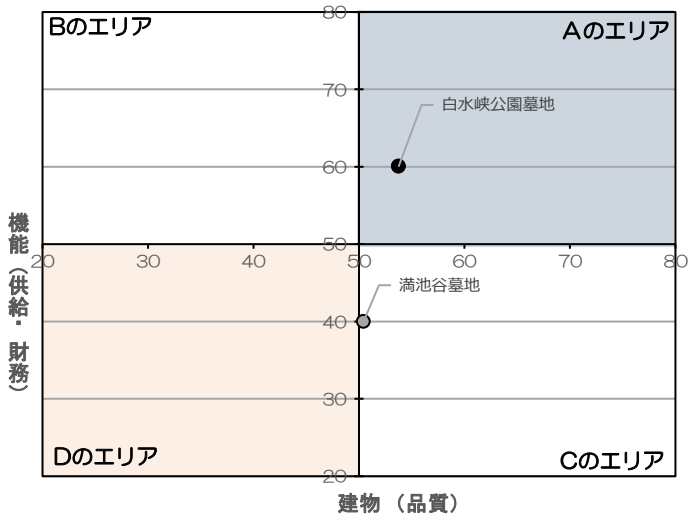
【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 49.2 |
| | ②健全度 | 58.3 |
| | ③耐震性能 | – |
| 供給 | ④年間利用者（人） | – |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | – |
| | ⑥稼働率 | – |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | – |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 60 |

レーダーチャート




衛生施設 墓園等




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| 評価項目 | | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 墓地の設置目的に沿って利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 墓地は、法律によって設置が義務付けられている施設である。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 増加する見込み | 利用者数を把握できない施設であるが、合葬式墓地の新設により利用者の増加が見込まれる。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 全市的 | 白水峡公園墓地以外にも市営墓地はあるが、市域全域の人が利用している。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 市営墓地は、他に同様の機能を有した施設がなく代替は不可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 過去、都市整備公社を指定管理者としていたが、無縁化対策、合葬式墓地の整備等の必要性から直営に戻した。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項なし | まちづくりの観点から特筆すべき事項はない。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | – | 市営墓地施設は市民にとって必要不可欠な施設であるため、現状維持とする。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | – | 大規模な改修工事は必要ないが、築42年以上が経過しており、外壁や設備の部分的な修繕が必要である。<br>合葬式墓地を令和3年度より建設中である。 |

| 施設番号 施設名称 | 09201 西宮市食肉センター | 所在地 | 西宮浜２丁目32-1 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 衛生施設 | 施設分類（中分類） | その他 |
| 所管課 | 産業文化総務課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報 — 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 6,425 | | | | | | A | A | 無 |
| 054 と室 | 6,096 | 1987 | 32 | A | C | C | | | |
| 054 と室 | 50 | 1987 | 32 | – | – | – | | | |
| 013 車庫 | 168 | 1987 | 32 | | | | | | |
| 003 宿直室 | 40 | 1987 | 32 | | | | | | |
| 011 自転車置場・単車置場 | 8 | 1987 | 32 | | | | | | |
| 065 貯蔵所 | 64 | 1992 | 27 | | | | | | |

## 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 32 | | | | | |
| ②健全度 | 77 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| | 基準 | 新 | 診断 | – | 補強 | – |

## 供給（3箇年平均）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | – | 平均 | – |
| 2017 | – | | |
| 2018 | – | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | – | | |
| ⑥稼働率 | – | | |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | – |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 24,123 |

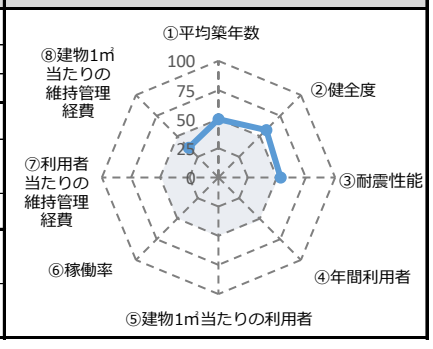
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 53.63 | 縦軸 | 機能の評価 | 36.20 |

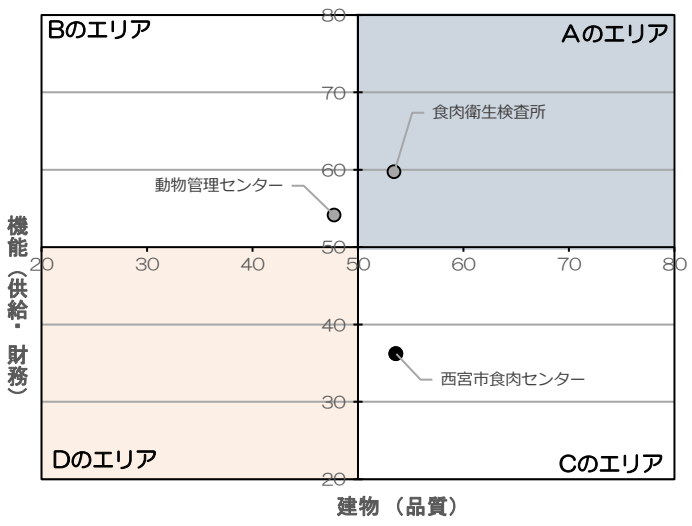
【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 50 |
| | ②健全度 | 57.7 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | – |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | – |
| | ⑥稼働率 | – |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | – |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 36.2 |

レーダーチャート




衛生施設 その他




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | と畜場の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 法律によって義務付けられている施設ではないが、と畜場法第2条おいて食用に供するために行う獣畜の処理の適正の確保のため、西宮市食肉センター条例に基づき設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | — | 市民利用の無い施設であるため該当しない。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | — | 市民利用の無い施設であるため該当しない。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | と畜場施設は食肉流通における不採算部門であるため、民間施設への代替は不可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 株式会社キャンフォラにより指定管理を行っている。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 食肉センターの存在によって、市内には食肉関連企業が集積し、サプライチェーンを構築しているため、市内食肉産業の維持には必要な施設と位置づけている。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 津波避難ビルに指定されている。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | – | 県内の同種他施設と比較しても処理頭数が多いことから、現状維持とする。 |
| 建物 | ア．現状維持 | – | 築32年以上が経過し老朽化は進んでいるものの、外壁や屋上防水等の大規模な改修を完了したため、現状維持とする。 |

| 施設番号 施設名称 | 09202 食肉衛生検査所 | 所在地 | 西宮浜２丁目32-5 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 衛生施設 | 施設分類（中分類） | その他 |
| 所管課 | 食肉衛生検査所 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報 ― 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 220 | | | | | | 無 | A | 無 |
| 005 事務所 | 220 | 1987 | 32 | A | C | B | | | |

| 品質 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 32 | | | | | |
| ②健全度 | 76 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| | 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

| 供給（3箇年平均） | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | － | 平均 | － |
| 2017 | － | | |
| 2018 | － | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － | | |
| ⑥稼働率 | － | | |

| 財務（3箇年平均） | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 8,178 |

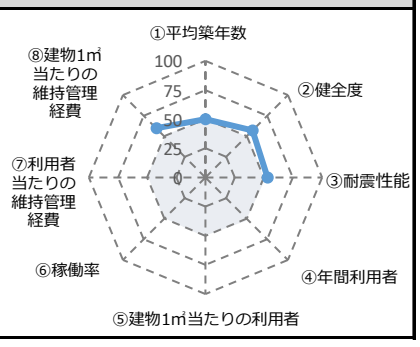
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 53.43 | 縦軸 | 機能の評価 | 59.70 |

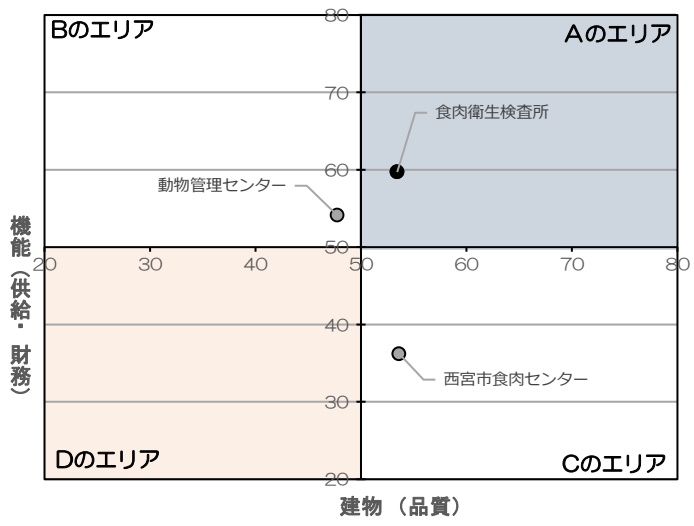
【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 50 |
| | ②健全度 | 57.1 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | － |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － |
| | ⑥稼働率 | － |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 59.7 |

レーダーチャート




衛生施設 その他




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 食肉衛生検査所の設置目的に沿った業務を行っている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 法律により義務付けられている施設ではないが、安全で衛生的な食肉の確保を図るために厚生労働省が定めた食肉衛生検査所整備要綱に基づき設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | ― | 特定の業者の申請窓口としての利用が主であり、市民利用はない。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | ― | 平常は、西宮市食肉センター利用業者の利用に限られるが、市内全域の食鳥処理施設の許認可業務も担っている。市民利用はない。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 類似機能を有する施設がない。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 職員による検査業務が目的の施設であり、近隣自治体においても指定管理の実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項なし | まちづくりの観点から特筆すべき事項はない。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 市民利用を目的としない、各種科学的な精密検査等を実施する施設であり、他に類似機能を有する施設もないことから、現状維持とする。 |
| 建物 | ア．現状維持 | － | 大規模な改修工事は必要がないが、築32年以上が経過しており、外壁や天井、床等の部分的な修繕が必要である。 |

| 施設番号 施設名称 | 09203 動物管理センター | 所在地 | 鳴尾浜２丁目1-4 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 衛生施設 | 施設分類（中分類） | その他 |
| 所管課 | 生活環境課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 劣化状況調査の状況

基礎情報

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 274 | | | | | | 無 | B | 無 |
| 001 庁舎 | 274 | 2003 | 16 | D | D | B | | | |

## 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 16 | | | | | |
| ②健全度 | 28 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| 基準 | 新 | 診断 | – | 補強 | – | |

## 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | – | 平均 | – |
| 2017 | – | | |
| 2018 | – | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | – | | |
| ⑥稼働率 | – | | |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | – |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 12,010 |

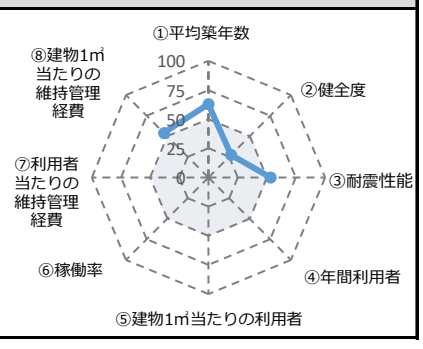
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 47.77 | 縦軸 | 機能の評価 | 54.10 |

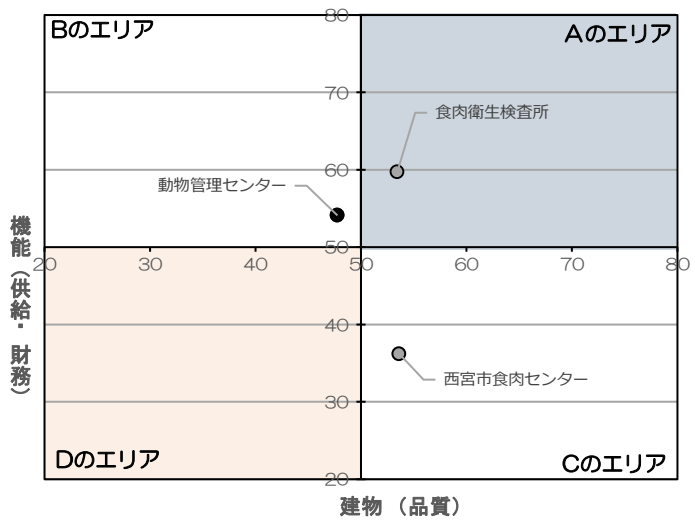
【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 62.9 |
| | ②健全度 | 27.2 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | – |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | – |
| | ⑥稼働率 | – |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | – |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 54.1 |

レーダーチャート




衛生施設 その他




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 動物管理センターの設置目的に沿った事業活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられている | 動物の愛護及び管理に関する法律の規定に基づき、動物愛護管理センターとしての機能を有する施設を設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 増加する見込み | 新たな事業（休日譲渡会、動物管理センター見学会など）の実施により、近年増加傾向にあり、今後も増加が見込まれる。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 全市的 | 類似施設がなく、市域全域の人が利用している。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 動物管理センターは同様の機能を有した民間施設はなく代替が不可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 動物管理センター管理運営に関する業務の一部（動物の飼養管理）を委託している。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 地域防災計画において、災害時における動物救援活動の役割を担う施設である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | – | 同様の機能を有した民間施設はなく代替が不可能であるため、現状維持とする。 |
| 建物 | ア．現状維持 | – | 築16年以上が経過しており、屋根・屋上及び外壁等に著しい劣化が見られる事から、修繕が必要である。 |

| 施設番号　施設名称 | 11101　網引市民館 | 所在地 | 甲子園網引町7-1 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 市民集会施設 | 施設分類（中分類） | 市民館 |
| 所管課 | 地域コミュニティ推進課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報

### 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 237 | | | | | | 無 | B | 無 |
| 033 市民館 | 232 | 1967 | 52 | C | C | B | | | |
| 004 管理人室 | 4 | 1970 | 49 | C | C | B | | | |

### 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 52 | | | | | |
| ②健全度 | 50 | | | | | |
| ③耐震性能 | 0 | | | | | |
| | 基準 | 旧 | 診断 | 済 | 補強 | 未 |

### 供給（3箇年平均）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | 10,815 | 平均 | 10,898 |
| 2017 | 10,802 | | |
| 2018 | 11,076 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 46 | | |
| ⑥稼働率 | 21% | | |

### 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 121 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 5,555 |

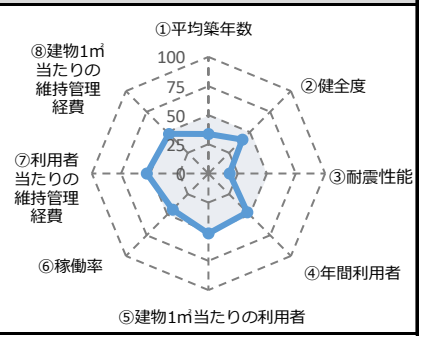
## 一次評価

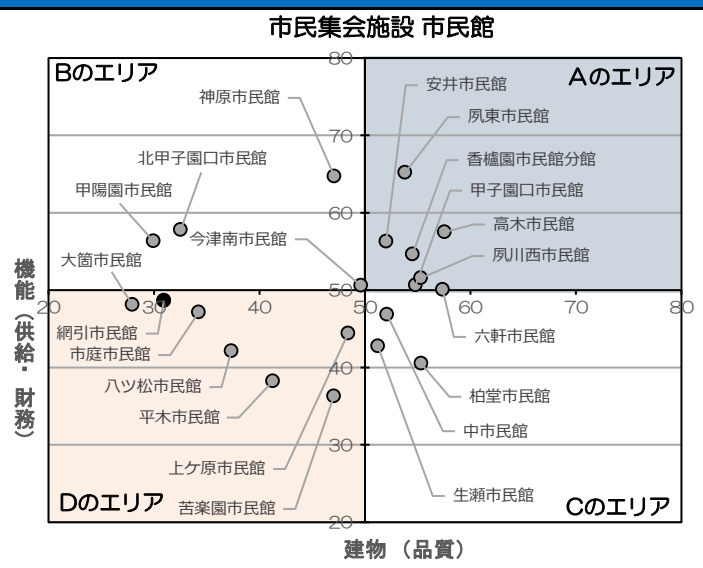
| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 30.93 | 縦軸 | 機能の評価 | 48.64 |

【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 34 |
| | ②健全度 | 40.9 |
| | ③耐震性能 | 17.9 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 47 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 51.5 |
| | ⑥稼働率 | 43.7 |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 52.9 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 48.1 |

レーダーチャート




| 備　考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 市民館の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 法律の定めはなく、西宮市立地区市民館条例により設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | ここ数年、利用者は横ばいで、今後数年間大きな変動はない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、近隣住民の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 地域の公益的な団体の身近な活動拠点として必要である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 地域社会を熟知した地域住民が主体となる運営委員会に指定管理を行わせている。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 住民自治・地域行政の施策において、地域の拠点施設として、活用していく方向である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 避難所に指定されている。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 各種団体の身近な地域の活動の場として必要な施設であるため現状維持とする。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | － | 耐震基準を満たしていないため、施設の改築（建替え）の検討を行う。 |

| 施設番号　施設名称 | 11102　市庭市民館 | 所在地 | 市庭町7-13 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 市民集会施設 | 施設分類（中分類） | 市民館 |
| 所管課 | 地域コミュニティ推進課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 劣化状況調査の状況

基礎情報

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 231 | | | | | | 無 | B | 無 |
| 028 集会所 | 231 | 1970 | 49 | C | B | B | | | |

| 品質 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 49 | | | | | |
| ②健全度 | 62 | | | | | |
| ③耐震性能 | 0 | | | | | |
| 基準 | 旧 | 診断 | 済 | 補強 | 未 | |

| 供給（3箇年平均） | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | 6,578 | 平均 | 7,342 |
| 2017 | 7,622 | | |
| 2018 | 7,826 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 32 | | |
| ⑥稼働率 | 26% | | |

| 財務（3箇年平均） | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 146 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 4,640 |

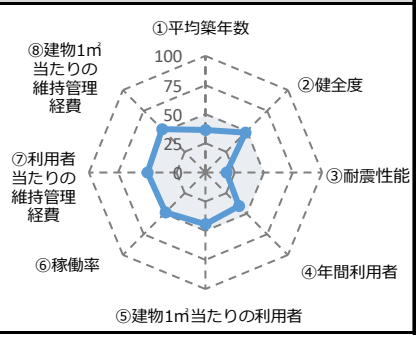
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 34.23 | 縦軸 | 機能の評価 | 47.14 |

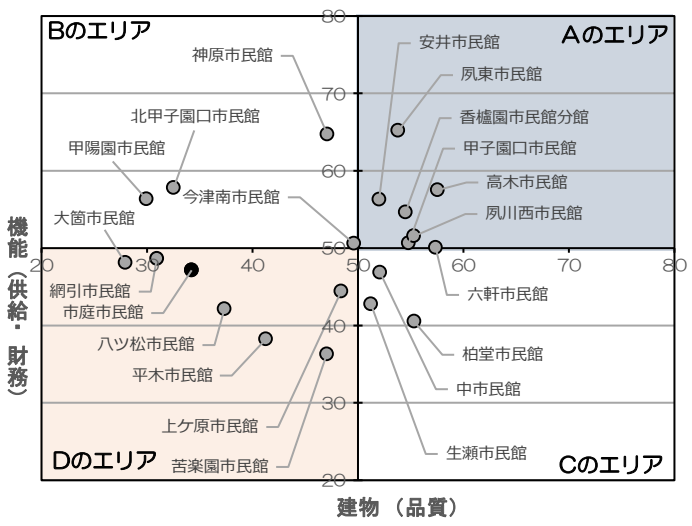
【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 36.4 |
| | ②健全度 | 48.4 |
| | ③耐震性能 | 17.9 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 40.5 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 44.4 |
| | ⑥稼働率 | 48.4 |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 49.8 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 52.6 |

レーダーチャート




市民集会施設 市民館




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| 評価項目 | | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 市民館の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 法律の定めはなく、西宮市立地区市民館条例により任意に設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | ここ数年、利用者は横ばいで、今後数年間大きな変動はない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、近隣住民の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 地域の公益的な団体の身近な活動拠点として必要である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 地域社会を熟知した地域住民が主体となる運営委員会に指定管理を行わせている。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 住民自治・地域行政の施策において、地域の拠点施設として、活用していく方向である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 避難所に指定されている。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 各種団体の身近な地域の活動の場として必要な施設であるため現状維持とする。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | － | 耐震基準を満たしていないため、施設の改築（建替え）の検討を行う。 |

| 施設番号　施設名称 | 11103　今津南市民館 | 所在地 | 今津出在家町10-5 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 市民集会施設 | 施設分類（中分類） | 市民館 |
| 所管課 | 地域コミュニティ推進課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合25 |

## 劣化状況調査の状況

基礎情報

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 621 | | | | | | A | A | 無 |
| 033 市民館 | 621 | 1972 | 47 | C | A | C | | | |

| 品質 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 47 | | | | | |
| ②健全度 | 77 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| | 基準 | 旧 | 診断 | 済 | 補強 | 済 |

| 供給（3箇年平均） | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | 9,904 | 平均 | 7,442 |
| 2017 | 8,979 | | |
| 2018 | 3,442 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 12 | | |
| ⑥稼働率 | 30% | | |

| 財務（3箇年平均） | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 101 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 1,216 |

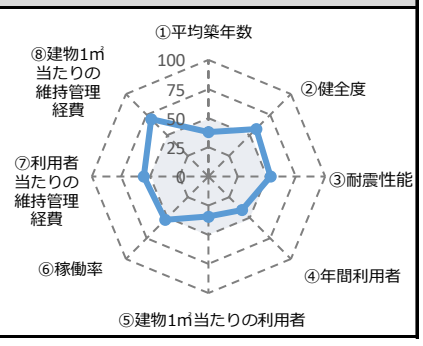
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 49.63 | 縦軸 | 機能の評価 | 50.56 |

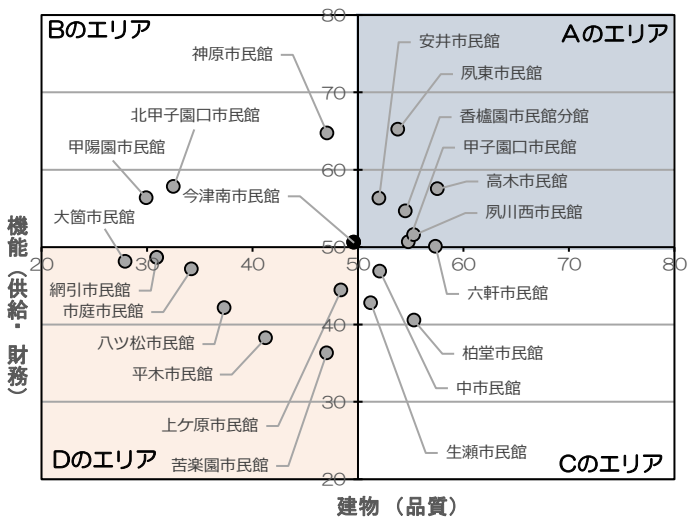
【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 38 |
| | ②健全度 | 57.7 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 40.7 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 34.4 |
| | ⑥稼働率 | 52.6 |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 55.5 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 69.6 |

レーダーチャート




市民集会施設 市民館




| 備　考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 市民館の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 法律の定めはなく、西宮市立地区市民館条例により設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | ここ数年、利用者は横ばいで、今後数年間大きな変動はない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、近隣住民の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 地域の公益的な団体の身近な活動拠点として必要である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 地域社会を熟知した地域住民が主体となる運営委員会に指定管理を行わせている。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 住民自治・地域行政の施策において、地域の拠点施設として、活用していく方向である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 避難所に指定されている。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 各種団体の身近な地域の活動の場として必要な施設であるため現状維持とする。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | － | 令和14年度までに築50年以上が経過し、老朽化が進むため、施設の長寿命化に向けた検討を行う。 |

| 施設番号 施設名称 | 11104 上ケ原市民館 | 所在地 | 上ケ原三番町6-22 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 市民集会施設 | 施設分類（中分類） | 市民館 |
| 所管課 | 地域コミュニティ推進課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合34 |

## 基礎情報

### 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 313 | | | | | | 無 | D | B |
| 033 市民館 | 290 | 1977 | 42 | B | B | C | | | |
| 014 エレベーター棟 | 23 | 2003 | 16 | B | B | C | | | |

### 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 40 | | | | | |
| ②健全度 | 62 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| | 基準 | 旧 | 診断 | 済 | 補強 | 不要 |

### 供給（3箇年平均）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | 11,057 | 平均 | 12,000 |
| 2017 | 12,261 | | |
| 2018 | 12,682 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 38 | | |
| ⑥稼働率 | 15% | | |

### 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 177 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 6,790 |

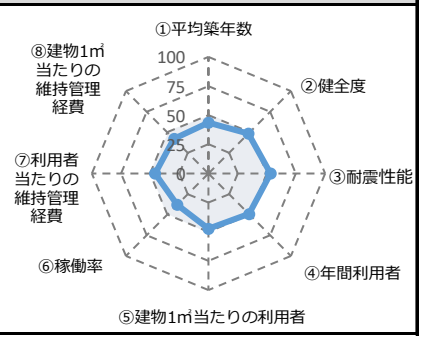
## 一次評価

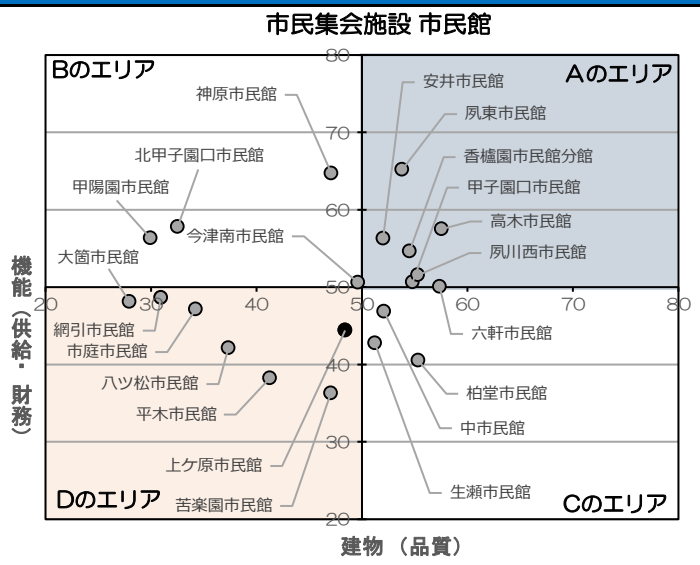
| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 48.40 | 縦軸 | 機能の評価 | 44.40 |

【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 43.6 |
| | ②健全度 | 48.4 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 49.1 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 47.4 |
| | ⑥稼働率 | 37.8 |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 45.8 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 41.9 |

レーダーチャート




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 市民館の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 法律の定めはなく、西宮市立地区市民館条例により設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | ここ数年、利用者は横ばいで、今後数年間大きな変動はない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、近隣住民の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 地域の公益的な団体の身近な活動拠点として必要である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 地域社会を熟知した地域住民が主体となる運営委員会に指定管理を行わせている。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 住民自治・地域行政の施策において、地域の拠点施設として、活用していく方向である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 避難所に指定されている。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 各種団体の身近な地域の活動の場として必要な施設であるため現状維持とする。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | － | 令和14年度までに築50年以上が経過し、老朽化が進むため、施設の長寿命化に向けた検討を行う。 |

| 施設番号　施設名称 | 11105　大箇市民館 | 所在地 | 津門大箇町7-29 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 市民集会施設 | 施設分類（中分類） | 市民館 |
| 所管課 | 地域コミュニティ推進課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報　劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 466 | | | | | | 建替 | 建替 | 建替 |
| 033 市民館 | 281 | 1962 | 57 | 建替 | 建替 | 建替 | | | |
| 004 管理人室 | 8 | 1970 | 49 | 建替 | 建替 | 建替 | | | |
| 033 市民館 | 126 | 1985 | 34 | 建替 | 建替 | 建替 | | | |
| 015 食堂・調理室 | 39 | 1989 | 30 | 建替 | 建替 | 建替 | | | |
| 014 エレベーター棟 | 12 | 2004 | 15 | 建替 | 建替 | 建替 | | | |

### 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 47 | | | | | |
| ②健全度 | – | | | | | |
| ③耐震性能 | 0 | | | | | |
| | 基準 | 旧 | 診断 | 済 | 補強 | 未 |

### 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 15,964 | 平均 | 16,527 |
| 2017 | 17,230 | | |
| 2018 | 16,387 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 35 | | |
| ⑥稼働率 | 18% | | |

### 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 156 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 5,527 |

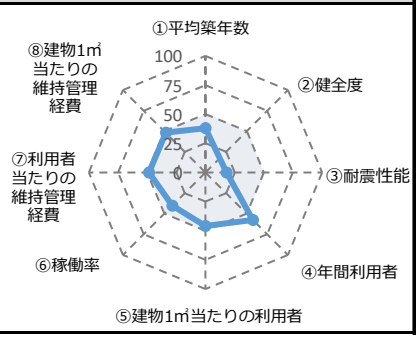
## 一次評価

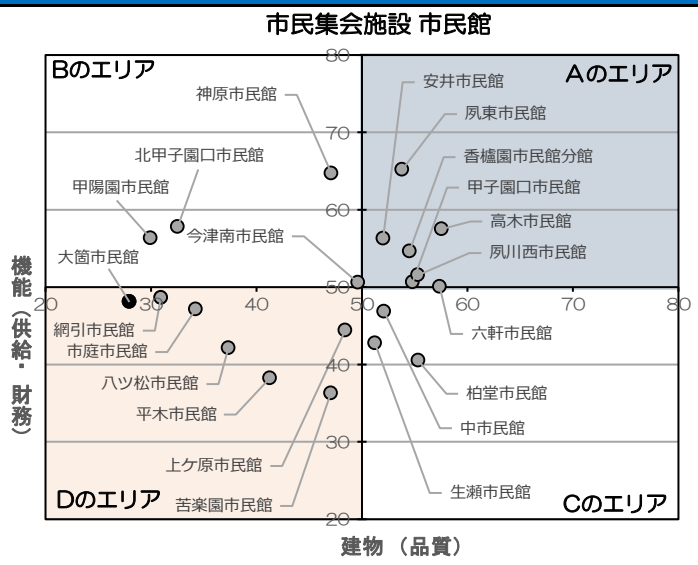
| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 27.95 | 縦軸 | 機能の評価 | 48.08 |

【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 38 |
| | ②健全度 | – |
| | ③耐震性能 | 17.9 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 57.4 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 45.9 |
| | ⑥稼働率 | 40.4 |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 48.5 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 48.2 |

レーダーチャート




| 備　考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 市民館の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 法律の定めはなく、西宮市立地区市民館条例により設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | ここ数年、利用者は横ばいで、今後数年間大きな変動はない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、近隣住民の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 地域の公益的な団体の身近な活動拠点として必要である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 地域社会を熟知した地域住民が主体となる運営委員会に指定管理を行わせている。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 住民自治・地域行政の施策において、地域の拠点施設として、活用していく方向である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 避難所に指定されている。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | – | 各種団体の身近な地域の活動の場として必要な施設であるため現状維持とする。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | – | 耐震基準を満たしていないため、建替え予定。 |

| 施設番号　施設名称 | 11106　柏堂市民館 | 所在地 | 柏堂町13-16 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 市民集会施設 | 施設分類（中分類） | 市民館 |
| 所管課 | 地域コミュニティ推進課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報

### 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 134 | | | | | | 無 | A | 無 |
| 033 市民館 | 134 | 1991 | 28 | B | B | B | | | |

### 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 28 | | | | | |
| ②健全度 | 80 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| | 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

### 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 2,438 | 平均 | 3,327 |
| 2017 | 3,784 | | |
| 2018 | 3,758 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 25 | | |
| ⑥稼働率 | 16% | | |

### 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 216 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 5,373 |

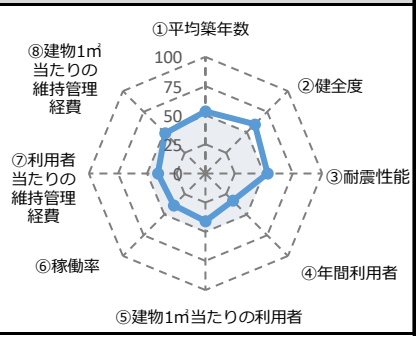
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 55.33 | 縦軸 | 機能の評価 | 40.50 |

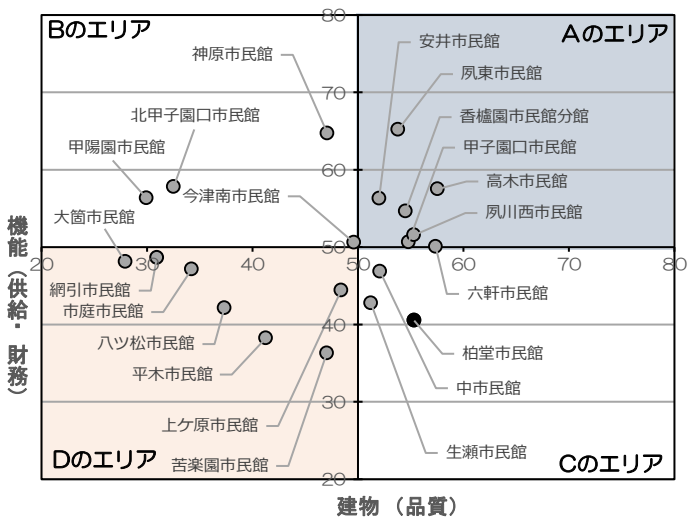
【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 53.2 |
| | ②健全度 | 59.6 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 33.1 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 40.9 |
| | ⑥稼働率 | 38.6 |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 40.9 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 49 |

レーダーチャート




市民集会施設 市民館




| 備　考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 市民館の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 法律の定めはなく、西宮市立地区市民館条例により設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | ここ数年、利用者は横ばいで、今後数年間大きな変動はない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、近隣住民の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 地域の公益的な団体の身近な活動拠点として必要である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 地域社会を熟知した地域住民が主体となる運営委員会に指定管理を行わせている。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 住民自治・地域行政の施策において、地域の拠点施設として、活用していく方向である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 避難所に指定されている。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 各種団体の身近な地域の活動の場として必要な施設であるため現状維持とする。 |
| 建物 | ア．現状維持 | － | 修繕等を行い、施設を現状のまま維持する。 |

| 施設番号 | 施設名称 | 11107 | 神原市民館 | 所在地 | 神原6-11 |
|---|---|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | | 市民集会施設 | | 施設分類（中分類） | 市民館 |
| 所管課 | | 地域コミュニティ推進課 | | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合12 |

## 劣化状況調査の状況

基礎情報

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 319 | | | | | | 無 | A | B |
| 033 市民館 | 309 | 1984 | 35 | C | D | B | | | |
| 014 エレベーター棟 | 10 | 2004 | 15 | C | D | B | | | |

## 品質

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 34 | | | | |
| ②健全度 | 48 | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | |
| 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

## 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 21,985 | 平均 | 20,971 |
| 2017 | 20,964 | | |
| 2018 | 19,965 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 66 | | |
| ⑥稼働率 | 30% | | |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 1 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 65 |

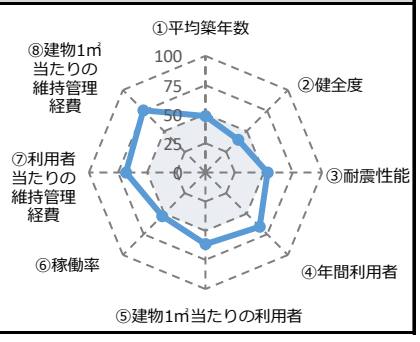
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 47.10 | 縦軸 | 機能の評価 | 64.70 |

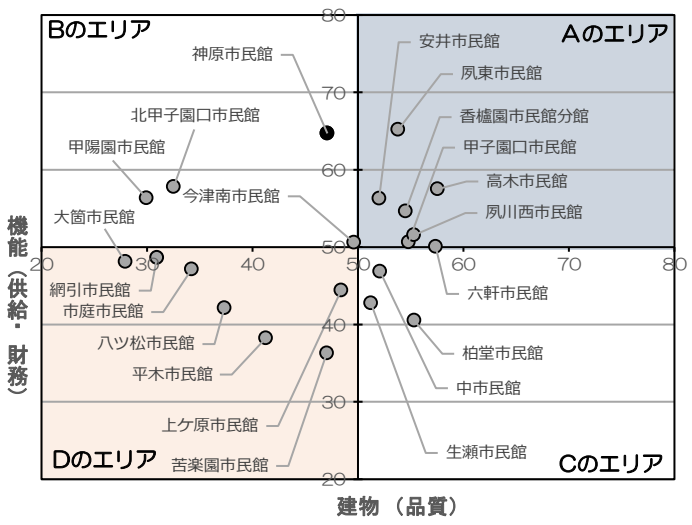
【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 48.4 |
| | ②健全度 | 39.7 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 65.6 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 61.5 |
| | ⑥稼働率 | 52.8 |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 68.2 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 75.4 |

レーダーチャート




市民集会施設 市民館




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 市民館の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 法律の定めはなく、西宮市立地区市民館条例により設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 身近な地域の活動拠点として、利用しやすい施設づくりが課題である。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、近隣住民の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 地域の公益的な団体の身近な活動拠点として必要である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 地域社会を熟知した地域住民が主体となる運営委員会に指定管理を行わせている。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 住民自治・地域行政の施策において、地域の拠点施設として、活用していく方向である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 避難所に指定されている。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 各種団体の身近な地域の活動の場として必要な施設であるため現状維持とする。 |
| 建物 | ア．現状維持 | － | 修繕等を行い、施設を現状のまま維持する。 |

| 施設番号 施設名称 | 11108 北甲子園口市民館 | 所在地 | 松並町5-12 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 市民集会施設 | 施設分類（中分類） | 市民館 |
| 所管課 | 地域コミュニティ推進課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報 — 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 340 | | | | | | 無 | A | 無 |
| 033 市民館 | 185 | 1963 | 56 | D | B | C | | | |
| 004 管理人室 | 10 | 1972 | 47 | – | – | – | | | |
| 033 市民館 | 19 | 1985 | 34 | – | – | – | | | |
| 033 市民館 | 113 | 1985 | 34 | D | B | C | | | |
| 004 管理人室 | 12 | 1985 | 34 | D | B | C | | | |

### 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 46 | | | | | |
| ②健全度 | 50 | | | | | |
| ③耐震性能 | 0 | | | | | |
| | 基準 | 旧 | 診断 | 済 | 補強 | 未 |

### 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 23,935 | 平均 | 22,315 |
| 2017 | 22,612 | | |
| 2018 | 20,397 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 66 | | |
| ⑥稼働率 | 31% | | |

### 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 84 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 5,507 |

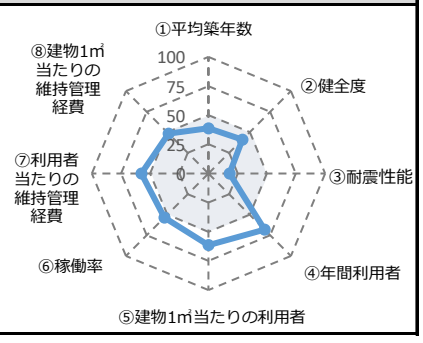
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 32.53 | 縦軸 | 機能の評価 | 57.80 |

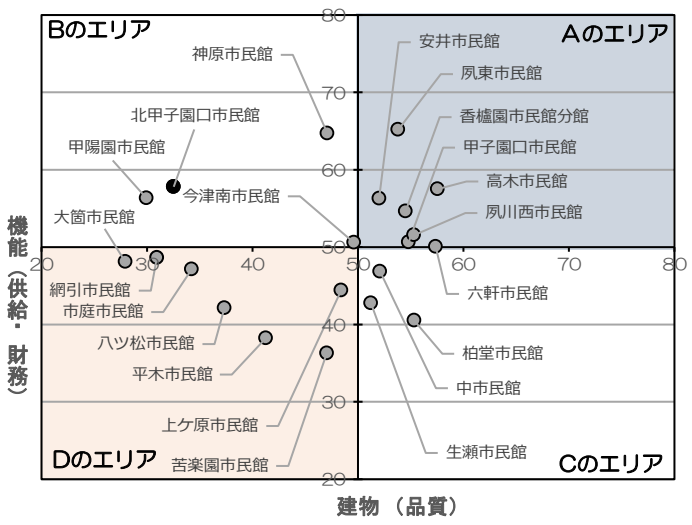
【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 38.8 |
| | ②健全度 | 40.9 |
| | ③耐震性能 | 17.9 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 68 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 61.5 |
| | ⑥稼働率 | 53.6 |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 57.6 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 48.3 |

レーダーチャート




市民集会施設 市民館




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 市民館の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 法律の定めはなく、西宮市立地区市民館条例により設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 減少する見込み | 身近な地域の活動拠点として、利用しやすい施設づくりが課題である。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、近隣住民の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 地域の公益的な団体の身近な活動拠点として必要である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 地域社会を熟知した地域住民が主体となる運営委員会に指定管理を行わせている。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 住民自治・地域行政の施策において、地域の拠点施設として、活用していく方向である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 避難所に指定されている。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | – | 各種団体の身近な地域の活動の場として必要な施設であるため現状維持とする。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | – | 耐震基準を満たしていないため、施設の改築（建替え）の検討を行う。 |

| 施設番号　施設名称 | 11109　苦楽園市民館 | 所在地 | 苦楽園五番町3-25 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 市民集会施設 | 施設分類（中分類） | 市民館 |
| 所管課 | 地域コミュニティ推進課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報

### 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 326 | | | | | | 無 | A | 無 |
| 033 市民館 | 326 | 1991 | 28 | D | C | C | | | |

### 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 28 | | | | | |
| ②健全度 | 40 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| | 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

### 供給（3箇年平均）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | 7,810 | 平均 | 6,377 |
| 2017 | 6,188 | | |
| 2018 | 5,133 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 20 | | |
| ⑥稼働率 | 16% | | |

### 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 351 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 6,871 |

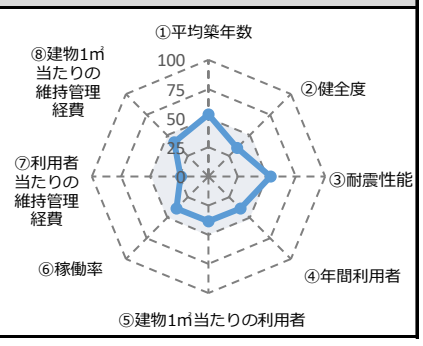
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 47.03 | 縦軸 | 機能の評価 | 36.26 |

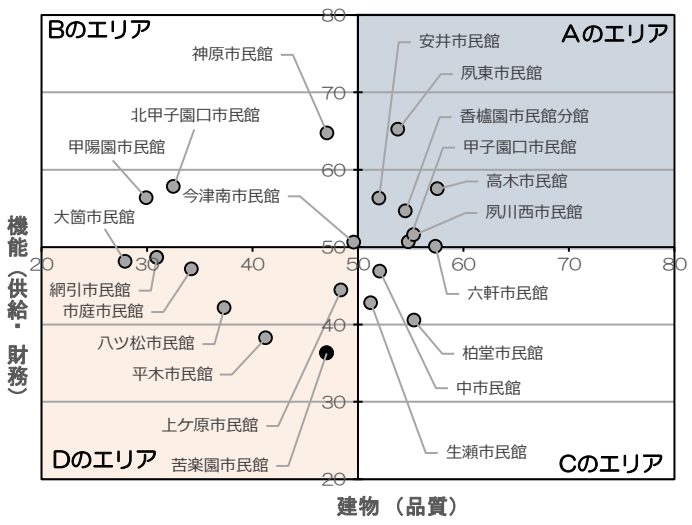
【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 53.2 |
| | ②健全度 | 34.7 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 38.7 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 38.4 |
| | ⑥稼働率 | 38.9 |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 23.8 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 41.5 |

レーダーチャート




市民集会施設 市民館




| 備　考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 市民館の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 法律の定めはなく、西宮市立地区市民館条例により設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 減少する見込み | 身近な地域の活動拠点として、利用しやすい施設づくりが課題である。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、近隣住民の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 地域の公益的な団体の身近な活動拠点として必要である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 地域社会を熟知した地域住民が主体となる運営委員会に指定管理を行わせている。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 住民自治・地域行政の施策において、地域の拠点施設として、活用していく方向である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 避難所に指定されている。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 各種団体の身近な地域の活動の場として必要な施設であるため現状維持とする。 |
| 建物 | ア．現状維持 | － | 修繕等を行い、施設を現状のまま維持する。 |

| 施設番号　施設名称 | 11110　甲子園口市民館 | 所在地 | 甲子園口６丁目6-20 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 市民集会施設 | 施設分類（中分類） | 市民館 |
| 所管課 | 地域コミュニティ推進課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合21 |

## 劣化状況調査の状況

基礎情報

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 323 | | | | | | A | A | D |
| 033 市民館 | 323 | 1989 | 30 | A | B | B | | | |

| 品質 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | | | | | | 30 |
| ②健全度 | | | | | | 80 |
| ③耐震性能 | | | | | | 100 |
| | 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

| 供給（3箇年平均） | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | 10,472 | 平均 | 11,301 |
| 2017 | 11,271 | | |
| 2018 | 12,160 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | | | 35 |
| ⑥稼働率 | | | 37% |

| 財務（3箇年平均） | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 147 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 5,141 |

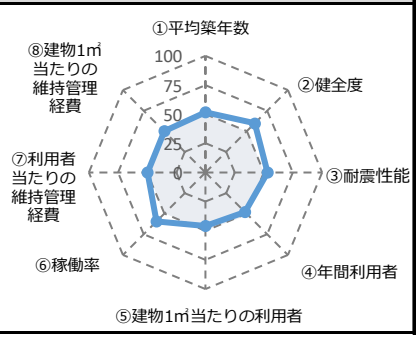
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 54.80 | 縦軸 | 機能の評価 | 50.62 |

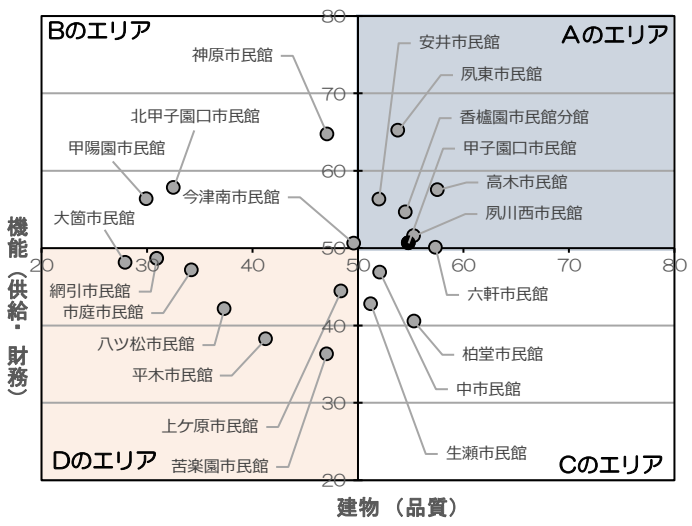
【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 51.6 |
| | ②健全度 | 59.6 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 47.8 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 45.9 |
| | ⑥稼働率 | 59.6 |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 49.7 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 50.1 |

レーダーチャート




市民集会施設 市民館




| 備　考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 市民館の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 法律の定めはなく、西宮市立地区市民館条例により設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | ここ数年、利用者は横ばいで、今後数年間大きな変動はない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、近隣住民の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 地域の公益的な団体の身近な活動拠点として必要である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 地域社会を熟知した地域住民が主体となる運営委員会に指定管理を行わせている。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 住民自治・地域行政の施策において、地域の拠点施設として、活用していく方向である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 避難所に指定されている。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 各種団体の身近な地域の活動の場として必要な施設であるため現状維持とする。 |
| 建物 | ア．現状維持 | － | 修繕等を行い、施設を現状のまま維持する。 |

| 施設番号　施設名称 | 11111　甲陽園市民館 | 所在地 | 甲陽園本庄町1-75 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 市民集会施設 | 施設分類（中分類） | 市民館 |
| 所管課 | 地域コミュニティ推進課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報

### 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 374 | | | | | | 建替 | 建替 | 建替 |
| 033 市民館 | 245 | 1972 | 47 | 建替 | 建替 | 建替 | | | |
| 009 倉庫 | 3 | 1973 | 46 | 建替 | 建替 | 建替 | | | |
| 004 管理人室 | 13 | 1980 | 39 | 建替 | 建替 | 建替 | | | |
| 033 市民館 | 96 | 1985 | 34 | 建替 | 建替 | 建替 | | | |
| 014 エレベーター棟 | 17 | 2004 | 15 | 建替 | 建替 | 建替 | | | |

### 品質

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 42 | | | | |
| ②健全度 | – | | | | |
| ③耐震性能 | 0 | | | | |
| 基準 | 旧 | 診断 | 済 | 補強 | 未 |

### 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 19,959 | 平均 | 20,175 |
| 2017 | 20,767 | | |
| 2018 | 19,798 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 54 | | |
| ⑥稼働率 | 33% | | |

### 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 95 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 5,115 |

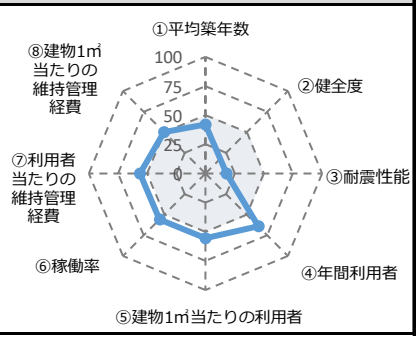
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 29.95 | 縦軸 | 機能の評価 | 56.32 |

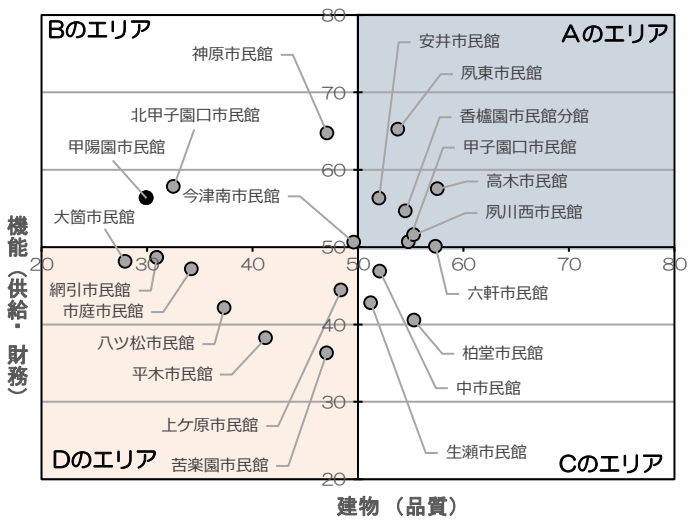
【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 42 |
| | ②健全度 | – |
| | ③耐震性能 | 17.9 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 64.1 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 55.5 |
| | ⑥稼働率 | 55.6 |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 56.2 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 50.2 |

レーダーチャート




市民集会施設 市民館




| 備　考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 市民館の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 法律の定めはなく、西宮市立地区市民館条例により設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | ここ数年、利用者は横ばいで、今後数年間大きな変動はない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、近隣住民の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 地域の公益的な団体の身近な活動拠点として必要である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 地域社会を熟知した地域住民が主体となる運営委員会に指定管理を行わせている。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 住民自治・地域行政の施策において、地域の拠点施設として、活用していく方向である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 避難所に指定されている。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | – | 各種団体の身近な地域の活動の場として必要な施設であるため現状維持とする。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | – | 耐震基準を満たしていないため、建替えに向けて検討を行う。 |

| 施設番号 施設名称 | 11113 香櫨園市民館分館 | 所在地 | 屋敷町12-1 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 市民集会施設 | 施設分類（中分類） | 市民館 |
| 所管課 | 地域コミュニティ推進課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 100 | | | | | | 無 | A | 無 |
| 033 市民館 | 100 | 1998 | 21 | B | C | B | | | |

| 品質 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 21 | | | | | |
| ②健全度 | 67 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| | 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

| 供給（3箇年平均） | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | 10,590 | 平均 | 9,178 |
| 2017 | 9,330 | | |
| 2018 | 7,614 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 92 | | |
| ⑥稼働率 | 28% | | |

| 財務（3箇年平均） | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 69 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 6,315 |

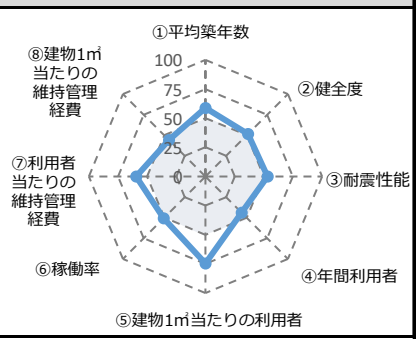
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 54.50 | 縦軸 | 機能の評価 | 54.60 |

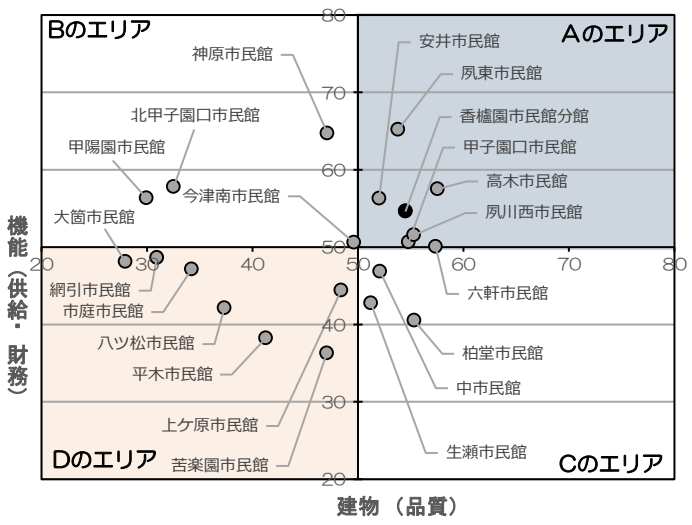
【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 58.8 |
| | ②健全度 | 51.5 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 43.9 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 74.6 |
| | ⑥稼働率 | 50.7 |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 59.5 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 44.3 |

レーダーチャート




市民集会施設 市民館




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 市民館の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 法律の定めはなく、西宮市立地区市民館条例により設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 減少する見込み | 身近な地域の活動拠点として、利用しやすい施設づくりが課題である。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、近隣住民の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 地域の公益的な団体の身近な活動拠点として必要である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 地域社会を熟知した地域住民が主体となる運営委員会に指定管理を行わせている。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 住民自治・地域行政の施策において、地域の拠点施設として、活用していく方向である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 避難所に指定されている。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 各種団体の身近な地域の活動の場として必要な施設であるため現状維持とする。 |
| 建物 | ア．現状維持 | － | 修繕等を行い、施設を現状のまま維持する。 |

| 施設番号 | 施設名称 | 所在地 | |
|---|---|---|---|
| 11114 | 夙川西市民館 | 大谷町3-50 | |
| 施設分類（大分類） | 市民集会施設 | 施設分類（中分類） | 市民館 |
| 所管課 | 地域コミュニティ推進課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 劣化状況調査の状況

基礎情報

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 320 | | | | | | 無 | A | 無 |
| 033 市民館 | 320 | 1994 | 25 | B | B | C | | | |

## 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 25 | | | | | |
| ②健全度 | 76 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| 基準 | 新 | 診断 | – | 補強 | – | |

## 供給（3箇年平均）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | 11,646 | 平均 | 13,205 |
| 2017 | 13,837 | | |
| 2018 | 14,132 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 41 | | |
| ⑥稼働率 | 32% | | |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 122 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 5,049 |

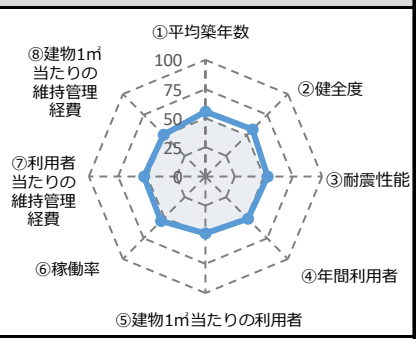
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 55.30 | 縦軸 | 機能の評価 | 51.54 |

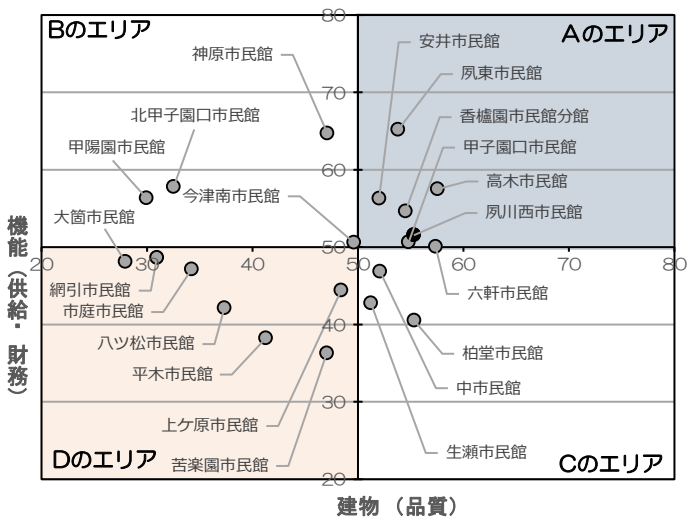
【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 55.6 |
| | ②健全度 | 57.1 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 51.3 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 48.9 |
| | ⑥稼働率 | 54.1 |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 52.8 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 50.6 |

レーダーチャート




市民集会施設 市民館




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 市民館の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 法律の定めはなく、西宮市立地区市民館条例により設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | ここ数年、利用者は横ばいで、今後数年間大きな変動はない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、近隣住民の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 地域の公益的な団体の身近な活動拠点として必要である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 地域社会を熟知した地域住民が主体となる運営委員会に指定管理を行わせている。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 住民自治・地域行政の施策において、地域の拠点施設として、活用していく方向である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 避難所に指定されている。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | – | 各種団体の身近な地域の活動の場として必要な施設であるため現状維持とする。 |
| 建物 | ア．現状維持 | – | 修繕等を行い、施設を現状のまま維持する。 |

| 施設番号 | 施設名称 | 11115 | 夙東市民館 | 所在地 | 川添町10-30 |
|---|---|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | | 市民集会施設 | | 施設分類（中分類） | 市民館 |
| 所管課 | | 地域コミュニティ推進課 | | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合28 |

## 劣化状況調査の状況

基礎情報

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 358 | | | | | | A | A | 無 |
| 033 市民館 | 358 | 1983 | 36 | B | B | B | | | |

| 品質 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | | | | | 36 | |
| ②健全度 | | | | | 83 | |
| ③耐震性能 | | | | | 100 | |
| | 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

| 供給（3箇年平均） | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | 21,788 | 平均 | 21,253 |
| 2017 | 22,214 | | |
| 2018 | 19,758 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | | | 59 |
| ⑥稼働率 | | | 53% |

| 財務（3箇年平均） | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 41 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 2,405 |

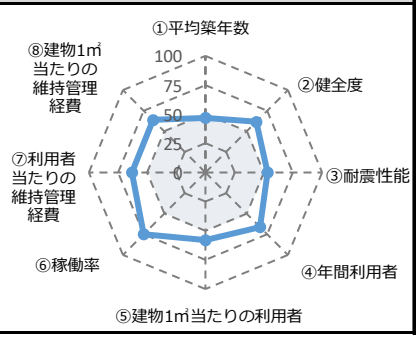
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 53.80 | 縦軸 | 機能の評価 | 65.16 |

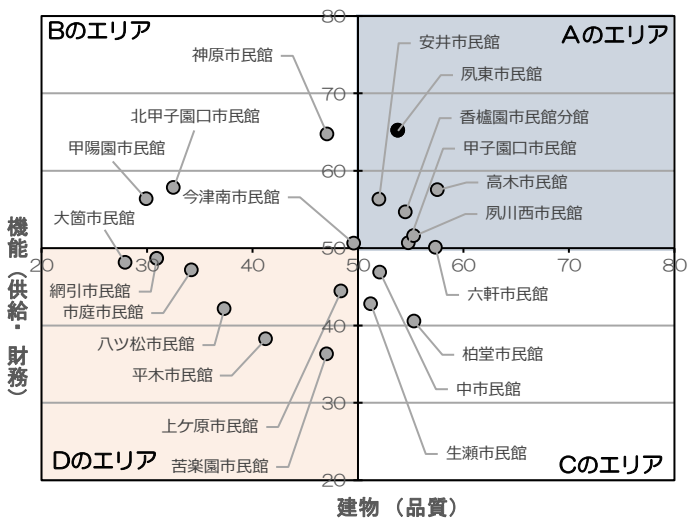
【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 46.8 |
| | ②健全度 | 61.4 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 66.1 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 58 |
| | ⑥稼働率 | 74.9 |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 63.1 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 63.7 |

レーダーチャート




市民集会施設 市民館




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 市民館の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 法律の定めはなく、西宮市立地区市民館条例により設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | ここ数年、利用者は横ばいで、今後数年間大きな変動はない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、近隣住民の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 地域の公益的な団体の身近な活動拠点として必要である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 地域社会を熟知した地域住民が主体となる運営委員会に指定管理を行わせている。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 住民自治・地域行政の施策において、地域の拠点施設として、活用していく方向である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 避難所に指定されている。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 各種団体の身近な地域の活動の場として必要な施設であるため現状維持とする。 |
| 建物 | ア．現状維持 | － | 修繕等を行い、施設を現状のまま維持する。 |

| 施設番号　施設名称 | 11116　高木市民館 | 所在地 | 高木東町34-8 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 市民集会施設 | 施設分類（中分類） | 市民館 |
| 所管課 | 地域コミュニティ推進課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報

### 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 173 | | | | | | 無 | B | 無 |
| 033 市民館 | 173 | 2003 | 16 | B | B | B | | | |

### 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 16 | | | | | |
| ②健全度 | 75 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| 基準 | 新 | 診断 | – | 補強 | – | |

### 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 15,428 | 平均 | 13,725 |
| 2017 | 13,103 | | |
| 2018 | 12,645 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 80 | | |
| ⑥稼働率 | 46% | | |

### 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 86 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 6,842 |

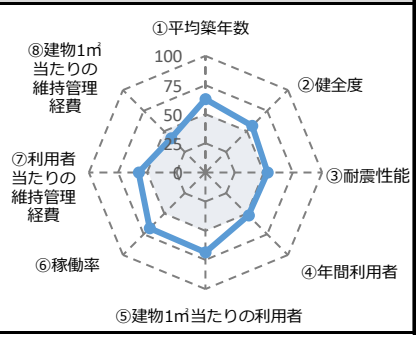
## 一次評価

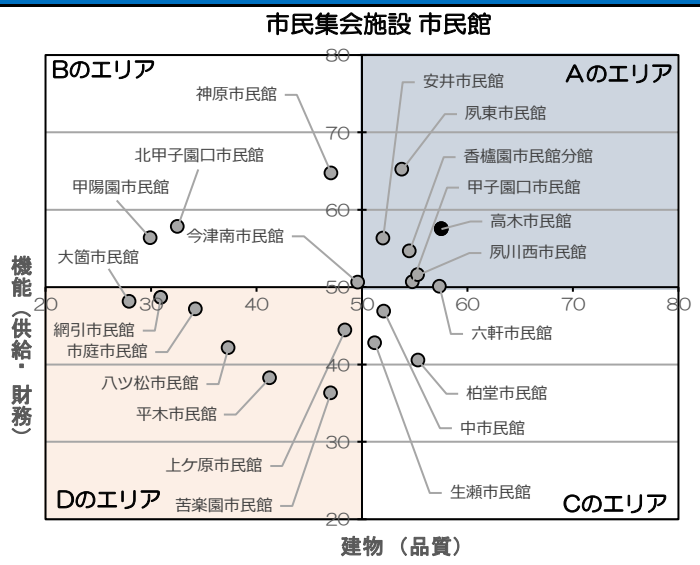
| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 57.53 | 縦軸 | 機能の評価 | 57.50 |

【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 62.9 |
| | ②健全度 | 56.5 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 52.2 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 68.5 |
| | ⑥稼働率 | 67.7 |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 57.4 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 41.7 |

レーダーチャート




| 備　考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 市民館の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 法律の定めはなく、西宮市立地区市民館条例により設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 減少する見込み | 身近な地域の活動拠点として、利用しやすい施設づくりが課題である。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、近隣住民の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 地域の公益的な団体の身近な活動拠点として必要である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 地域社会を熟知した地域住民が主体となる運営委員会に指定管理を行わせている。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 住民自治・地域行政の施策において、地域の拠点施設として、活用していく方向である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 避難所に指定されている。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | – | 各種団体の身近な地域の活動の場として必要な施設であるため現状維持とする。 |
| 建物 | ア．現状維持 | – | 修繕等を行い、施設を現状のまま維持する。 |

| 施設番号　施設名称 | 11117　中市民館 | 所在地 | 中前田町8-11 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 市民集会施設 | 施設分類（中分類） | 市民館 |
| 所管課 | 地域コミュニティ推進課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 劣化状況調査の状況

基礎情報

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 402 | | | | | | 無 | A | 無 |
| 033 市民館 | 402 | 1989 | 30 | B | C | B | | | |

## 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 30 | | | | | |
| ②健全度 | 67 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| | 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

## 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 9,342 | 平均 | 9,408 |
| 2017 | 9,820 | | |
| 2018 | 9,063 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 23 | | |
| ⑥稼働率 | 25% | | |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 170 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 3,977 |

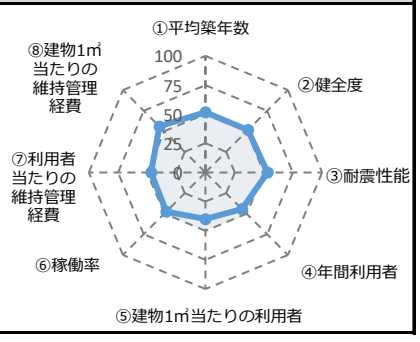
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 52.10 | 縦軸 | 機能の評価 | 46.84 |

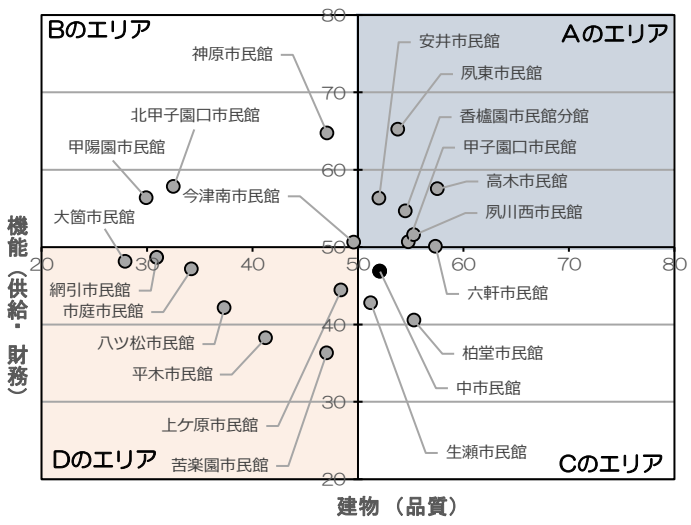
【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 51.6 |
| | ②健全度 | 51.5 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 44.3 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 39.9 |
| | ⑥稼働率 | 47.4 |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 46.7 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 55.9 |

レーダーチャート




市民集会施設 市民館




| 備　考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 市民館の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 法律の定めはなく、西宮市立地区市民館条例により設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | ここ数年、利用者は横ばいで、今後数年間大きな変動はない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、近隣住民の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 地域の公益的な団体の身近な活動拠点として必要である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 地域社会を熟知した地域住民が主体となる運営委員会に指定管理を行わせている。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 住民自治・地域行政の施策において、地域の拠点施設として、活用していく方向である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 避難所に指定されている。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 各種団体の身近な地域の活動の場として必要な施設であるため現状維持とする。 |
| 建物 | ア．現状維持 | － | 修繕等を行い、施設を現状のまま維持する。 |

| 施設番号 施設名称 | 11118 生瀬市民館 | 所在地 | 生瀬町２丁目20-22 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 市民集会施設 | 施設分類（中分類） | 市民館 |
| 所管課 | 地域コミュニティ推進課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合36 |

## 劣化状況調査の状況

基礎情報

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 395 | | | | | | 無 | A | B |
| 033 市民館 | 377 | 1984 | 35 | C | B | B | | | |
| 014 エレベーター棟 | 18 | 2004 | 15 | C | B | B | | | |

## 品質

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 34 | | | | |
| ②健全度 | 68 | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | |
| 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

## 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 11,269 | 平均 | 11,020 |
| 2017 | 11,302 | | |
| 2018 | 10,488 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 28 | | |
| ⑥稼働率 | 15% | | |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 218 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 6,077 |

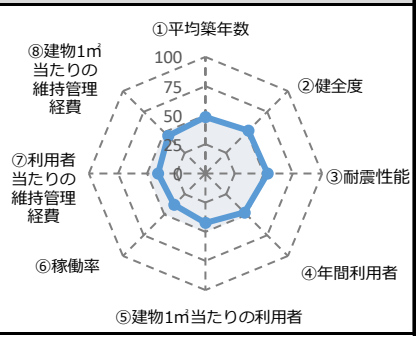
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 51.23 | 縦軸 | 機能の評価 | 42.74 |

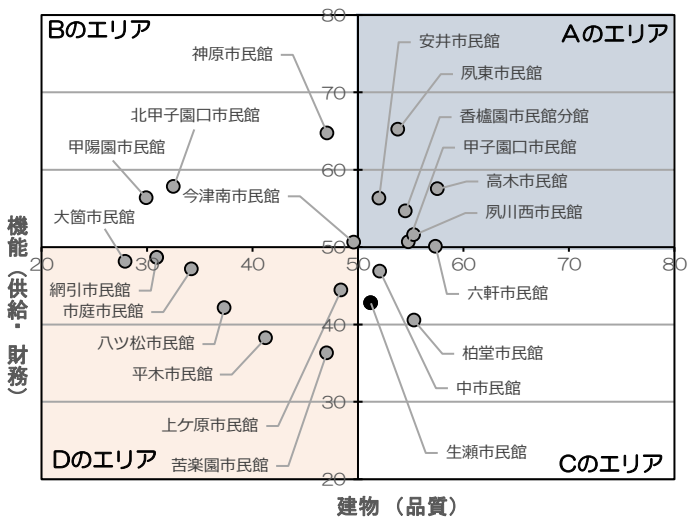
【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 48.4 |
| | ②健全度 | 52.1 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 47.3 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 42.4 |
| | ⑥稼働率 | 37.8 |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 40.7 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 45.5 |

レーダーチャート




市民集会施設 市民館




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 市民館の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 法律の定めはなく、西宮市立地区市民館条例により設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | ここ数年、利用者は横ばいで、今後数年間大きな変動はない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、近隣住民の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 地域の公益的な団体の身近な活動拠点として必要である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 地域社会を熟知した地域住民が主体となる運営委員会に指定管理を行わせている。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 住民自治・地域行政の施策において、地域の拠点施設として、活用していく方向である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 避難所に指定されている。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 各種団体の身近な地域の活動の場として必要な施設であるため現状維持とする。 |
| 建物 | ア．現状維持 | － | 修繕等を行い、施設を現状のまま維持する。 |

| 施設番号 | 施設名称 | 11119 | 平木市民館 | 所在地 | 大畑町1-35 |
|---|---|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | | 市民集会施設 | | 施設分類（中分類） | 市民館 |
| 所管課 | | 地域コミュニティ推進課 | | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 劣化状況調査の状況

基礎情報

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 293 | | | | | | 無 | A | B |
| 033 市民館 | 270 | 1975 | 44 | A | B | B | | | |
| 014 エレベーター棟 | 23 | 2003 | 16 | A | B | B | | | |

## 品質

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 42 | | | | |
| ②健全度 | 87 | | | | |
| ③耐震性能 | 0 | | | | |
| 基準 | 旧 | 診断 | 済 | 補強 | 未 |

## 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 7,814 | 平均 | 7,866 |
| 2017 | 7,747 | | |
| 2018 | 8,036 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 27 | | |
| ⑥稼働率 | 13% | | |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 276 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 7,424 |

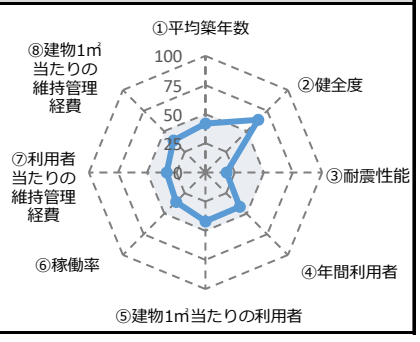
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 41.27 | 縦軸 | 機能の評価 | 38.24 |

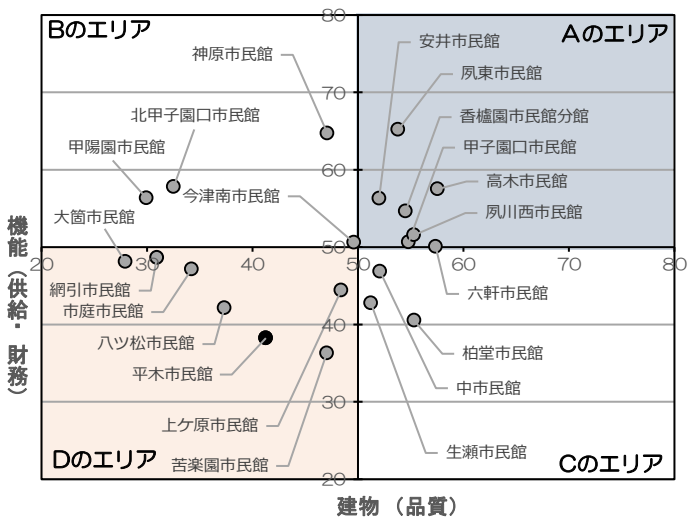
【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 42 |
| | ②健全度 | 63.9 |
| | ③耐震性能 | 17.9 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 41.5 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 41.9 |
| | ⑥稼働率 | 35.7 |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 33.3 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 38.8 |

レーダーチャート




市民集会施設 市民館




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 市民館の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 法律の定めはなく、西宮市立地区市民館条例により設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | ここ数年、利用者は横ばいで、今後数年間大きな変動はない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、近隣住民の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 地域の公益的な団体の身近な活動拠点として必要である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 地域社会を熟知した地域住民が主体となる運営委員会に指定管理を行わせている。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 住民自治・地域行政の施策において、地域の拠点施設として、活用していく方向である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 避難所に指定されている。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 各種団体の身近な地域の活動の場として必要な施設であるため現状維持とする。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | － | 耐震基準を満たしていないため、施設の改築（建替え）の検討を行う。 |

| 施設番号　施設名称 | 11120　安井市民館 | 所在地 | 安井町2-4 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 市民集会施設 | 施設分類（中分類） | 市民館 |
| 所管課 | 地域コミュニティ推進課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合20 |

## 劣化状況調査の状況

基礎情報

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 396 | | | | | | A | A | A |
| 033 市民館 | 396 | 1991 | 28 | C | C | C | | | |

| 品質 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 28 | | | | | |
| ②健全度 | 64 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| | 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

| 供給（3箇年平均） | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | 20,345 | 平均 | 19,911 |
| 2017 | 20,522 | | |
| 2018 | 18,866 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 50 | | |
| ⑥稼働率 | 30% | | |

| 財務（3箇年平均） | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 87 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 4,369 |

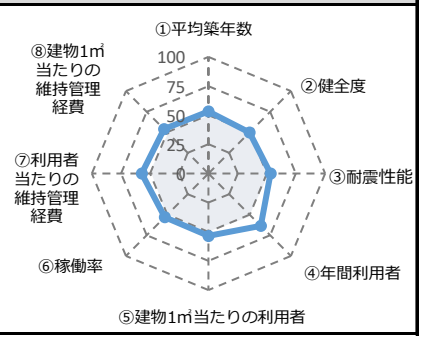
## 一次評価

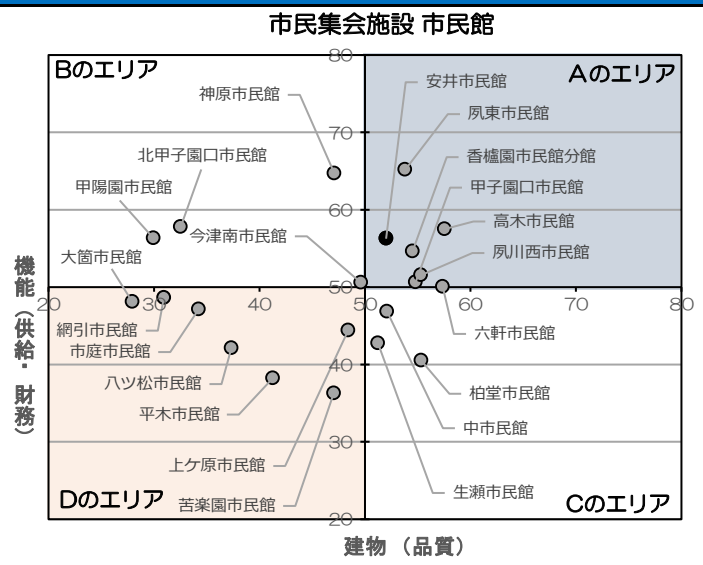
| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 52.00 | 縦軸 | 機能の評価 | 56.26 |

【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 53.2 |
| | ②健全度 | 49.6 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 63.6 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 53.5 |
| | ⑥稼働率 | 52.9 |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 57.3 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 54 |

レーダーチャート




| 備　考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 市民館の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 法律の定めはなく、西宮市立地区市民館条例により設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | ここ数年、利用者は横ばいで、今後数年間大きな変動はない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、近隣住民の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 地域の公益的な団体の身近な活動拠点として必要である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 地域社会を熟知した地域住民が主体となる運営委員会に指定管理を行わせている。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 住民自治・地域行政の施策において、地域の拠点施設として、活用していく方向である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 避難所に指定されている。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 各種団体の身近な地域の活動の場として必要な施設であるため現状維持とする。 |
| 建物 | ア．現状維持 | － | 修繕等を行い、施設を現状のまま維持する。 |

| 施設番号 | 施設名称 | 11121 | 八ツ松市民館 | 所在地 | 甲子園六番町11-12 |
|---|---|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | | 市民集会施設 | | 施設分類（中分類） | 市民館 |
| 所管課 | | 地域コミュニティ推進課 | | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 劣化状況調査の状況

基礎情報

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 216 | | | | | | 無 | A | B |
| 033 市民館 | 194 | 1974 | 45 | B | C | B | | | |
| 014 エレベーター棟 | 22 | 2003 | 16 | B | C | B | | | |

### 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | | | | | 42 | |
| ②健全度 | | | | | 68 | |
| ③耐震性能 | | | | | 0 | |
| | 基準 | 旧 | 診断 | 済 | 補強 | 未 |

### 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | 2016 | 11,569 | 平均 | 9,135 |
| | 2017 | 7,905 | | |
| | 2018 | 7,932 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | | | | 42 |
| ⑥稼働率 | | | | 25% |

### 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 220 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 9,312 |

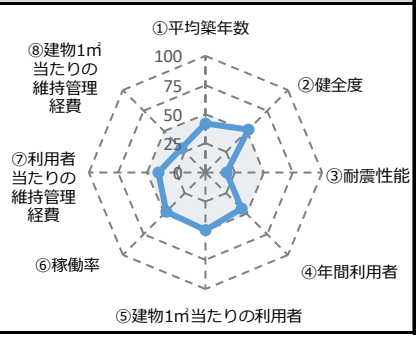
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 37.33 | 縦軸 | 機能の評価 | 42.10 |

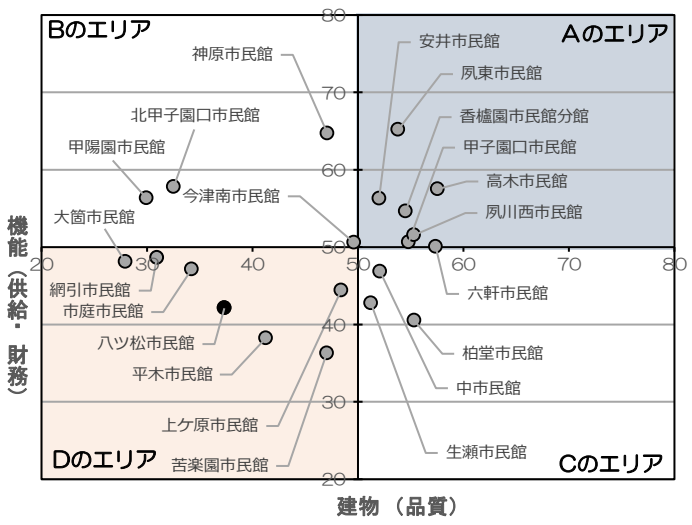
【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 42 |
| | ②健全度 | 52.1 |
| | ③耐震性能 | 17.9 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 43.8 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 49.4 |
| | ⑥稼働率 | 47.5 |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 40.4 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 29.4 |

レーダーチャート




市民集会施設 市民館




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 市民館の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 法律の定めはなく、西宮市立地区市民館条例により設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | ここ数年、利用者は横ばいで、今後数年間大きな変動はない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、近隣住民の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 地域の公益的な団体の身近な活動拠点として必要である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 地域社会を熟知した地域住民が主体となる運営委員会に指定管理を行わせている。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 住民自治・地域行政の施策において、地域の拠点施設として、活用していく方向である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 避難所に指定されている。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 各種団体の身近な地域の活動の場として必要な施設であるため現状維持とする。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | － | 耐震基準を満たしていないため、施設の改築（建替え）の検討を行う。 |

| 施設番号　施設名称 | 11122　六軒市民館 | 所在地 | 大社町12-26 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 市民集会施設 | 施設分類（中分類） | 市民館 |
| 所管課 | 地域コミュニティ推進課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報

### 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 278 | | | | | | 無 | A | 無 |
| 033 市民館 | 266 | 1987 | 32 | A | A | C | | | |
| 011 自転車置場・単車置場 | 12 | 1987 | 32 | | | | | | |

### 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | | | | | | 32 |
| ②健全度 | | | | | | 95 |
| ③耐震性能 | | | | | | 100 |
| | 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

### 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 9,167 | 平均 | 9,332 |
| 2017 | 9,602 | | |
| 2018 | 9,227 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | | | 34 |
| ⑥稼働率 | | | 37% |

### 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 145 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 4,872 |

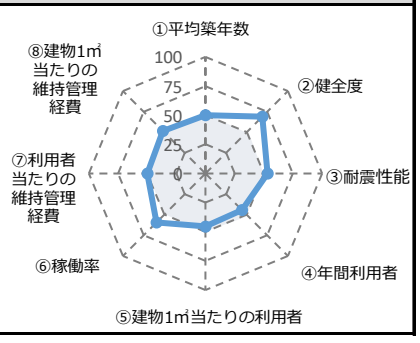
## 一次評価

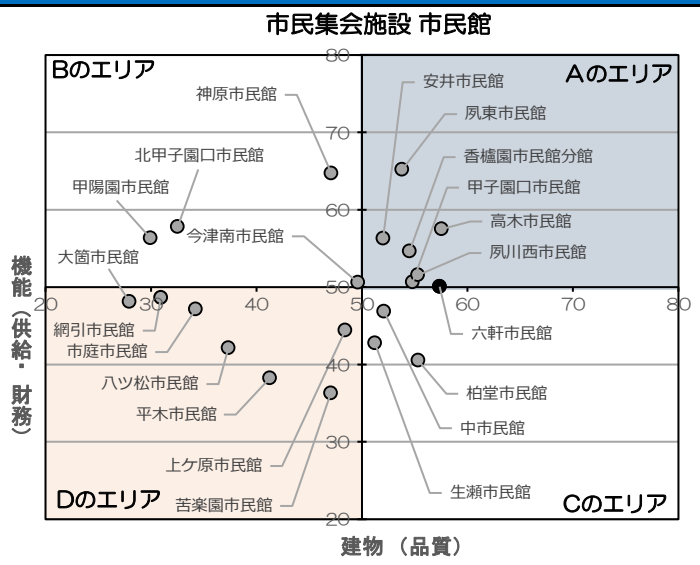
| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 57.37 | 縦軸 | 機能の評価 | 50.06 |

【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 50 |
| | ②健全度 | 68.9 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 44.2 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 45.4 |
| | ⑥稼働率 | 59.3 |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 49.9 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 51.5 |

レーダーチャート




| 備　考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 市民館の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 法律の定めはなく、西宮市立地区市民館条例により設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | ここ数年、利用者は横ばいで、今後数年間大きな変動はない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、近隣住民の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 地域の公益的な団体の身近な活動拠点として必要である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 地域社会を熟知した地域住民が主体となる運営委員会に指定管理を行わせている。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 住民自治・地域行政の施策において、地域の拠点施設として、活用していく方向である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 避難所に指定されている。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 各種団体の身近な地域の活動の場として必要な施設であるため現状維持とする。 |
| 建物 | ア．現状維持 | － | 修繕等を行い、施設を現状のまま維持する。 |

| 施設番号　施設名称 | 11201　共同利用施設上甲子園センター | 所在地 | 甲子園口３丁目9-3 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 市民集会施設 | 施設分類（中分類） | 共同利用施設 |
| 所管課 | 地域コミュニティ推進課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合02 |

## 劣化状況調査の状況

基礎情報

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 615 | | | | | | 無 | B | B |
| 028 集会所 | 597 | 1972 | 47 | C | C | B | | | |
| 011 自転車置場・単車置場 | 18 | 2005 | 14 | | | | | | |

| 品質 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 46 | | | | | |
| ②健全度 | 54 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| | 基準 | 旧 | 診断 | 済 | 補強 | 済 |

| 供給（3箇年平均） | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | 22,261 | 平均 | 22,706 |
| 2017 | 21,893 | | |
| 2018 | 23,965 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 37 | | |
| ⑥稼働率 | 71% | | |

| 財務（3箇年平均） | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 81 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 3,003 |

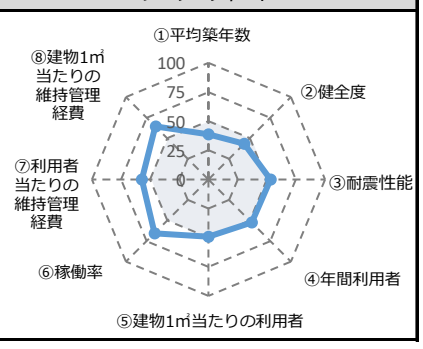
## 一次評価

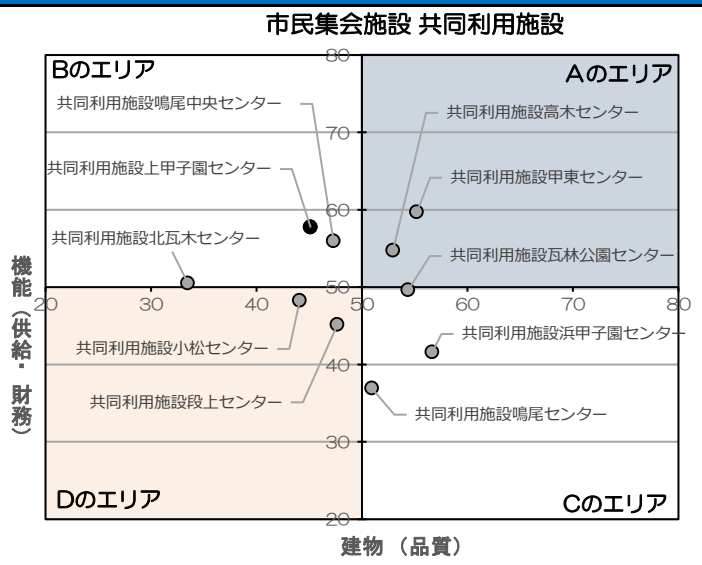
| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 45.13 | 縦軸 | 機能の評価 | 57.72 |

【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 38.8 |
| | ②健全度 | 43.4 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 52.3 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 49.2 |
| | ⑥稼働率 | 65.6 |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 57.2 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 64.3 |

レーダーチャート




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 公共用飛行場周辺における航空機騒音対策で設置された施設であり、地域の活動など市民に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 法律の定めはなく、西宮市立共同利用施設条例により設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | ここ数年、利用者は横ばいで、今後数年間大きな変動はない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、近隣住民の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 施設使用料が無料であり、地域の活動や学習の場として、利用されており、民間施設に代替が不可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 共同利用施設については、指定管理の実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 住民自治・地域行政の施策において、地域の拠点施設として、活用していく方向である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 避難所に指定されている。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | b．見直し | エ．その他 | 地域コミュニティ推進のために必要な施設であるため、利用しやすい施設づくりに向けた検討を行う。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | － | 令和14年度までに築50年以上が経過し、老朽化が進むため、施設の長寿命化に向けた検討を行う。 |

| 施設番号　施設名称 | 11202　共同利用施設瓦林公園センター | 所在地 | 上甲子園３丁目7-4 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 市民集会施設 | 施設分類（中分類） | 共同利用施設 |
| 所管課 | 地域コミュニティ推進課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報

### 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 566 | | | | | | 無 | A | B |
| 028 集会所 | 550 | 1981 | 38 | B | A | B | | | |
| 014 エレベーター棟 | 16 | 2004 | 15 | B | A | B | | | |

### 品質

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 37 | | | | |
| ②健全度 | 87 | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | |
| 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

### 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 26,958 | 平均 | 24,729 |
| 2017 | 24,119 | | |
| 2018 | 23,110 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 44 | | |
| ⑥稼働率 | 34% | | |

### 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 358 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 15,634 |

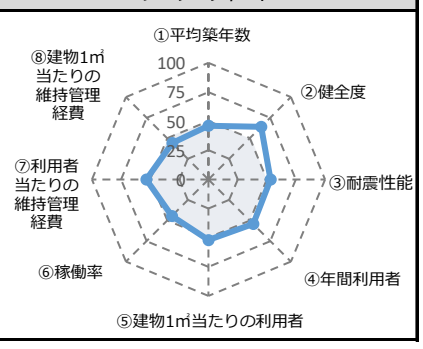
## 一次評価

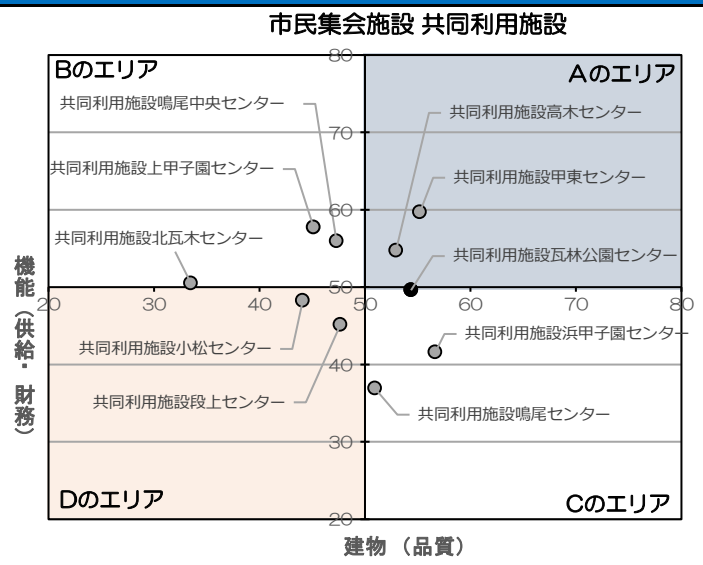
| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 54.37 | 縦軸 | 機能の評価 | 49.60 |

【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 46 |
| | ②健全度 | 63.9 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 54.1 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 52 |
| | ⑥稼働率 | 44.5 |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 53.4 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 44 |

レーダーチャート




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 公共用飛行場周辺における航空機騒音対策で設置された施設であり、地域の活動など市民に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 法律の定めはなく、西宮市立共同利用施設条例により設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | ここ数年、利用者は横ばいで、今後数年間大きな変動はない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、近隣住民の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 施設使用料が無料であり、地域の活動や学習の場として、利用されており、民間施設に代替が不可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 共同利用施設については、指定管理の実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 住民自治・地域行政の施策において、地域の拠点施設として、活用していく方向である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 避難所に指定されている。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | b．見直し | エ．その他 | 地域コミュニティ推進のために必要な施設であるため、利用しやすい施設づくりに向けた検討を行う。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | － | 令和14年度までに築50年以上が経過し、老朽化が進むため、施設の長寿命化に向けた検討を行う。 |

| 施設番号　施設名称 | 11203　共同利用施設北瓦木センター | 所在地 | 上之町24-40 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 市民集会施設 | 施設分類（中分類） | 共同利用施設 |
| 所管課 | 地域コミュニティ推進課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合26 |

## 基礎情報

### 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 369 | | | | | | C | B | 無 |
| 028 集会所 | 369 | 1972 | 47 | B | C | C | | | |

### 品質

| | |
|---|---|
| ①平均築年数 | 47 |
| ②健全度 | 56 |
| ③耐震性能 | 0 |

| 基準 | 旧 | 診断 | 済 | 補強 | 未 |
|---|---|---|---|---|---|

### 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 15,996 | 平均 | 16,407 |
| 2017 | 15,990 | | |
| 2018 | 17,235 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | | | 44 |
| ⑥稼働率 | | | 56% |

### 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 362 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 16,095 |

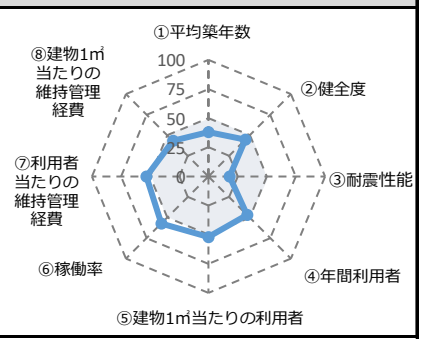
## 一次評価

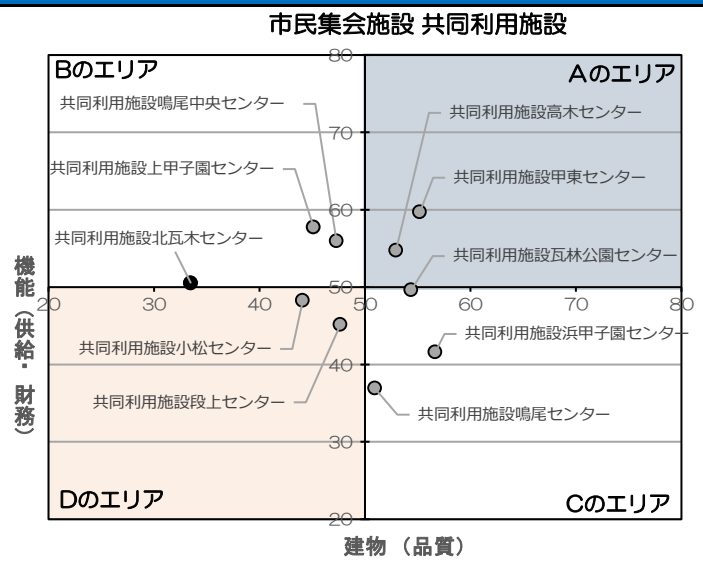
| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 33.50 | 縦軸 | 機能の評価 | 50.50 |

【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 38 |
| | ②健全度 | 44.6 |
| | ③耐震性能 | 17.9 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 46.8 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 52 |
| | ⑥稼働率 | 57.2 |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 53.3 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 43.2 |

レーダーチャート




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 公共用飛行場周辺における航空機騒音対策で設置された施設であり、地域の活動など市民に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 法律の定めはなく、西宮市立共同利用施設条例により設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | ここ数年、利用者は横ばいで、今後数年間大きな変動はない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、近隣住民の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 施設使用料が無料であり、地域の活動や学習の場として、利用されており、民間施設に代替が不可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 共同利用施設については、指定管理の実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 住民自治・地域行政の施策において、地域の拠点施設として、活用していく方向である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 避難所に指定されている。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | b．見直し | エ．その他 | 地域コミュニティ推進のために必要な施設であるため、利用しやすい施設づくりに向けた検討を行う。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | － | 令和14年度までに築50年以上が経過し、老朽化が進むため、施設の長寿命化に向けた検討を行う。 |

| 施設番号　施設名称 | 11204　共同利用施設甲東センター | 所在地 | 甲東園３丁目2-29 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 市民集会施設 | 施設分類（中分類） | 共同利用施設 |
| 所管課 | 地域コミュニティ推進課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 民間複合4 |

## 劣化状況調査の状況

基礎情報

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 421 | | | | | | C | A | C |
| 028 集会所 | 421 | 1996 | 23 | 民複 | 民複 | 民複 | | | |

## 品質

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 23 | | | | |
| ②健全度 | – | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | |
| 基準 | 新 | 診断 | – | 補強 | – |

## 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 40,432 | 平均 | 42,914 |
| 2017 | 45,839 | | |
| 2018 | 42,472 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 102 | | |
| ⑥稼働率 | 53% | | |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 167 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 17,015 |

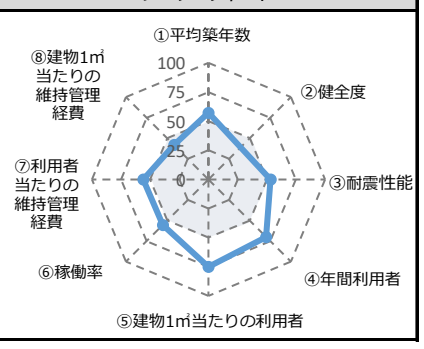
## 一次評価

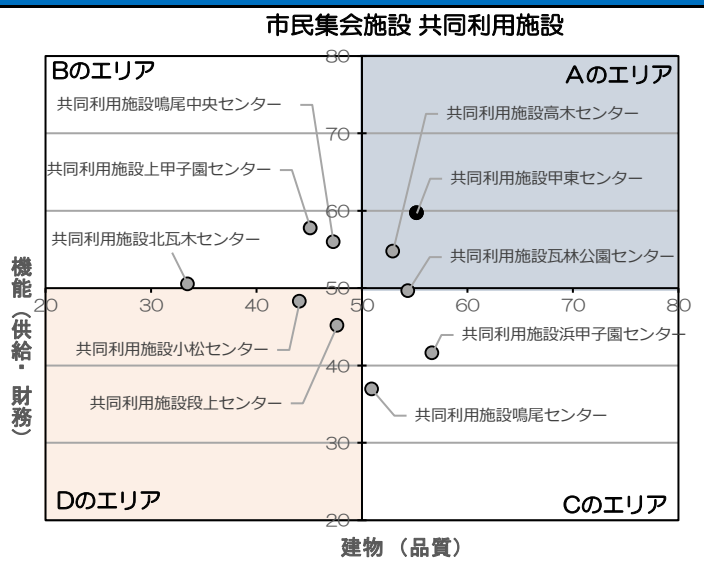
| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 55.20 | 縦軸 | 機能の評価 | 59.66 |

【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 57.2 |
| | ②健全度 | – |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 70 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 75.1 |
| | ⑥稼働率 | 55.4 |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 56 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 41.8 |

レーダーチャート




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 公共用飛行場周辺における航空機騒音対策で設置された施設であり、地域の活動など市民に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 法律の定めはなく、西宮市立共同利用施設条例により設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | ここ数年、利用者は横ばいで、今後数年間大きな変動はない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、近隣住民の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 施設使用料が無料であり、地域の活動や学習の場として、利用されており、民間施設に代替が不可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 共同利用施設については、指定管理の実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 住民自治・地域行政の施策において、地域の拠点施設として、活用していく方向である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 避難所に指定されている。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | b．見直し | エ．その他 | 地域コミュニティ推進のために必要な施設であるため、利用しやすい施設づくりに向けた検討を行う。 |
| 建物 | ア．現状維持 | – | 修繕等を行い、施設を現状のまま維持する。 |

| 施設番号　施設名称 | 11205　共同利用施設小松センター | 所在地 | 小松北町２丁目4-1 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 市民集会施設 | 施設分類（中分類） | 共同利用施設 |
| 所管課 | 地域コミュニティ推進課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合37 |

## 基礎情報　劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 434 | | | | | | A | C | 無 |
| 028 集会所 | 434 | 1973 | 46 | C | C | C | | | |

### 品質

| | |
|---|---|
| ①平均築年数 | 46 |
| ②健全度 | 49 |
| ③耐震性能 | 100 |

| 基準 | 旧 | 診断 | 済 | 補強 | 済 |
|---|---|---|---|---|---|

### 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 17,540 | 平均 | 15,332 |
| 2017 | 14,727 | | |
| 2018 | 13,728 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | | | 35 |
| ⑥稼働率 | | | 41% |

### 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 408 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 14,414 |

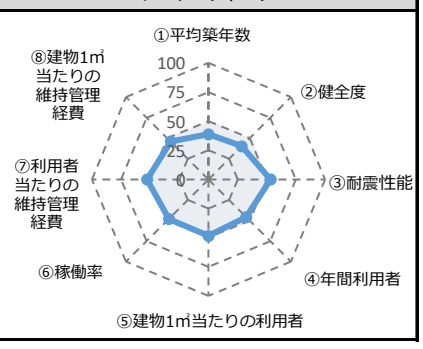
## 一次評価

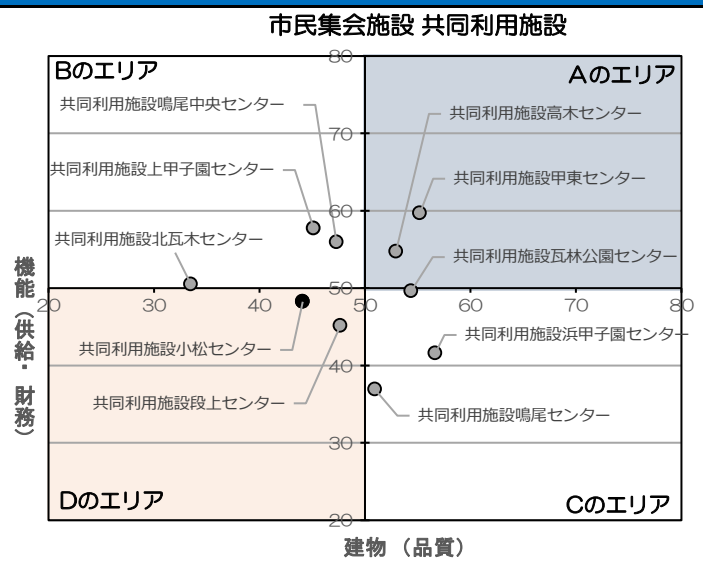
| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 44.10 | 縦軸 | 機能の評価 | 48.24 |

【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 38.8 |
| | ②健全度 | 40.3 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 45.8 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 48.4 |
| | ⑥稼働率 | 48.3 |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 52.7 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 46 |

レーダーチャート




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 公共用飛行場周辺における航空機騒音対策で設置された施設であり、地域の活動など市民に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 法律の定めはなく、西宮市立共同利用施設条例により設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | ここ数年、利用者は横ばいで、今後数年間大きな変動はない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、近隣住民の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 施設使用料が無料であり、地域の活動や学習の場として、利用されており、民間施設に代替が不可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 共同利用施設については、指定管理の実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 住民自治・地域行政の施策において、地域の拠点施設として、活用していく方向である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 避難所に指定されている。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | b．見直し | エ．その他 | 地域コミュニティ推進のために必要な施設であるため、利用しやすい施設づくりに向けた検討を行う。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | － | 令和14年度までに築50年以上が経過し、老朽化が進むため、施設の長寿命化に向けた検討を行う。 |

| 施設番号　施設名称 | 11206　共同利用施設高木センター | 所在地 | 伏原町1-58 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 市民集会施設 | 施設分類（中分類） | 共同利用施設 |
| 所管課 | 地域コミュニティ推進課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合32 |

## 劣化状況調査の状況

基礎情報

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 674 | | | | | | 無 | A | A |
| 028 集会所 | 580 | 1981 | 38 | B | B | C | | | |
| 073 ポンプ室 | 6 | 1981 | 38 | | | | | | |
| 011 自転車置場・単車置場 | 16 | 1981 | 38 | | | | | | |
| 014 エレベーター棟 | 73 | 1989 | 30 | B | B | C | | | |

| 品質 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 37 | | | | | |
| ②健全度 | 80 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| | 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

| 供給（3箇年平均） | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | 32,035 | 平均 | 33,053 |
| 2017 | 33,386 | | |
| 2018 | 33,739 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 49 | | |
| ⑥稼働率 | 62% | | |

| 財務（3箇年平均） | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 321 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 15,733 |

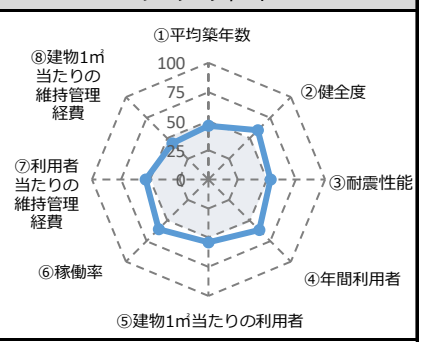
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 52.93 | 縦軸 | 機能の評価 | 54.70 |

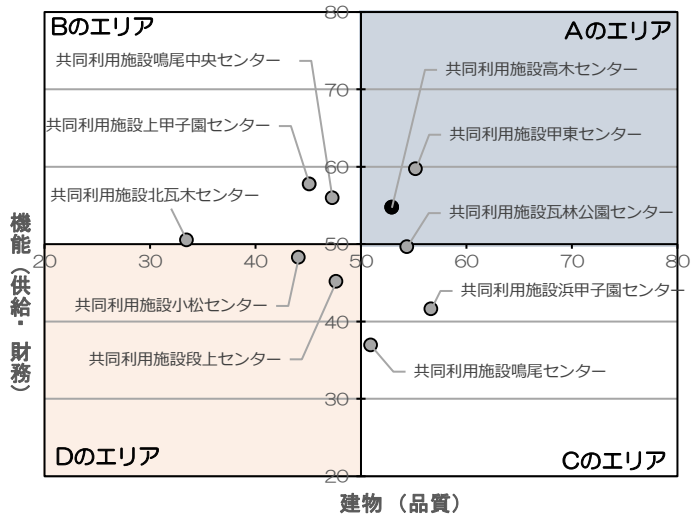
【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 46 |
| | ②健全度 | 59.6 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 61.4 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 54 |
| | ⑥稼働率 | 60.4 |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 53.9 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 43.8 |

レーダーチャート




市民集会施設 共同利用施設




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 公共用飛行場周辺における航空機騒音対策で設置された施設であり、地域の活動など市民に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 法律の定めはなく、西宮市立共同利用施設条例により設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | ここ数年、利用者は横ばいで、今後数年間大きな変動はない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、近隣住民の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 施設使用料が無料であり、地域の活動や学習の場として、利用されており、民間施設に代替が不可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 共同利用施設については、指定管理の実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 住民自治・地域行政の施策において、地域の拠点施設として、活用していく方向である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 避難所に指定されている。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | b．見直し | エ．その他 | 地域コミュニティ推進のために必要な施設であるため、利用しやすい施設づくりに向けた検討を行う。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | － | 令和14年度までに築50年以上が経過し、老朽化が進むため、施設の長寿命化に向けた検討を行う。 |

| 施設番号 施設名称 | 11207 共同利用施設段上センター | 所在地 | 段上町２丁目10-23 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 市民集会施設 | 施設分類（中分類） | 共同利用施設 |
| 所管課 | 地域コミュニティ推進課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合38 |

## 基礎情報 — 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 613 | | | | | | A | B | A |
| 028 集会所 | 573 | 1976 | 43 | C | C | C | | | |
| 089 その他 | 40 | 1991 | 28 | C | C | C | | | |

## 品質

| | |
|---|---|
| ①平均築年数 | 42 |
| ②健全度 | 61 |
| ③耐震性能 | 100 |

| 基準 | 旧 | 診断 | 済 | 補強 | 不要 |
|---|---|---|---|---|---|

## 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 11,867 | 平均 | 12,212 |
| 2017 | 13,199 | | |
| 2018 | 11,570 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | | | 20 |
| ⑥稼働率 | | | 45% |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 834 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 16,615 |

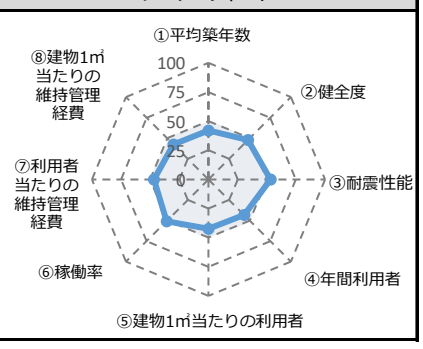
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 47.67 | 縦軸 | 機能の評価 | 45.14 |

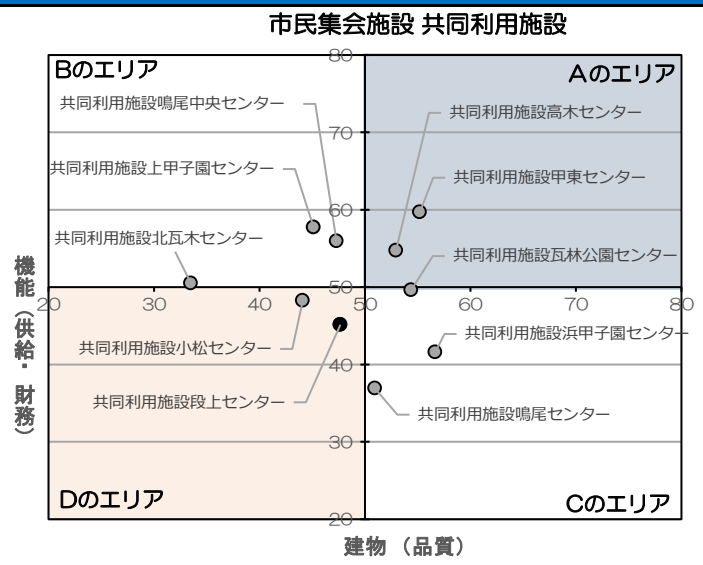
【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 42 |
| | ②健全度 | 47.8 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 43.1 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 42.4 |
| | ⑥稼働率 | 51 |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 46.8 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 42.4 |

レーダーチャート




市民集会施設 共同利用施設




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 公共用飛行場周辺における航空機騒音対策で設置された施設であり、地域の活動など市民に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 法律の定めはなく、西宮市立共同利用施設条例により設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | ここ数年、利用者は横ばいで、今後数年間大きな変動はない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、近隣住民の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 施設使用料が無料であり、地域の活動や学習の場として、利用されており、民間施設に代替が不可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 共同利用施設については、指定管理の実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 住民自治・地域行政の施策において、地域の拠点施設として、活用していく方向である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 避難所に指定されている。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | b．見直し | エ．その他 | 地域コミュニティ推進のために必要な施設であるため、利用しやすい施設づくりに向けた検討を行う。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | － | 令和14年度までに築50年以上が経過し、老朽化が進むため、施設の長寿命化に向けた検討を行う。 |

| 施設番号　施設名称 | 11208　共同利用施設鳴尾センター | 所在地 | 笠屋町19-23 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 市民集会施設 | 施設分類（中分類） | 共同利用施設 |
| 所管課 | 地域コミュニティ推進課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合30 |

## 基礎情報

### 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 450 | | | | | | A | A | 無 |
| 028 集会所 | 450 | 1973 | 46 | C | A | A | | | |

### 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 46 | | | | | |
| ②健全度 | 82 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| | 基準 | 旧 | 診断 | 済 | 補強 | 済 |

### 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 1,145 | 平均 | 803 |
| 2017 | 626 | | |
| 2018 | 639 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 2 | | |
| ⑥稼働率 | 12% | | |

### 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 2,606 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 4,652 |

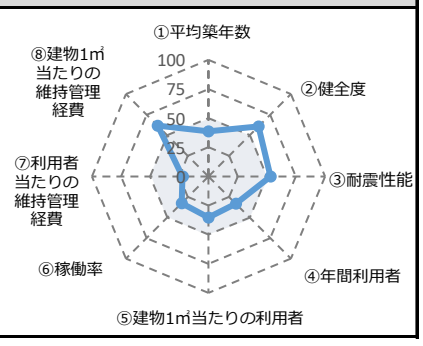
## 一次評価

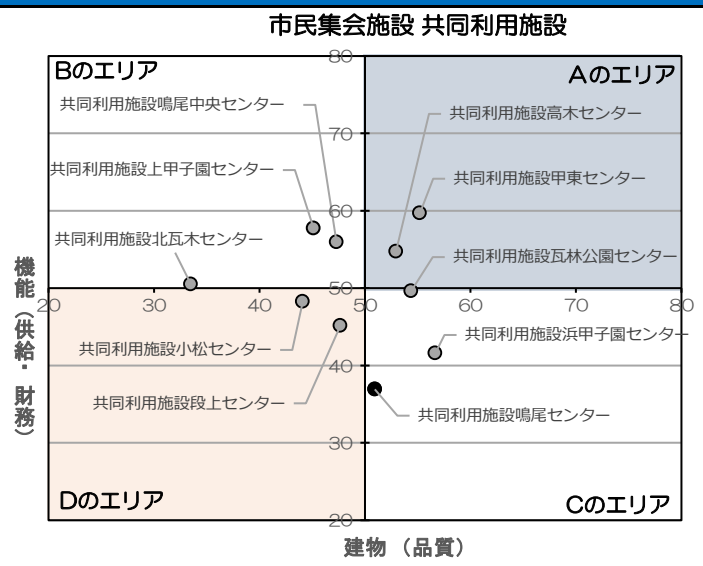
| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 50.93 | 縦軸 | 機能の評価 | 36.92 |

【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 38.8 |
| | ②健全度 | 60.8 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 33.1 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 35.3 |
| | ⑥稼働率 | 32.4 |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 22.2 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 61.6 |

レーダーチャート




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 公共用飛行場周辺における航空機騒音対策で設置された施設であり、地域の活動など市民に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 法律の定めはなく、西宮市立共同利用施設条例により設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | ここ数年、利用者は横ばいで、今後数年間大きな変動はない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、近隣住民の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 施設使用料が無料であり、地域の活動や学習の場として、利用されており、民間施設に代替が不可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 共同利用施設については、指定管理の実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 住民自治・地域行政の施策において、地域の拠点施設として、活用していく方向である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 避難所に指定されている。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | b．見直し | エ．その他 | 地域コミュニティ推進のために必要な施設であるため、利用しやすい施設づくりに向けた検討を行う。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | － | 令和14年度までに築50年以上が経過し、老朽化が進むため、施設の長寿命化に向けた検討を行う。 |

| 施設番号　施設名称 | 11209　共同利用施設鳴尾中央センター | 所在地 | 鳴尾町３丁目5-14 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 市民集会施設 | 施設分類（中分類） | 共同利用施設 |
| 所管課 | 地域コミュニティ推進課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合24 |

## 基礎情報

### 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 576 | | | | | | A | A | A |
| 028 集会所 | 576 | 1978 | 41 | C | D | B | | | |

### 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 41 | | | | | |
| ②健全度 | 58 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| | 基準 | 旧 | 診断 | 済 | 補強 | 不要 |

### 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 23,439 | 平均 | 22,711 |
| 2017 | 21,487 | | |
| 2018 | 23,208 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 39 | | |
| ⑥稼働率 | 44% | | |

### 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 2 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 71 |

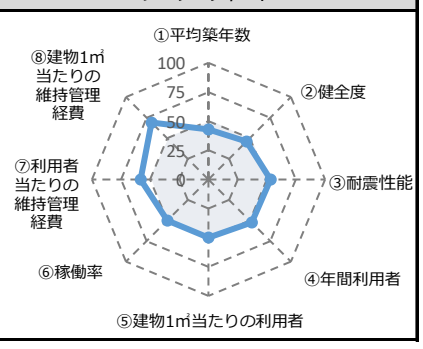
## 一次評価

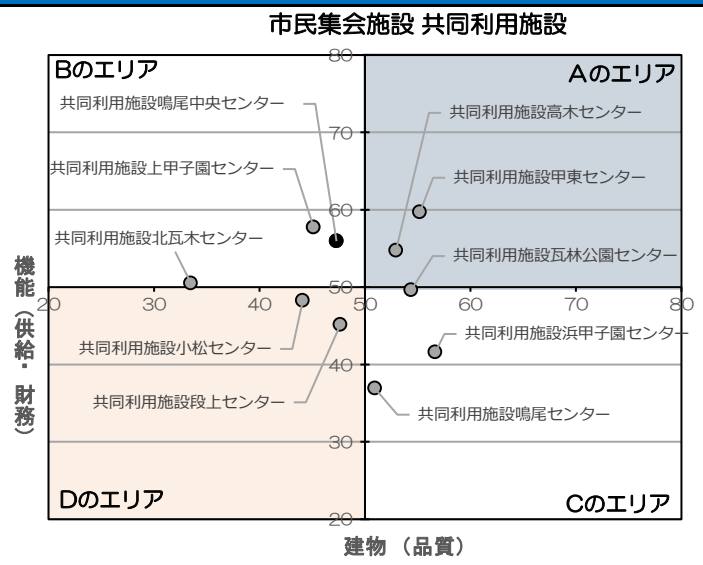
| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 47.30 | 縦軸 | 機能の評価 | 55.94 |

【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 42.8 |
| | ②健全度 | 45.9 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 52.3 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 50 |
| | ⑥稼働率 | 50.1 |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 58.3 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 69 |

レーダーチャート




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 公共用飛行場周辺における航空機騒音対策で設置された施設であり、地域の活動など市民に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 法律の定めはなく、西宮市立共同利用施設条例により設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | ここ数年、利用者は横ばいで、今後数年間大きな変動はない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、近隣住民の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 施設使用料が無料であり、地域の活動や学習の場として、利用されており、民間施設に代替が不可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 共同利用施設については、指定管理の実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 住民自治・地域行政の施策において、地域の拠点施設として、活用していく方向である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 避難所に指定されている。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | b．見直し | エ．その他 | 地域コミュニティ推進のために必要な施設であるため、利用しやすい施設づくりに向けた検討を行う。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | － | 令和14年度までに築50年以上が経過し、老朽化が進むため、施設の長寿命化に向けた検討を行う。 |

| 施設番号　施設名称 | 11210　共同利用施設浜甲子園センター | 所在地 | 枝川町19-10 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 市民集会施設 | 施設分類（中分類） | 共同利用施設 |
| 所管課 | 地域コミュニティ推進課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報　劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 550 | | | | | | 無 | A | 無 |
| 028 集会所 | 550 | 1982 | 37 | A | A | B | | | |

## 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 37 | | | | | |
| ②健全度 | 98 | | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | | |
| | 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

## 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 11,688 | 平均 | 9,943 |
| 2017 | 10,093 | | |
| 2018 | 8,049 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 18 | | |
| ⑥稼働率 | 17% | | |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 869 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 15,712 |

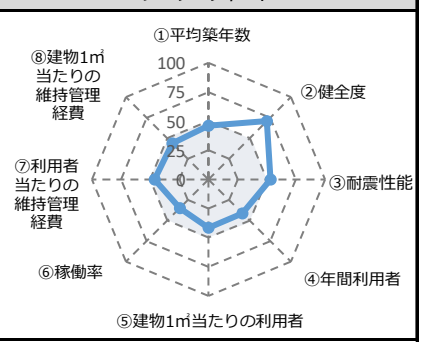
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 56.67 | 縦軸 | 機能の評価 | 41.58 |

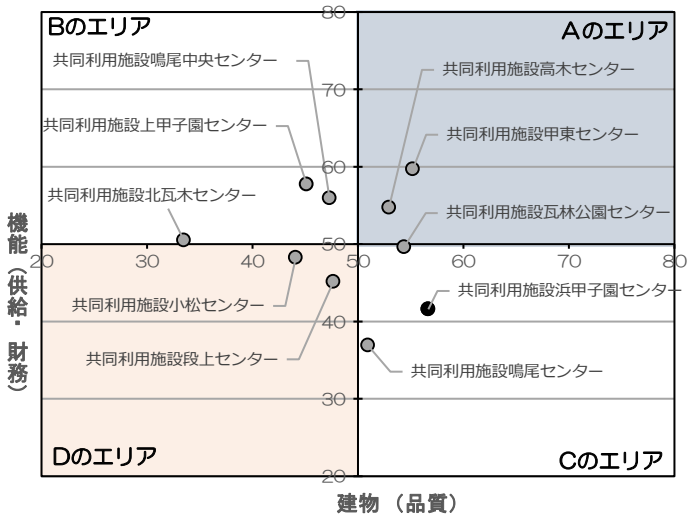
【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 46 |
| | ②健全度 | 70.8 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 41.1 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 41.6 |
| | ⑥稼働率 | 35 |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 46.3 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 43.9 |

レーダーチャート




市民集会施設 共同利用施設




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 公共用飛行場周辺における航空機騒音対策で設置された施設であり、地域の活動など市民に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 法律の定めはなく、西宮市立共同利用施設条例により設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | ここ数年、利用者は横ばいで、今後数年間大きな変動はない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないが、近隣住民の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 施設使用料が無料であり、地域の活動や学習の場として、利用されており、民間施設に代替が不可能である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績なし | 共同利用施設については、指定管理の実績はない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 住民自治・地域行政の施策において、地域の拠点施設として、活用していく方向である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 避難所に指定されている。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | b．見直し | エ．その他 | 地域コミュニティ推進のために必要な施設であるため、利用しやすい施設づくりに向けた検討を行う。 |
| 建物 | ア．現状維持 | － | 修繕等を行い、施設を現状のまま維持する。 |

| 施設番号　施設名称 | 11301　西宮市市民交流センター | 所在地 | 高松町20-20 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 市民集会施設 | 施設分類（中分類） | その他 |
| 所管課 | 市民協働推進課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 劣化状況調査の状況

| 基礎情報 | 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 施設全体 | 1,195 | | | | | | B | B | B |
| | 005 事務所 | 1,195 | 1972 | 47 | B | C | D | | | |

## 品質

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 47 | | | | |
| ②健全度 | 61 | | | | |
| ③耐震性能 | 100 | | | | |
| 基準 | 旧 | 診断 | 済 | 補強 | 済 |

## 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 110,993 | 平均 | 102,449 |
| 2017 | 107,456 | | |
| 2018 | 88,898 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 86 | | |
| ⑥稼働率 | 66% | | |

## 財務（3箇年平均）

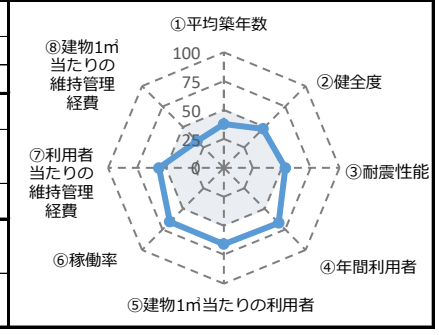
| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 60 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 5,172 |

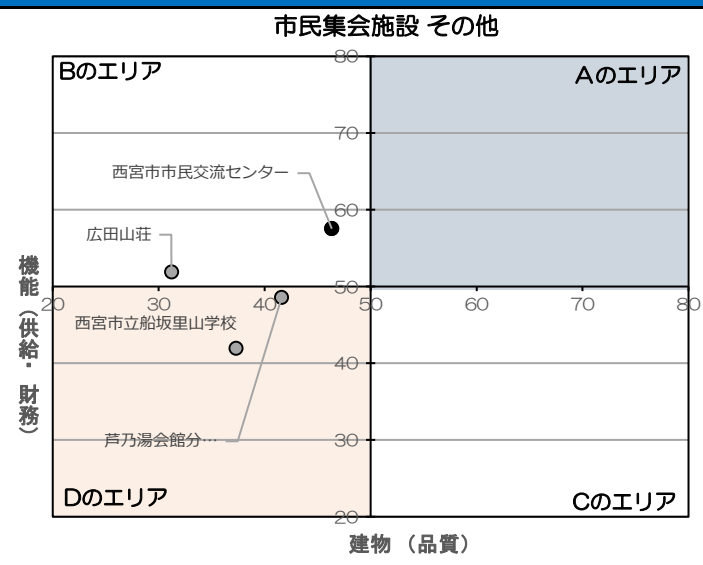
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 46.33 | 縦軸 | 機能の評価 | 57.54 |

【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 38 |
| | ②健全度 | 47.8 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 67.1 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 65.9 |
| | ⑥稼働率 | 65.9 |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 56 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 32.8 |




| 備　考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 市民交流センターの設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 法律の定めはなく、西宮市市民交流センター条例により任意に設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 減少する見込み | 過去の利用者数は減少傾向にある。また、新型コロナウイルスの影響により今後の利用者数の減少が見込まれる。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 全市的 | 市民交流センターは、類似施設がなく、市域全域の人が利用している（北部の利用者は少ない）。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 市民交流センターでは、貸館以外に団体運営・ボランティア等の相談対応や講座を無料で開催しており、民間施設に代替は困難である。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 特定非営利活動法人コミュニティ事業支援ネットにより指定管理を行っている。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 市民交流センターは、市民活動及び地域活動団体に関して運営等に関する相談対応や活動推進を目的とした講座を開催しており、第5次西宮市総合計画のアクションプランに掲げている地域力向上のための役割を担っている。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 避難所に指定されている。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 利用者数は減少傾向にあるが、稼働率は他施設と比較し依然として高い。また、市民交流センターの設置目的に沿った施設運営は他施設に代替が困難なことから、現状維持とする。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | － | 令和14年度までに築50年以上が経過し、老朽化が進むため、施設の長寿命化に向けた検討を行う。 |

| 施設番号　施設名称 | 11302　広田山荘 | 所在地 | 大社町7-17 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 市民集会施設 | 施設分類（中分類） | その他 |
| 所管課 | 地域コミュニティ推進課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報　劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 573 | | | | | | 無 | B | 無 |
| 087 広田山荘 | 379 | 1958 | 61 | C | B | C | | | |
| 009 倉庫 | 10 | 1958 | 61 | | | | | | |
| 087 広田山荘 | 152 | 1962 | 57 | C | B | C | | | |
| 015 食堂・調理室 | 32 | 1991 | 28 | C | B | C | | | |

## 品質

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 58 | | | | |
| ②健全度 | 59 | | | | |
| ③耐震性能 | 0 | | | | |
| 基準 | 旧 | 診断 | － | 補強 | 未 |

## 供給（3箇年平均）

| ④年間利用者（人） | | | |
|---|---|---|---|
| 2016 | 24,087 | 平均 | 22,620 |
| 2017 | 21,508 | | |
| 2018 | 22,264 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 40 | | |
| ⑥稼働率 | 35% | | |

## 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 56 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 2,207 |

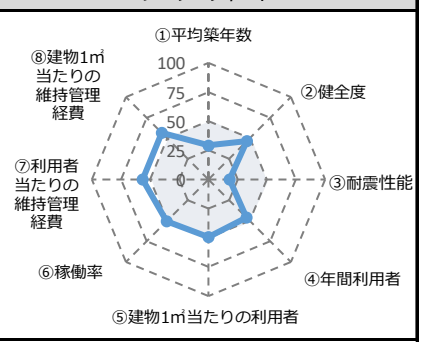
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 31.20 | 縦軸 | 機能の評価 | 51.88 |

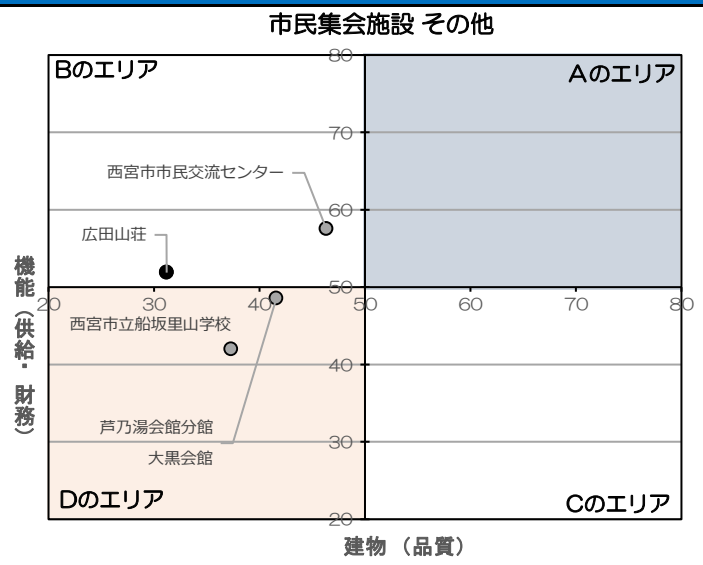
【参考】各評価項目の偏差値

| 評価項目 | | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 29.2 |
| | ②健全度 | 46.5 |
| | ③耐震性能 | 17.9 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 46.1 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 49.4 |
| | ⑥稼働率 | 50.8 |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 56.5 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 56.6 |

レーダーチャート




市民集会施設 その他




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| 評価項目 | | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 市民憩の家の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 法律の定めはなく、西宮市市民憩の家条例により設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | ここ数年、利用者は横ばいで、今後数年間大きな変動はない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないため広域に利用されているが、比較的近隣住民の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | ダンス、ヨガ、習字など様々なサークル活動で利用されており、各種団体が活動拠点として利用している。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 公益社団法人西宮市シルバー人材センターに指定管理を行わせている。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 住民自治・地域行政の施策において、地域の拠点施設として、活用していく方向である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 避難所に指定されている。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | － | 市民の憩いの施設として、団体や市民の様々な活動の場として利用されており、現状維持とする。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | － | 耐震基準を満たしていないため、施設の改修や改築などの検討を行う。 |

| 施設番号　施設名称 | 11303　　芦乃湯会館分館　大黒会館 | 所在地 | 西福町4-11 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 市民集会施設 | 施設分類（中分類） | その他 |
| 所管課 | 人権平和推進課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報

### 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 191 | | | | | | 無 | B | 無 |
| 033 市民館 | 191 | 1961 | 58 | A | C | B | | | |

### 品質

| | |
|---|---|
| ①平均築年数 | 58 |
| ②健全度 | 71 |
| ③耐震性能 | – |
| 基準 旧 診断 – 補強 | – |

### 供給（3箇年平均）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | 4,232 | 平均 | 5,865 |
| 2017 | 7,026 | | |
| 2018 | 6,338 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | | | 31 |
| ⑥稼働率 | | | 20% |

### 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 71 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 2,174 |

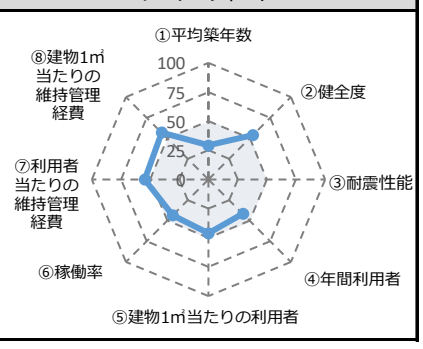
## 一次評価

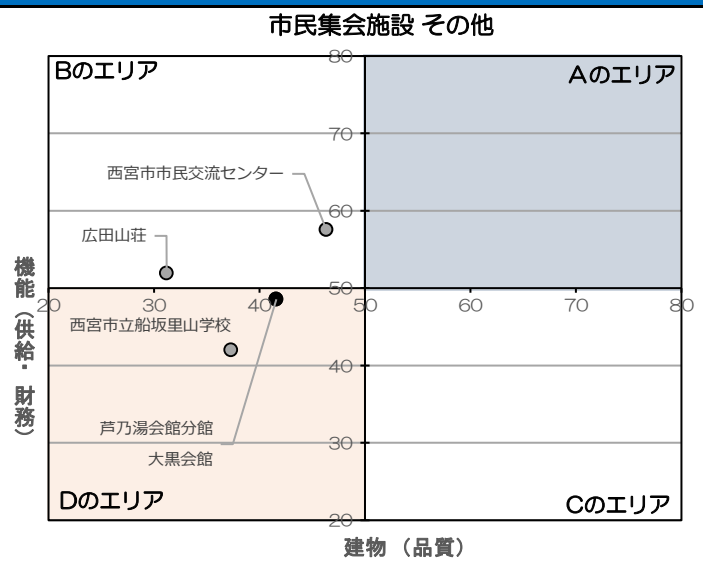
| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 41.60 | 縦軸 | 機能の評価 | 48.56 |

【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 29.2 |
| | ②健全度 | 54 |
| | ③耐震性能 | – |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 41.7 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 46.1 |
| | ⑥稼働率 | 43.4 |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 54.7 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 56.9 |

レーダーチャート




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 市民の地域社会における相互の交流および健康の増進を図るための場となっている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 法律の定めはなく、西宮市立芦乃湯会館条例により任意に設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | 現在までの利用の殆どが、地域住民を中心とした小規模のグループや団体による定期的な利用である。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 小規模の集会施設であり、利用者は地域住民が中心である。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 集会だけでなく、地区のグループで実施している「いきいき体操」や防犯協会による年末パトロールの際は夜間に使用し、地域コミュニティの推進のために不可欠な施設であるため、民間施設に代替は困難であ |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 西宮市芦原協議会により指定管理を行っている。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項あり | 平成3年10月の西宮市同和対策審議会答申を受け、地域の活性化と新しいコミュニティの創出、地域内外の住民の利用により心理的差別の解消に役立つ等の目的・意義で設置された施設である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 元は共同浴場であった建物を利用して、歴史的・社会的要因による地域内外の閉鎖性を解消するために設置された施設である。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | – | 交通至便な立地であり、地域住民をはじめ多くの人が利用している。また、維持管理経費も他の施設と比べて低いことから、現状維持とする。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | – | 築58年以上が経過しており、老朽化が著しいため、施設全体の改修に向けて検討する。 |

| 施設番号　施設名称 | 11304　西宮市立船坂里山学校 | 所在地 | 山口町船坂2103-2 |
|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | 市民集会施設 | 施設分類（中分類） | その他 |
| 所管課 | 地域コミュニティ推進課 | 併設施設（複合施設）の有無 | 無 |

## 基礎情報

### 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 1,806 | | | | | | 無 | A | 無 |
| 028 集会所 | 514 | 1955 | 64 | C | D | C | | | |
| 023 渡廊下 | 9 | 1965 | 54 | | | | | | |
| 028 集会所 | 189 | 1900 | 119 | A | B | A | | | |
| 009 倉庫 | 20 | 1958 | 61 | | | | | | |
| 028 集会所 | 43 | 1959 | 60 | C | D | C | | | |
| 009 倉庫 | 11 | 1959 | 60 | | | | | | |
| 010 物置・納屋 | 15 | 1970 | 49 | | | | | | |
| 028 集会所 | 239 | 1975 | 44 | C | D | C | | | |
| 028 集会所 | 665 | 1983 | 36 | C | C | C | | | |
| 007 作業所 | 20 | 1998 | 21 | – | – | – | | | |
| 028 集会所 | 78 | 1998 | 21 | A | B | A | | | |
| 089 その他 | 4 | 1998 | 21 | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

### 品質

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | 54 | | | | |
| ②健全度 | 52 | | | | |
| ③耐震性能 | 55 | | | | |
| 基準 | 混 | 診断 | – | 補強 | – |

### 供給（3箇年平均）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | 16,189 | 平均 | 18,321 |
| 2017 | 17,733 | | |
| 2018 | 21,042 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 10 | | |
| ⑥稼働率 | 13% | | |

### 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 254 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 2,580 |

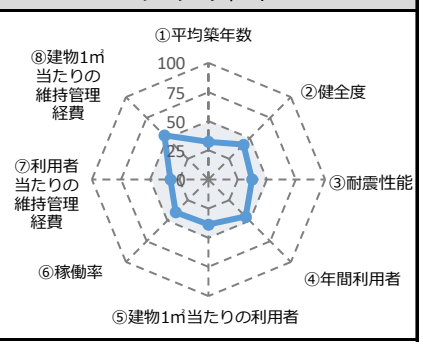
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 37.30 | 縦軸 | 機能の評価 | 41.96 |

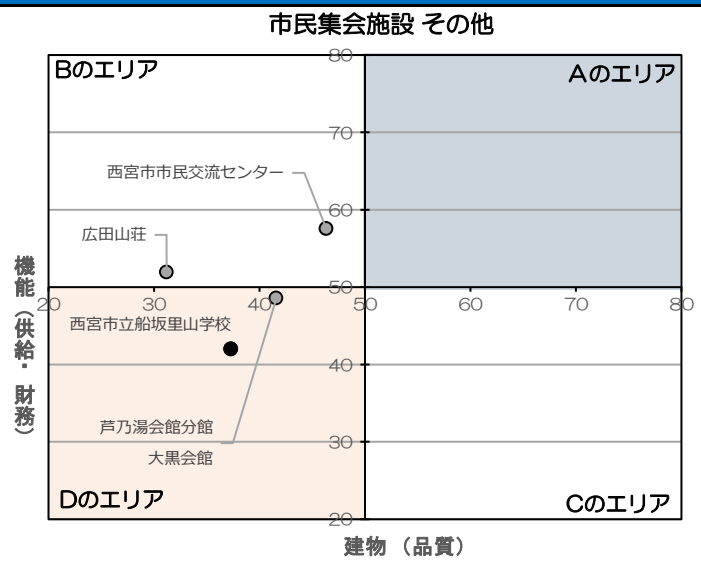
【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 32.4 |
| | ②健全度 | 42.2 |
| | ③耐震性能 | 37.3 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | 45 |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | 38.6 |
| | ⑥稼働率 | 39.9 |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 32.7 |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 53.6 |

レーダーチャート




市民集会施設 その他




| 備考 | |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 船坂里山学校の設置目的に沿った活動に利用されている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 法律の定めはなく、西宮市立船坂里山学校条例により設置している。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | 変わらない見込み | ここ数年、利用者は横ばいで、今後数年間大きな変動はない見込みである。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 地域性がある | 利用区域の制限はないため、広域的な利用も見受けられるが、比較的近隣住民の利用者が多い。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 集会施設だけでなく体育館やグラウンドなどの機能も備えているため、他の施設への代替は難しい。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 実績あり | 地域社会に熟知した地域住民が主体となる運営委員会に指定管理を行わせている。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項なし | 特筆すべき事項はないが、船坂地域において地域住民が集い、また地域を訪れる人との交流の場としての役割を担う施設である。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途あり | 避難所に指定されている。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | a．現状維持 | – | 里山文化を生かした施設で、地域での交流はもとより施設を訪れる人との交流のためにも必要な場所であるため、現状維持とする。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | – | 一部耐震基準を満たしていないため、施設の改修や改築などの検討を行う。 |

| 施設番号 | 施設名称 | 13102 | 西宮市応急診療所 | 所在地 | 池田町13-3 |
|---|---|---|---|---|---|
| 施設分類（大分類） | | 医療施設 | | 施設分類（中分類） | 医療施設 |
| 所管課 | | 保健予防課 | | 併設施設（複合施設）の有無 | 複合33 |

## 基礎情報

### 劣化状況調査の状況

| 棟名称 | 延床面積（㎡） | 建築年度 | 築年数 | 劣化状況 屋根・屋上 | 外壁 | 内部仕上げ | 受変電設備 | 空調設備 | 昇降機設備 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 施設全体 | 344 | | | | | | 無 | A | 無 |
| 042 病棟・病室 | 344 | 1995 | 24 | B | A | A | | | |

### 品質

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ①平均築年数 | | | | | | 24 |
| ②健全度 | | | | | | 91 |
| ③耐震性能 | | | | | | 100 |
| | 基準 | 新 | 診断 | － | 補強 | － |

### 供給（3箇年平均）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ④年間利用者（人） | | | |
| 2016 | 17,169 | 平均 | 17,450 |
| 2017 | 17,700 | | |
| 2018 | 17,481 | | |
| ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | | | 51 |
| ⑥稼働率 | | | － |

### 財務（3箇年平均）

| | |
|---|---|
| ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | 194 |
| ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | 9,830 |

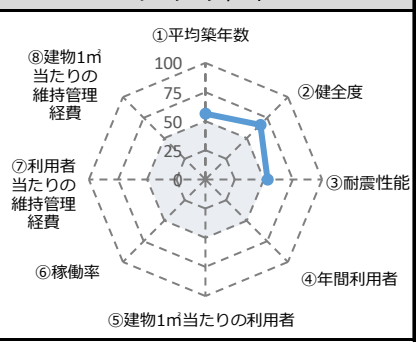
## 一次評価

| 「品質」の平均偏差値 | | | 「供給・財務」の平均偏差値 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 横軸 | 建物の評価 | 58.67 | 縦軸 | 機能の評価 | － |

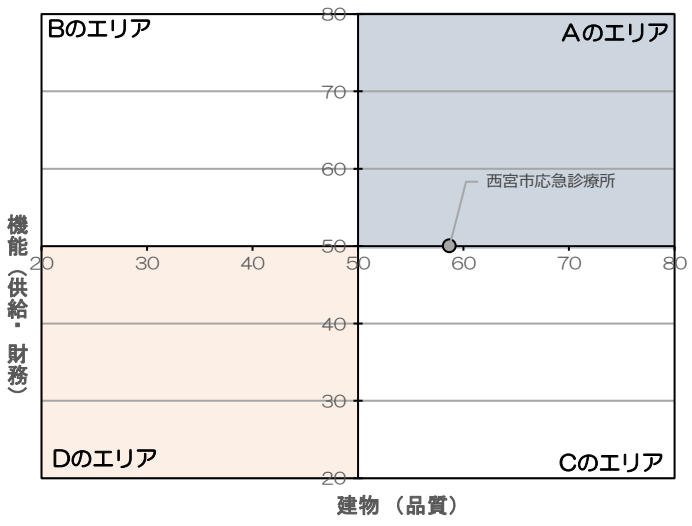
【参考】各評価項目の偏差値

| | 評価項目 | 偏差値 |
|---|---|---|
| 品質 | ①平均築年数 | 56.4 |
| | ②健全度 | 66.4 |
| | ③耐震性能 | 53.2 |
| 供給 | ④年間利用者（人） | － |
| | ⑤建物1㎡当たりの利用者（人/㎡） | － |
| | ⑥稼働率 | － |
| 財務 | ⑦利用者当たりの維持管理経費（円/人） | － |
| | ⑧建物1㎡当たりの維持管理経費（円/㎡） | － |

レーダーチャート




医療施設




| 備考 | 機能（供給・財務）の比較を行う施設分類が1施設のため、50で設定している |
|---|---|

## 二次評価

| | 評価項目 | 評価結果 | 評価理由等 |
|---|---|---|---|
| 公共性 | ①利用実態が設置目的に即しているか | 即している | 応急診療所の設置目的に沿った利用がされている。 |
| | ②法律により設置が義務付けられている施設か | 義務付けられていない | 救急医療対策事業実施要綱において設置目的が記載されている。 |
| 有効性 | ③今後の利用者数の見込みはどうか | ― | インフルエンザや感染症の流行により患者数が変動するため予測不可。 |
| | ④施設の利用実態から利用圏域はどうか | 全市的 | 塩瀬・山口地域の患者数は少ないが、全市的に利用されている。 |
| 代替性 | ⑤類似機能を有する民間施設や公共施設に代替が可能な施設か | 不可能 | 公共性が高いため不可。 |
| | ⑥管理運営において、民間事業者のノウハウが活用できる施設か | 不明 | 他市等の実績については把握していない。 |
| まちづくり | ⑦まちづくりの観点から特筆すべき事項があるか | 特筆すべき事項なし | まちづくりの観点から特筆すべき事項はない。 |
| | ⑧他の利用用途が存在するか | 他の利用用途なし | 特に他の利用用途はない。 |

## 総合評価

| | 評価結果 | 取組手法 | 中期的な対応方針 |
|---|---|---|---|
| 機能 | b．見直し | イ．集約化 | 適正な運営を維持するため、引き続き指定管理者である西宮市医師会と協議していく。<br>新保健所施設の整備に合わせて機能の再編・集約化を進める。 |
| 建物 | イ．改修・改築 | － | 隣接する消防局車庫を診察室兼待合室に改修する工事を令和３年度に実施する予定。<br>新保健所施設の整備に合わせて用途転用や貸付を行う。 |